SHARP®

取扱説明書

液晶カラーテレビ

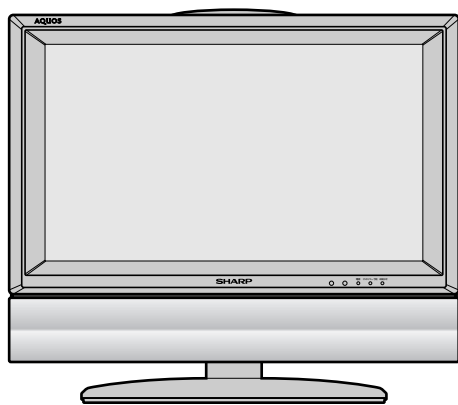
形 名

エル シー　ジー ディー
LC-22GD3

2. 操作編

操作に入る前に別冊の取扱説明書 1. 準備編 をご覧ください。

AQUOS

VIRTUAL DOLBY SURROUND PRO LOGIC II

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(6ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

テレビを楽しむ

27ページ

テレビを楽しむ
（つづき）

BS・110度CS
デジタル放送を
楽しむ
67ページ

次ページへつづく

もくじ(つづき)

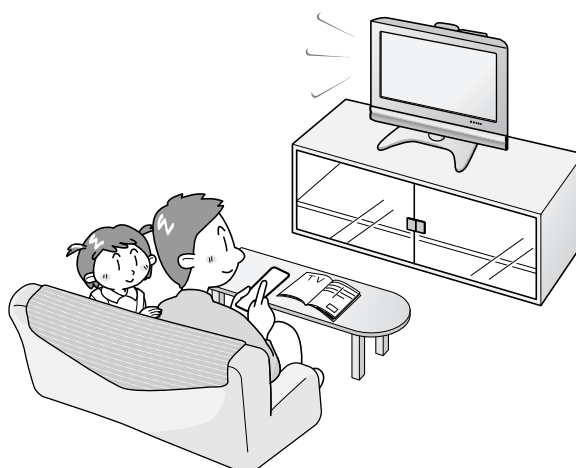
他の機器をつないで使う
127ページ

地上デジタル放送を楽しむ
163ページ

情報ページ
205ページ

Quick Start Guide in English
Page 222

お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 本機を廃棄または譲渡する場合には、「個人情報初期化設定」で個人情報を消去してください。(**125**ページ)

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

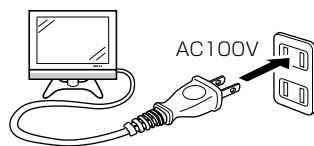
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

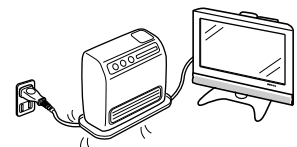
 記号は、しなければならないことを表しています。

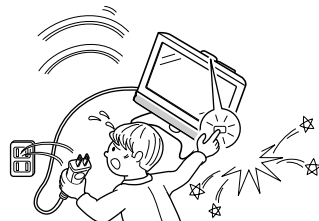
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

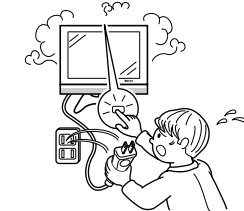
100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

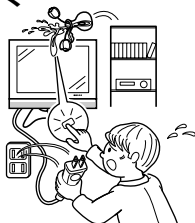
テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

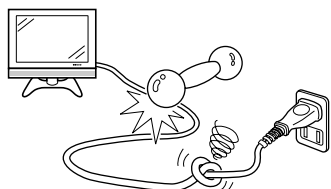
電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

異物を入れない

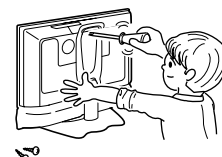
禁止

通風孔(裏ぶたのすき間)などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特に、お子様にはご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の近くに花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

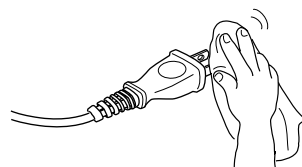
接触禁止

感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

次ページへつづく

安全上のご注意(つづき)

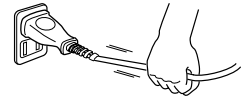
⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

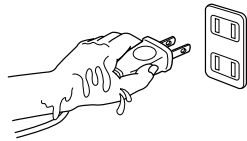
禁止

電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

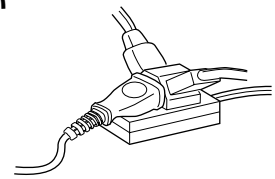
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

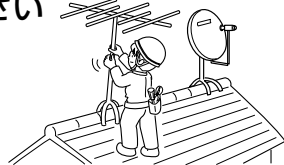
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

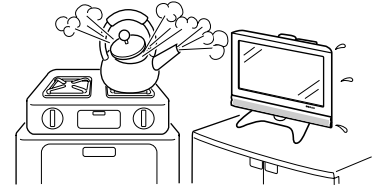
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

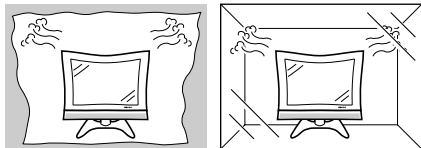
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

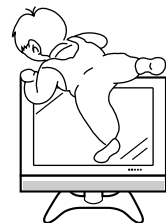
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

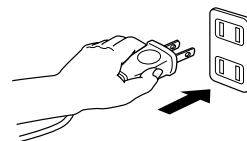
あお向けや横倒し、逆さまにしない・風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

ファンの排気孔や通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

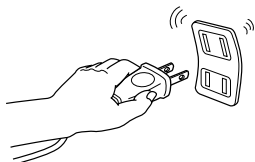
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

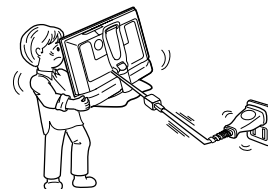
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

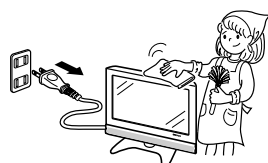
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

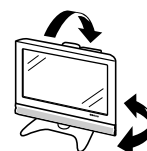
接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

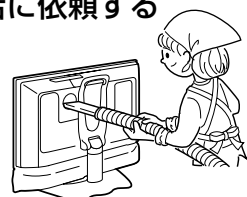
電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

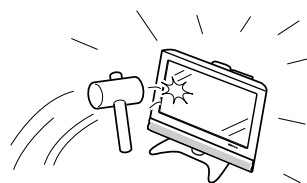
手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれて、けがの原因となることがあります。また無理に傾けると、転倒して落下やけがの原因となることがあります。（角度調整の範囲…前方5度、後方10度、左右各25度以内）

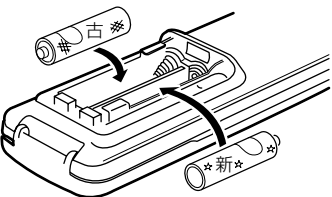
通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の清掃は販売店に依頼する

注意

内部や通風口にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

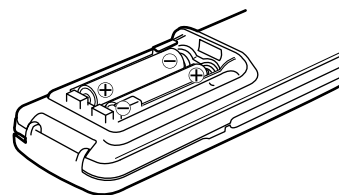
液晶画面に衝撃を与えない

禁止

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

指定以外の乾電池や、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない

禁止

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）の向きに注意する

表示どおりに入れる

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- この取扱説明書で「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

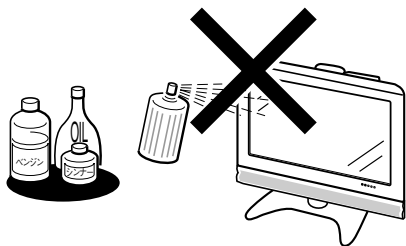
使用上のご注意

守っていただきたいこと

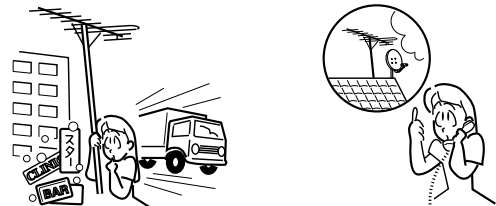
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

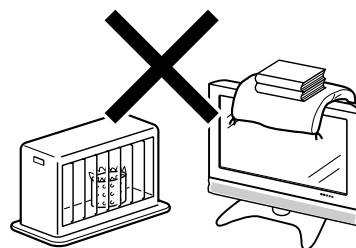
- お手入れの際は、必ず本体天面の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて、行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、画面の表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- 画面の保護のため、ホコリのついた布や湿った布、または化学雑巾で拭きとらないでください。
- 中性洗剤は使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

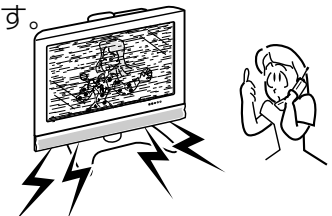
キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で、軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

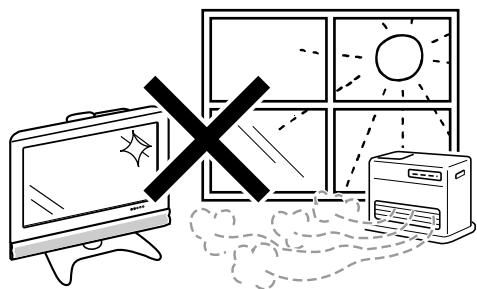
アンテナについて

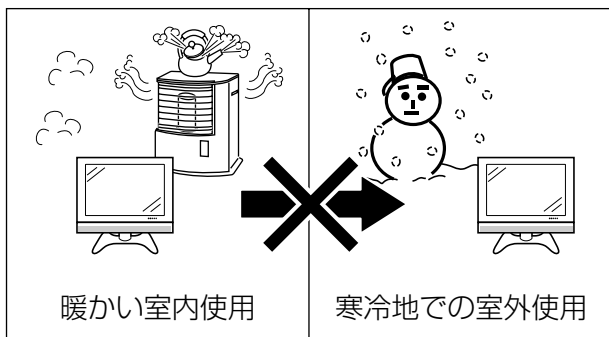
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。（1. 準備編 **13** ページ参照）
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

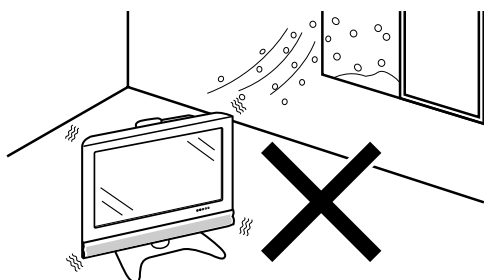
- 発熱する機器のそばには本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

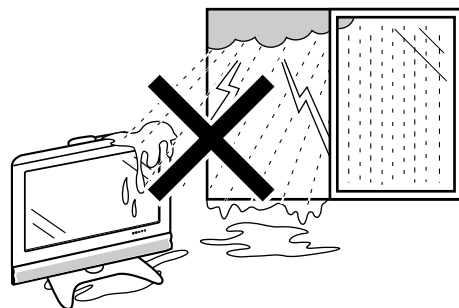
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

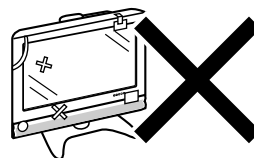
直射日光・熱気は避けてください

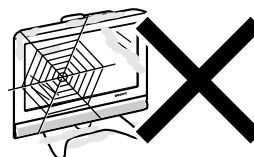
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度 0℃～40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

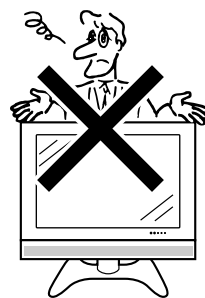
- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

次ページへつづく

使用上のご注意(つづき)

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」とならないよう、方向に注意して行ってください。

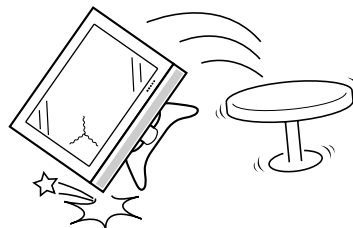
結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると、故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れると危険です。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
  また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0℃~40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因になります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

蛍光管について

■ 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(明るさを「標準」に設定している場合)
- 詳しくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

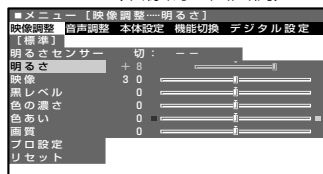
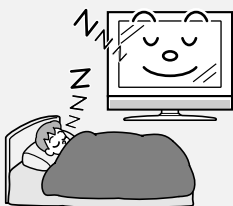
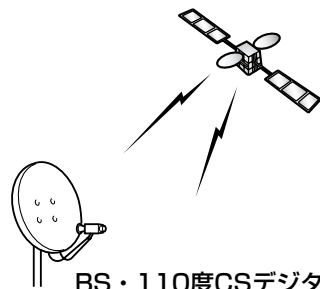
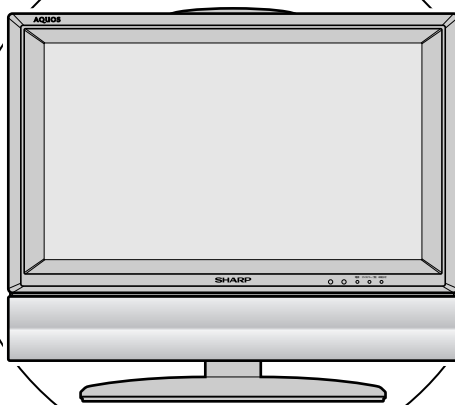
■ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

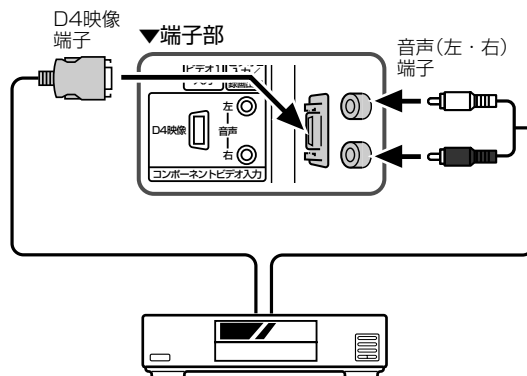
本機の特長

22V型ワイドテレビ専用液晶パネルを搭載

- ASV※方式低反射ブラックTFT液晶により広視野角、高コントラストを実現。
- 高効率バックライトシステムにより、高輝度を実現。

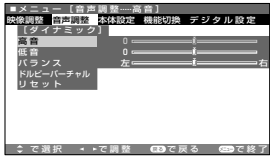
※ ASV…Advanced Super View の略

地上/BS/CS110度デジタル放送対応

D4映像端子を装備

- D端子対応のDVDプレーヤーなどを接続し、D4映像端子からの映像を再生できます。

※本機は、BSデジタルハイビジョン放送やD4入力映像を16：9のワイドサイズに変換して表示します。（ハイビジョン放送等の高精細映像では表示できません。）

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。（本体天面の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。）
別冊の[1. 準備編]の見かたも同様です。

テレビ／ビデオ入力の音声を調整する

お好みの音声に調整する
■ お好みに合わせて、高音や低音を調整することができます。

音声調整について
● 「高音」「低音」「バランス」の3つの項目をお好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んで（**39**ページ参照）から、音声調整の操作を行います。

フタを閉じたところ

[例] AVポジション「ダイナミック」の、「高音」を調整する

1
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀▶で「音声調整」を選ぶ
③ ▲▼で「高音」を選ぶ

2
◀▶でお好みの音質に調整する
●「▮」マークが左右に移動します。
●続けて低音を調整するときは、上下カーソルボタンで「低音」を選び、同じ要領で調整してください。

3
メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ
● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順1-③のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。

46

● 番号順に操作してください。
● 機能の概要説明などです。
● テレビ画面に現われる表示です。※
● 操作するボタンです。
左のイラストのボタンに対応しています。
● 操作の結果や補足的な説明です。
● 選択･入力する項目や欄です。
● 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
● 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

こんなときは ▶▶▶

お手入れをするときは
 10ページ

故障かな？と思ったら
☞ 206ページ

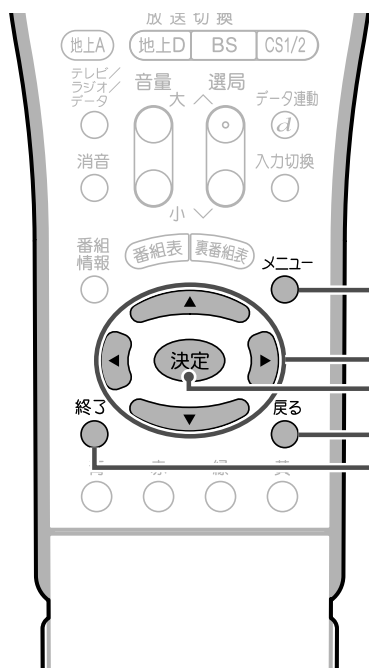
分からない用語があるときは
☞ 217ページ

テレビメニューについて

■テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではテレビメニューの使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

※ BS・110度CSデジタル放送などを視聴するための調整や設定（デジタルメニュー）については、**18**ページをご覧ください。

テレビメニューの基本操作

▼リモコン

テレビメニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
- メニュー画面の表示を入／切します。

カーソルボタン（上・下・左・右）
- 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。
- 左右カーソルボタンで、項目の調整を行います。

▶ を押すと、数値が増えます。

◀ を押すと、数値が減ります。

決定ボタン
- 先に進みます。
- 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
- 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
- メニューの操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。
- メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

テレビメニュー画面の見かた

▼テレビメニュー画面表示例（部分）

黄色で表示されているところ
- いま選ばれている項目です。
- 決定ボタンを押すと、選ばれている項目の設定画面になります。

白い文字で表示されている項目
- 選択可能な項目です。

メニュー画面の表示時間について
- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

メニュー言語の切換えについて
- テレビメニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**17**ページをご覧ください。
- See page **17** if you wish to display the TV menus in English.

- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

テレビメニューについて（つづき）

テレビメニューで設定できる項目

（テレビメニュー項目の詳細については、**216**ページの「テレビメニュー項目一覧」をご覧ください。）

メニューなどの表示言語を選ぶ

■ メニューなどの画面表示を日本語にするか英語にするか選ぶことができます。

フタを閉じたところ

● デジタルメニューも英語で表示することができます。

Switching the Display Language to English

■The TV menu screen and other on-screen indications can be displayed in English.

Step 1

① Press メニュー (menu) to display the TV menu screen.

② Press ◀ or ▶ to select "本体設定" (Setup).

Step 2

Press ▲ or ▼ to select "Language (言語設定)", then press 決定 (enter).

Step 3

Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

● The menu screen is now displayed in English.

Step 4

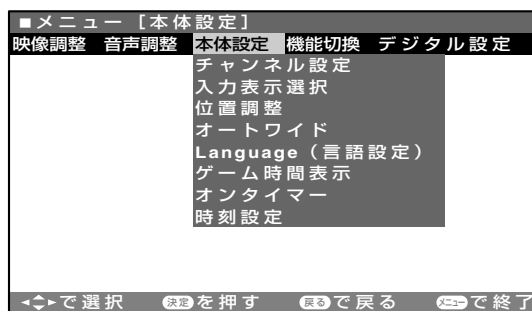
Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

● Once the display language is changed to English, the Digital menu screen is also displayed in English.

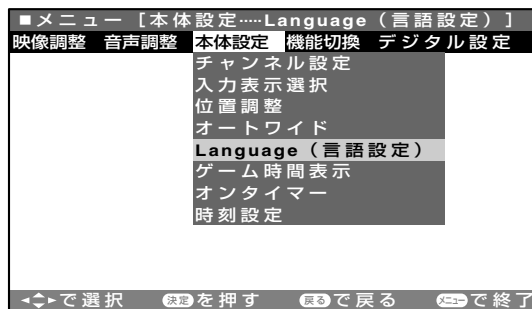
[例] テレビメニューを英語で表示する

1

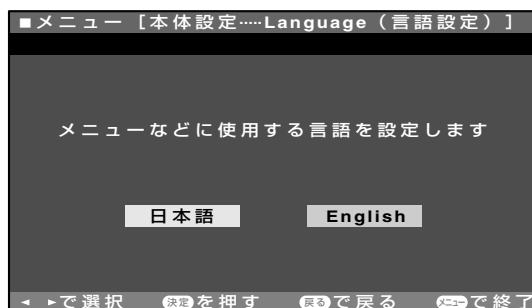
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

2

▲▼で「Language(言語設定)」を選び、決定を押す

3

◀▶で「English」を選び、決定を押す

●画面表示が英語になります。

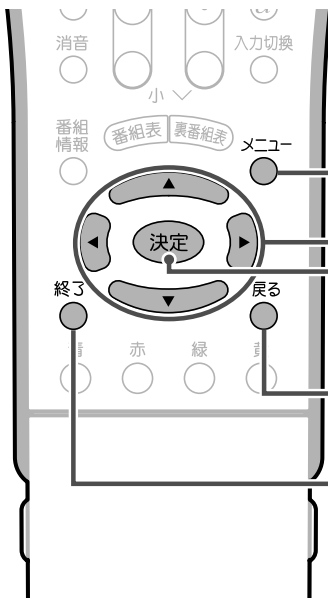
4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

デジタルメニューについて

■アンテナ設定や暗証番号の設定など、BS・110度CSデジタル放送などの視聴に関連した各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをデジタルメニューを使って行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

デジタルメニューの基本操作

■ デジタルメニューは、デジタル放送画面でしか表示できません。画面に「放送が受信できません」と表示されていても、デジタルメニューは操作できます。
■ デジタルメニューは、テレビメニュー内、デジタル設定の「**デジタルメニューへ**」の項目を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。

▼リモコン

デジタルメニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
- メニュー画面の表示を入／切します。

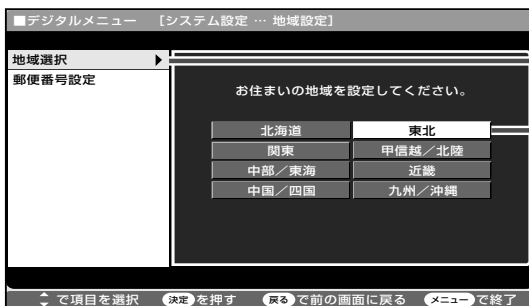
カーソルボタン（上・下・左・右）
- 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。

決定ボタン
- 先に進みます。
- 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
- 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
- メニューの操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。
- メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

デジタルメニュー画面の見かた

▼デジタルメニュー画面表示例

黄色で表示されているところ
- いまカーソルのある項目です。
- 決定ボタンを押すと、選ばれている項目を確定したり、設定画面を表示したりできます。

白で表示されている項目
- 現在の設定です。

メニュー画面の表示時間について
- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

メニュー言語の切換えについて
- デジタルメニューを英語で表示することもできます。日本語／英語の切換えの操作方法については、**17**ページをご覧ください。
- See page **17** if you wish to display the Digital menus in English.

- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

デジタルメニューで設定できる項目

BS•110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 .... 従来のアナログBS･CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2004年6月現在）

データ放送 .... 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 .... CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG） .... BS・110度CSデジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

臨時編成サービス .... 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス .... 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

● 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送のチャンネル番号表

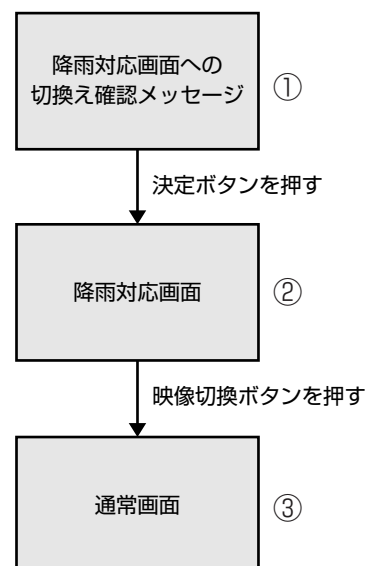
	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700～709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140～143、145～149 (臨時編成サービス時：144)※	440～449	740～749
	BS朝日	150～157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450～459	750～759
	BS-i	160～168 (臨時編成サービス時：169)※	460～469	760～769
	BSジャパン	170～179 (臨時編成サービス時：未定)※	470～479	770～779
	BSフジ	180～187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780～789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790～799
	スターチャンネル	200～209	なし	800～809
ラジオ/データ	BSC	なし	300、301	なし
	ミュージックバード	なし	310～319	610～619
	JFNサテライト	なし	320～329	620～629
	セント・ギガ	なし	330～339	630～639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900～909
	ウェザーニュース	なし	なし	910～919
	DCI	なし	なし	930～939
	日本データ放送	なし	なし	940～949
	メディアサーブ	なし	なし	950～959
	日本メディアーク	なし	なし	960～969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990～999

※臨時編成サービス：**20**ページをご覧ください。

(2004年6月現在)

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。(右図③)

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

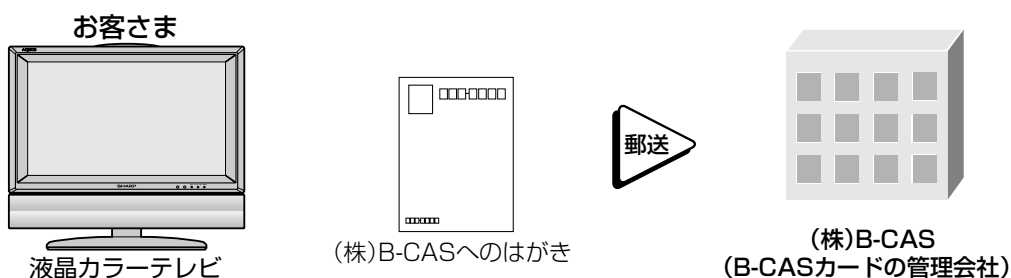
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■ BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

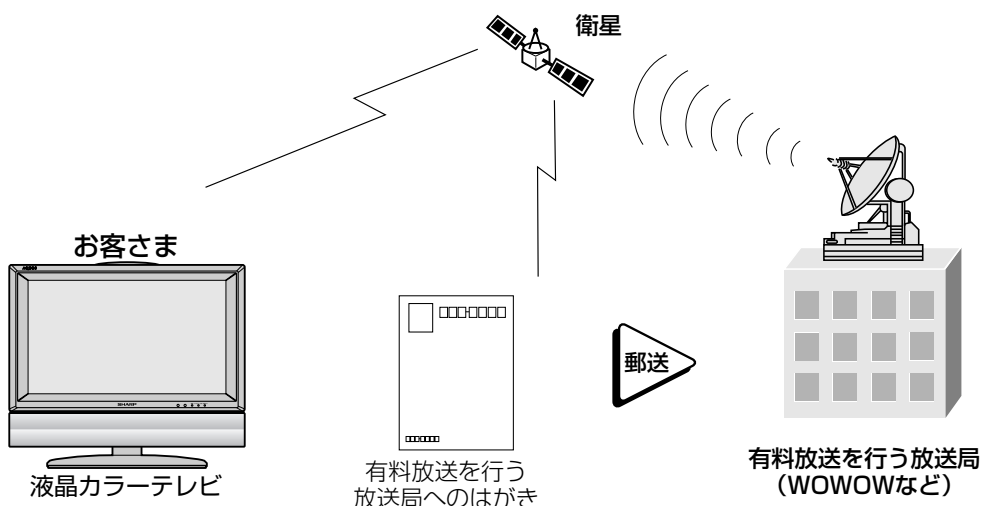
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

● 本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。(この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。)

110度CSデジタル放送について

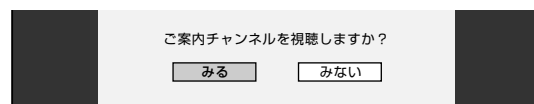
■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。
■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。**従来のCSアンテナ、BSアンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。**
■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム（スカパー！110P、スカパー！110S）※との個別受信契約が必要となります。（一部、無料の放送もあります。）
※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※注が表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※注.「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード（掲示板）

プラットフォーム（スカパー！110P［CS1］、スカパー！110S［CS2］）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。
詳しくは**116**ページをご覧ください。

（画面例）

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

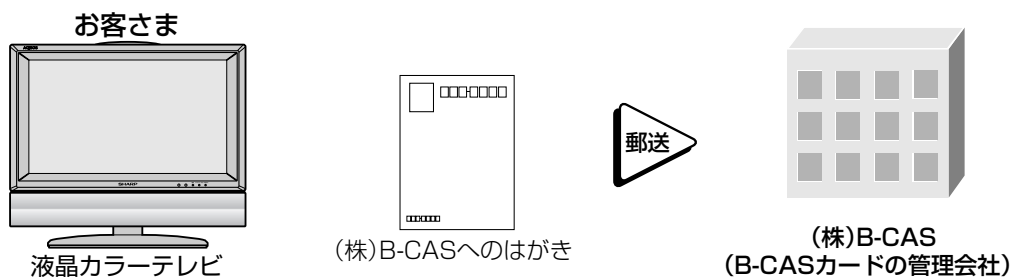
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■ 110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

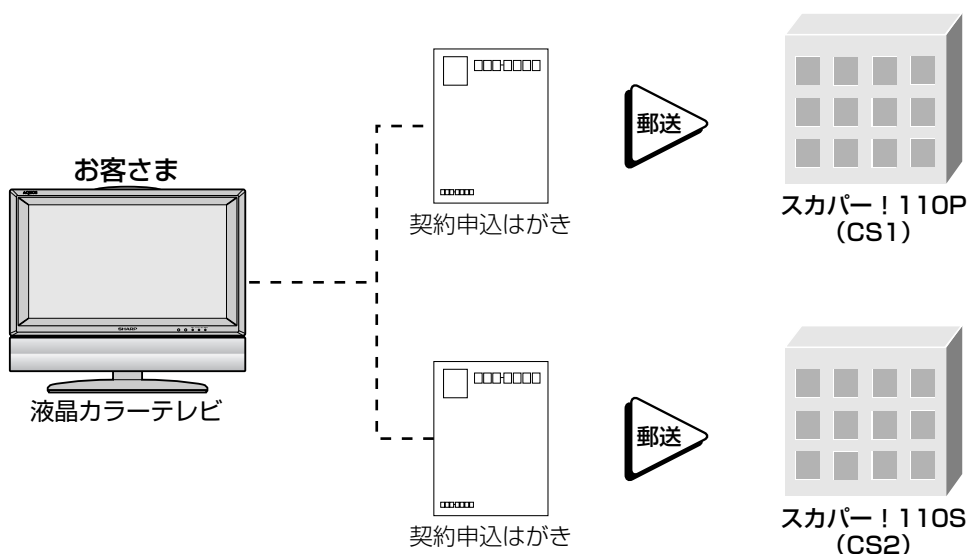
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(CS1·····スカパー!110P、CS2·····スカパー!110S)※と個別に契約することが必要です。

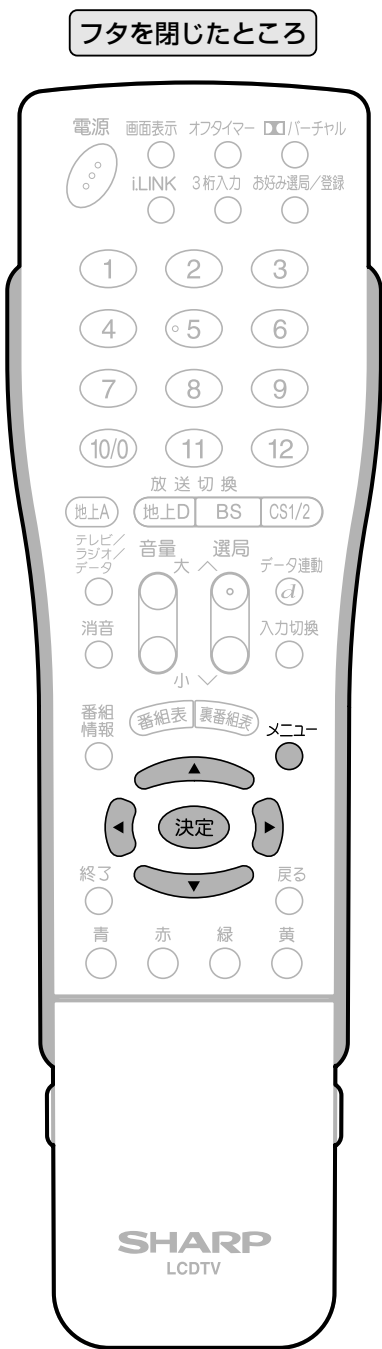
契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、スカパー!110P、スカパー!110Sのカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

時刻設定について

■本機は、メニュー画面に現在時刻を表示する時計機能や、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を備えています。これらの機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。

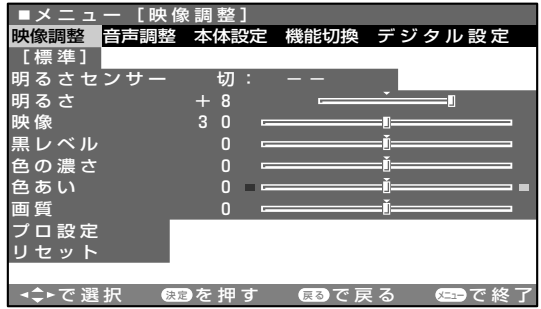
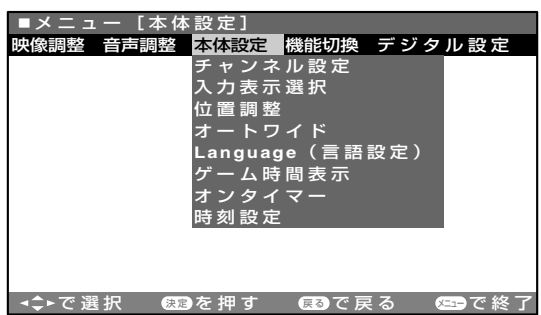
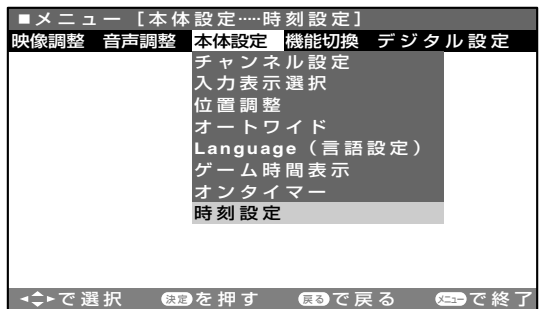
■自動時刻設定機能について

本機はBSデジタル放送から時刻情報を取得し、内蔵時計を自動設定する機能を備えています。
BSデジタル放送が受信できない状態にあるときなど、自動設定されていない場合は、下記の手順によりテレビメニュー画面で時刻設定することができます。

フタを閉じたところ

テレビメニューで時刻を設定するとき

[例] 午前10時30分に合わせる

1 メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

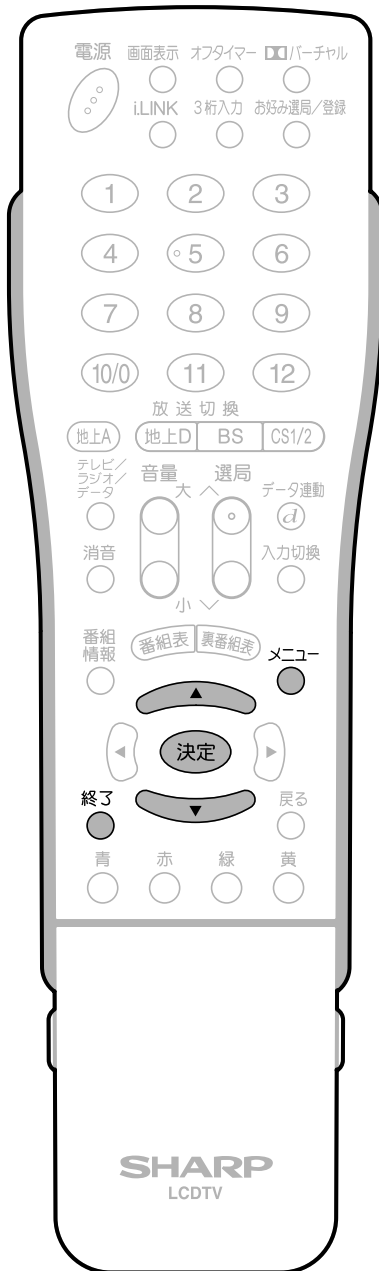
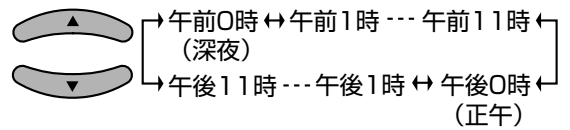
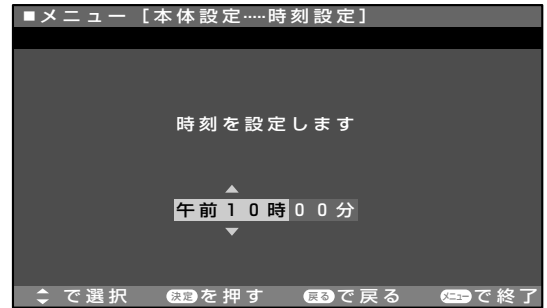
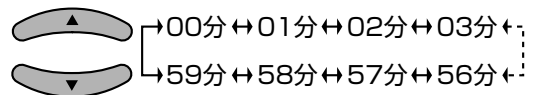
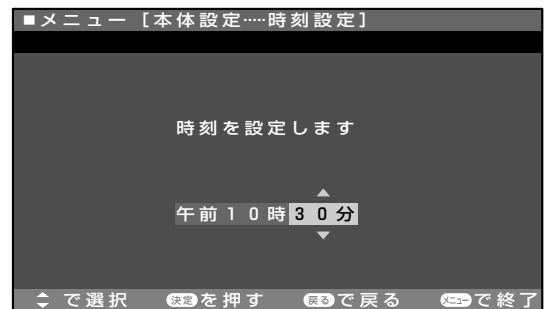
2 ① ◀▶で「本体設定」を選ぶ

② ▲▼で「時刻設定」を選び、決定を押す

●時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は設定できません。

次ページへ
次ページへつづく

時刻設定について(つづき)

フタを閉じたところ

3 ▲▼で「時」を「午前10時」に合わせ、決定を押す

▲▼ 午前0時 ↔ 午前1時 --- 午前11時 (深夜)
午後11時 --- 午後1時 ↔ 午後0時 (正午)

4 ▲▼で「分」を「30分」に合わせ、決定を押す

- 電話などの時報に合わせて、決定ボタンを押してください。

5 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- これで時刻設定が完了しました。

- 設定後、現在時刻を確認したいときは、画面表示ボタンを押してください。画面右下に現在時刻が表示されます。
数十秒間で表示は消えますが、表示中に消したい場合はもう一度、画面表示ボタンを押します。

テレビを楽しむ

● この章では、テレビを楽しく使っていただくための、いろいろな機能と操作方法について説明しています。

ふだんの使いかた

電源の入／切・選局・音量調整

フタを閉じたところ

❶テレビをつける

電源「入」……………電源ランプ
（動作状態）　　　　緑色点灯

❷ネットワークを選ぶ

放送切換ボタン

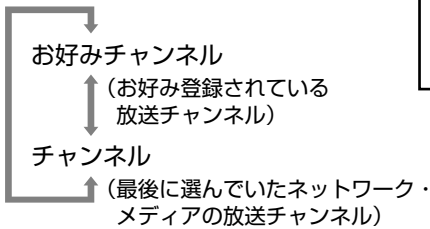
- 地上A・地上D・BS・CS1/2を選びます。
（※地上Dは地上デジタル放送が開始され、受信可能になってから使います。）

❸チャンネルを選ぶ

チャンネル

- ネットワーク（地上A・地上D・BS・CS1/2）のメディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとのチャンネルを選びます。

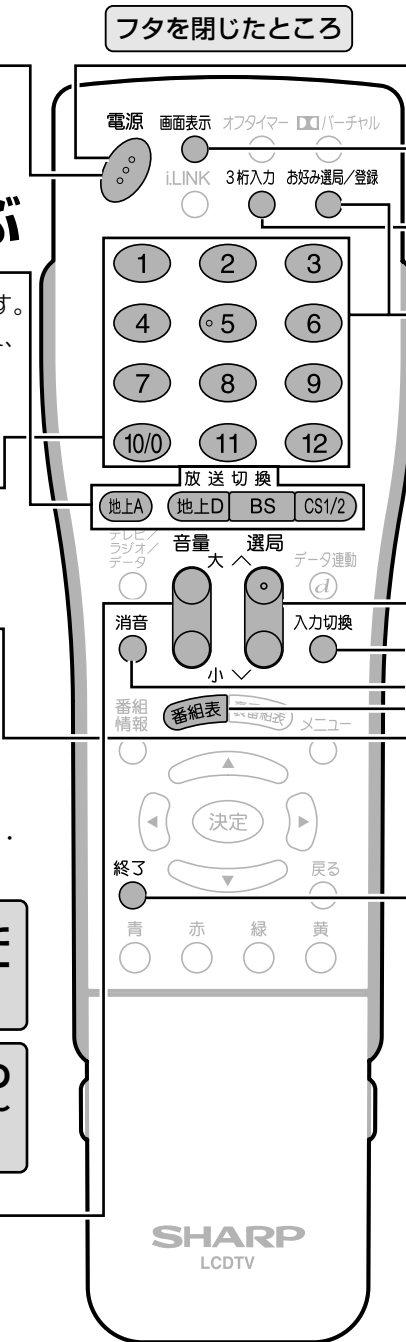
選局（∧順／∨逆）

お好みチャンネル
（お好み登録されている放送チャンネル）
チャンネル
（最後に選んでいたネットワーク・メディアの放送チャンネル）

CATVチャンネルの選局のしかたについては、1.準備編 34～35ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送の視聴のしかたについては、68～126ページをご覧ください。

❹音量を調整する

数字とバーで音量を表示

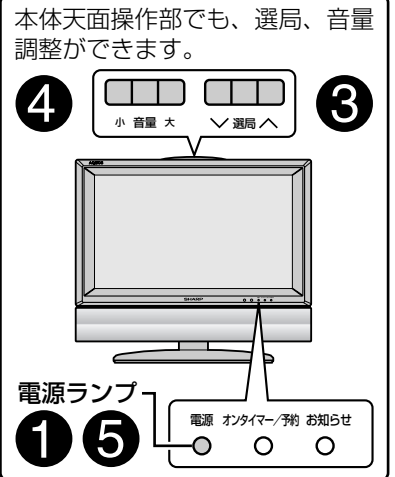
2 6

❺テレビを消す

電源「切」……………電源ランプ
（電源待機状態）　　赤色点灯

お好みのチャンネルを選ぶ

お好み選局／登録

- お好み登録されているチャンネルを選局します。
（お好み選局／登録ボタンを押し、登録されているチャンネルボタンを押します。）

本体天面操作部でも、選局、音量調整ができます。

電源プラグの接続について

- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルとBS・110度CSデジタルチャンネルが受信できるように設定されています。UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、1.準備編 **21～39**ページをご覧ください。

入力切換え・画面表示・消音など

画面表示を切り換える

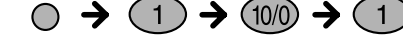
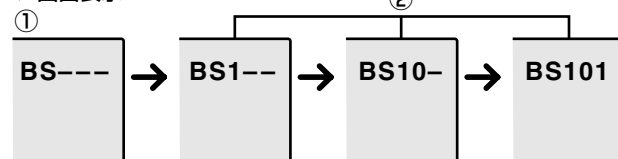
● ボタンを押すと、チャンネル、時刻、オンタイマー時刻、オフタイマー残り時間などが表示されます。もう一度押すと、表示が消えます。

▼画面表示

デジタル放送の3桁チャンネル番号を選ぶ

［例］BSデジタル放送の101チャンネルを選ぶとき

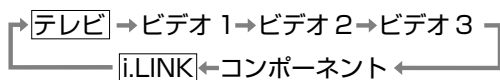
① BSデジタル放送受信中、3桁入力ボタンを押します。

② 数字（チャンネル）ボタンで3桁チャンネル番号を入力します。

入力を切り換えるとき

● ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。（工場出荷時）

テレビ → ビデオ 1 → ビデオ 2 → ビデオ 3 → コンポーネント → i.LINK → テレビ

ビデオ1〜3・コンポーネントの表示について

● 各ビデオ入力端子に接続した外部機器に合わせ、入力表示を変更することができます。詳しくは**134**・**135**ページ「外部機器に表示を合わせる」をご覧ください。

音を一時的に消す

● もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

デジタル放送の電子番組表を見る

● もう一度押すと、表示が消えます。

操作を終了する

● 2画面、静止画面、番組表やメニュー操作などを終了します。

おしらせ

放送が終了すると

● 無信号オフ機能を「する」に設定しているときは、約5分後にテレビの電源が切れます。
電源ランプが赤色に点灯します。…無信号オフ機能（**65**ページ）

● 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。

● ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れます。

CATV（ケーブルテレビ）について

● CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

● CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。

● 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。
CATVチャンネル（C13〜C63）は、工場出荷時にチャンネルスキップを「する」の状態になっています。チャンネルスキップを「しない」（解除）にすると、本体とリモコンの選局（∧順／∨逆）ボタンで選局ができるようになります。
チャンネルスキップの設定については、1. 準備編 **34**〜**35**ページをご覧ください。

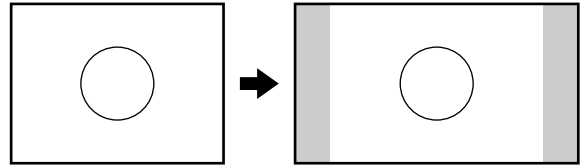
テレビ／ビデオ入力のワイド画面設定

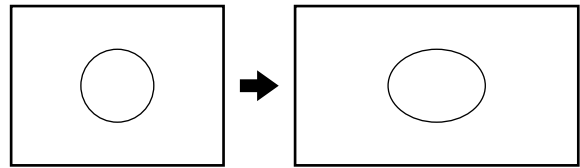
放送やソフトの内容によって、手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

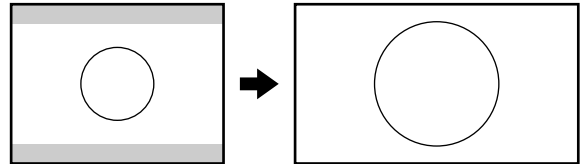
各画面サイズの表示のされかた

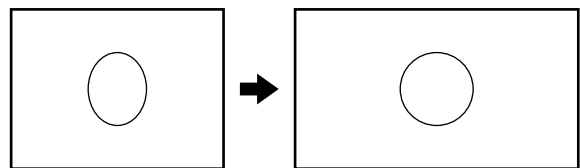
■ 画面サイズには、つぎの5つのモードがあります。（操作方法☞**31**ページ）

ノーマルモード

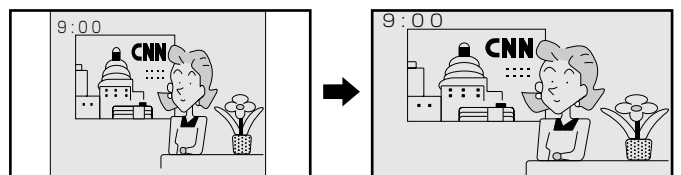
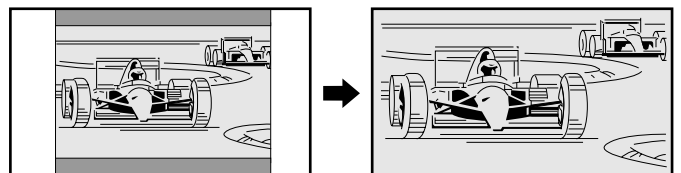
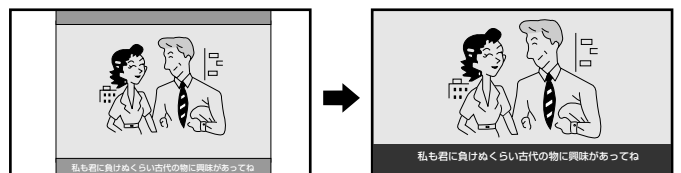
通常のテレビ画面(4：3サイズ)の映像をそのまま映します。

ワイドモード

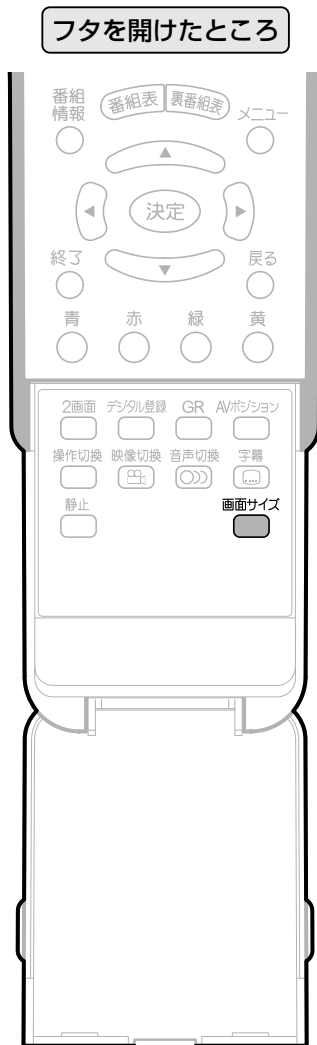
通常の4：3映像を画面いっぱい(16：9)に映します。

シネマモード

横長サイズの映画ソフトなどを画面いっぱい(16：9)に映します。

フルモード

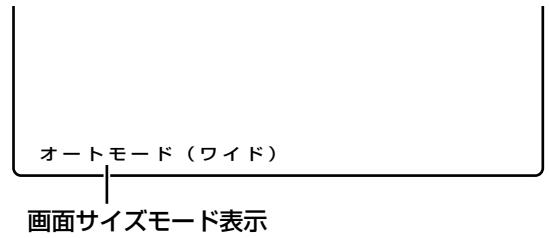
16：9から4：3に圧縮された映像(フル映像ソフト)を、もとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。

オートモード(ノーマルまたはワイド)

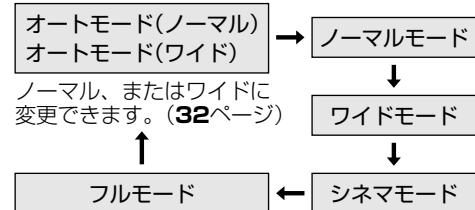
映像の内容に応じて自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
オートモードで通常の放送(4：3)を受信した場合の映像をそのまま4：3で映すか、画面いっぱいに広げて映すかをメニューで設定することができます。（**32**ページ参照）

▼オートモード(ワイド)のときの画面表示例

通常のテレビ画面

上下に帯の入った映像

下に文字が入った映像

画面サイズを選ぶ

フタを開けたところ

1 **画面サイズを押す**

●画面サイズモードが表示されます。

2 **画面サイズモード表示中に画面サイズを押し、お好みの画面サイズ(モード)を選ぶ**

●ボタンを押すたびに、つぎのように画面サイズ(モード)が切り換わります。

● オートモードでご使用中、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これはオートモード機能が、受信した映像に応じて最適な画面サイズへ自動切換えをしているために起こる現象で、故障ではありません。気になる場合は、画面サイズボタンでお好みの画面サイズに切り換えてください。
ご覧になる映像によっては、切り換わる時間に差があります。
● オリジナル映像のサイズ(シネマスコープサイズ)によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
● ビデオ機器で特殊再生(ビデオサーチやスロー再生など)をしている間は、オートモード機能が働かなくなることがあります。
● 市販ソフトによっては、字幕など一部欠けることがあります。このようなときは、画面サイズボタンで最適なサイズ(モード)に切り換えたり、位置調整(**33**ページ)で垂直位置を調整したりしてご覧ください。
● 本機は各種の画面サイズ切換え機能を備えています。テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、オリジナルの映像とは違って見えます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
● テレビを営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
● ワイド映像でない通常(4：3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像をご覧になるときは、画面サイズをノーマルモードにしてください。
● 受信内容やソフトによってはオートモード機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、画面サイズボタンでお好みの画面サイズに手動で切り換えてください。

テレビ／ビデオ入力のワイド画面設定(つづき)

オートモードで4：3映像をそのまま見たいとき

■ 画面サイズを「オートモード」に設定したとき、通常の4：3映像をそのまま4：3で表示する「ノーマル」か、画面いっぱいに広げて表示する「ワイド」かを選択できます。

オートワイド設定
「ノーマル」…４：3をそのまま映します。
「ワイド」……４：3映像を画面いっぱいに拡大して映します。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

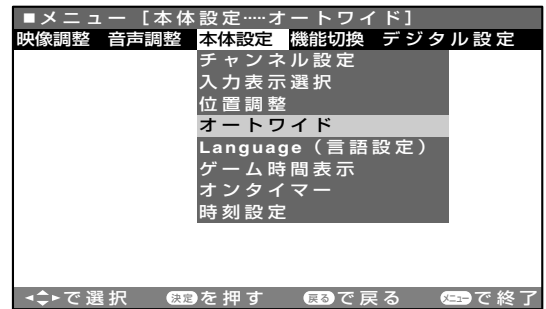
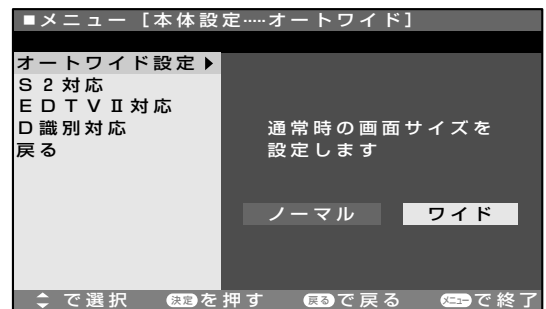
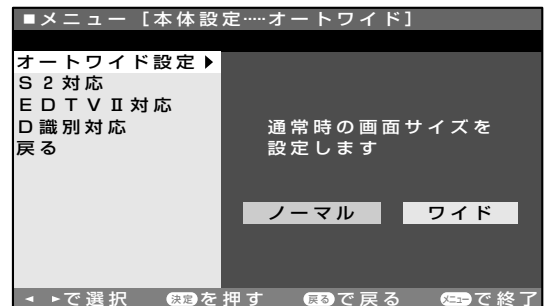
③ ▲▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

2

▲▼で「オートワイド設定」を選び、決定を押す

3

◀▶で「ノーマル」を選び、決定を押す

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

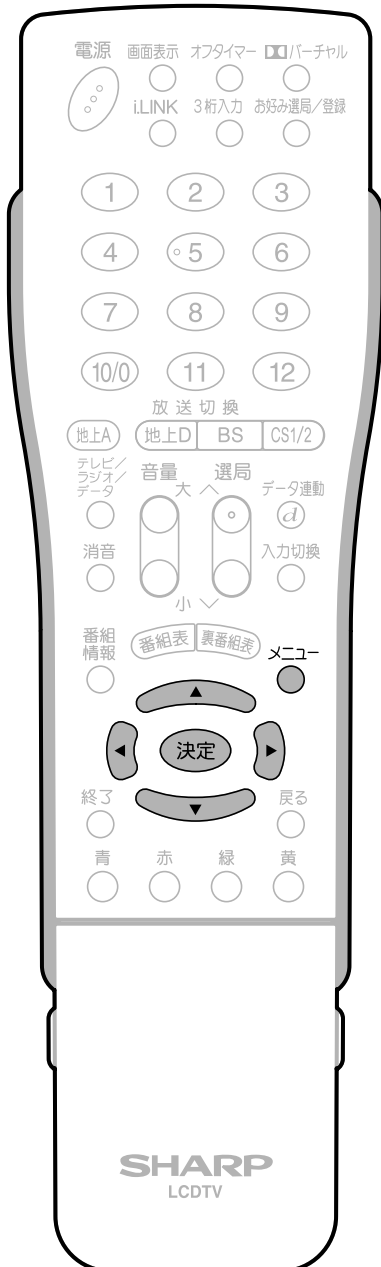
画面の位置を調整する

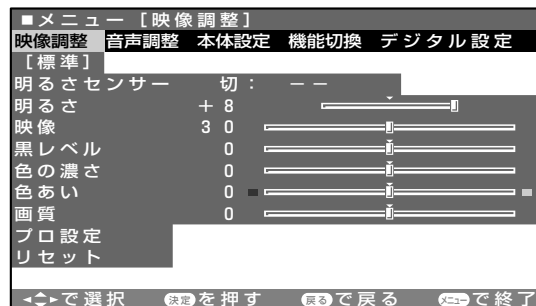
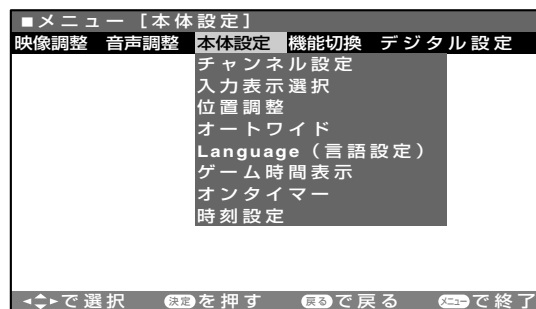
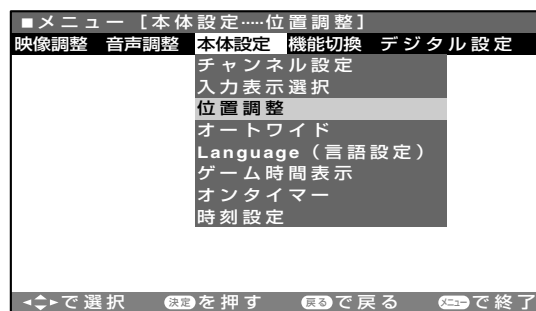
■ 画面サイズが「ワイドモード」または「シネマモード」のとき、画面の位置を調整することができます。

位置調整

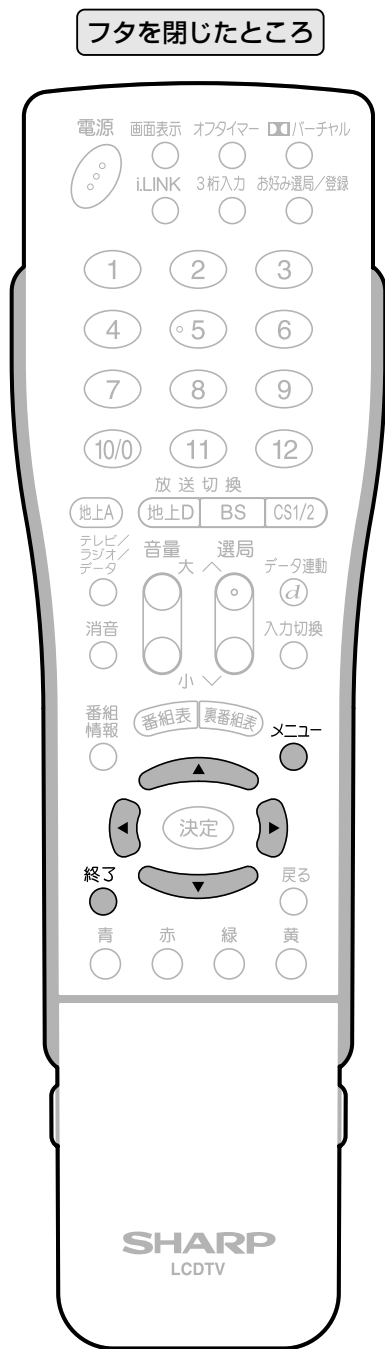
「垂直位置」… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。（調整範囲：－10～0～＋10）

「水平位置」… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。（調整範囲：－10～0～＋10）

フタを閉じたところ

［例］シネマモードの垂直位置を調整する

1 メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀▶で「本体設定」を選ぶ

3 ▲▼で「位置調整」を選び、決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

テレビ／ビデオ入力のワイド画面設定(つづき)

4

で「垂直位置」を選ぶ

5

で適切な位置にする

6

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

水平位置を調整するには

- 手順**4**のとき「水平位置」を選び、手順**5**の要領でお好みの位置に調整してください。

標準位置(工場出荷時の状態)に戻すには

- 手順**4**のとき「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。
  垂直位置、水平位置ともに「0」に戻ります。

つぎの場合、位置調整はできません

- 画面サイズが「ノーマルモード」「フルモード」「オートモード」のとき。
- D4映像端子に入力されたD3、D4映像を見ているとき。

画面サイズの自動最適化機能(オートワイド)

オートワイド機能について

■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。

■ オートワイド機能にはつぎの項目があります。各項目はテレビメニューの操作で設定します。

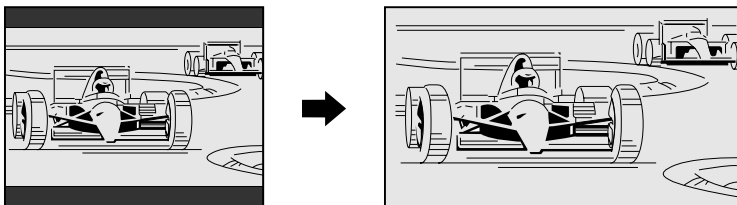
「S2対応」…………S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**37**ページ)

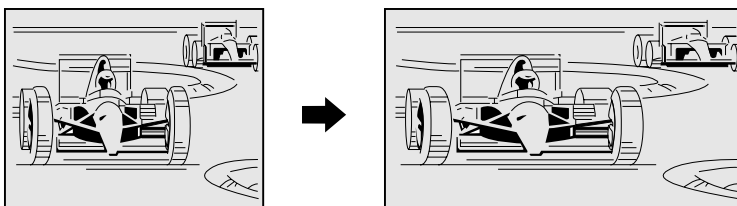
「EDTVII対応」……ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**36**ページ)

「D識別対応」………D4映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示します。その接続に使うケーブルの種類により設定項目を選択します。(☞**38**ページ)

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

- S2対応
- EDTVII対応
- D識別対応

スクイーズ映像

- S2対応
- D識別対応

- オートワイド機能が働いているとき、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、画面サイズボタンでお好みの画面サイズに切り換えてください。
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
- 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整(**33**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

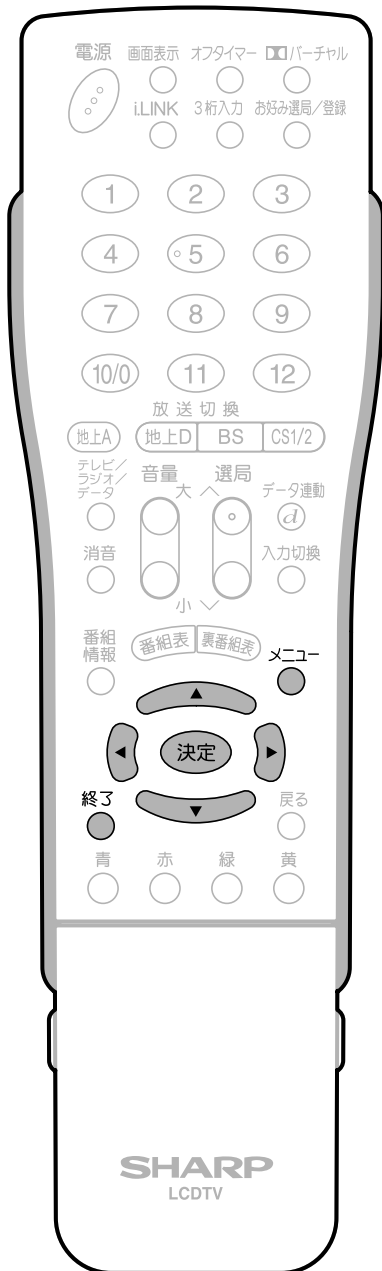
画面サイズの自動最適化機能(オートワイド)(つづき)

ワイドクリアビジョン放送、S2映像入力信号、D4映像入力信号に含まれる画面サイズ制御信号をそれぞれ識別して、最適なサイズにする機能を備えています。

EDTVII対応の設定

■ EDTVII対応を「する」に設定すると、オートモードでワイドクリアビジョン放送を受信したときに、自動的に画面いっぱいに表示します。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

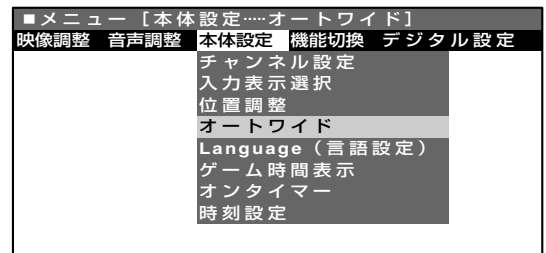
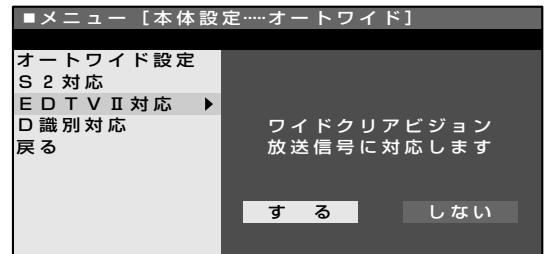
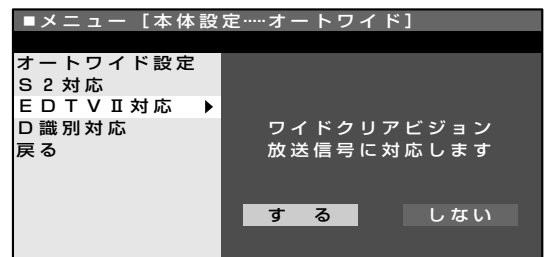
③ ▲▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

2

▲▼で「EDTVII対応」を選び、決定を押す

3

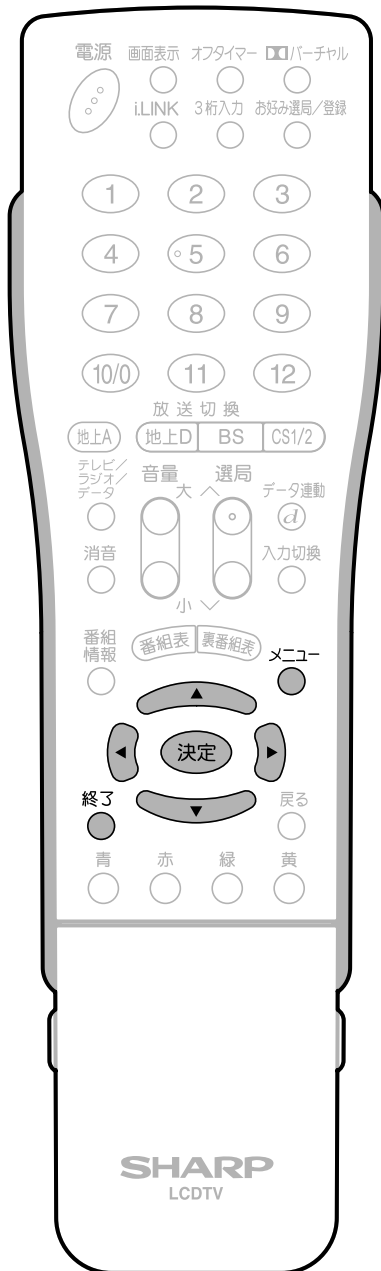
◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

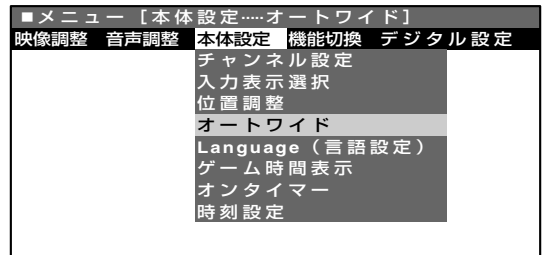
4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

S2対応の設定

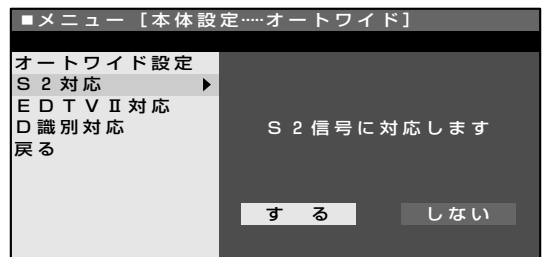
■ S2対応を「する」に設定すると、S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
この機能は、画面サイズ設定を「オートモード」にしているときに働きます。

フタを閉じたところ

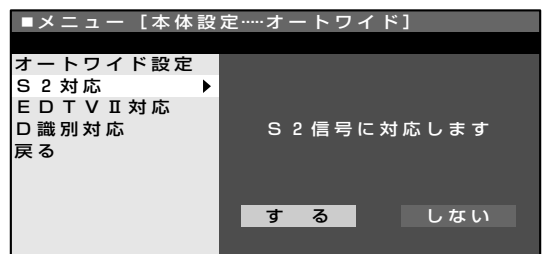
1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オートワイド」を選び、決定 を押す

2

▲ ▼ で「S２対応」を選び、決定 を押す

3

◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

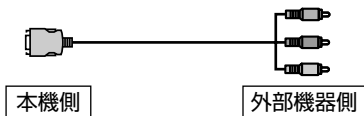
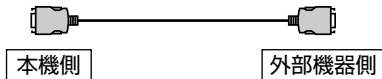
4

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

画面サイズの自動最適化機能(オートワイド)(つづき)

D識別対応の設定

■ D4映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

「信号」… 外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「信号」に設定します。

本機側　外部機器側

「端子」…外部機器との接続に使うケーブルがD端子接続ケーブルのときは、「端子」に設定します。

本機側　外部機器側

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

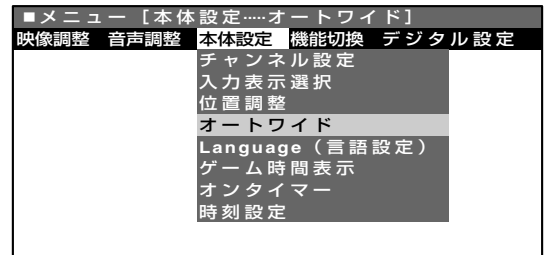
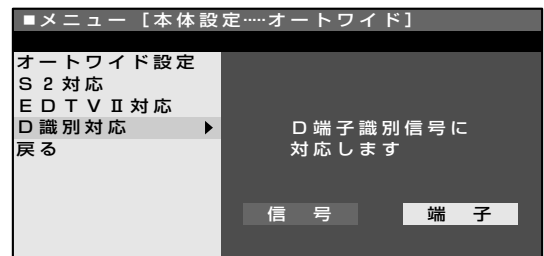
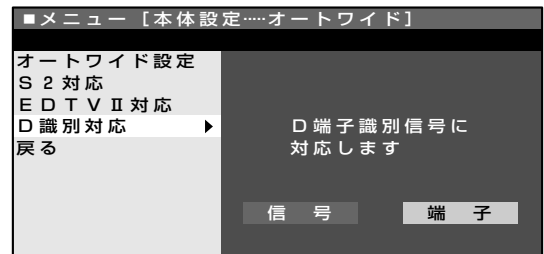
③ ▲▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

2

▲▼で「D識別対応」を選び、決定を押す

3

◀▶で「信号」または「端子」を選び、決定を押す

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● D端子接続ケーブルやD-コンポーネント変換ケーブルは、市販のものをご使用ください。

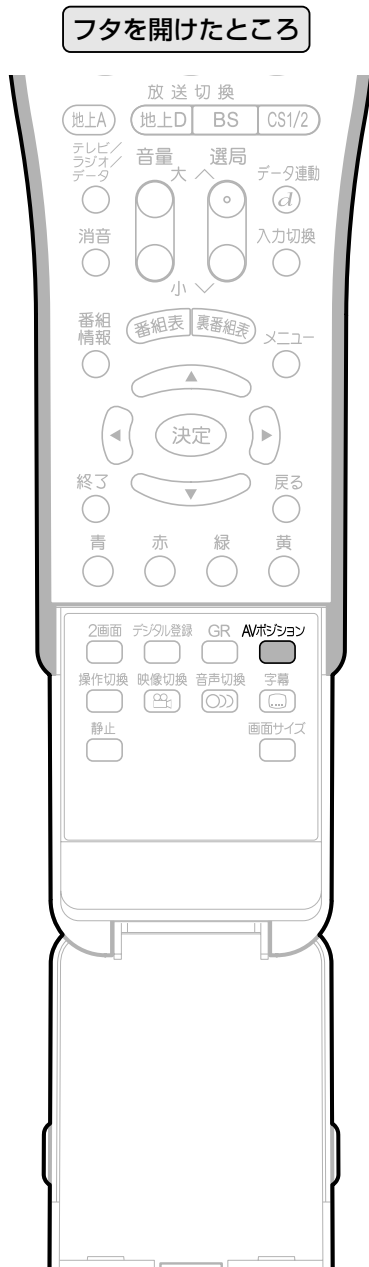
最適な映像・音声設定を選ぶ(AVポジション)

AVポジションを選ぶ

AVポジションとは

- 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声調整に設定する機能です。

「ダイナミック(固定)」… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(このポジションは「固定」のため、選択したときは、映像・音声調整ができません。)
「ダイナミック」……………… くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。
「標準」……………………………… 画質・音質の設定が標準値になります。
「映画」……………………………… コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
「ゲーム」………………………… テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

フタを開けたところ

1 AVポジション を押す

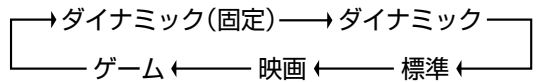
- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

AV [標準]

AVポジション表示

2 AVポジション表示が出ている間に AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ

- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→ダイナミック(固定)→ダイナミック→標準→映画→ゲーム→(ダイナミック(固定)へ戻る)

- AVポジションを「ダイナミック(固定)」に設定しているときは、映像調整、音声調整ができません。

テレビ／ビデオ入力の映像を調整する

お好みの映像に調整する

■ AVポジションの「ダイナミック」、「標準」、「映画」、「ゲーム」の各ポジションは、映像の濃淡や明るさなどをお好みの状態に調整することができます。
■「明るさセンサー」「明るさ」「映像」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」「プロ設定」の8つの項目を調整できます。調整した映像は、各AVポジションに記憶されます。
■「明るさセンサー」を「入：表示あり」に設定したときは、明るさセンサーの効果レベルが画面に表示されます。

- AVポジションが「ダイナミック（固定）」のときは、映像調整ができません。
- 「明るさセンサー」を「入」にしているとき、「明るさ」を調整すると「明るさセンサー」は「切」になります。

フタを閉じたところ

［例］AVポジション「標準」の「明るさ」を調整する

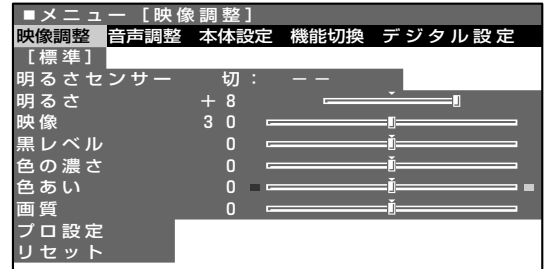
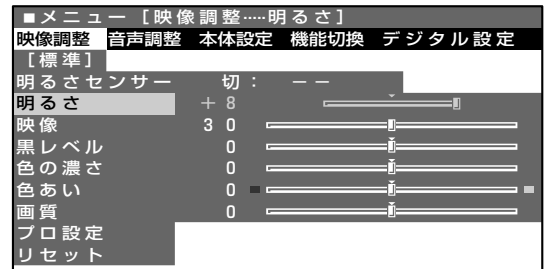
1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

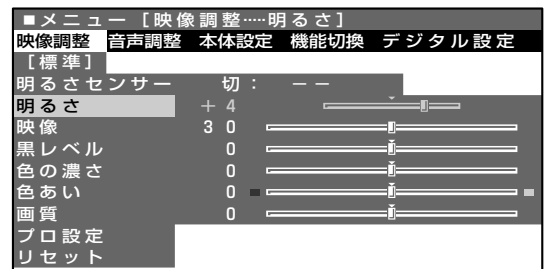
2

▲▼で「明るさ」を選ぶ

■メニュー ［映像調整‥‥明るさ］
映像調整 音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
［標準］
明るさセンサー 切： ーー
明るさ ＋8
映像 30
黒レベル 0
色の濃さ 0
色あい 0
画質 0
プロ設定
リセット

3

◀▶でお好みの明るさに調整する

- 「▮」マークが左右に移動し、数字が増減します。

■メニュー ［映像調整‥‥明るさ］
映像調整 音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
［標準］
明るさセンサー 切： ーー
明るさ ＋4
映像 30
黒レベル 0
色の濃さ 0
色あい 0
画質 0
プロ設定
リセット

- 続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を上下カーソルボタンで選び、同じ要領で調整してください。

4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

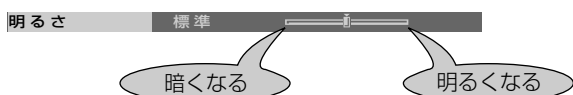
- 表示が消え、調整した内容が映像ポジションに記憶されます。

映像調整項目について

「明るさセンサー」「明るさ」「映像」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」「プロ設定」の8つの項目を調整できます。

「明るさセンサー」

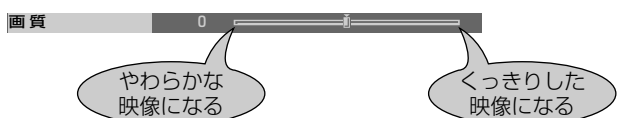
切　入：表示あり　入：表示なし

「明るさ」：－8～標準～＋8

「映　像」：調整範囲0～60

「黒レベル」：調整範囲－30～0～＋30

「色の濃さ」：調整範囲－30～0～＋30

「色あい」：調整範囲－30～0～＋30

「画　質」：調整範囲－30～0～＋30

「プロ設定」

さらに細かく映像調整したいときの設定です。
42・**43**ページをご覧ください。

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**2**のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。

明るさセンサーについて

「映像調整」の「明るさセンサー」を「入」にした場合、周囲の明るさが変化すると、明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。

入：表示ありに設定すると、自動調整中、明るさセンサーの効果レベルが画面に表示されます。

※ メニュー表示中は表示されません。

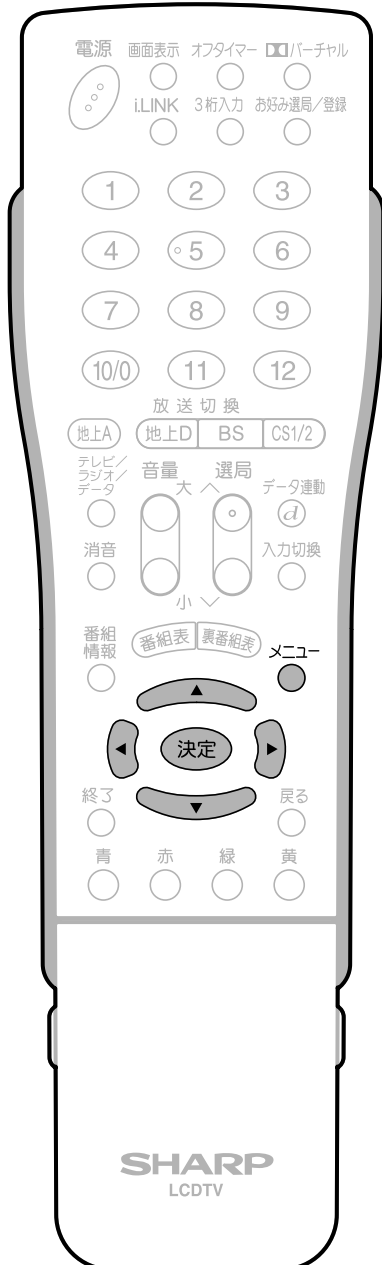
● 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなりますのでご注意ください。

テレビ／ビデオ入力の映像を調整する(つづき)

映像プロ設定をする

■ **40**ページの映像調整よりさらに細かく、お好みに合わせて映像を調整することができます。
■「色温度」「垂直輪郭」「フィルムモード」の3つの項目を調整できます。

● AVポジションが「ダイナミック(固定)」のときは、プロ設定ができません。

フタを閉じたところ

[例] AVポジション「標準」の、「色温度」を「中」に設定する

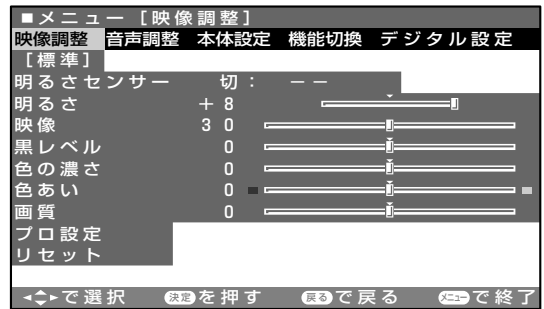
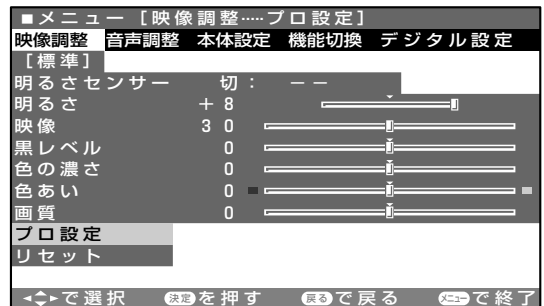
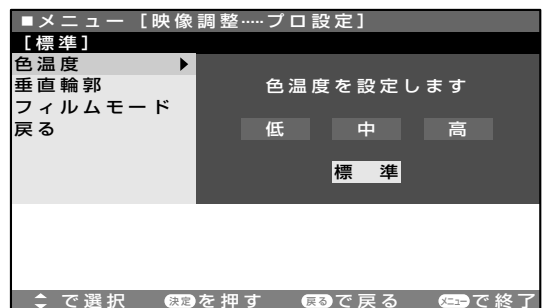
1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

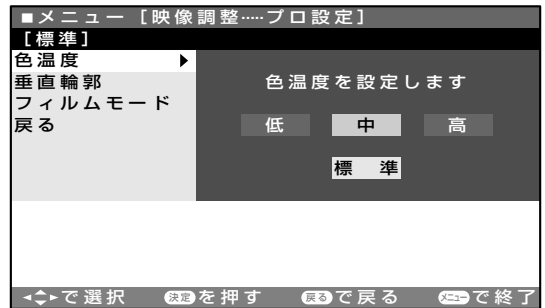
2

▲▼で「プロ設定」を選び、決定を押す

3

▲▼で「色温度」を選び、決定を押す

次ページへ

フタを閉じたところ

4

で「中」を選び、決定を押す

●続けて他の項目を設定するときは、つぎに設定する項目を上下カーソルボタンで選び、同じ要領で行ってください。

5

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

●表示が消え、設定内容が映像ポジションに記憶されます。

プロ設定項目について

つぎの3つの項目の調整ができます。

色温度⋯⋯ 画面全体の色調を調整します。
設定:低/中/高/標準

垂直輪郭※⋯ 明るい映像での黒い部分のキメ細かさを調整し、映像のメリハリを変更させます。
設定:する/しない

フィルムモード※⋯ フィルム収録のDVD映像などを高画質に再生します。
設定:する/しない

※ 525i映像以外および2画面、静止メモの時は選択できません。

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**2**のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。

テレビ／ビデオ入力の映像を調整する(つづき)

動きの速い映像をなめらかにする(QS駆動)

■ スポーツ番組など、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。

フタを閉じたところ

1

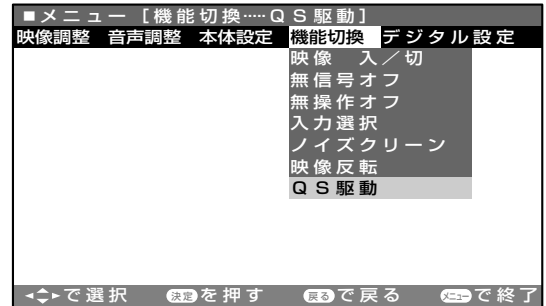
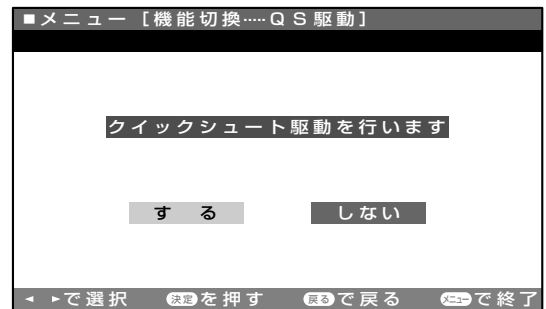
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「QS駆動」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」を選び、決定を押す

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

映像をすっきりさせる（ノイズクリーン）

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「切」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに設定ができます。

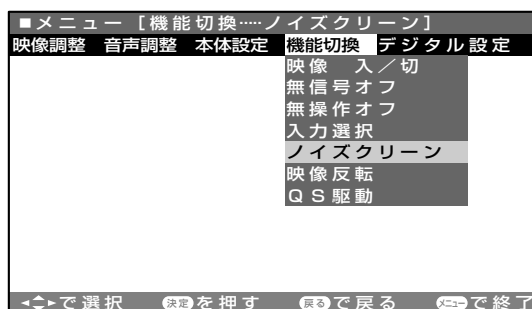
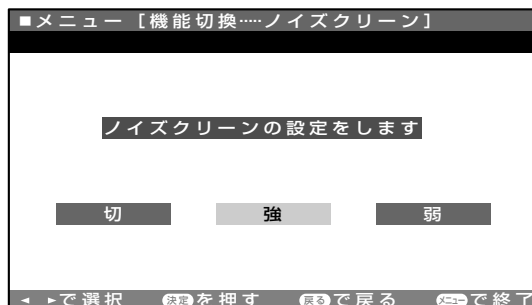
フタを閉じたところ

[例] ノイズクリーンを「強」に設定する

1
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す

2
◀▶で「強」を選び、決定を押す

3
メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- ノイズクリーンを「強」または「弱」に設定すると、入力切換えをしたとき、画面右上にNCマークが表示されます。

NC8

- 再生ソフトに合わせて、お好みで設定してください。
- S-VHSソフトの再生時は働きません。
- 525i映像以外および、2画面、静止メモの時は、選択できません。

テレビ／ビデオ入力の音声を調整する

お好みの音声に調整する

■ お好みに合わせて、高音や低音を調整することができます。

音声調整について

- 「高音」「低音」「バランス」の3つの項目をお好みに合わせて調整することができます。
  調整したいAVポジションを選んで(**39**ページ参照)から、音声調整の操作を行います。

フタを閉じたところ

[例] AVポジション「ダイナミック」の、「高音」を調整する

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「音声調整」を選ぶ

③ ▲▼で「高音」を選ぶ

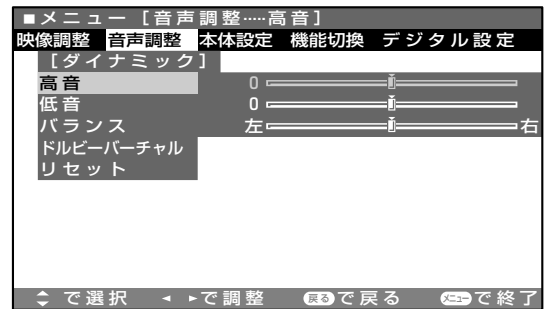
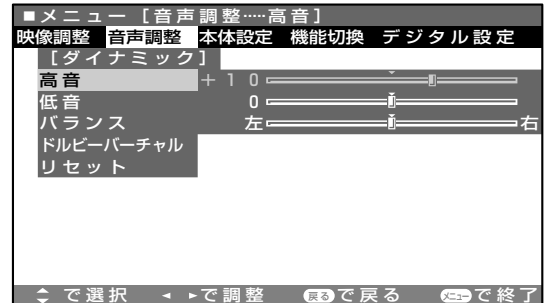
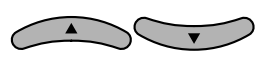
2

◀▶でお好みの音質に調整する

- 「▮」マークが左右に移動します。

- 続けて低音を調整するときは、上下カーソルボタンで「低音」を選び、同じ要領で調整してください。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順**1**-③のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。

スピーカー音声のバランスを調整する

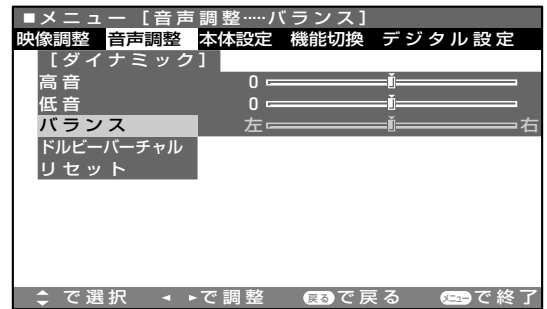
■ お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

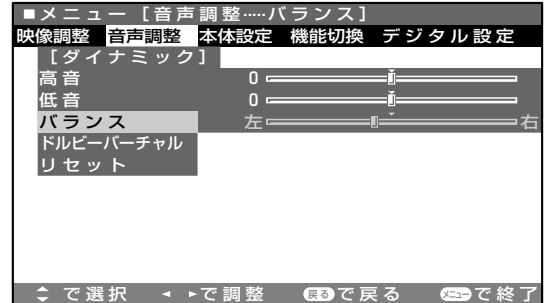
② ◀▶で「音声調整」を選ぶ

③ ▲▼で「バランス」を選ぶ

2

◀▶でバランスを調整する

●「▮」マークが左右に移動します。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● 設定を工場出荷時の状態に戻すには、手順1-③のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、「する」を選んでから決定ボタンを押してください。
● 音声調整の「ドルビーバーチャル」が「入」のときは、調整できません。

テレビ／ビデオ入力の音声を調整する(つづき)

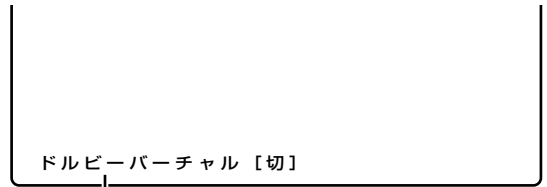
広がりのある音で楽しむ（バーチャルドルビーサラウンド）

■ バーチャルドルビーサラウンド機能を使って、映画館のような迫力や臨場感あふれる音声をお楽しみいただけます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

フタを閉じたところ

1 バーチャルを押す

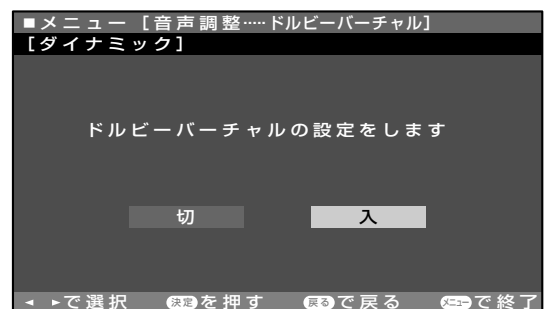
●画面左下に現在のドルビーバーチャル設定が表示されます。

ドルビーバーチャル設定表示

2 ドルビーバーチャル設定表示が出ている間に、バーチャルを押す

●ボタンを押すたびに、設定がつぎのように切り換わります。

ドルビーバーチャル[切]⇄ドルビーバーチャル[入]

テレビメニュー画面で設定するとき

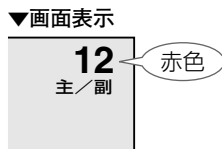
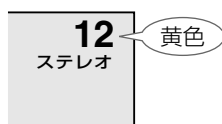
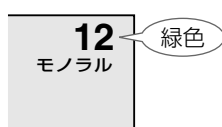
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「音声調整」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「ドルビーバーチャル」を選び、決定ボタンを押す
④ 左右カーソルボタンで「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す

⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す

●ヘッドホン接続時、ビデオ3のモニター出力時、デジタル音声出力（光）端子からの出力時は、バーチャルドルビーサラウンド機能の効果は得られません。

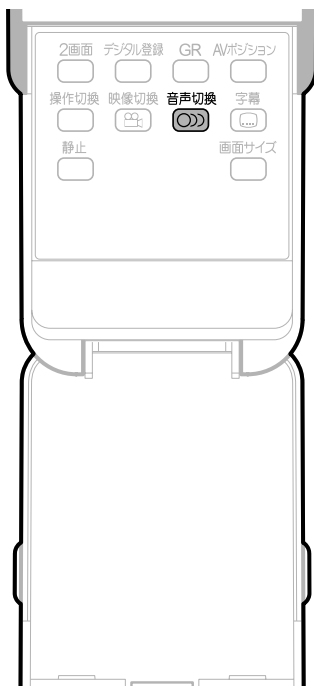
二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

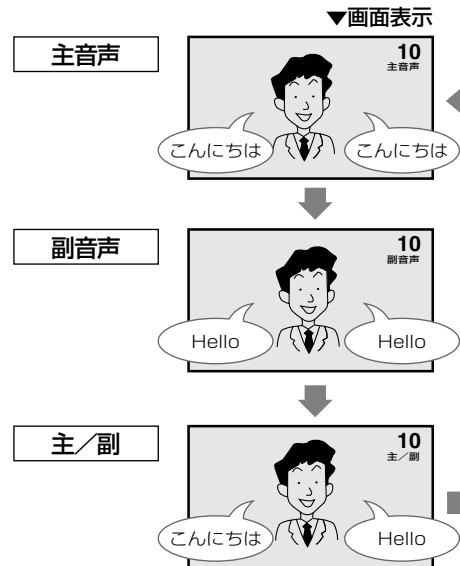
チャンネル表示の色について

●二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。

主音声と副音声について

●ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の2種類の音声が楽しめます。

フタを開けたところ

二重音声放送の音声切換

音声切換を押し、お好みの音声を選ぶ

●ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送の音声切換

■ ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、で「モノラル」にする

●画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
●「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

おしらせ

● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、もう一度ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
● デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
● デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**74**ページをご覧ください。

いろいろな画面で楽しむ

2画面で見る

■ 本機は2つの異なる映像を、同時に表示して見ることができます。
また「♪」マークのある画面(操作画面)は、チャンネルや入力を切り換えたり、音量を調整することができます。

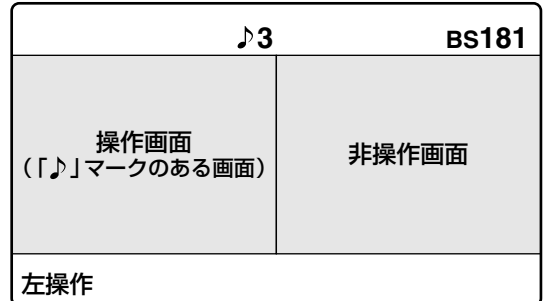
2画面で見られる映像の組合せ

	地上アナログ放送	デジタル放送(BS/CS/地上デジタル)	外部入力
地上アナログ放送	×	○	○
デジタル放送(BS/CS/地上デジタル)	○	×	○※1
外部入力	○	○※1	○※2

※1　デジタル放送とi.LINKは同時に見られません。
※2　同じ外部入力どうしは見られません。
※ 外部入力がD2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像信号のときは、2画面にできません。
2画面表示中、入力切換えでD2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像信号を入力したときは、映像が表示されません。

フタを開けたところ

[例] 地上アナログ放送とBS放送の番組を2画面で見る

2画面 を押す

●左右2画面になります。

2画面のときの音量調整

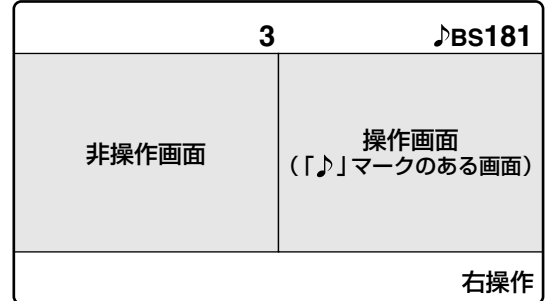
●音量ボタンで操作画面の音量を調整できます。

操作画面(「♪」マークのある画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

●選局ボタンで、チャンネルの選局ができます。
●片方の画面が外部入力のときは、もう一方の画面は地上アナログ放送、デジタル放送内の選局ができます。
●外部入力が複数あるときは、外部入力どうしを2画面で見ることができます。
●入力切換ボタンで、画面の入力切換えができます。
●ヘッドホン接続時は「♪」マークのある操作画面の音声を聞くことができます。

フタを開けたところ

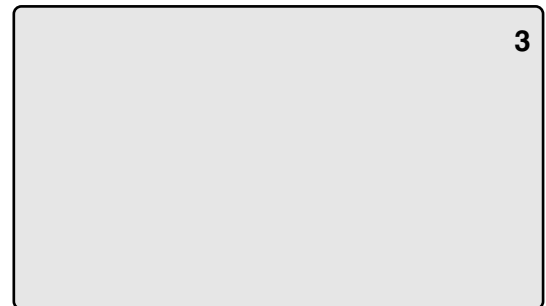
操作画面を切り換えるには

操作切換を押す

- 「♪」マークのある画面が操作できます。
- もう一度押すと、左操作に戻ります。

1画面に戻すには

終了または2画面を押す

- 操作画面(「♪」マークのある画面)が1画面に戻ります。

おしらせ

- 営利目的で、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、このテレビの2画面機能を使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 2画面のとき、画面サイズモードの切換えはできません。
- 2画面のとき、静止画面機能は働きません。

つぎのような場合は、1画面でご覧ください。

- 2画面の片側を映像がない状態で使用すると、反対側の映像がチラつく場合があります。
- 2画面の片側でビデオなどの特殊再生を行うと、反対側の映像がチラつく場合があります。
- 左画面の映像によっては、画面のチラツキが気になる場合があります。

いろいろな画面で楽しむ(つづき)

静止画面で見る

■ いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組のメモをとるときなどに便利です。(メモ機能)

フタを開けたところ

映像を静止させたいところで、静止を押す

- 2画面表示となり、右側が静止画、左側が動画となります。

1画面に戻すには

静止または終了を押す

- 1画面の動画に戻ります。

- 静止画面の表示中は、画面サイズ切換えはできません。
- 外部入力がD2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像信号のときは、静止画面機能は働きません。

ゴーストを軽減する(GR機能)

GR機能を使う

■ ゴーストの発生によって見にくくなったチャンネルのゴーストを軽減することができます。
(GR機能)※GRはゴーストリダクションの略称です。

■ GR機能は、VHF/UHFアンテナ入力信号の地上アナログ放送に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■ GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「入」に設定されています。

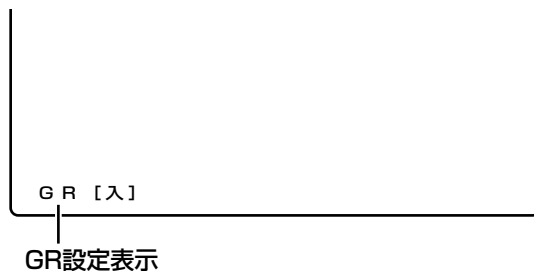
フタを開けたところ

つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。

- 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
- 飛行機などの反射により、ゴーストが変動するとき
- ゴーストの電波が強いとき
- ビデオデッキからの映像を見るとき

- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)
- CATVチャンネルは、リモコンのテレビチャンネルボタンに設定されていないと、GR機能が働きません。

1 GRを押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

2 GR設定表示が出ている間に、GRを押す

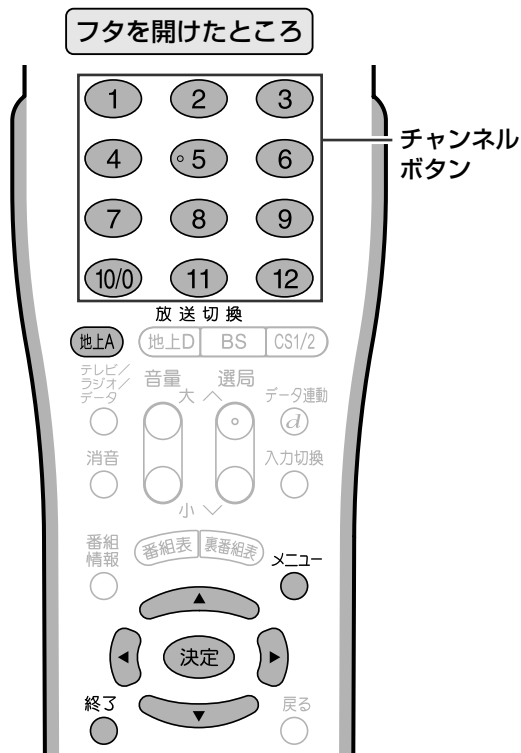
- ボタンを押すたびに「GR[入]」⇄「GR[切]」と切り換わります。
- 「GR[入]」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象です。映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

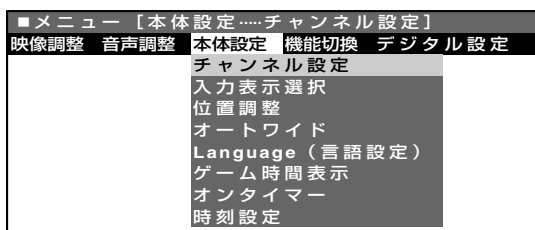
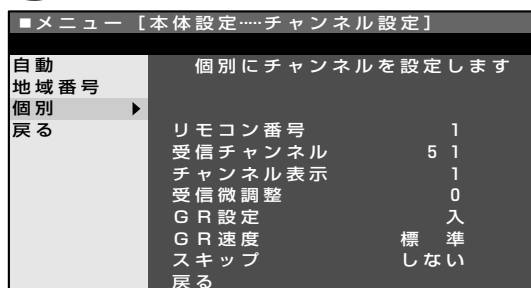
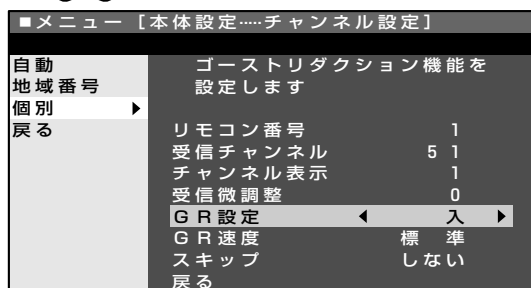
ゴーストを軽減する(GR機能)(つづき)

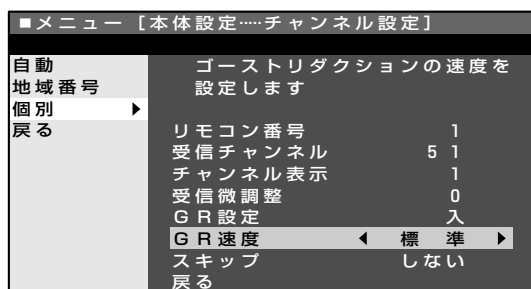
テレビメニュー画面でGR設定をする

■ チャンネルボタンに登録されている地上アナログ放送のGR設定です。

● チャンネルボタンとお好み選局／登録画面内にあるお好みチャンネルのGR設定は、同じ放送局のチャンネルであっても別々の設定になります。（お好みチャンネルのGR設定…**63**ページ）

1
① **地上Aを押し、地上アナログ放送を選ぶ**
② **チャンネルボタンで選局する**

2
① **メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**
② **◀▶で「本体設定」を選ぶ**
③ **▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

3
▲▼で「個別」を選び、決定を押す

4
① **▲▼で「GR設定」を選ぶ**
② **◀▶で「入」または「切」を選ぶ**

● GR設定を「切」に選んだ場合は、手順**6**に進んでください。

5
① **▲▼で「GR速度」を選ぶ**
② **◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ**

「標準」…GR効果はゆっくり現われますが、より確実な効果が得られます。
「速い」…GR効果は速く現われますが、確実な効果が得られない場合があります。

6
メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

便利な機能を使う

指定した時刻に電源を入れる（オンタイマー）

■ 毎日指定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源を自動的に「入」にする機能です。
機能を解除（設定「しない」）にするまで毎日、くり返しオンタイマーが働きます。

■ 先に時刻設定が済んでいることを確認してください。（**25**ページ参照）

フタを閉じたところ

BSチャンネルが受信できる状態にないとき

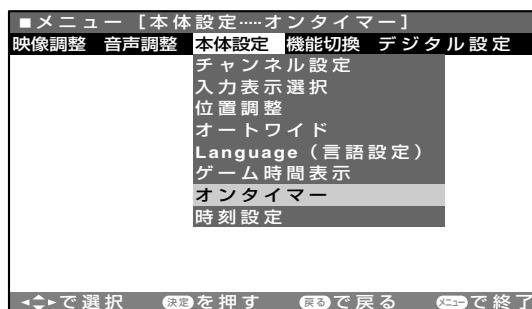
- 時刻設定がされていない状態で「オンタイマー」を選択すると、「**時刻が設定されていません**」と注意文が表示され、時刻設定画面になります。
- オンタイマーの「チャンネル」設定で、BS／CS／地上D／お好みチャンネルのチャンネルは選べません。
- ビデオ2を「録画出力」に、ビデオ3を「モニター出力（固定または可変）」に設定しているとき（**132**・**133**ページ参照）は、オンタイマーの「チャンネル」設定でビデオ2（入力2）、ビデオ3（入力3）は選べません。

［例］朝6時30分に8チャンネル、音量30で電源を「入」にする

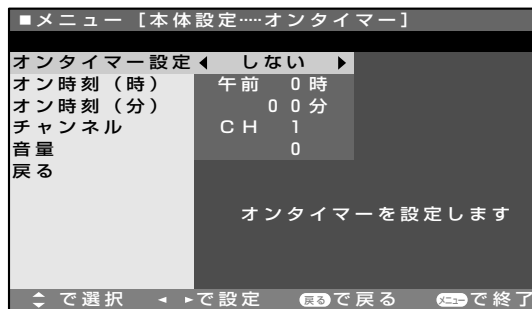
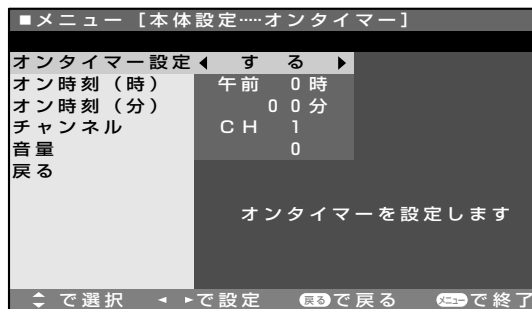
1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

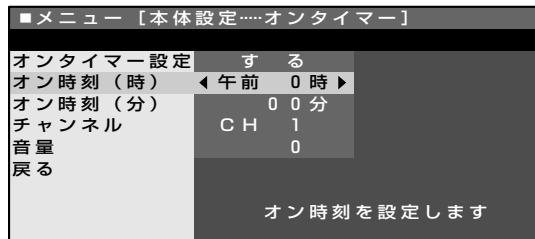
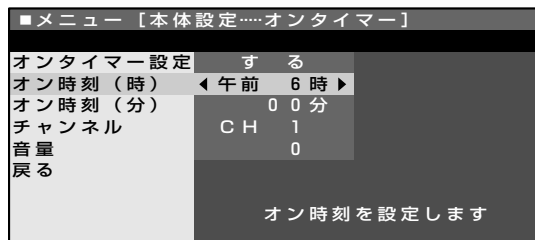
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、決定を押す

2

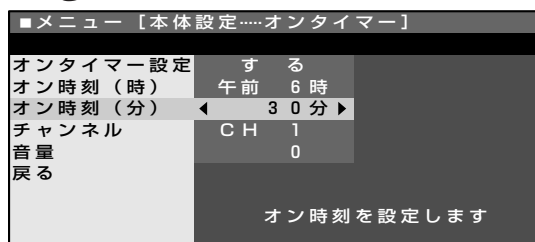
▲ ▼ で「オンタイマー設定」を選ぶ

3

◀▶で「する」を選ぶ

次ページへ

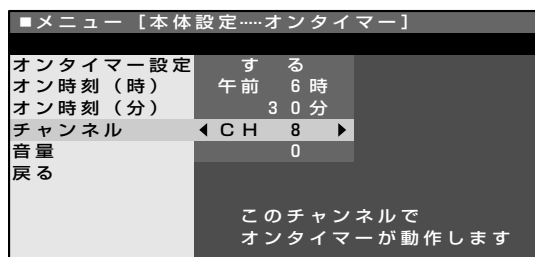
便利な機能を使う(つづき)

4 ▲▼で「オン時刻(時)」を選ぶ

5 ◀▶で「時」を「午前6時」に合わせる

6

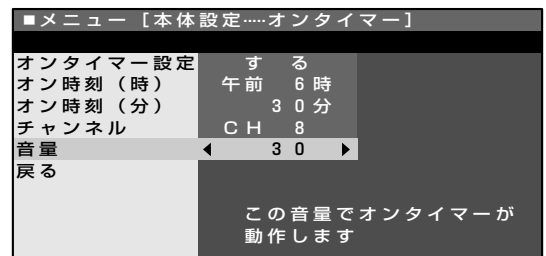
① ▲▼で「オン時刻(分)」を選ぶ

② ◀▶で「分」を「30分」に合わせる

7

① ▲▼で「チャンネル」を選ぶ

② ◀▶で「CH8」を選ぶ

8

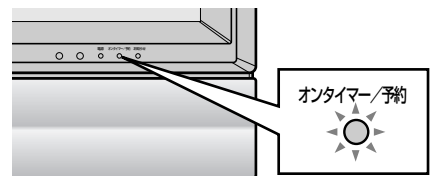
① ▲▼で「音量」を選ぶ

② ◀▶で音量「30」を選ぶ

9 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

10 リモコンの電源を押し、電源を切る

●本体の電源スイッチで電源を切ると、オンタイマーは働きません。

オンタイマー／予約ランプについて

●オンタイマー設定を「する」に設定すると、本体前面のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。

●停電になったときや、電源コードを抜いた後、再度電源を入れなおした際に、時刻が設定されていないときは、オンタイマーは動作しません。

●お出かけになるときは、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマー設定を「しない」に設定し、オンタイマー／予約ランプの消灯を確認してください。

●オンタイマーで電源が入ると、自動的に2時間のオフタイマーが設定されます。2時間以上視聴するときは、オフタイマーを解除してください。（**57**ページ）

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

■ 指定した時間後に、本機の電源を自動的に切ることができる機能です。テレビを見ながら、おやすみになるときなどに便利です。

フタを閉じたところ

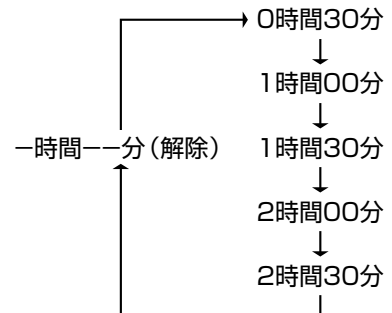
1 オフタイマーを押す

●オフタイマー設定の画面が表示されます。

オフタイマー　ー時間ーー分

2 オフタイマー表示が出ている間にオフタイマーを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

オフタイマー　0時間30分

●ボタンを押すたびに、つぎのように設定時間が切り換わります。

オフタイマーの残り時間を見るには

画面表示を押す

●電源が切れるまでの、残り時間が表示されます。

●オフタイマー設定後、本体やリモコンで電源を切ると、オフタイマーは解除されます。

便利な機能を使う（つづき）

映像を反転させる

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

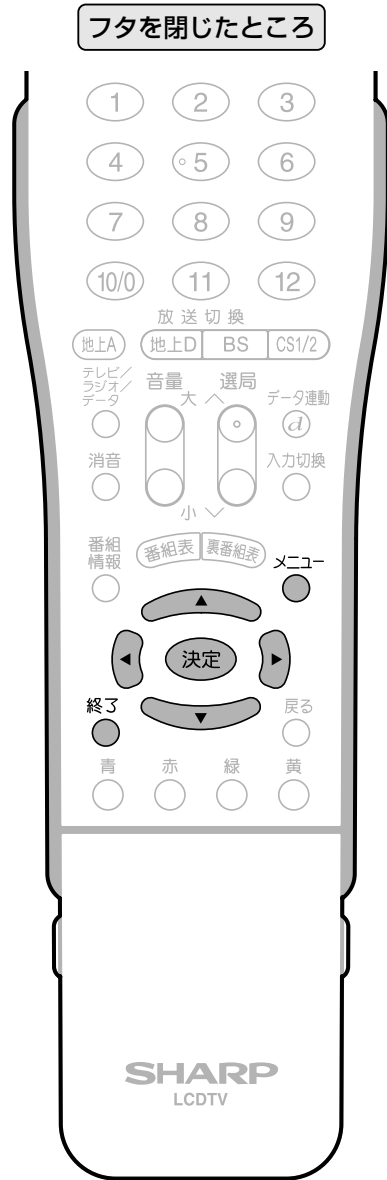
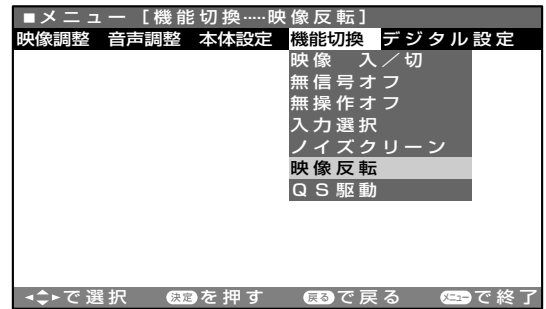
フタを閉じたところ

映像反転の表示のされかた

しない（工場出荷時）	左右反転
ABC	ƆBA
上下反転	**上下左右**
∀BC	ƆB∀

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

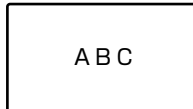
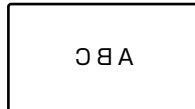
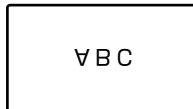
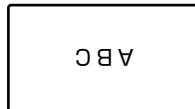
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「映像反転」を選び、決定を押す

2

▲▼◀▶で「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選び、決定を押す

●映像が反転表示されます。

●音声は反転しません。

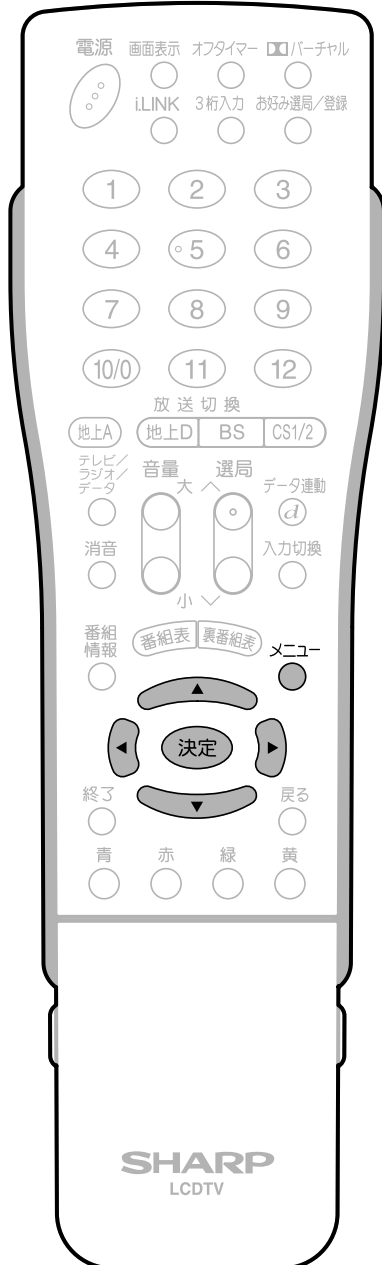
3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

映像を消して音だけ楽しむ

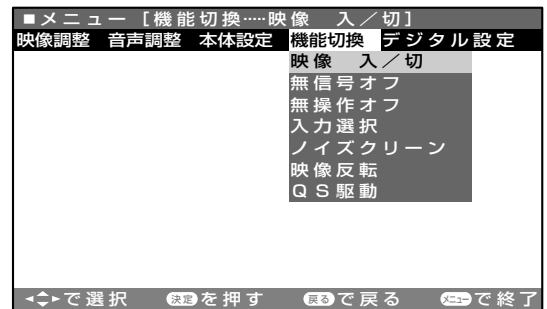
■ 映像を消して、音声だけを楽しみたいときに便利な機能です。「切」に設定すると映像が消えます。

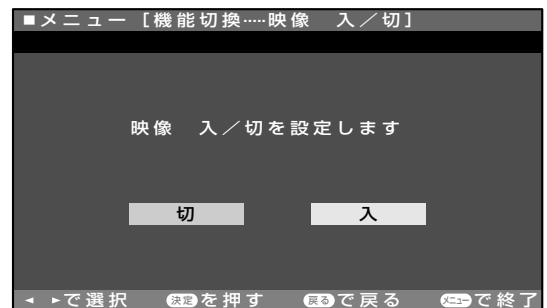
フタを閉じたところ

1

①

メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② **◀▶で「機能切換」を選ぶ**

③ **▲▼で「映像　入／切」を選び、決定を押す**

2

◀▶で「切」を選ぶ

- 「切」を選ぶと映像が消えます。
- 映像を復帰させるときは、「入」を選びます。

3

決定を押す

- メニュー画面が消え、画面が暗くなります。

つぎのような場合は、消した映像が復帰します。

- 音量、消音、バーチャルドルビー、音声切換以外のリモコン操作を行ったとき。
- 画面におしらせなどの表示が出たとき。

便利な機能を使う(つづき)

ゲーム時間表示を設定する

■ 約2時間ごとに、画面に注意メッセージを表示して、経過時間を知らせる機能です。時間を決めてテレビゲームを楽しむときなどに便利な機能です。

■ この機能はつぎの2つの条件を同時に満たすときのみ働きます。
① ゲーム時間表示が「する」に設定されている。
② AVポジションが「ゲーム」に設定されている、または入力表示選択を「ゲーム」にした入力が選択されている。

フタを閉じたところ

1

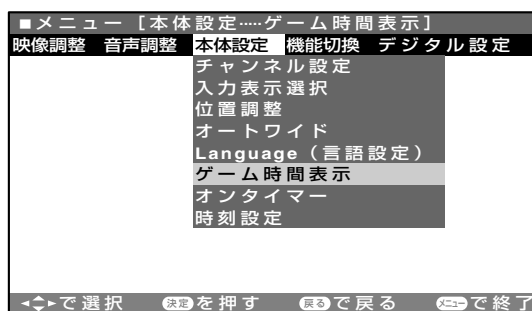
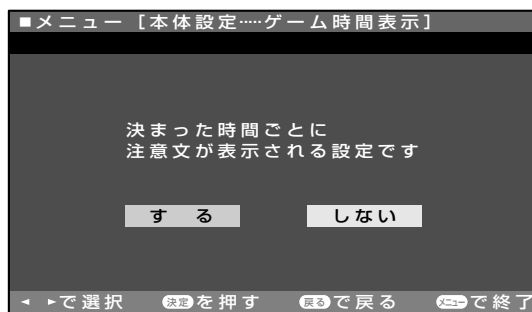
① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

③ ▲▼で「ゲーム時間表示」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

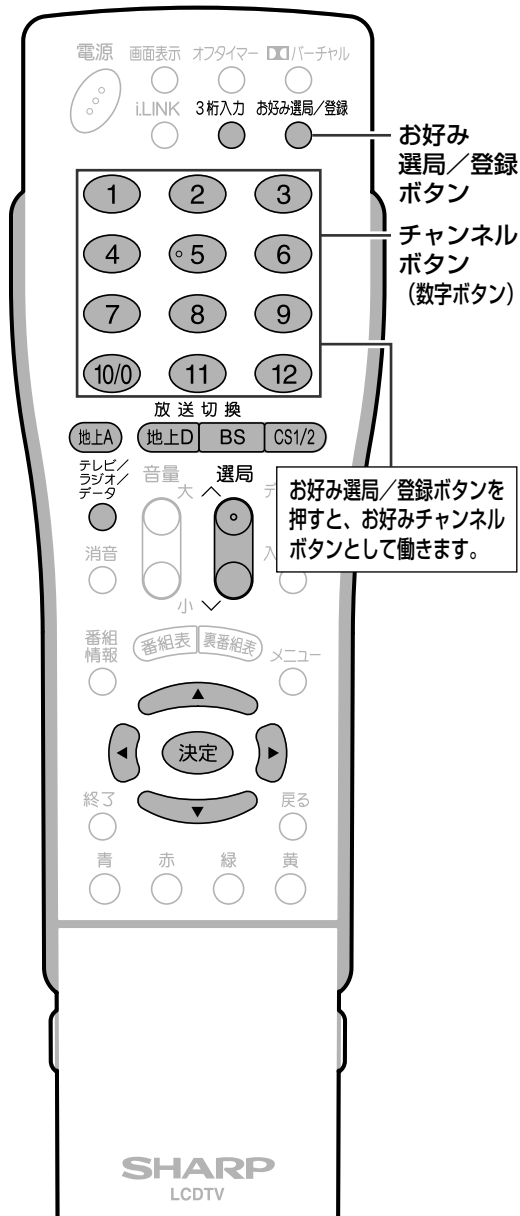
お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する（お好み登録）

■ お好み選局／登録ボタンを押すと、チャンネルボタンがお好みチャンネルボタンとして働きます。

■ よく見るチャンネルをあらかじめお好みチャンネル登録すると、お好み選局／登録画面からチャンネルを選べます。

■ お好みチャンネル画面へのチャンネル登録は、各ネットワーク・各メディアを混在した登録ができます。
お好み選局／登録は、工場出荷時、地上アナログ放送が設定されています。

フタを閉じたところ

［例］BSデジタル放送・テレビの101チャンネルをお好み選局／登録画面の「5」（お好みチャンネルボタン⑤）に登録する

1

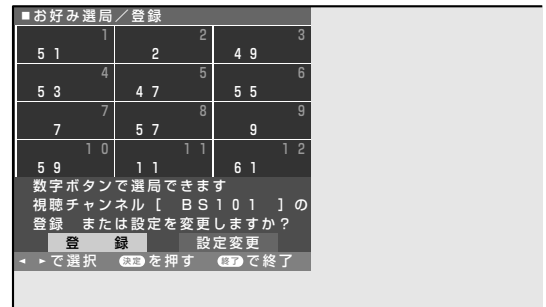
① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を選ぶ

② 101チャンネルを選局する

2

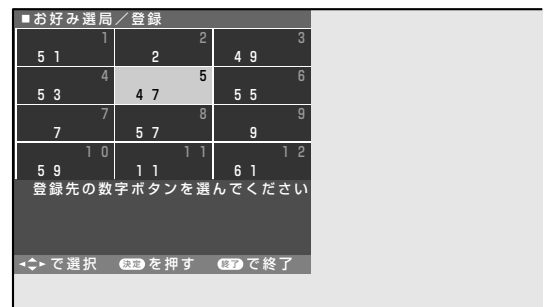
① お好み選局／登録 を押し、お好み選局／登録画面を表示する

② ◀▶で「登録」を選び、決定を押す

［例］BSデジタル放送・テレビの（101チャンネル）を登録する場合

3

登録したいお好みチャンネルボタン⑤（登録先のボタン）を押す

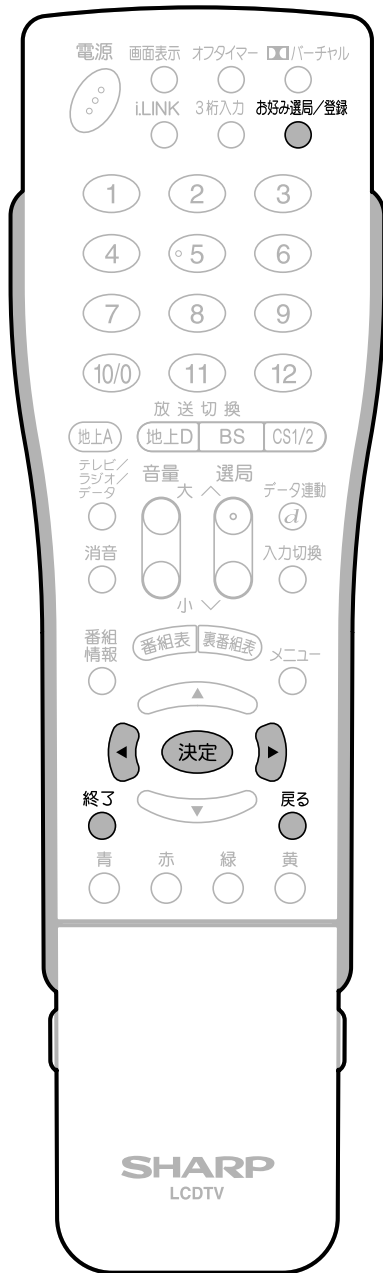
●上下左右カーソルボタンで登録したいチャンネルに移動し、決定ボタンを押しても選べます。

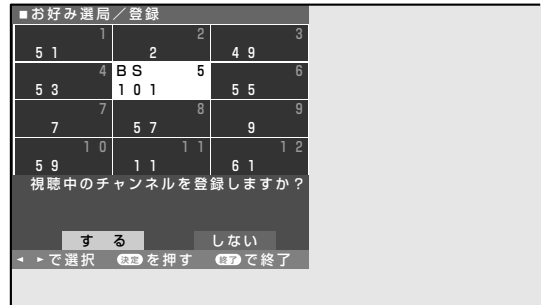
［例］⑤に登録する場合

●登録確認画面が表示されます。

次ページへ

次ページへつづく

お好みのチャンネルを登録する(つづき)

フタを閉じたところ

4 **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

●決定ボタンを押す前に戻るボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。

5 **お好み選局／登録 または 終了 を押し、画面表示を消す**

●お好み選択／登録画面の「5」にBS101チャンネルが設定されました。

お好み登録を変更する

「お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)」の操作を行い、お好み登録されているお好みチャンネルに新たなチャンネルを登録しなおすことで、新たな内容に更新されます

お好み登録したチャンネルの詳細を設定する

■ お好み登録したチャンネルの、詳細な設定をすることができます。

詳細設定項目

「受信微調整」… 地上アナログ放送の受信状態が悪いときに調整して、映像を見やすくします。

「GR設定」……… 地上アナログ放送にゴーストが発生したとき、「入」を選択するとゴーストを軽減することができます。

「GR速度」……… GR設定を「入」にしたとき、GR効果の現われる速さを選択します。

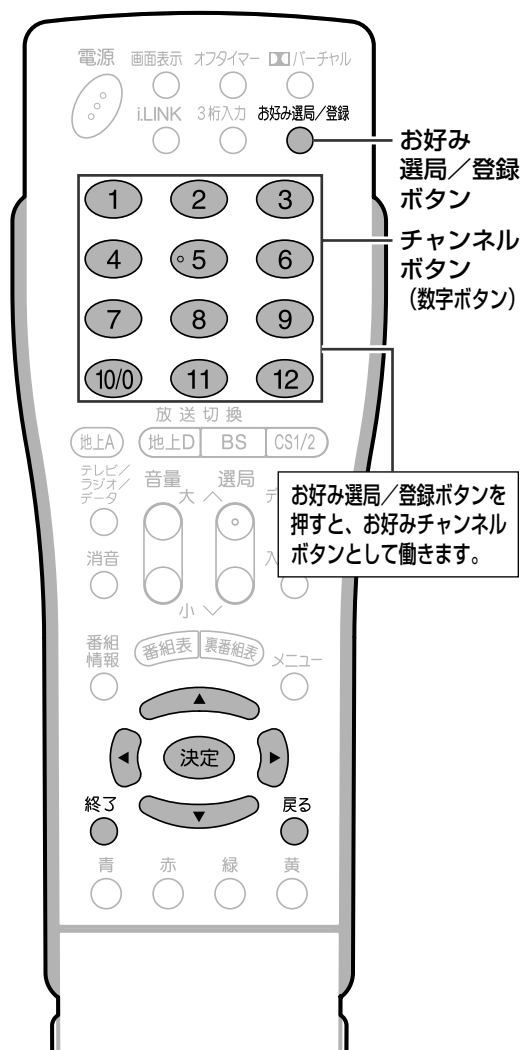
「スキップ」……「する」を選択すると、選局ボタンで選局したときに、そのチャンネルをスキップします。

フタを閉じたところ

お好み選局／登録ボタン

チャンネルボタン（数字ボタン）

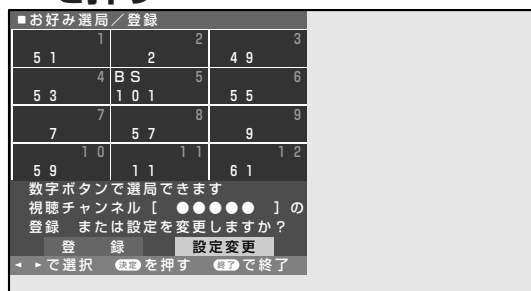
お好み選局／登録ボタンを押すと、お好みチャンネルボタンとして働きます。

1

① お好み選局／登録 を押し、お好み選局／登録画面を表示する

② ◀▶で「設定変更」を選び、決定を押す

■お好み選局／登録

1	2	3
51	2	49
4	5 BS	6
53	101	55
7	8	9
7	57	9
10	11	12
59	11	61

数字ボタンで選局できます
視聴チャンネル［ ●●●●● ］の
登録 または設定を変更しますか？
登 録　設定変更
◀ ▶で選択 決定を押す 終了で終了

2

詳細設定したいお好みチャンネルボタン(1～12)を押す

● 上下左右カーソルボタンで詳細設定したいチャンネルに移動し、決定ボタンを押しても選べます。

■お好み選局／登録

1	2	3
51	2	49
4	5 BS	6
53	101	55
7	8	9
7	57	9
10	11	12
59	11	61

変更先の数字ボタンを選んでください
◀▲▼▶で選択 決定を押す 終了で終了

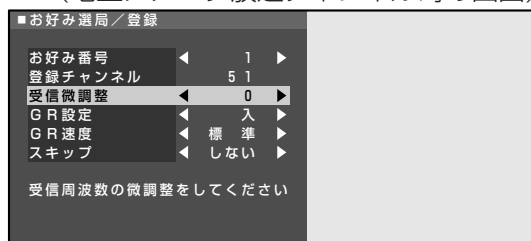
● 詳細設定画面が表示されます。

3

① ▲▼で詳細設定したい項目を選ぶ

② ◀▶で調整、または内容を選択する

● 戻るボタンを押すと、手順1の画面に戻ります。

（地上アナログ放送チャンネル時の画面）

次ページへ

次ページへつづく

お好みのチャンネルを登録する(つづき)

4 (決定)を押す

5 (お好み選局/登録)または(終了)を押し、画面表示を消す

- 手順**3**の詳細設定画面に表示される項目は、放送の種類により異なります。

(BS／CS／地上Dの放送チャンネル時)

お好み番号
登録チャンネル
スキップ

(CATVの放送チャンネル時)

お好み番号
登録チャンネル
受信微調整
スキップ

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」~「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 放送を視聴中に(お好み選局/登録)を押す

- 登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。 (画面例)

■お好み選局／登録

1 5 1	2 2	3 4 9
4 5 3	5 BS 1 0 1	6 5 5
7 BS 1 0 3	8 5 7	9 BS 1 5 1
1 0 5 9	1 1 CS1 0 0 8	1 2 CS2 1 8 2

数字ボタンで選局できます
視聴チャンネル [●●●●●] の
登録 または設定を変更しますか？
登 録　設定変更
◄ ►で選択　決定を押す　終了で終了

- 内容を確認します。

2 (お好み選局/登録)または(終了)を押し、画面表示を消す

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

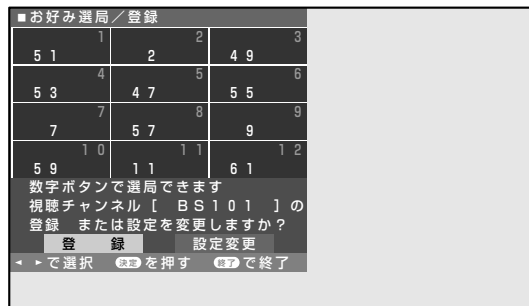
■ 放送(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

1 (お好み選局/登録)を押す

- お好み選局／登録画面が表示されます。

■お好み選局／登録

1 5 1	2 2	3 4 9
4 5 3	5 4 7	6 5 5
7 7	8 5 7	9 9
1 0 5 9	1 1 1 1	1 2 6 1

数字ボタンで選局できます
視聴チャンネル [BS 1 0 1] の
登録 または設定を変更しますか？
登 録　設定変更
◄ ►で選択　決定を押す　終了で終了

2 見たいチャンネルボタン((1)~(12))を押す

- 選んだチャンネルの画面になります。

- 選局ボタンを押すと、「お好み登録されているチャンネル」、「最後に選んでいたネットワーク・メディアのチャンネル」を順／逆で選局します。

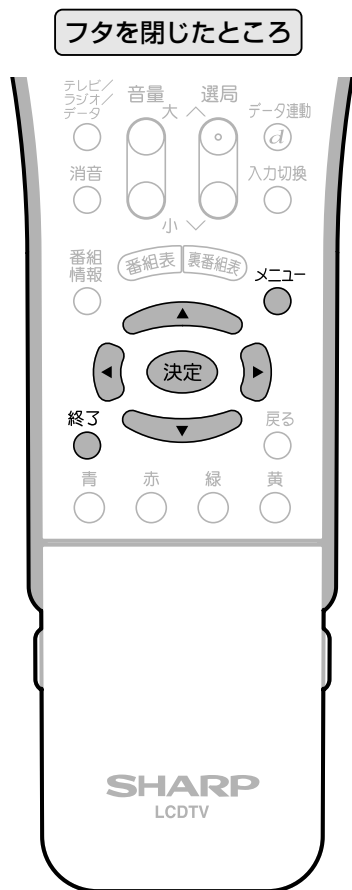
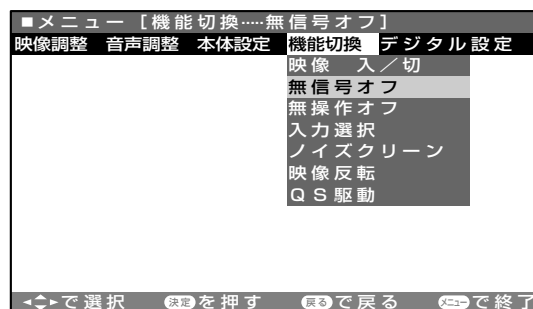
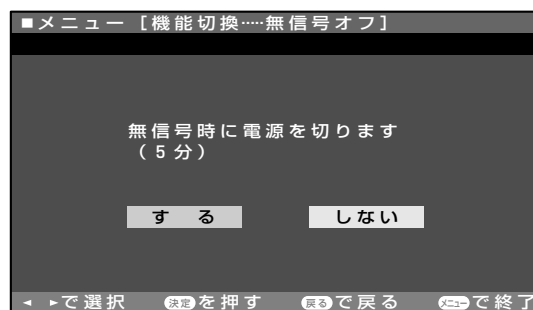
- お好みチャンネル登録後、地上アナログ放送のチャンネル設定(1.準備編**21**ページ)で自動設定または地域番号設定を行った場合は、お好みチャンネルの登録内容が消され、地上アナログ放送の自動設定または地域番号設定によるチャンネル登録内容に変更されます。

省エネ機能を使う

■本機は、省エネに役立つ2つの機能を備えています。

無信号オフ　（テレビ／ビデオ入力のみ）
放送が終了するなど無信号状態になると、約５分後に電源が切れるように設定できます。(☞**65**ページ)
無操作オフ　（テレビ／ビデオ入力のみ）
操作しない状態で３時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。(☞**66**ページ)

無信号オフ機能を設定する

■ 放送が終了するなどして無信号状態になると、約5分後に電源が自動的に切れるよう設定できます。消し忘れを防ぐことができます。

おしらせ
- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- 2画面のとき、無信号オフ機能は働きません。

［例］無信号オフを「する」に設定する

1 **メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

2
① **◀▶で「機能切換」を選ぶ**
② **▲▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す**

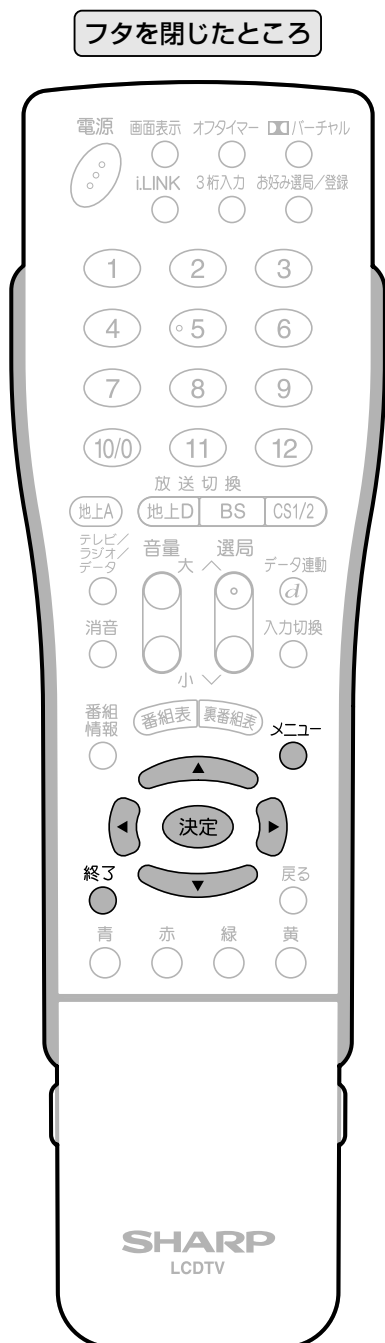
3 **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

4 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

省エネ機能を使う(つづき)

無操作オフ機能を設定する

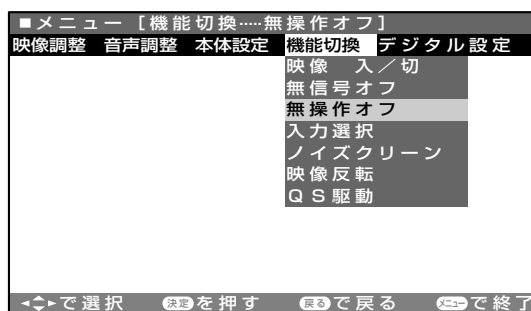
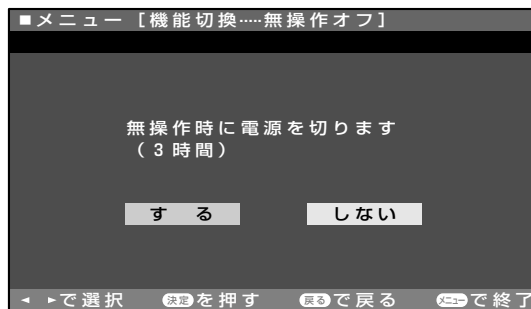
■ 操作しない状態が3時間以上続くと、自動的に電源が切れるよう設定することができます。

フタを閉じたところ

[例] 無操作オフを「する」に設定する

1 メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ① ◀▶で「機能切換」を選ぶ

② ▲▼で「無操作オフ」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

● 工場出荷時は、「しない」に設定されています

BS・110度CSデジタル放送を楽しむ

●この章では、BS・110度CSデジタル放送の番組の選びかたや番組予約のしかたなど、デジタル放送を楽しくご覧いただくためのいろいろな機能と操作方法について説明しています。

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ

ネットワーク・メディア・番組の選択手順

1 ネットワークを選ぶ BS CS1/2
- 3種類のネットワークから選びます。

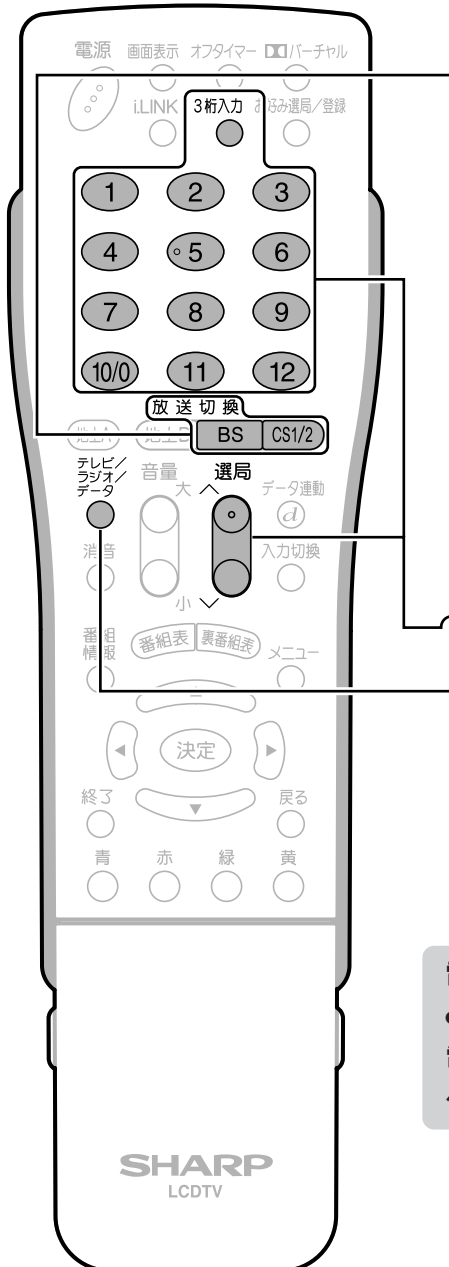
- BS（BSデジタル放送）
- CS1（スカパー！110P）
- CS2（スカパー！110S）

2 メディアを選ぶ テレビ／ラジオ／データ
- 3種類の放送から選びます。

- テレビ放送
- ラジオ放送
- データ放送

3 チャンネルを選ぶ
- 3種類の選局方法があります。
（69～71ページをご覧ください。）

- チャンネルボタンで選ぶ
- 3桁入力で選ぶ（※手順2は不要です。）
- 選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ

操作のしかた

1 BS または CS1/2 を押し、視聴したいネットワークを選ぶ

- CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1（スカパー！110P）⇄ CS2（スカパー！110S）

2 テレビ／ラジオ／データ を押し、 視聴したいメディアを選ぶ

- ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

→ テレビ → ラジオ → データ ─（テレビへ戻る）

- 3桁入力で選ぶときは、この手順は必要ありません。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

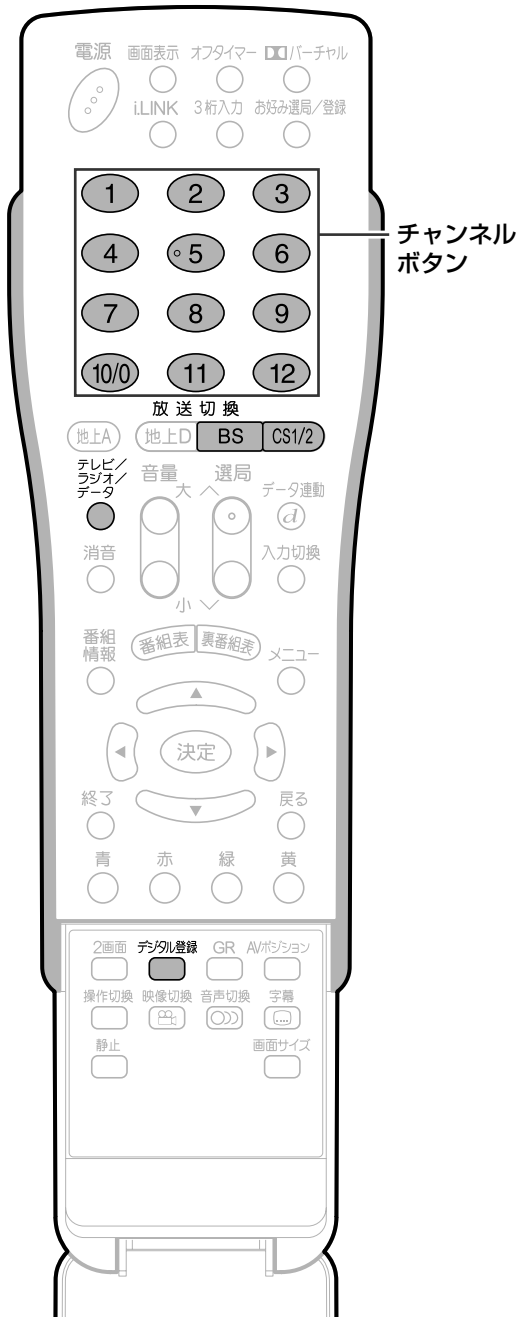
- チャンネルの選局方法には、つぎの3種類があります。各ページをご覧ください。
  - チャンネルボタンで選ぶ……………………☞ **69ページ**
  - 3桁入力で選ぶ……………………………………☞ **70ページ**
  - 選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ………☞ **71ページ**

電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

- 上記手順1～2の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。
電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**77・78**ページをご覧ください。

チャンネルボタンで選ぶ

■ リモコンのチャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
また、デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**75**・**76**ページ参照)

フタを開けたところ

チャンネルボタン

1 BS または CS1/2 を押し、ネットワークを選ぶ

●CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1(スカパー！110P) ⇄ CS2(スカパー！110S)

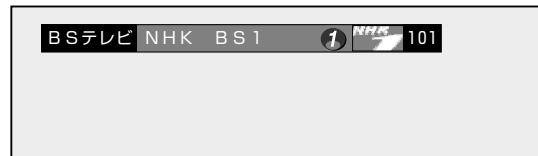
2

[例] BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選ぶとき

① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、テレビを選ぶ

② チャンネルボタン 1 を押す

▼画面表示

BSテレビ NHK　BS1　1 NHK 101

[例] BSデジタル放送のラジオ放送「BS-iラジオ」を選ぶとき

① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、ラジオを選ぶ

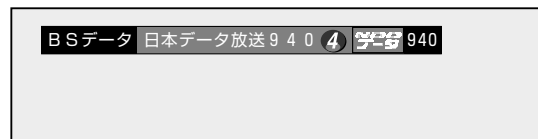
② チャンネルボタン 7 を押す

BSラジオ BS－iラジオ　7 BS-i RADIO 461

[例] BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選ぶとき

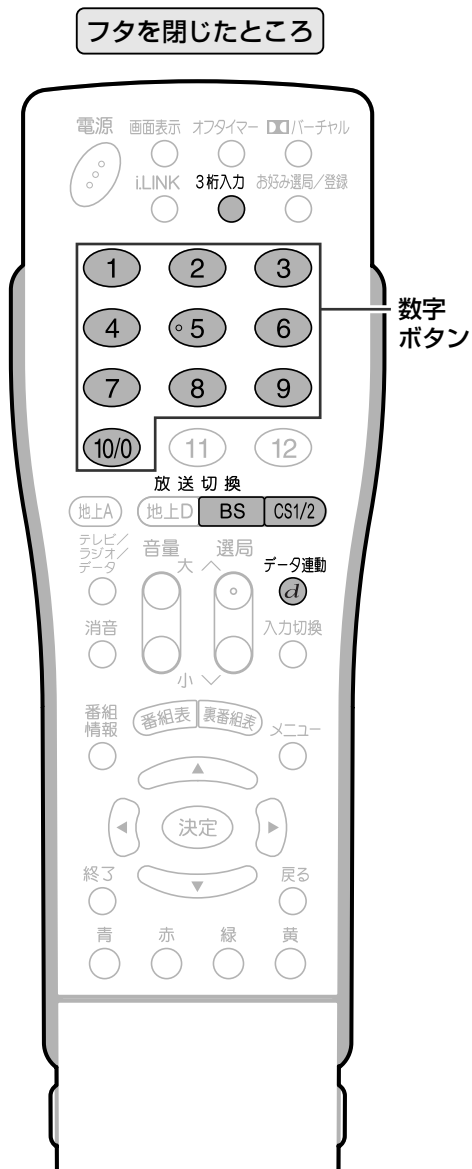
① テレビ/ラジオ/データ をくり返し押し、データを選ぶ

② チャンネルボタン 4 を押す

BSデータ 日本データ放送940 4 940

● データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

BS・110度CSデジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

3桁入力で選ぶ

■ 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。チャンネル番号表(**21**・**76**ページ)を参照してください。

フタを閉じたところ

つぎの操作手順でも選局できます

① 3桁入力ボタンを押す
② 放送切換「BS」「CS1/2」ボタンでネットワークを切り換える
③ 数字ボタンで3桁チャンネル番号を入力する

● d マークが表示されていても、データ連動(*d*)ボタンを押したとき連動データ放送に切り換わらない番組もあります。

1 BSまたはCS1/2を押し、ネットワークを選ぶ

●CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1(スカパー！110P) ⇄ CS2(スカパー！110S)

2

[例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① 3桁入力を押す

●画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン1 6 1を押す

●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

●選んだ番組がデータ連動放送のときは、d マークがチャンネル番号の頭に表示されます。

●データ連動(*d*)ボタンを押すと、番組の関連情報や番組に連動したデータ放送の画面が表示されます。もう一度押すと、通常画面に戻ります。

選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

■ 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、BSチャンネルまたは110度CSチャンネル、テレビチャンネル、CATVチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

フタを閉じたところ

1 BSまたはCS1/2を押し、ネットワークを選ぶ

● CS1/2ボタンは押すたびに、つぎのように切り換わります。

CS1(スカパー！110P) ⇄ CS2(スカパー！110S)

2 テレビ／ラジオ／データをくり返し押し、メディア(テレビ／ラジオ／データ)を選ぶ

3 選局を押す

● 視聴したい番組が表示されるまで、選局(∧順／∨逆)ボタンを押してください。

おしらせ

CATVチャンネルについて

- 工場出荷時の状態では、CATVチャンネル(C13〜C63)はスキップ「する」に設定されています。
- CATV会社と受信契約し、CATV放送を視聴する場合は、受信チャンネルのスキップ設定を「しない」にしてください。
- チャンネルスキップの解除については、1.準備編 34〜35ページをご覧ください。

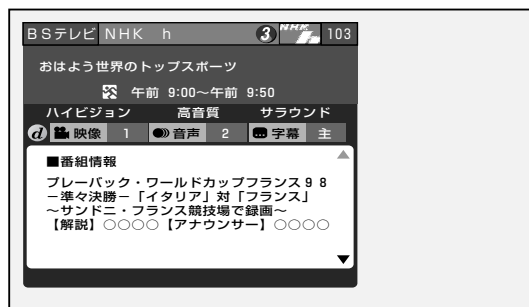
視聴中の番組の情報を見る

番組情報を表示する

■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

フタを閉じたところ

番組情報を押し、番組情報を表示する

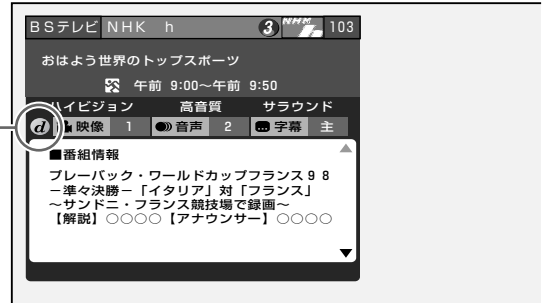
（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り、戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

連動データ放送を見る

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」マークが表示されます。(放送局によっては表示されない場合があります。)

フタを閉じたところ

1 番組情報 を押し、チャンネル表示内の「*d*」マーク表示を確認する

2 データ連動 を押す

●連動データ放送の画面になります。

(連動データ放送の画面例)

●テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動(*d*)ボタンを押します。

- 「*d*」マークが表示されていても、データ連動(*d*)ボタンを押したとき、連動データ放送に切り換わらない番組もあります。
- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動(*d*)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

映像・音声の切り換えかた

主映像と副映像(最大4つ)、または主音声と副音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

主・副映像を楽しむ

■ 主・副映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

フタを開けたところ

「映像」表示

映像切換 を押し、映像を切り換える

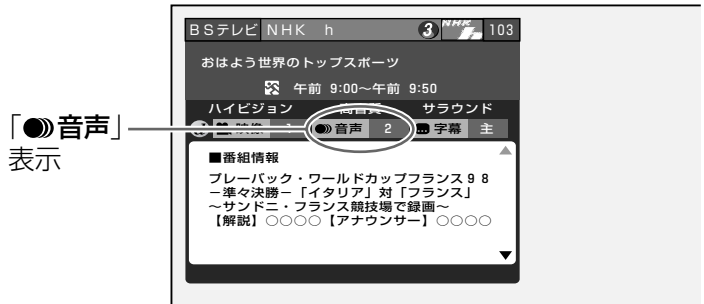
- ボタンを押すたびに映像が切り換わり、画面右上に映像表示がでます。

(画面例)

※番組によって映像の数は異なります。

主・副音声を楽しむ

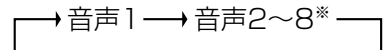
■ 主・副音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

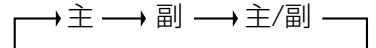
フタを開けたところ

「音声」表示

音声切換 を押し、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、画面右上に音声表示がでます。

(画面例)

マルチ音声番組のとき　→音声1→音声2～8※→

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主→副→主/副→

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、音声1が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は直前に視聴した音声を録画します。その他の場合は、映像1、音声1を録画します。

チャンネルボタンに登録されているBS・110度CSチャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているチャンネルを確認することができます。

フタを開けたところ

放送を視聴中にを押す

- 登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

- 確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンか終了ボタンを押します。

おしらせ

- 各放送のチャンネル確認／登録画面は、デジタル放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
- 確認／登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのチャンネル確認／登録画面が表示されます。
- CS1/2ボタンは押すたびに、CS1とCS2が切り換わります。

チャンネルボタンに登録されているBS・110度CSチャンネルを確認する(つづき)

工場出荷時に設定されているBS・110度CSチャンネル一覧

BS(BSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2	NHK BS2	102	ミュージックバード	316	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	セント・ギガ	333	日本データ放送	940
5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	BS955	955
6	BS-i	161	BSAラジオ	455	TiVi!963	963
7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	知求チャンネル	999
8	BS　フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	―	―
9	WOWOW	191	LFX488	488	―	―
10/0	スター・チャンネル	200	BS QR489	489	―	―
11	―	―	WOWOW WAVE1	491	―	―
12	―	―	―	―	―	―

CS1(スカパー！110P)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	001	700	010
2	004	701	900
3	005	702	901
4	006	703	902
5	007	704	909
6	008	705	963
7	009	706	966
8	055	707	967
9	091	708	998
10/0	092	709	999
11	093	710	−
12	094	711	−

CS2(スカパー！110S)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	−	110
2	160	−	123
3	177	−	170
4	182	−	190
5	194	−	217
6	211	−	−
7	220	−	−
8	230	−	−
9	234	−	−
10/0	250	−	−
11	290	−	−
12	−	−	−

※CS2(スカパー！110S)のラジオ放送は、現在放送予定がありません。
※チャンネルプランは2004年6月現在のもので、変更されることもあります。

電子番組表(EPG)の使いかた

■ BS・110度CSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

基本

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは、上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは、左右カーソルボタンを使います。

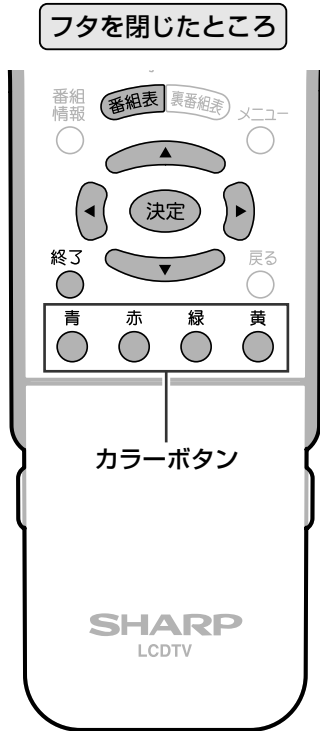
電子番組表の切り換えかた

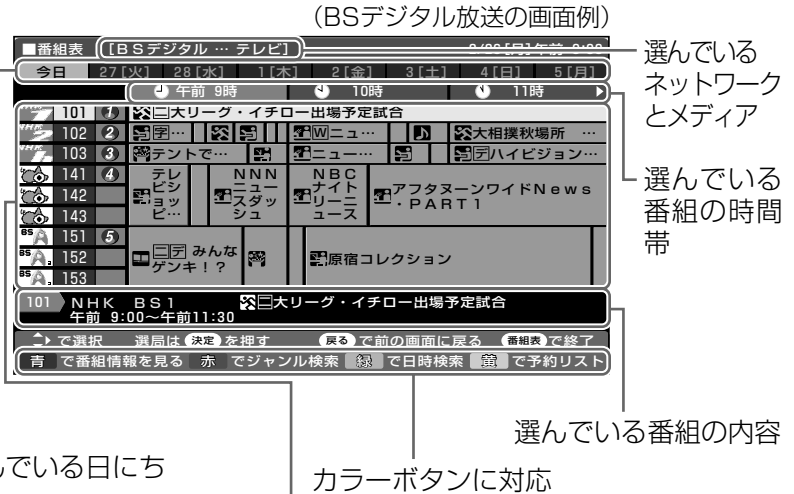
- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換ボタン、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても働きません。

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、デジタル放送だけです。
- 本書ではおもに、BSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

1 BSデジタル放送または110度CSデジタル放送を視聴中に を押す

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で番組を選び、(決定) を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。(**84**ページ参照)

電子番組表(EPG)画面を消すときは

番組表 または 終了 を押します。

カラーボタンの機能について

青 (番組情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

フタを閉じたところ

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

1 番組表を押し、電子番組表(EPG)を表示する

選択されているネットワークとメディア

選択されている日にち

(電子番組表画面の例)

選択されているチャンネル

登録されているチャンネルボタンの番号

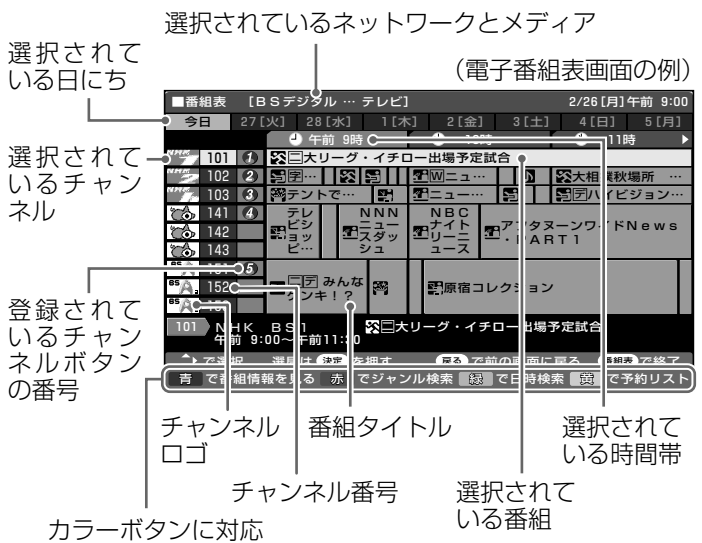
チャンネルロゴ

番組タイトル

選択されている時間帯

チャンネル番号

選択されている番組

カラーボタンに対応

2 見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**84**ページ参照)

アイコン一覧

■ BS・110度CSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース/報道		映画
	スポーツ		アニメ/特撮
	情報/ワイドショー		ドキュメンタリー/教養
	ドラマ		劇場/公演
	音楽		趣味/教育
	バラエティ		福祉

ジャンルで番組を探す

■ 番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

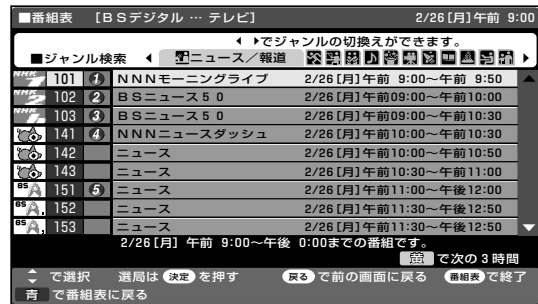
フタを閉じたところ

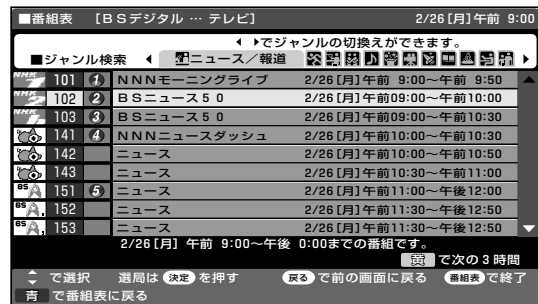
1

① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 赤（ジャンル検索）を押す

2

見たいジャンルを◀▶で選ぶ

3

見たい番組を▲▼で選び、決定を押す

●黄ボタン（次の3時間）を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン（前の3時間）を押します。

放送中の番組を選んだとき
⇨選んだ番組が選局されます。

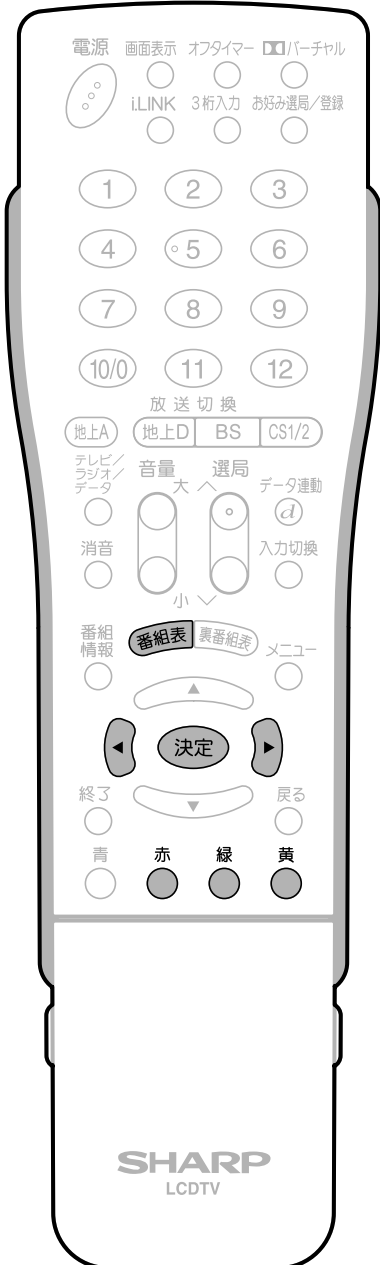
未放送の番組を選んだとき
⇨予約選択画面になります。（**84**ページ参照）

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

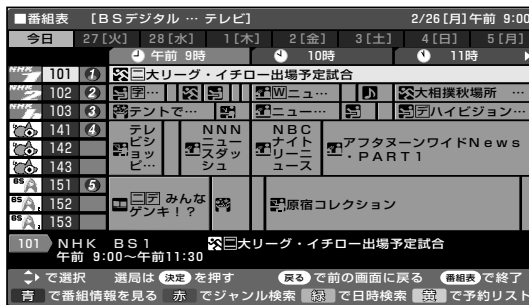
日時を指定して番組を探す

■ 日時と時間を指定して、電子番組表を表示させることができます。

フタを閉じたところ

1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑(日時検索)を押す

2

◀▶で日にちを選ぶ

●日にちを選んだあとに決定ボタンか赤ボタン(実行)を押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3

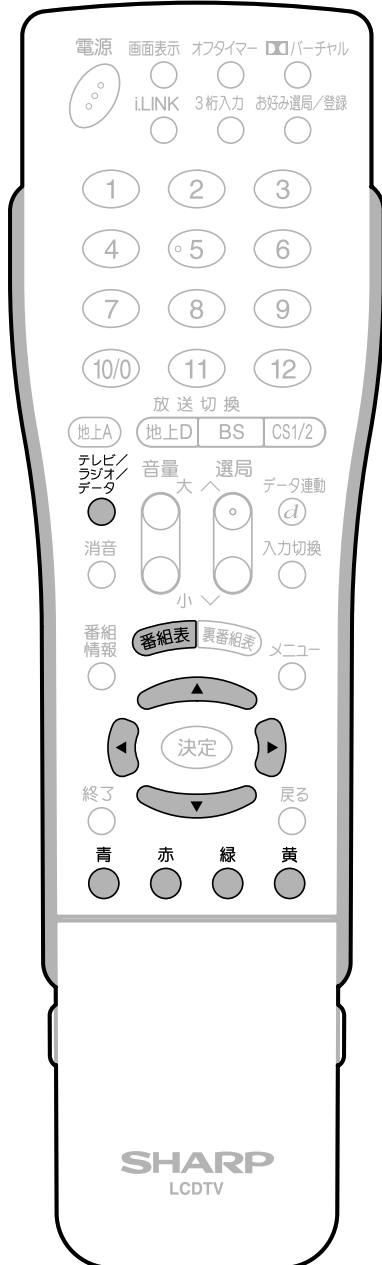
① 黄(時間を選ぶ)を押す

② ◀▶で時間を選び、決定を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

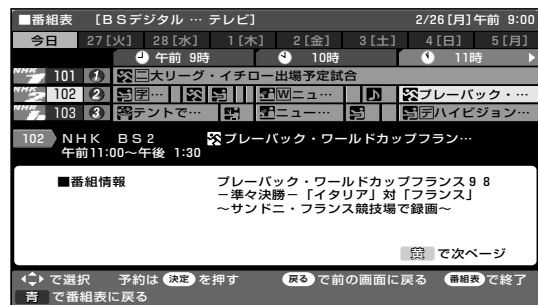
番組の内容を確認する

■ 番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

フタを閉じたところ

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 青（番組情報を見る）を押す

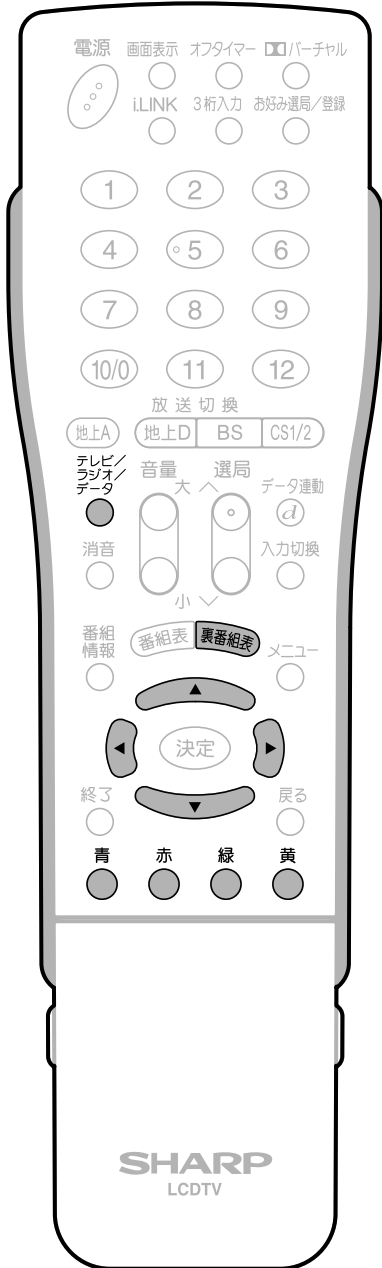
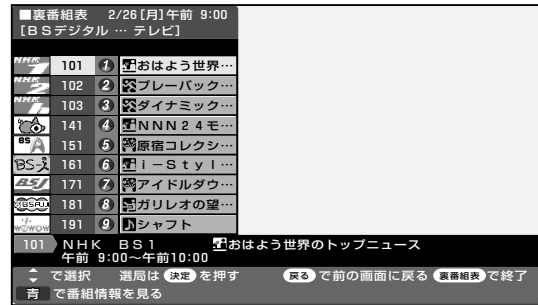
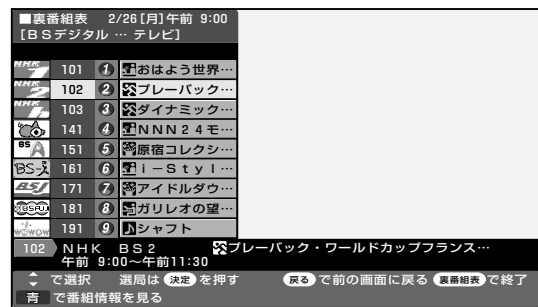
● 番組情報が表示されます。

● 番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

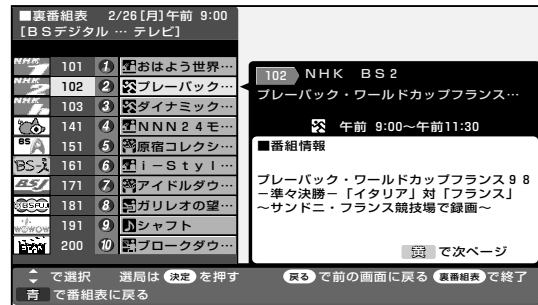
視聴中の番組の内容を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。（72ページ参照）
（電子番組表を表示する必要はありません。）

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

放送中の他の番組を知りたいとき

フタを閉じたところ

1 裏番組表を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青(番組情報を見る)を押す

●選んだ番組の情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

● 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
● BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
● 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■ BS・110度CSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■ 予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

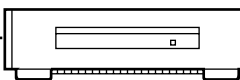
番組予約（録画予約）の手順

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ — 番組表から、直接予約ができます

↓

「録画予約」を選ぶ

↓

録画機器の選択・設定

- ビデオ連動予約確認・設定 — ビデオデッキ
- i.LINK連動予約確認・設定 — D-VHS ビデオデッキ

↓

予約の方法を選ぶ

- 予約
- 詳細予約

↓

契約の確認

- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

↓

購入内容の設定

- 購入金額制限の判定

↓

映像・音声の選択と購入設定 — BS・110度CSデジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

- マルチビュー、副映像、副音声

↓

予約内容確認

↓

予約手続き完了

- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、メニューの「録画画面表示」を「する」に設定（**100**ページ参照）してください。「しない」に設定すると、録画出力端子からデータ放送画面が出力されません。（映像・音声のみ出力されます。）
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BS・110度CSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をした際、画面に表示される「録画予約を解除しますか？」の選択項目の「はい」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

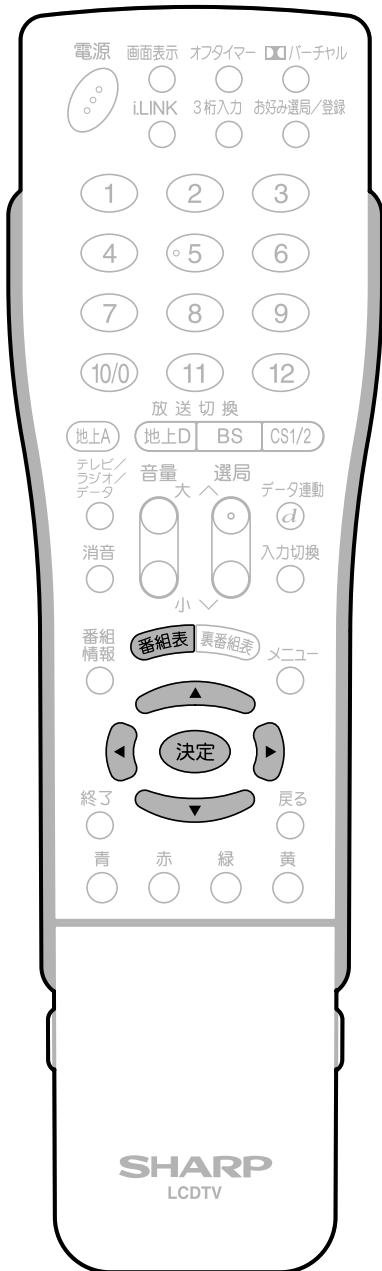
録画予約をはじめます
録画予約を解除しますか？
はい　いいえ

- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

視聴予約か録画予約かを選ぶ

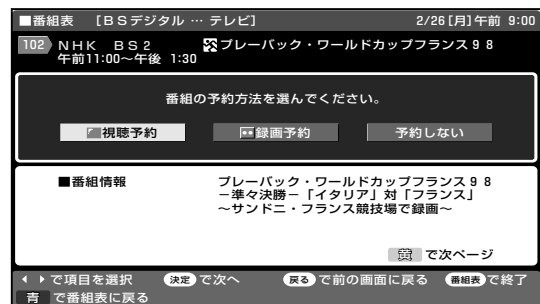
■ 電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約、およびPPV(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

フタを閉じたところ

1 番組表を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**80**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を▲▼◀▶で選ぶ

3 決定を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。視聴予約の手順に進みます。(☞**85**ページ)

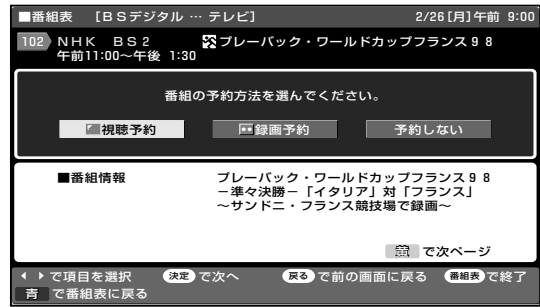
「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。録画予約の手順に進みます。(☞**86**ページ)

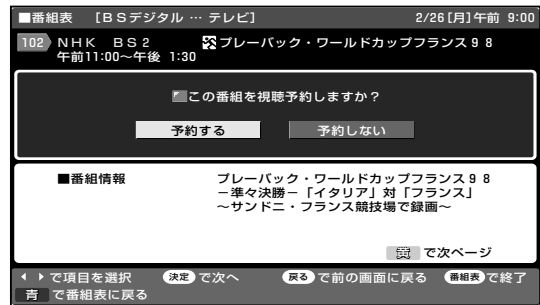
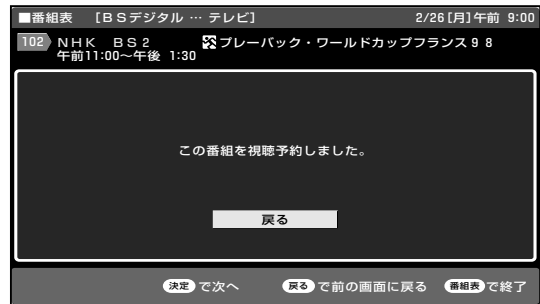
「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

視聴予約

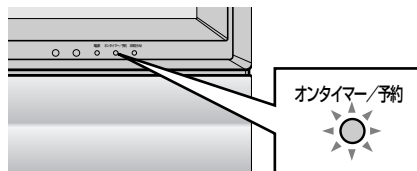
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**96**ページ)が必要です。

フタを閉じたところ

1 ◀で「視聴予約」を選び、決定を押す

2 ◀で「予約する」を選び、決定を押す

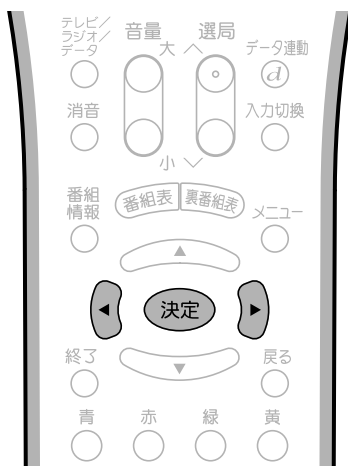
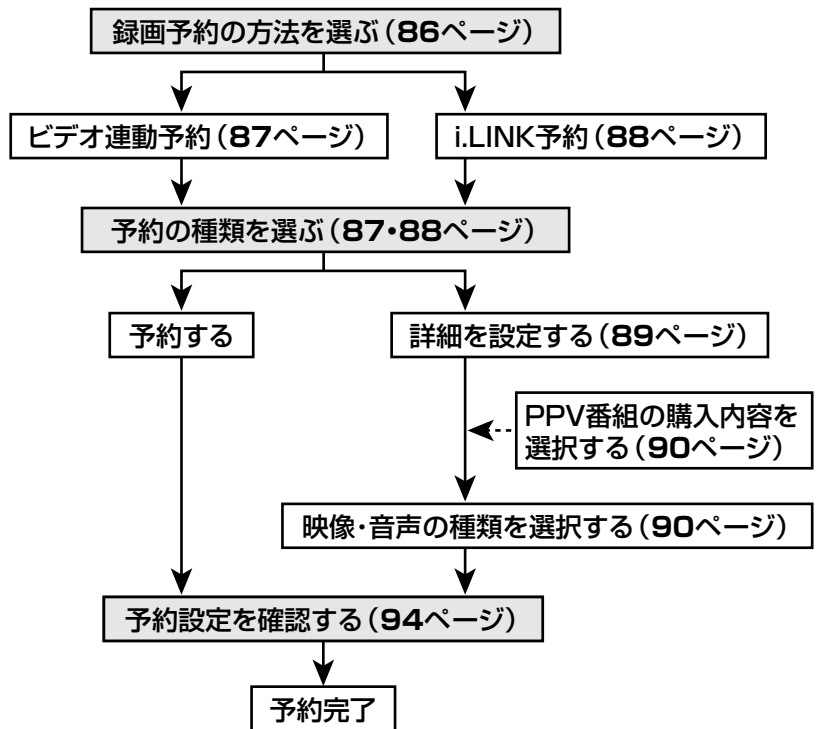
「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定されました。

予約ランプについて

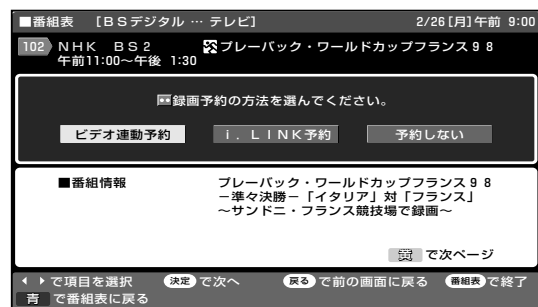
- 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**96**ページ)が必要です。
- データ放送番組をビデオ連動録画する場合は、メニューの「録画画面表示」を「する」に設定(**100**ページ参照)してください。
  「しない」に設定すると、録画出力端子からデータ放送画面が出力されません。(映像・音声のみ出力されます。)
- BS・110度CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**160**ページ)
- データ放送をD-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください。(**148**～**152**ページ)
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

フタを閉じたところ

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

録画予約の方法を選ぶ

◀▶で録画予約の方法を選び、決定を押す

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約に進みます。(☞**87**ページ)

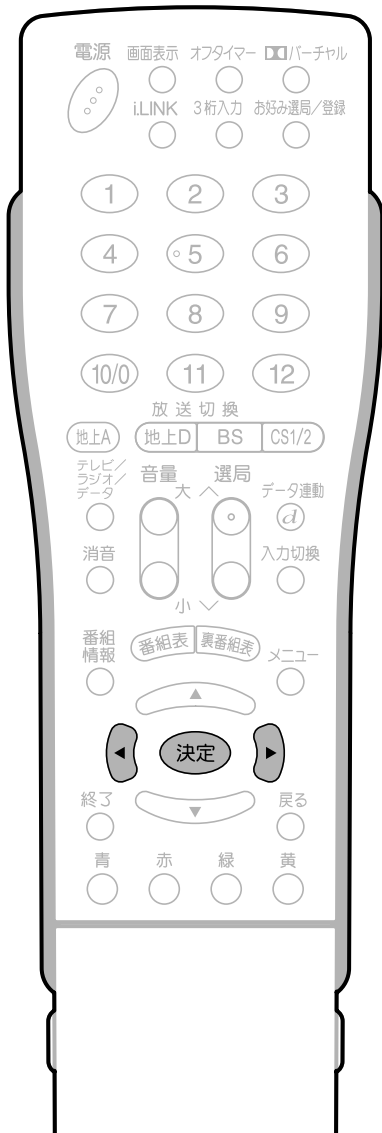
「i.LINK予約」……… i.LINK予約に進みます。(☞**88**ページ)

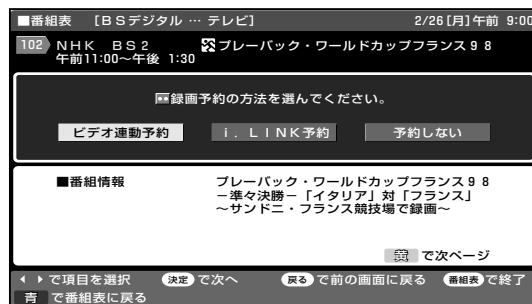
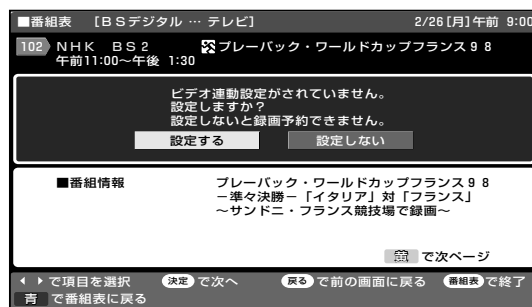
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

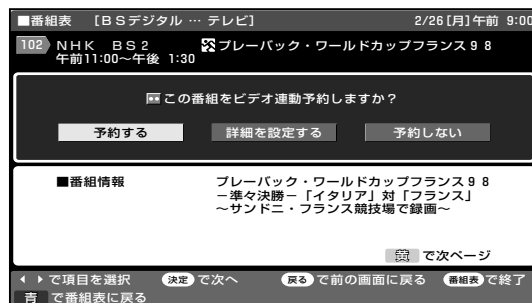
■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**142**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**143**ページ)を済ませておいてください。

- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

フタを閉じたところ

ビデオ連動予約するとき

1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**143・144**ページ参照)

2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

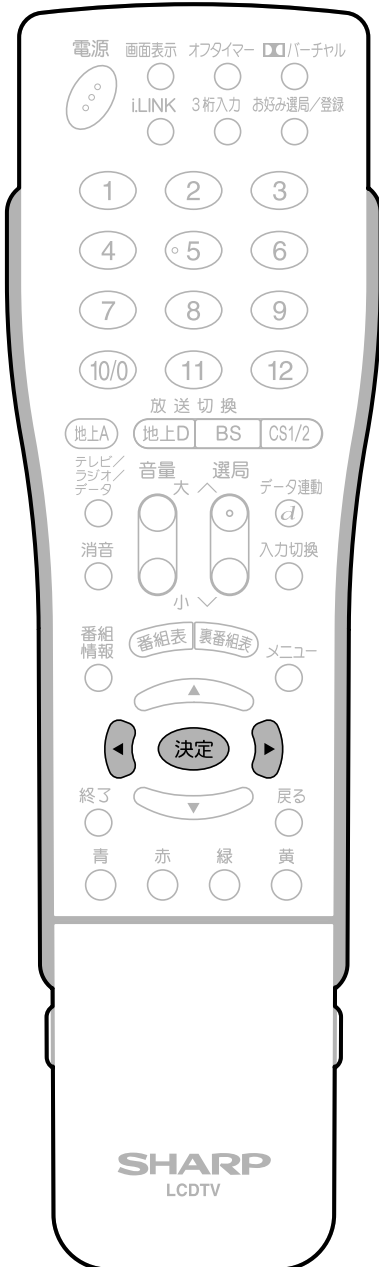
「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定により、視聴や購入を制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

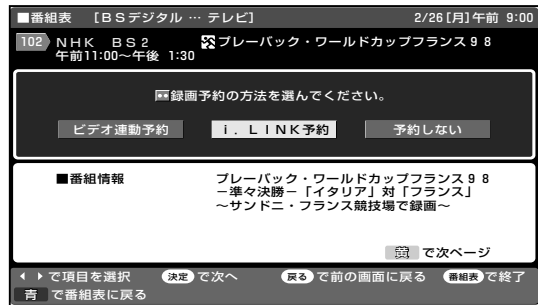
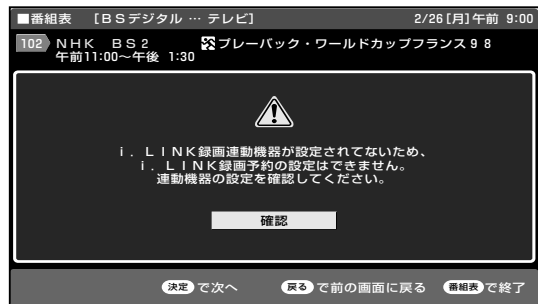
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

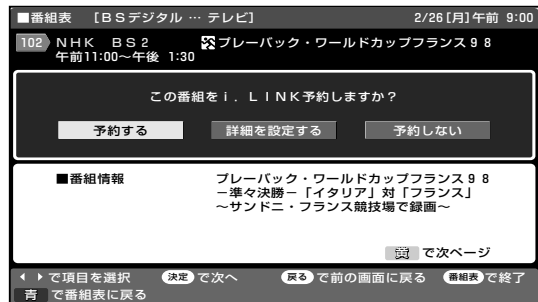
電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

■i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**146**ページ)とi.LINK設定(**148**～**152**ページ)を済ませておいてください。

フタを閉じたところ

i.LINK予約するとき

1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、番組表に戻ります。i.LINK機器の接続を確認してください。(**146**ページ参照)

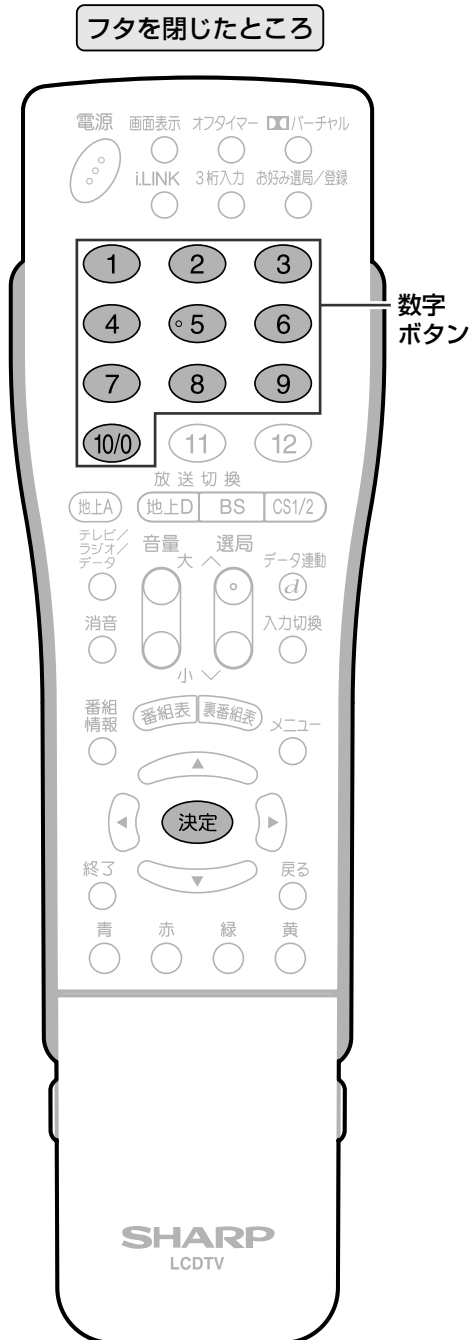
2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

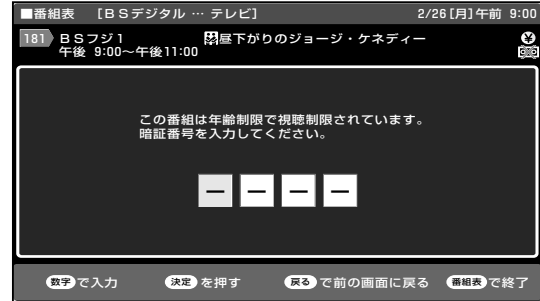
「詳細を設定する」… 視聴制限や購入金額制限の設定により、視聴や購入を制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

詳細設定

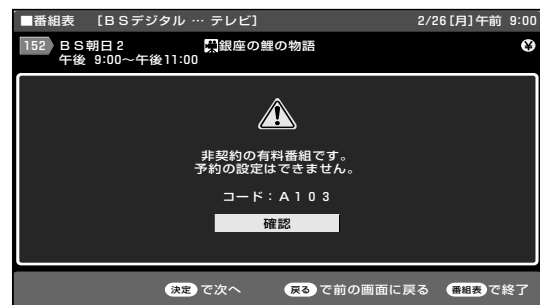
■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

フタを閉じたところ

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

●暗証番号入力画面が表示されます。

●数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力してください。(**105**ページ参照)

カード未挿入で有料番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

●「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

ビデオ連動予約の場合

フタを閉じたところ

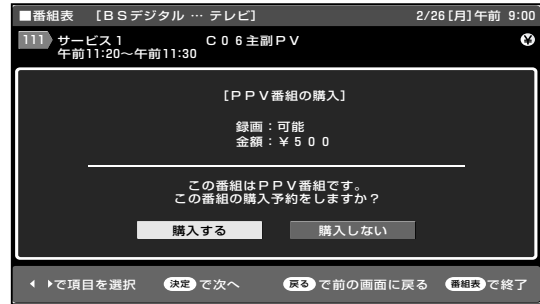
■ 映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」…	いろいろな角度から見た映像
「映像」………	主映像と副映像(最大3つ)
「音声」………	主音声と副音声(最大7つ)
「二重音声」…	主音声と副音声

フタを閉じたところ

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

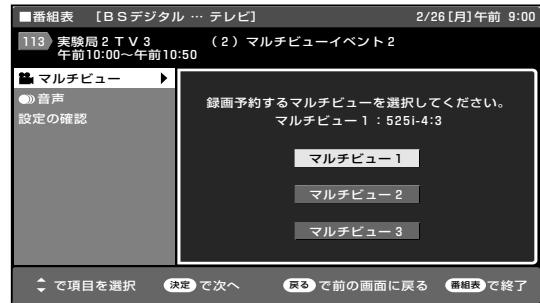
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

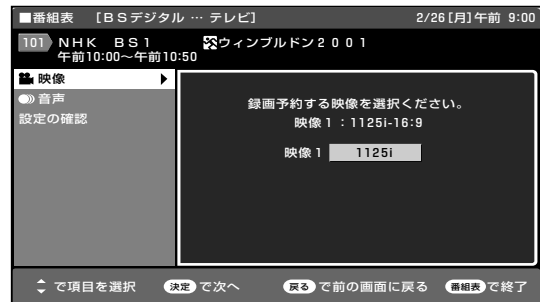
◀ ▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

映像・音声の種類を選択する

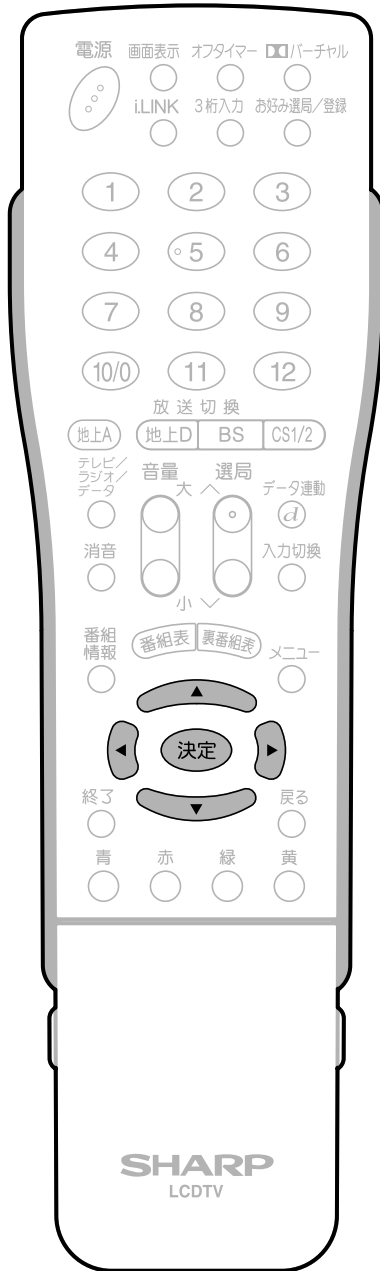
1

マルチビュー番組を選んでいるとき

決定を押してから、▲ ▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

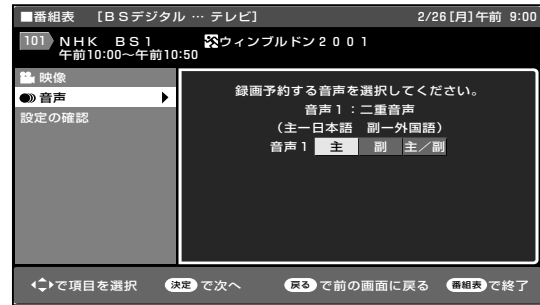
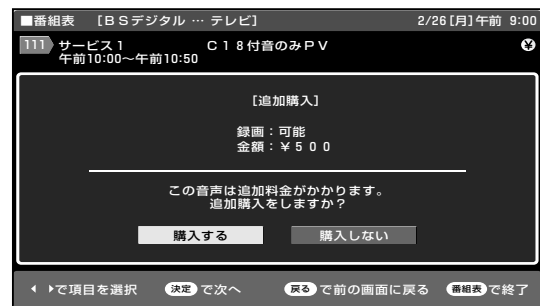
決定を押してから、▲ ▼で映像を選び、決定を押す

●映像の数は、番組によって異なります。

次ページへ

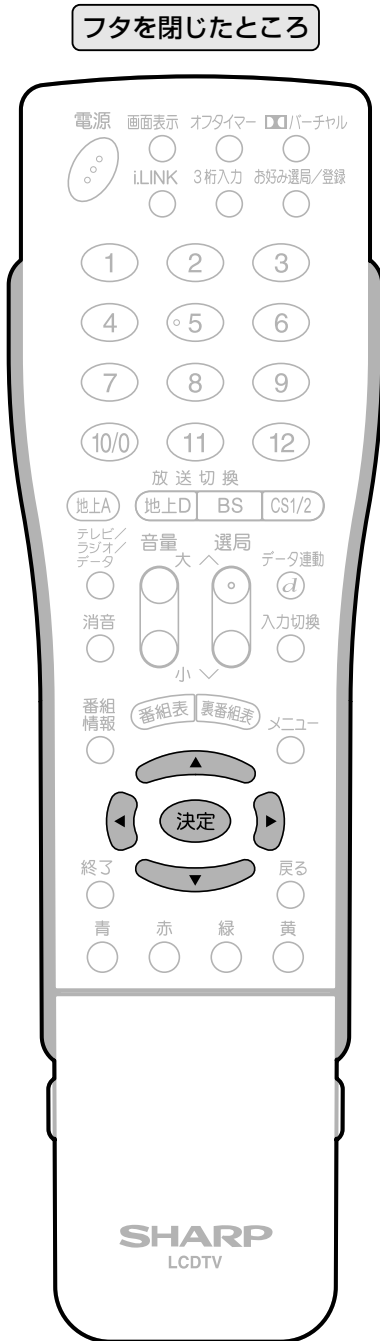
フタを閉じたところ

2

① ▲▼で「音声」を選び、決定を押す

② ▲▼◀▶で音声を選び、決定を押す

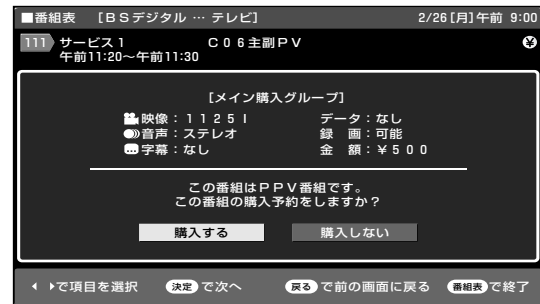
●音声の数は、番組によって異なります。

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

i.LINK予約の場合

フタを閉じたところ

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

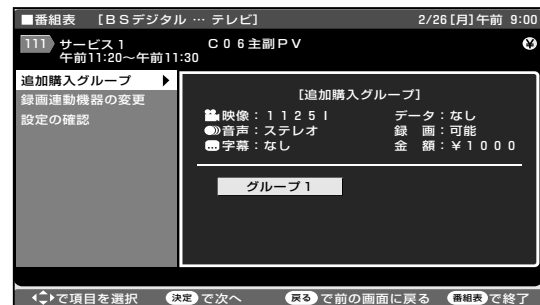
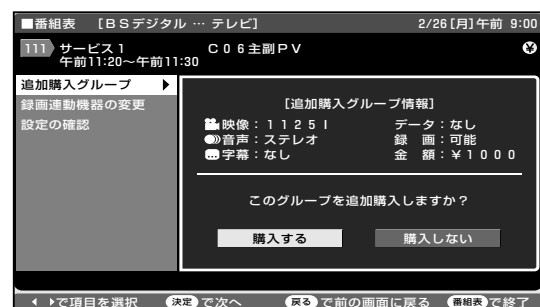
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

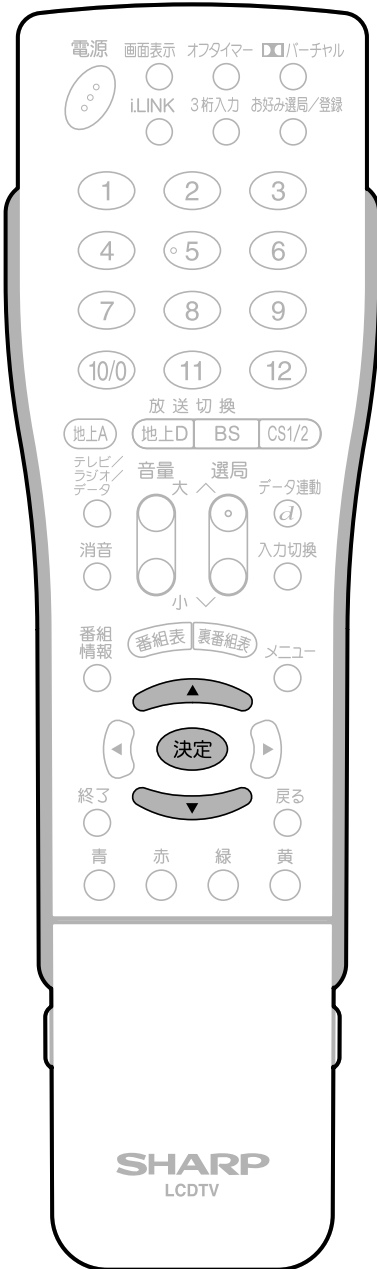
◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① **「追加購入グループ」で決定を押す**

② **▲▼◀▶で購入グループを選び、決定を押す**

2 **◀▶で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

i.LINK予約の場合(つづき)

フタを閉じたところ

使用するi.LINK機器を選択する

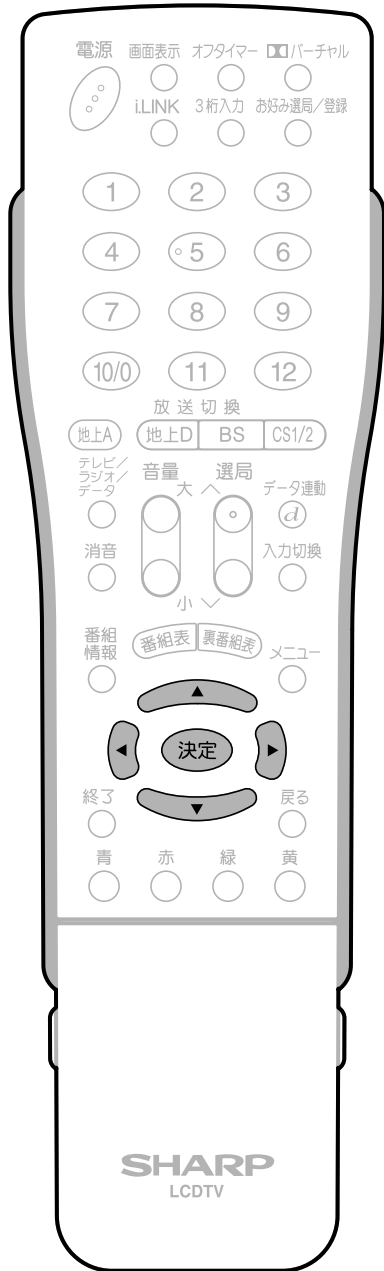
●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

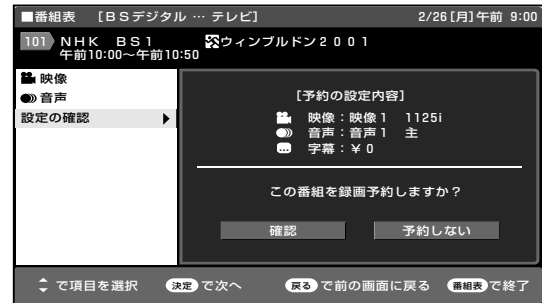
1 ▲▼で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

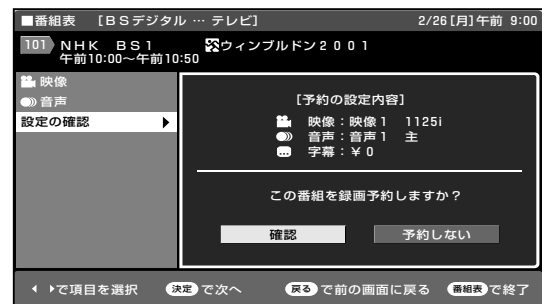
2 ▲▼で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

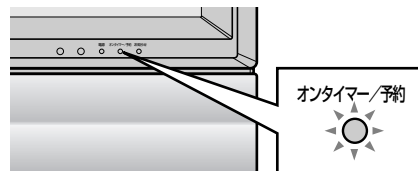
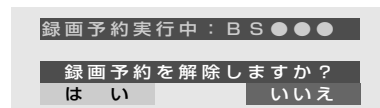
● i.LINK予約をするときは、D-VHSビデオデッキを本機に1対1で接続してください。複数のD-VHSビデオデッキを接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

フタを閉じたところ

予約設定を確認する

1 ▲▼で「設定の確認」を選び、決定を押す

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

2 ① 画面に表示された設定内容を確認する
② 「確認」で決定を押す

- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

予約ランプについて
- 番組を予約すると、本体前面の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには
- デジタルに関するリモコン操作をしてください。画面に表示される「録画予約を解除しますか？」の選択項目の「はい」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

予約の確認・取消し・変更

■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

フタを閉じたところ

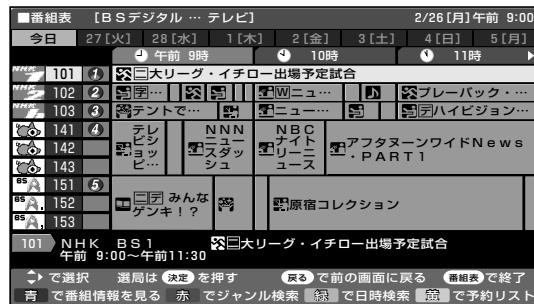
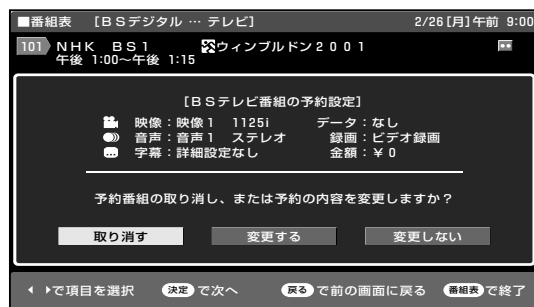
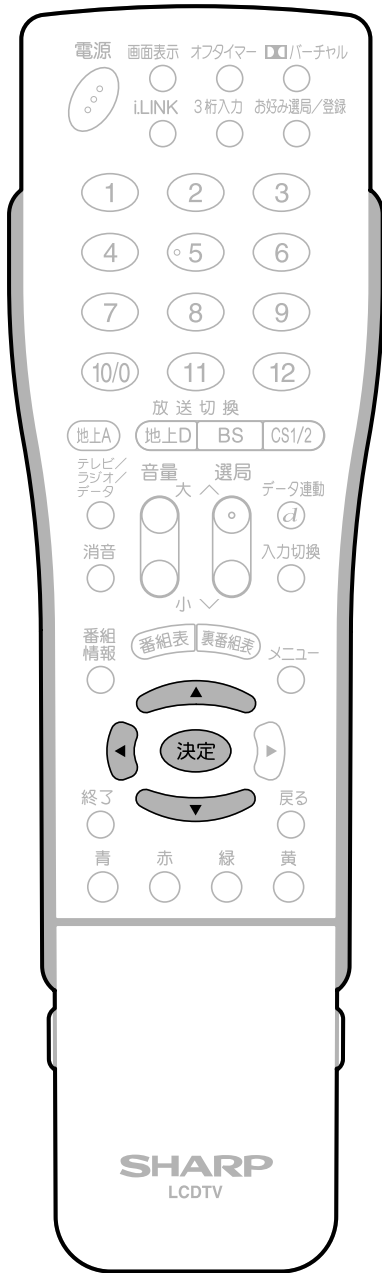
予約を確認したいとき

1

① 番組表を押し、電子番組表を表示する

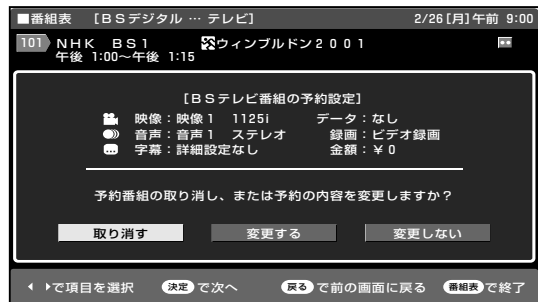
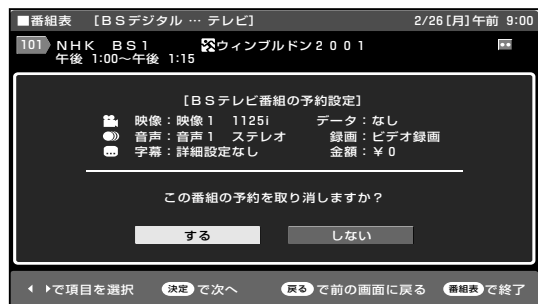
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

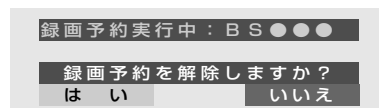
▼予約リストの例

	放送時間	CH	番組名
視聴	2/26［月］午前 9:30〜午前 9:50	［BS102］	マニュアル浜口夫人
録画	2/26［月］午前10:00〜午前10:30	［BS103］	新春、芸能人大集合
視聴	2/26［月］午前11:00〜午前11:30	［BS141］	この町、あの町、ぶらり…
視聴	2/26［月］午前11:30〜午前11:50	［BS142］	K－5格闘技選手権
録画	2/26［月］午後12:10〜午後12:50	［BS143］	春のイタリア観光
録画	2/26［月］午後 1:00〜午後 1:15	［BS101］	ウィンブルドン２００１
録画	2/26［月］午後 2:00〜午後 2:15	［BS152］	俺は待ってないぜ
視聴	2/26［月］午後 3:00〜午後 3:45	［BS153］	午後のスポーツニュース

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

フタを閉じたところ

予約を取り消したいとき

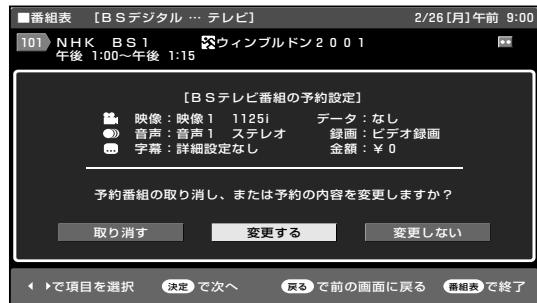
1 予約を取り消したい番組を ▲ ▼ で選び、(決定)を押す

2 ◀で「取り消す」を選び、(決定)を押す

3 ◀で「する」を選び、(決定)を押す

実行中の予約録画を解除するには

- デジタルに関するリモコン操作をしてください。画面に表示される「録画予約を解除しますか？」の選択項目の「はい」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

フタを閉じたところ

予約を変更したいとき

1 予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す

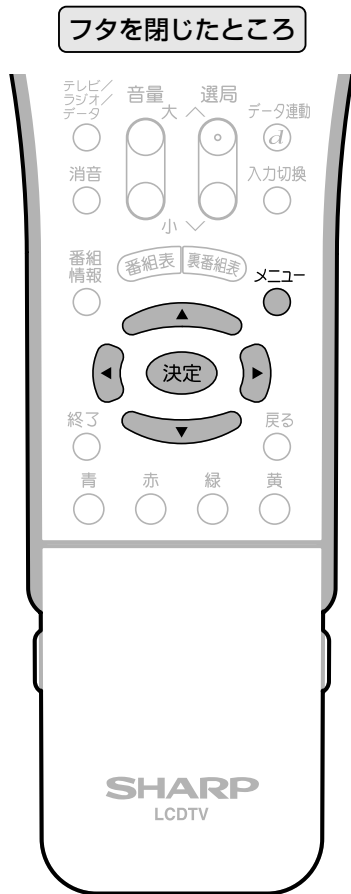
2 ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。

3 予約操作をやりなおす

- **83**～**94**ページの操作手順をご参照ください。

放送視聴のためのいろいろな設定

画面サイズの設定

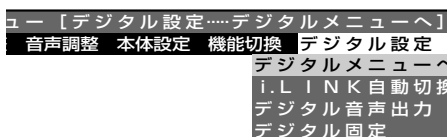
フタを閉じたところ

2種類の画面サイズ設定について

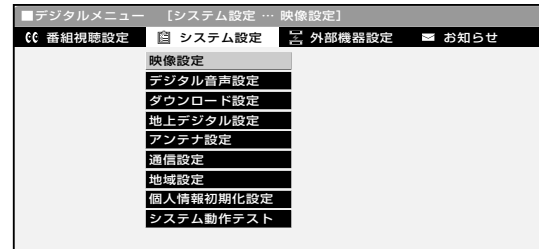
- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

デジタルメニュー画面の表示手順

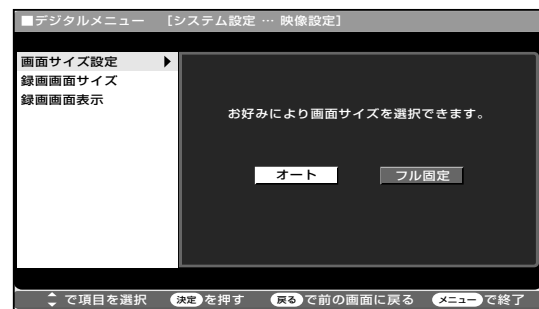
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定‥‥デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

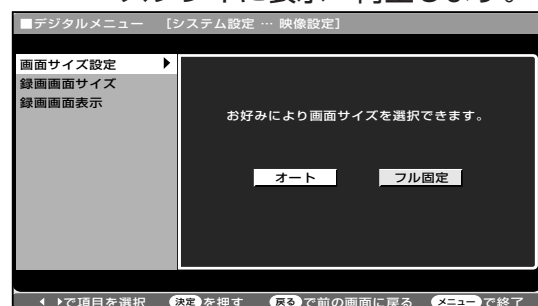
② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

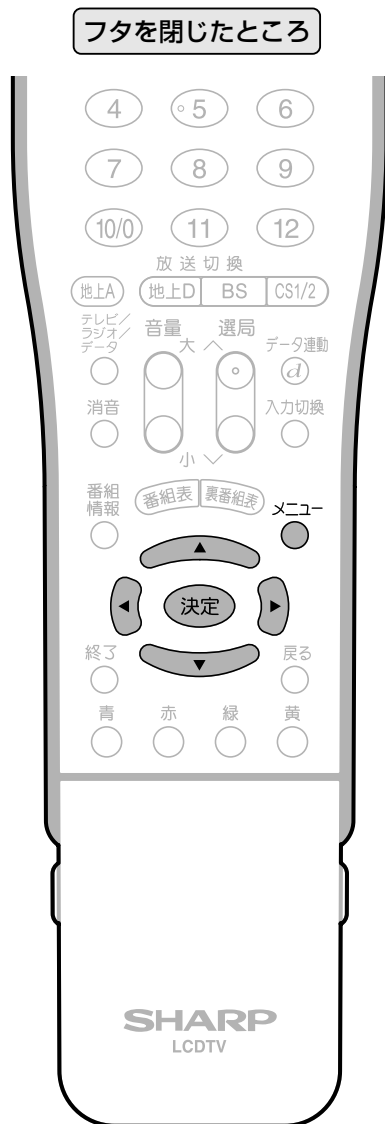
2

▲▼で「画面サイズ設定」を選び、決定を押す

3

◀▶で「オート」または「フル固定」を選び、決定を押す

「オート」………525i放送以外の放送は1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。
通常は「オート」でお使いください。

「フル固定」……すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

録画画面サイズの設定

■ 本機に接続した録画用機器にデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

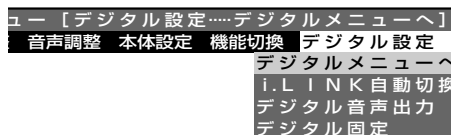
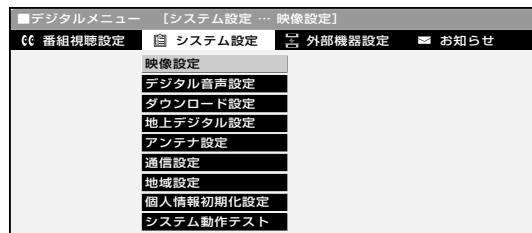
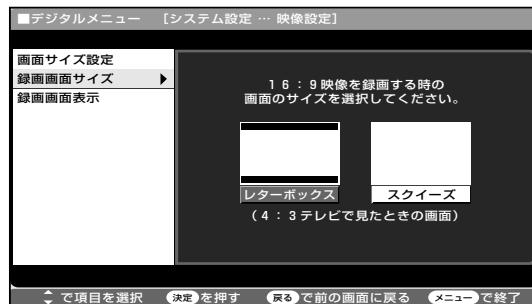
ュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

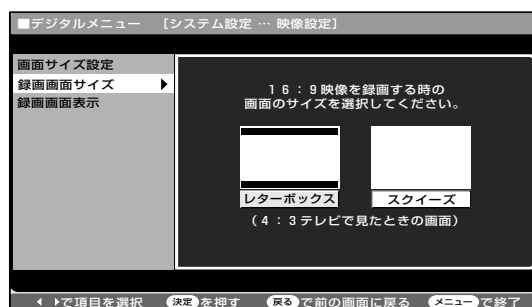
② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「録画画面サイズ」を選び、決定を押す

3

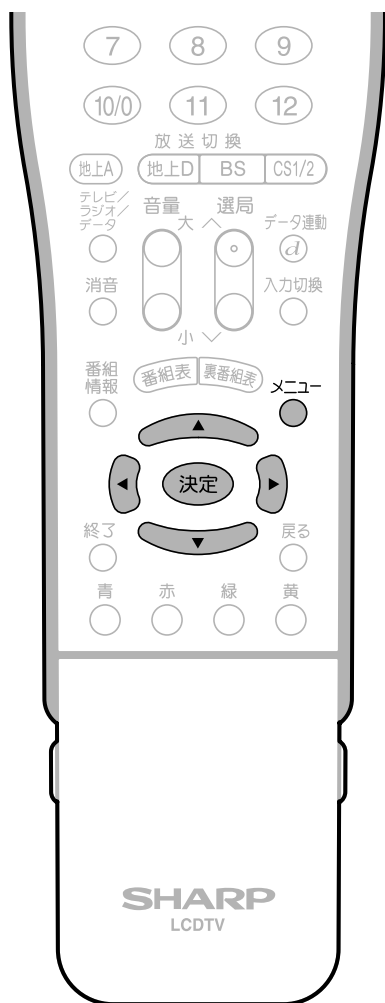
◀▶で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定を押す

「レターボックス」…4：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

「スクイーズ」………4：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

録画画面表示の設定

■ 本機に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、メニュー、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

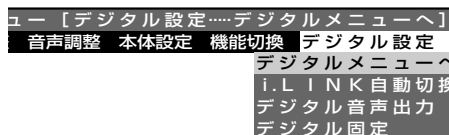
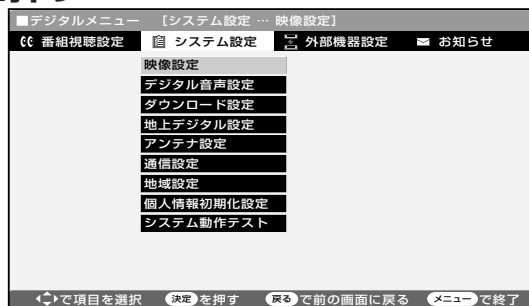
ュー［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

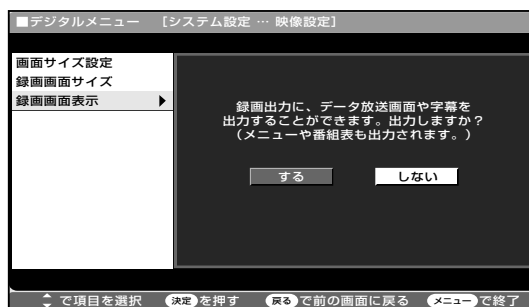
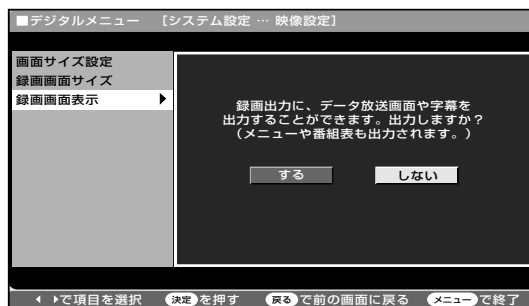
1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

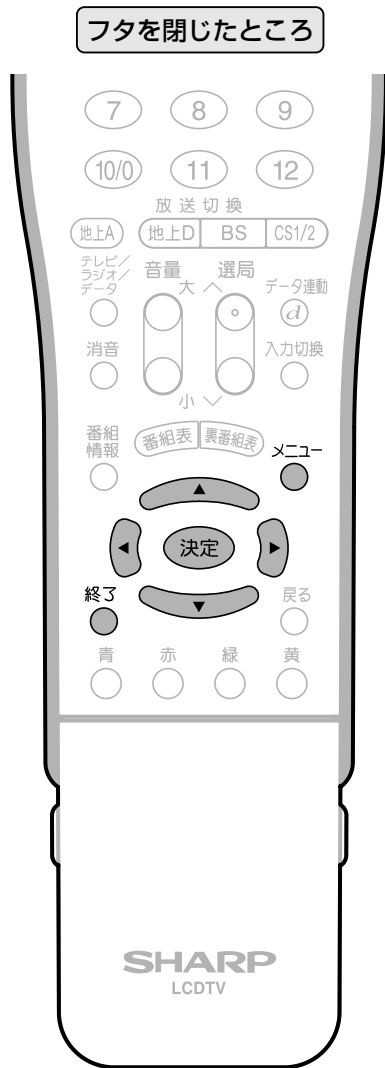
② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「録画画面表示」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 録画画面表示を「する」に設定したとき、録画出力端子から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。

チャンネル表示のしかたを選ぶ

■ 番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

フタを閉じたところ

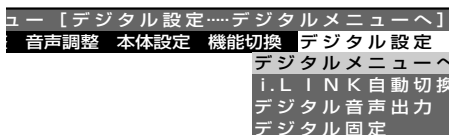
デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

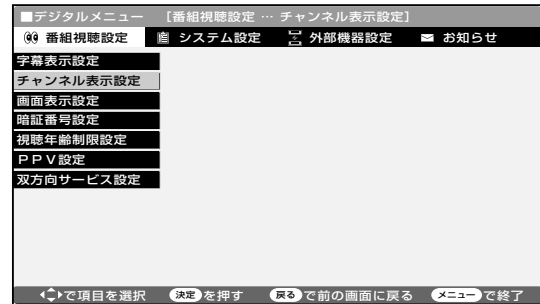
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

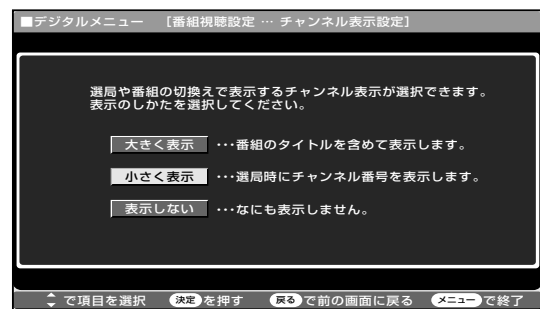
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「チャンネル表示設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で表示のしかたを選び、決定を押す

「大きく表示」…番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

（表示例）

「小さく表示」…チャンネル番号だけを表示します。

（表示例）

「表示しない」…何も表示しません。（ビデオ連動予約時に、チャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

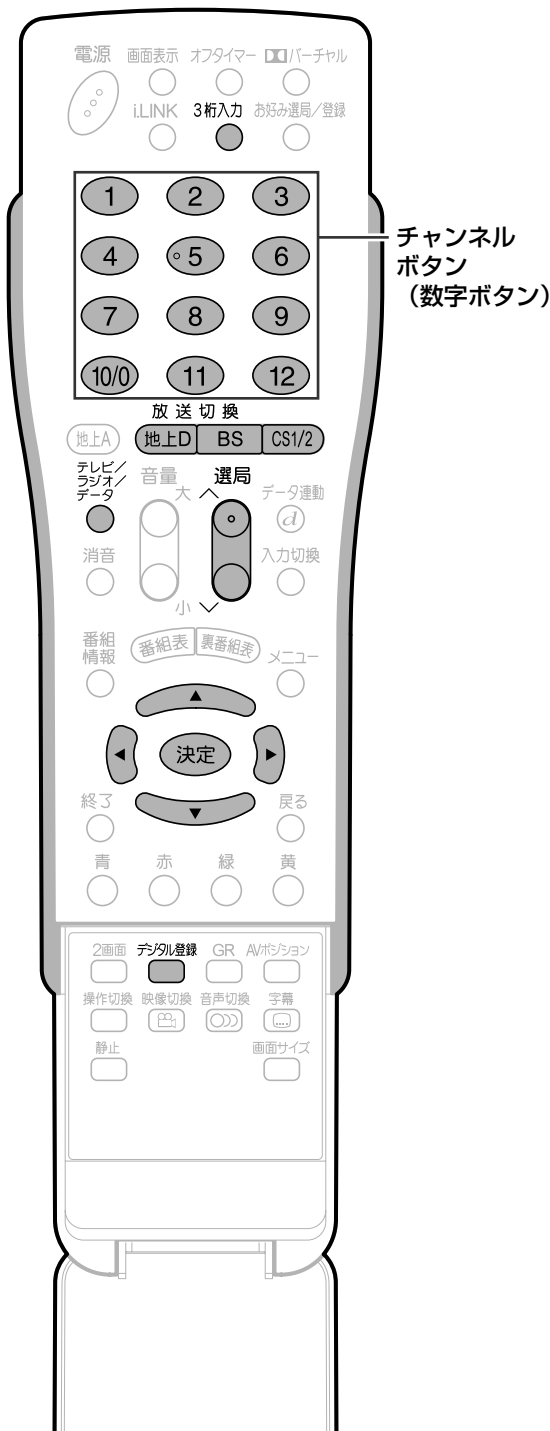
3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

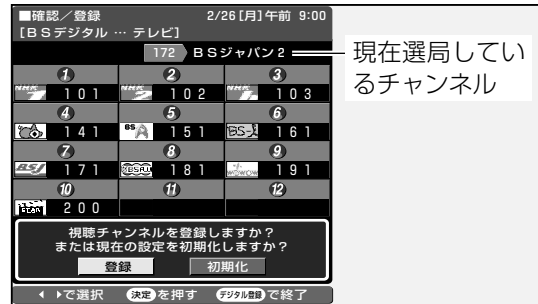
登録したいチャンネルを登録する

■ 各デジタル放送ネットワークの各メディア(テレビ／ラジオ／データ)につき、お好みのチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1〜12)に登録できます。

フタを閉じたところ

1

① 登録したいチャンネルを選局する

② デジタル登録 を押す

③ ◀▶で「登録」を選び、決定を押す

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

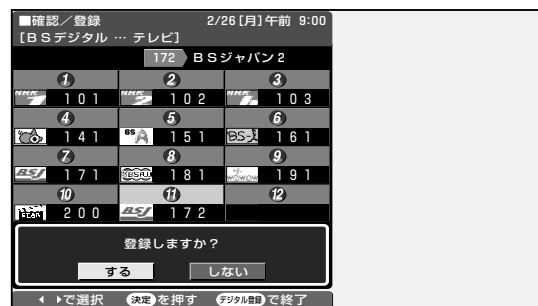
2

登録したいチャンネルボタン(1〜12)を押す

●上下左右カーソルボタンで登録したいチャンネルに移動し、決定ボタンを押しても選べます。

[例] 「BSジャパン2」(172チャンネル)を⑪に登録する場合は、チャンネルボタン⑪を押します。

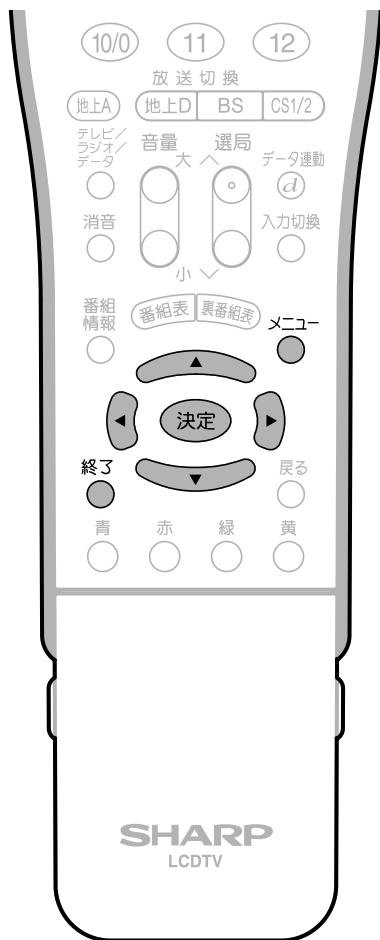
●登録確認画面が表示されます。

3

◀▶で「する」を選び、決定を押す

電子番組表やデジタルメニューを半透明で表示する

■ 背景の映像を見ながらメニュー操作などをしたいとき、デジタルメニューや電子番組表などを半透明で表示させることができます。

フタを閉じたところ

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

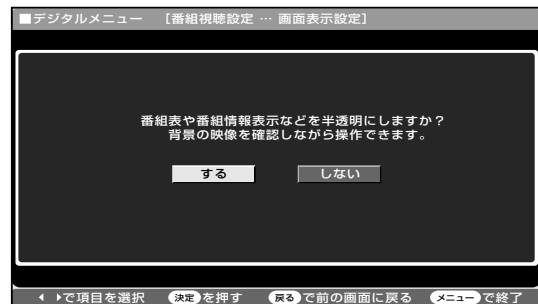
③ ▲▼で「画面表示設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………デジタルメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」……半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

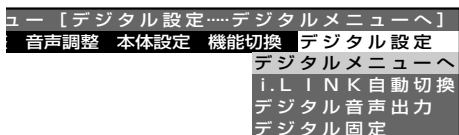
3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

デジタルメニュー画面の表示手順

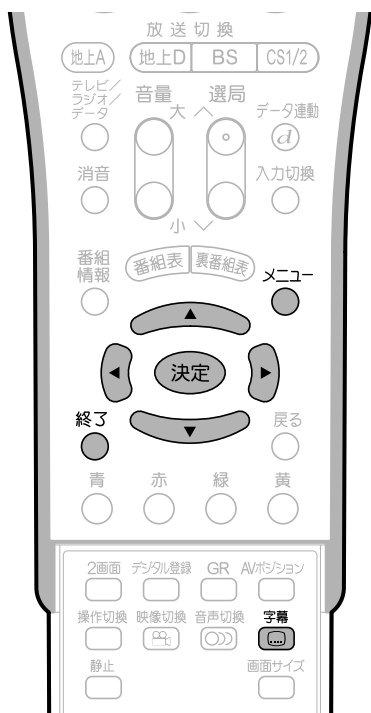
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ

③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

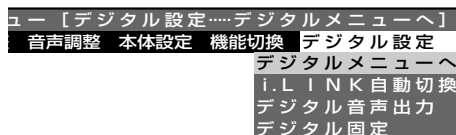
ュー ［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.L I N K自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

字幕表示の設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

フタを開けたところ

字幕ボタンについて
- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

デジタルメニュー画面の表示手順
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定·····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

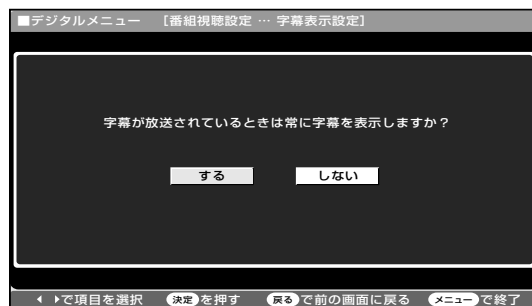
② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）
「しない」……リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定

暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

暗証番号を設定する

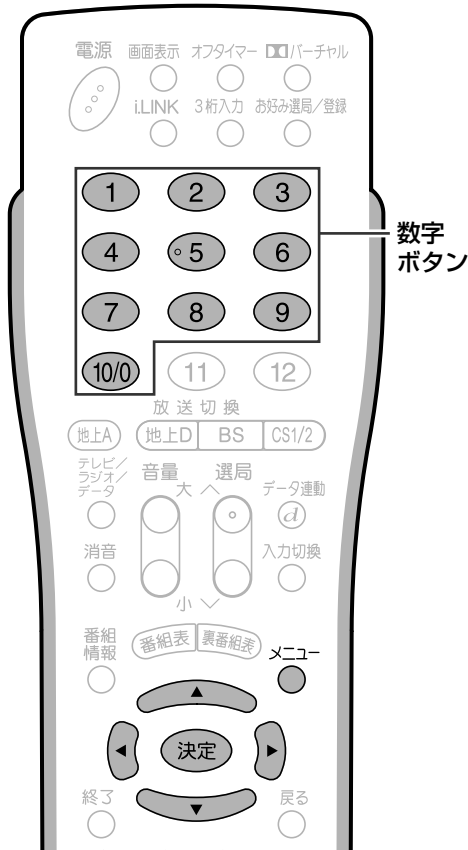
■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

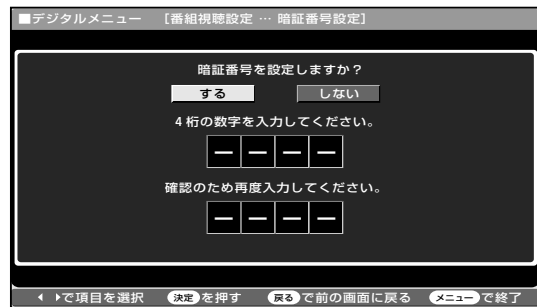
ュー ［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

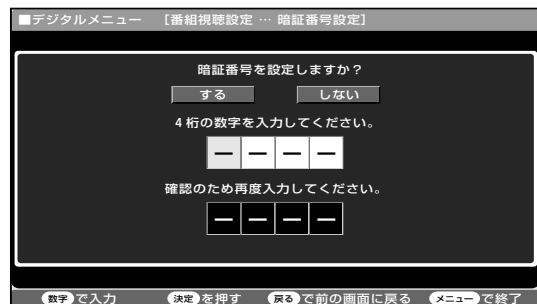
② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

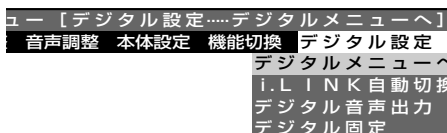
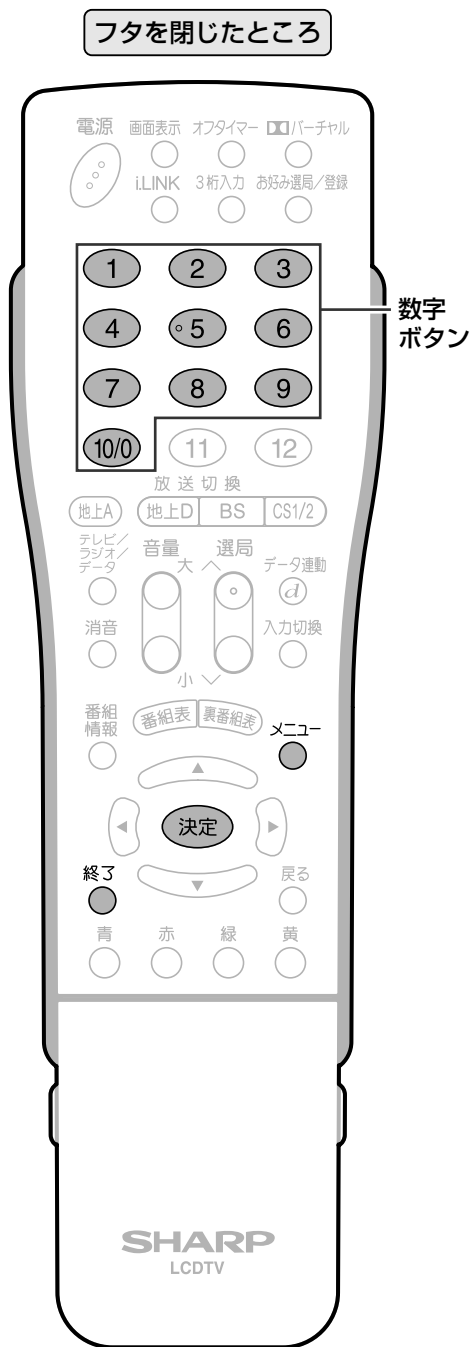
2

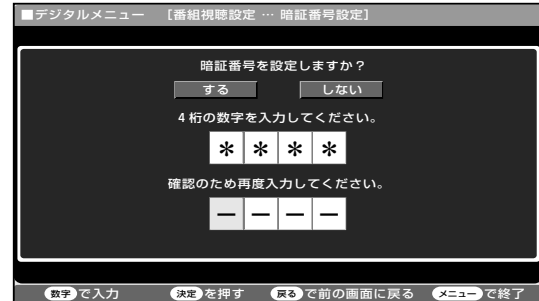
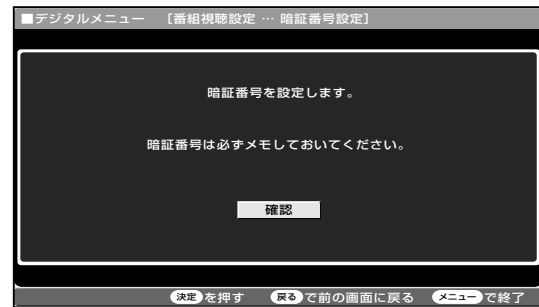
◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定（手順**3**）に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせずに終了します。

3

数字ボタン（1～10/0）で、新しい暗証番号を入力する

● 左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁ずつ削除することができます。

次ページへ

次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン(1～10/0)で入力する

●間違った番号を入力した場合は、手順3からやりなおしになります。

5 ① 暗証番号をメモする
② 「確認」で（決定）を押す

●これで暗証番号の設定は完了です。

6 （メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

● 暗証番号は必ずメモしてください。

暗証番号を忘れたときは

● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。(2004年6月現在)

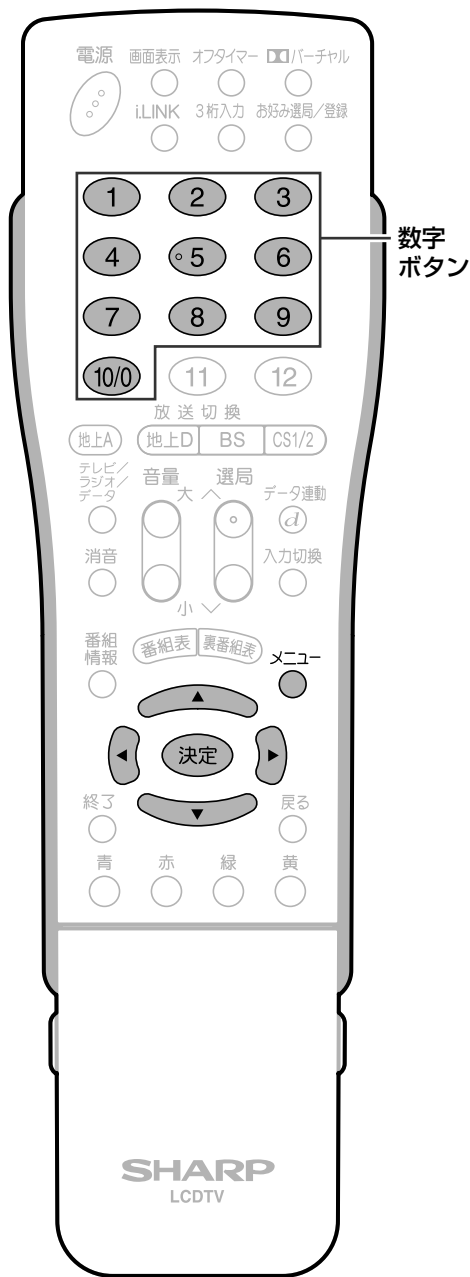
フタを閉じたところ

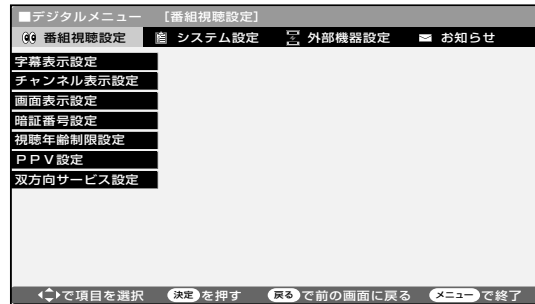
デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

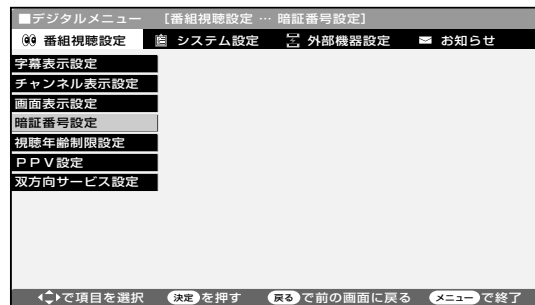
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

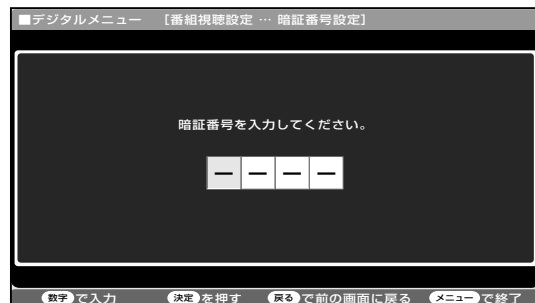
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.L I N K自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

暗証番号を変更するとき

1 デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

2

① ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

② ▲▼で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

●暗証番号入力画面が表示されます。

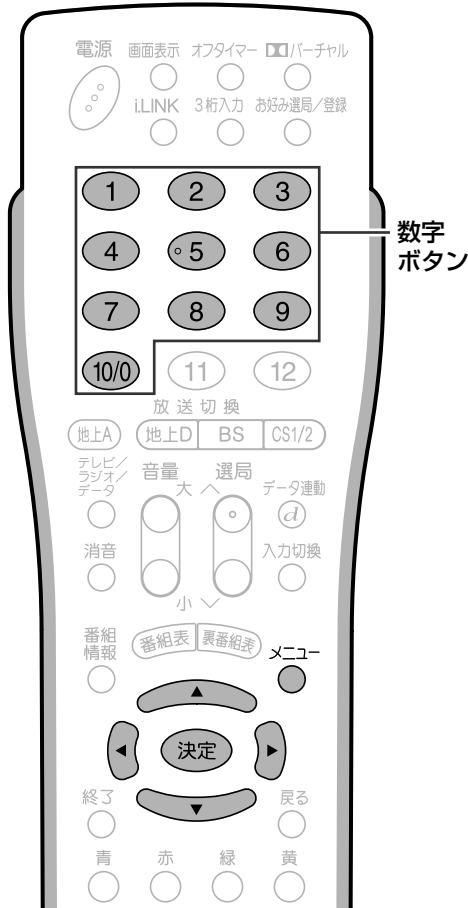
3 数字ボタン（1〜10/0）で暗証番号を入力する

●暗証番号を入力すると、**105**ページ「暗証番号を設定する」の手順2の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

安心して使うための設定(つづき)

視聴年齢制限を設定する

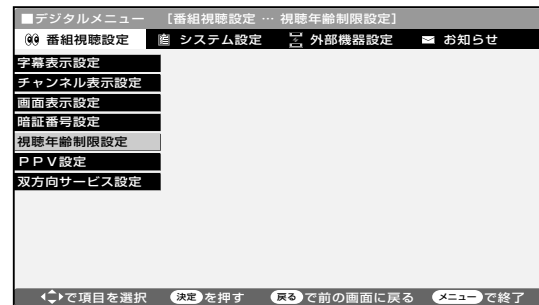
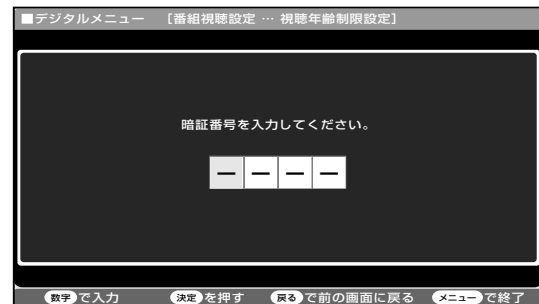
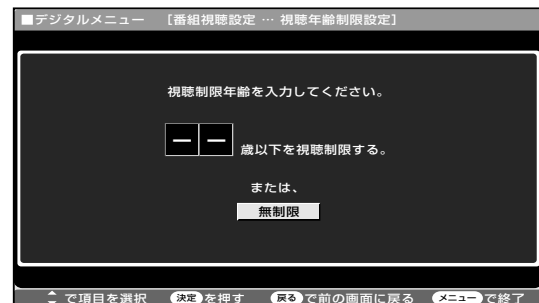
■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**105**ページ)をしておくことが必要です。

フタを閉じたところ

1

① デジタルメニュー画面を表示する(表示のしかたは左下を参照ください)

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3

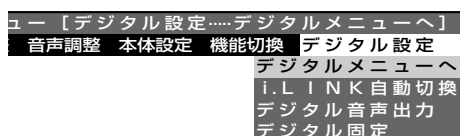
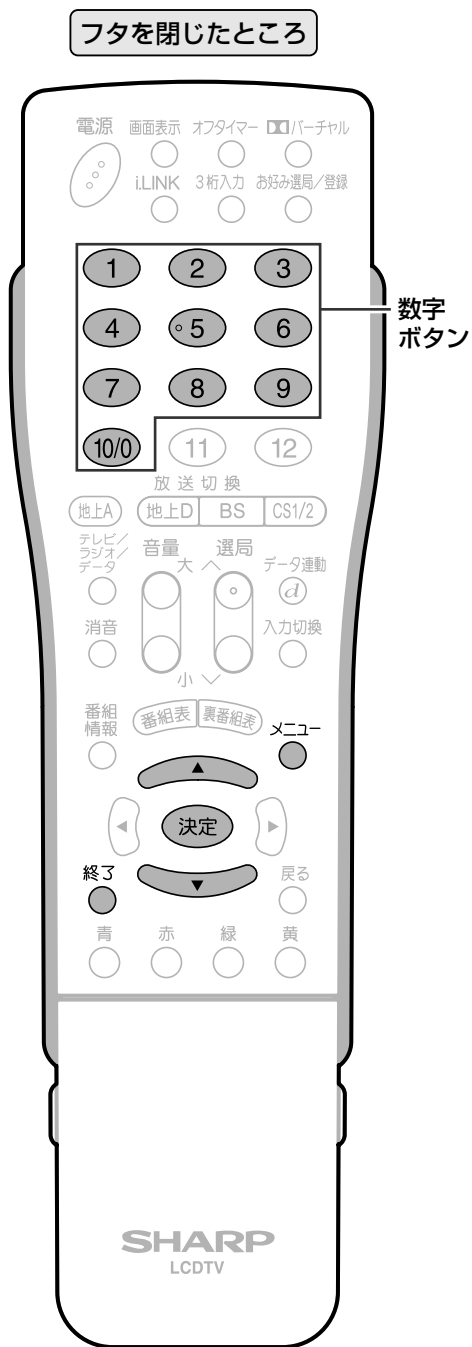
▲で年齢の入力欄を選ぶ

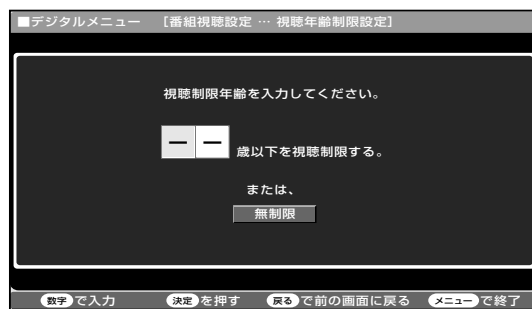
次ページへ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー [デジタル設定…‥デジタルメニューへ]
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.L I N K自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

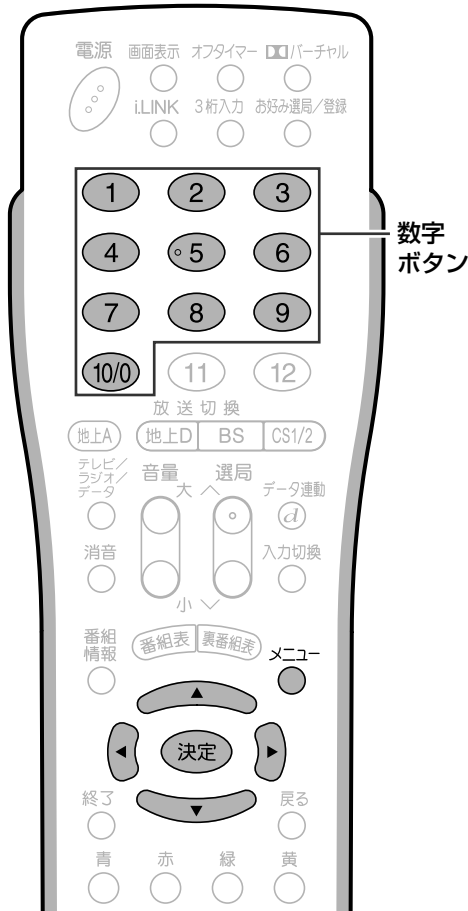
フタを閉じたところ

数字ボタン

4 **制限する年齢を数字ボタン(1～10/0)で入力し、(決定)を押す**

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

5 **(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す**

安心して使うための設定(つづき)

PPV制限を設定する

■ 暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないように設定できます。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**105**ページ)をしておくことが必要です。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定…‥デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

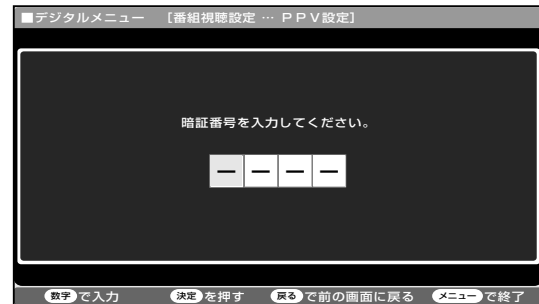
1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

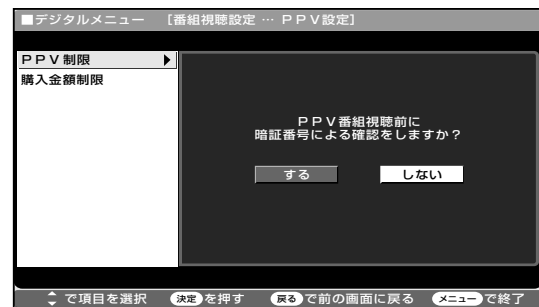
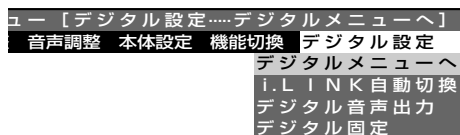
② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

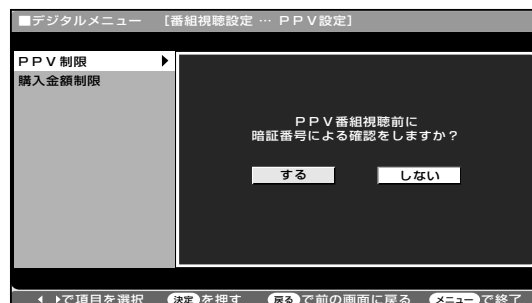
③ ▲▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する

●PPV設定画面が表示されます。

3

▲▼で「PPV制限」を選び、決定を押す

次ページへ

4 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」…PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

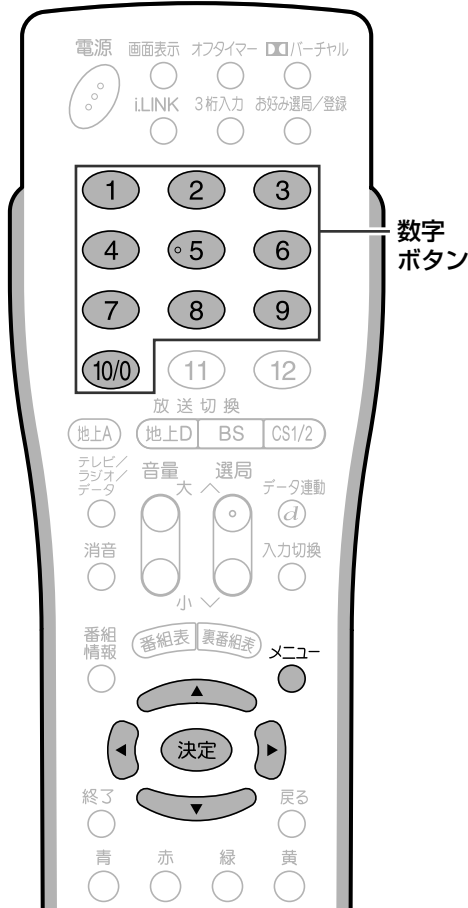
5 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

BS・110度CS デジタル放送を楽しむ

安心して使うための設定（つづき）

安心して使うための設定(つづき)

購入金額制限を設定する

■ PPV番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**105**ページ)をしておくことが必要です。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定‥‥デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する(表示のしかたは左下を参照ください)

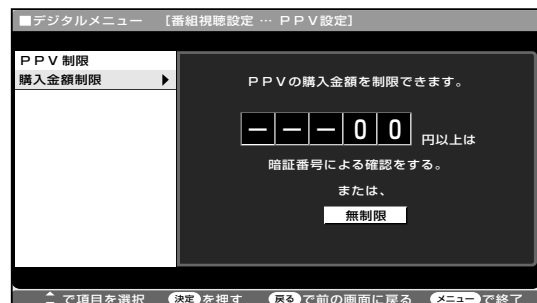
② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

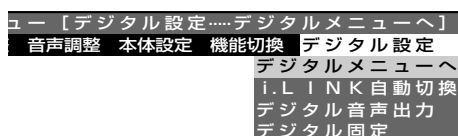
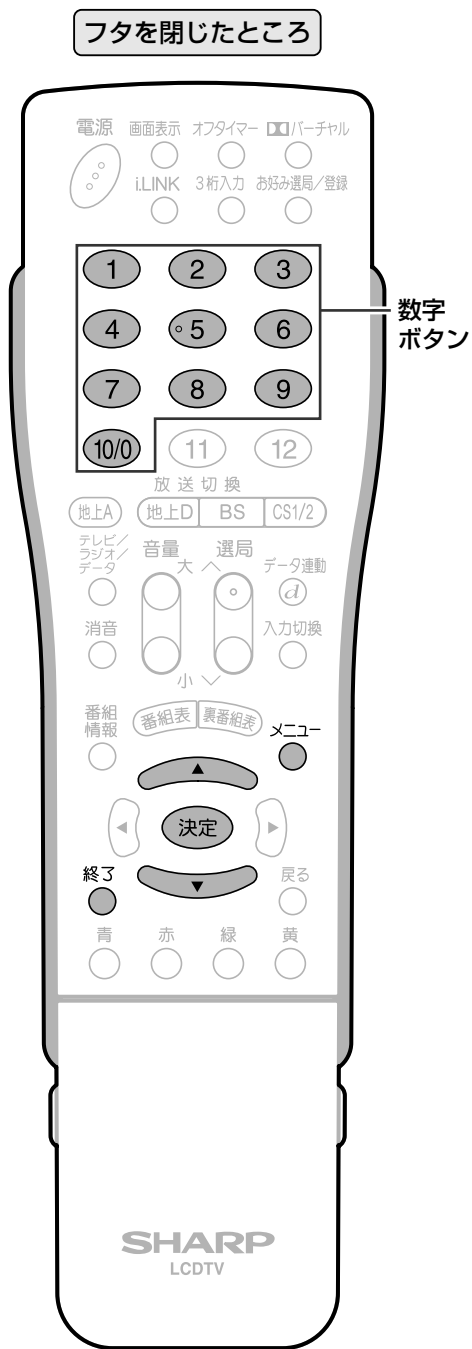
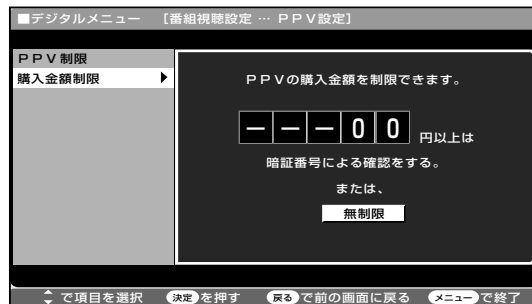
③ ▲ ▼で「PPV設定」を選び、決定を押す

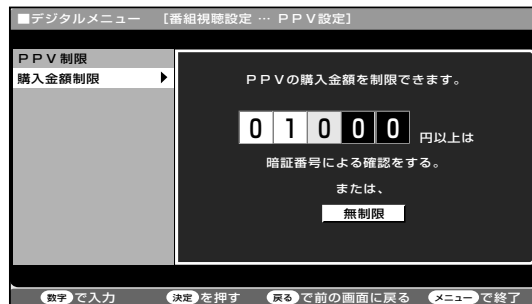
2

数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する

3

▲ ▼で「購入金額制限」を選び、決定を押す

次ページへ

フタを閉じたところ

4 で購入金額の入力欄を選ぶ

5 購入金額の上限を数字ボタン(1〜10/0)で入力し、決定を押す

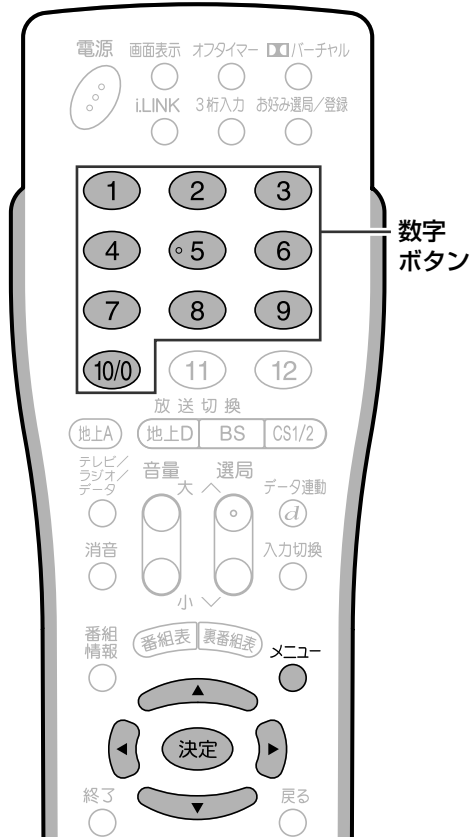
〈例〉1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

6 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定(つづき)

双方向サービスの利用を制限する

■ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**105**ページ)をしておくことが必要です。

フタを閉じたところ

回線使用時の画面表示について

● 双方向サービス設定で回線への接続を「しない」に設定した場合、データ送信時につぎのようなアイコンが画面表示されます。

回線コール中のアイコン… グレー

回線使用中のアイコン…… ブルー

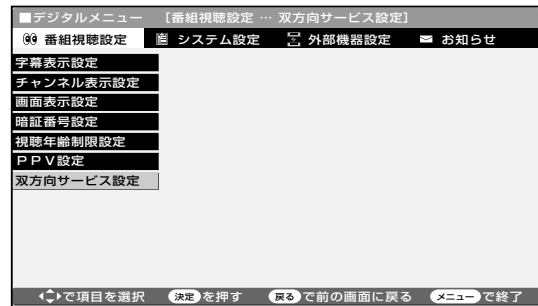
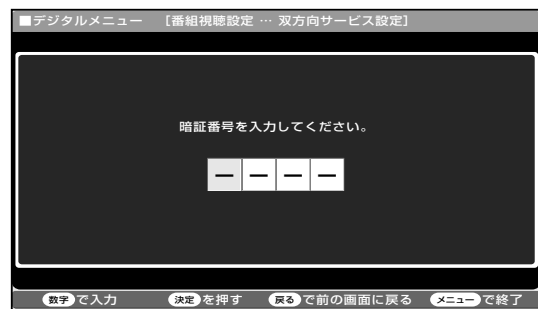
画面表示位置
(画面右下に表示されます。)

1

① デジタルメニュー画面を表示する

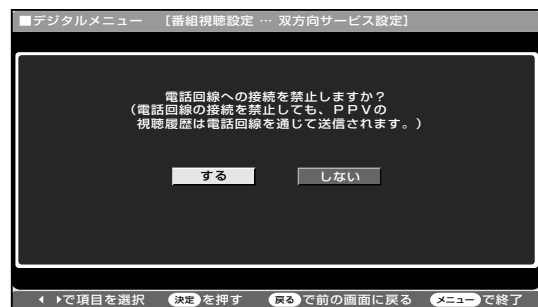
② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼で「双方向サービス設定」を選び、決定を押す

2

数字ボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

●双方向サービス設定画面が表示されます。

3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電話回線への接続を禁止します。
「しない」…電話回線への接続を禁止しません。

お知らせを見る

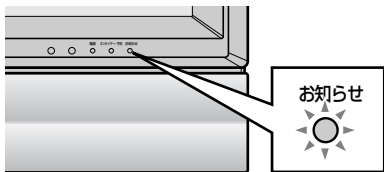
受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

受信メッセージを見る

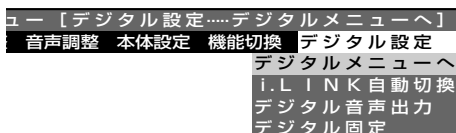
■ 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

フタを閉じたところ

お知らせランプについて

● 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、本体前面のお知らせランプが点灯します。

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定‥‥デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

［例］ダウンロード成功のお知らせを見る

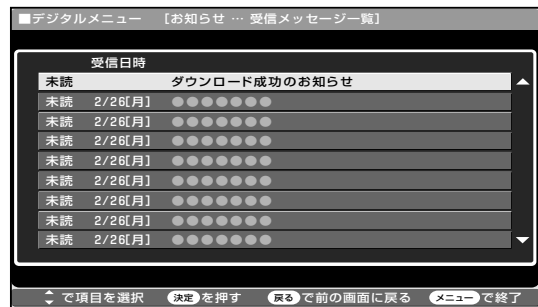
1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

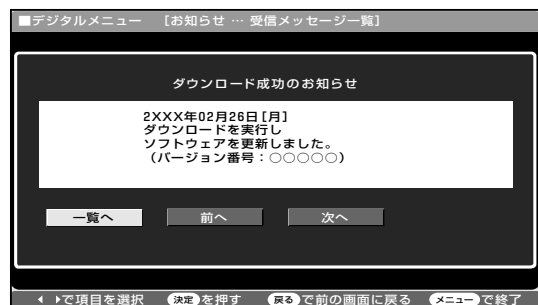
② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

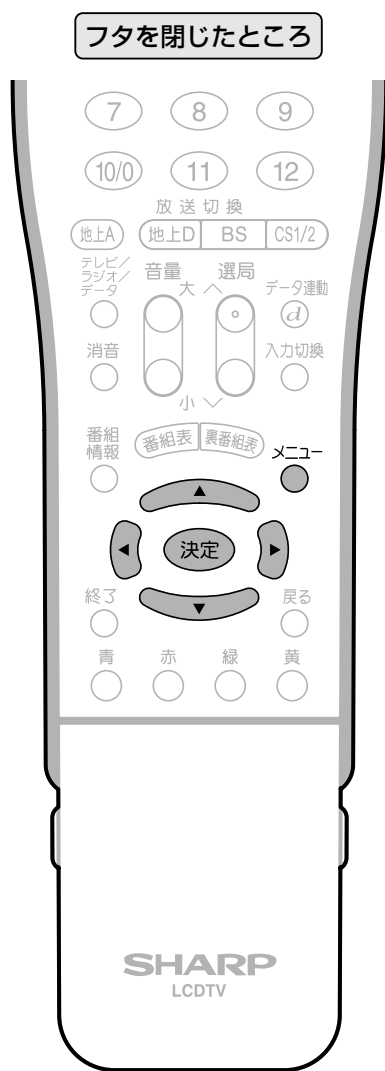
2

見たいメッセージを▲▼で選び、決定を押す

3

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

お知らせを見る(つづき)

ボードを表示して情報を見る

■ 送られている、CS各ネットワーク(CS1、CS2)の掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

フタを閉じたところ

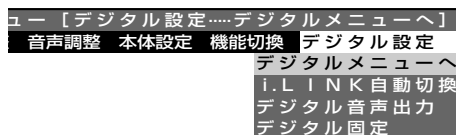
デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

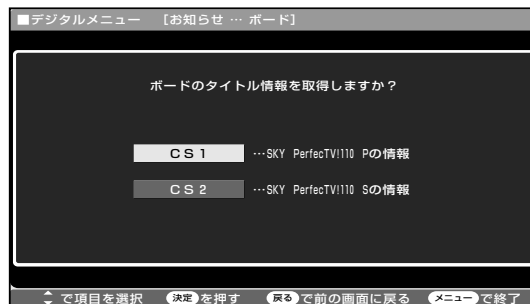
ュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① **デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）**

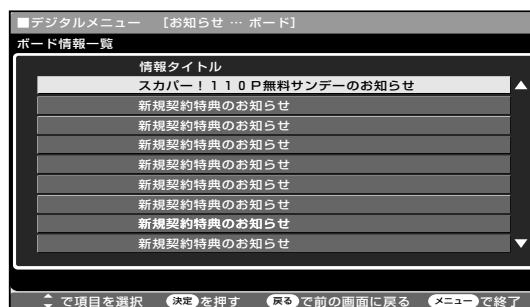
② **◀▶で「お知らせ」を選ぶ**

③ **▲▼で「ボード」を選び、決定を押す**

2

表示したいネットワークを▲▼で選び、決定を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます。

3

見たい情報のタイトルを▲▼で選び、決定を押す

（スカパー！110Pのボード表示例）

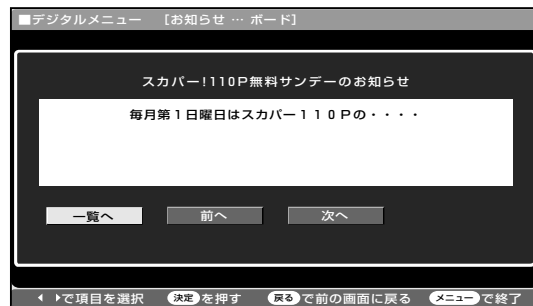
次ページへ

フタを閉じたところ

4

① **メッセージの内容を確認する**

② **「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す**

5

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

お知らせを見る(つづき)

受信機レポートを見る

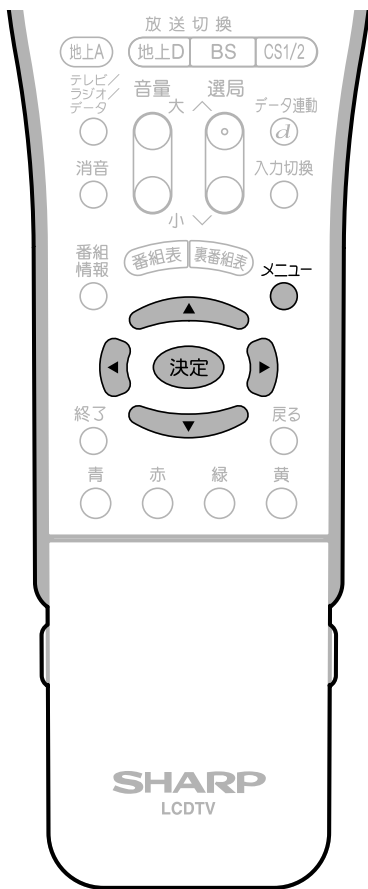
■ B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

フタを閉じたところ

おしらせ
● アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定·····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

[例] アップロード失敗のレポートを見る

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

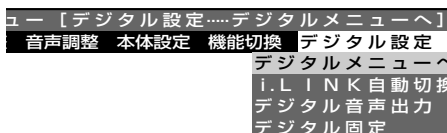
③ ▲▼で「受信機レポート」を選び、決定を押す

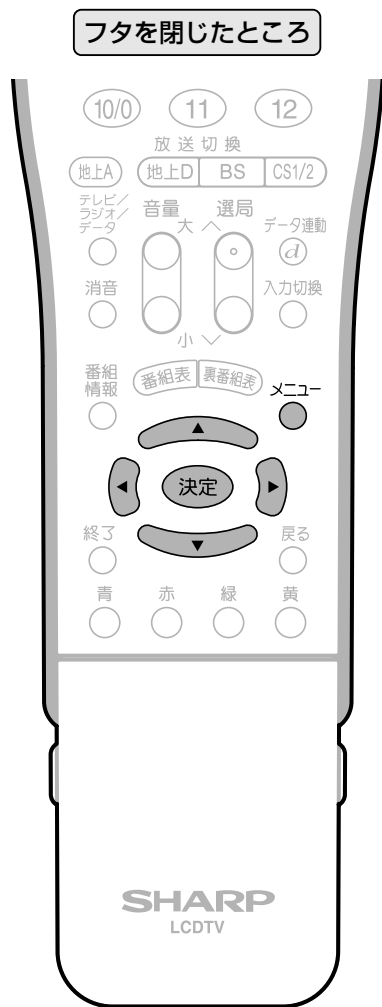
2

見たいレポートを▲▼で選び、決定を押す

3

① レポートの内容を確認する

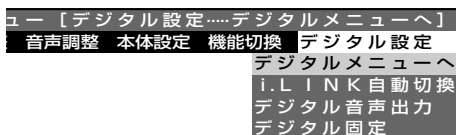
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを◀▶で選び、決定を押す

B-CASカード番号を見る

■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

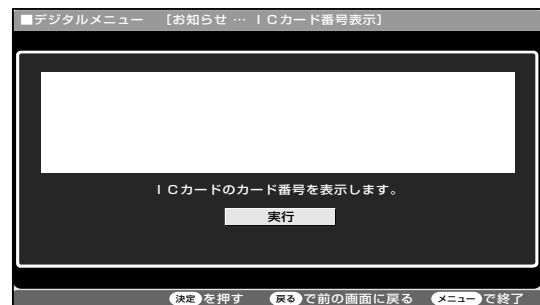
ュー ［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① **デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）**

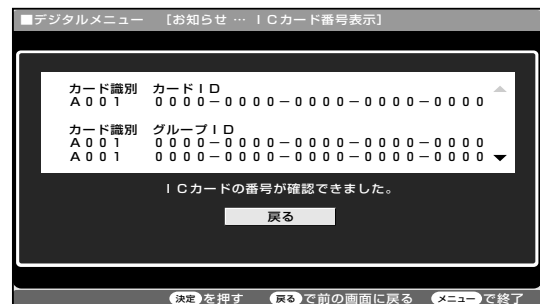
② **◀▶で「お知らせ」を選ぶ**

③ **▲▼で「ICカード番号表示」を選び、決定を押す**

2

「実行」で決定を押し、ICカード番号表示を実行する

3

① **カード番号を確認する**

② **確認後、「戻る」で決定を押す**

カード識別… メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。

お知らせを見る(つづき)

PPV購入履歴を見る

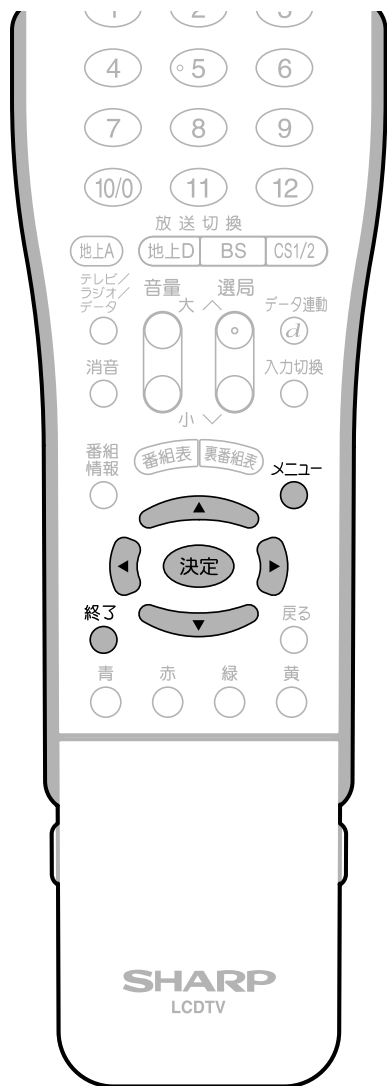
■ 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

フタを閉じたところ

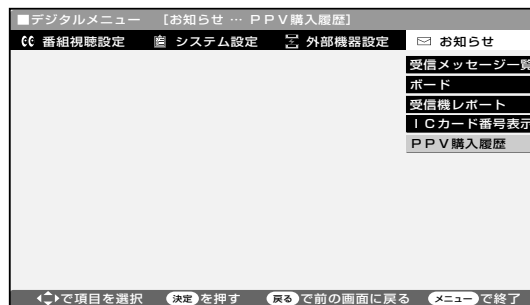
デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定……デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

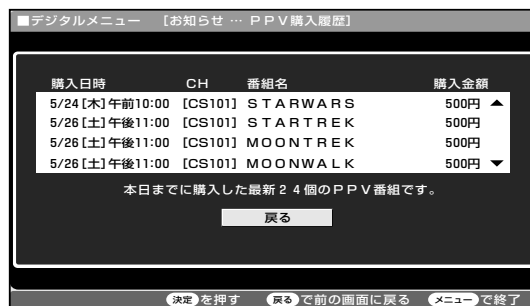
1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

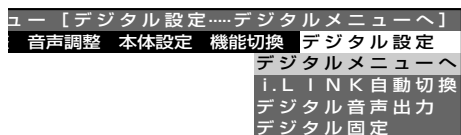
② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

●PPV購入履歴画面が表示されます。

2

① 画面を確認する

② 確認後、「戻る」で決定を押す

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

フタを閉じたところ

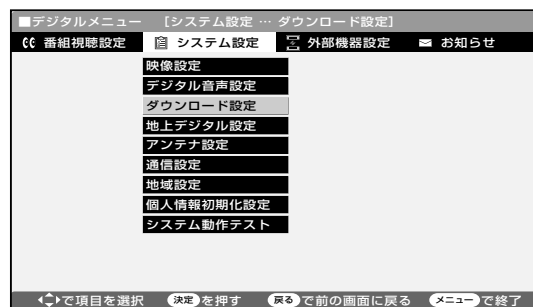
- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、待機状態(電源ランプが赤色点灯)で、本機内部の排気用ファンが回り始めることがあります。この場合は、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にファンが止まります。

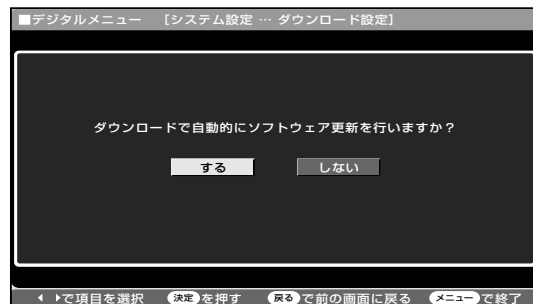
1

① **デジタルメニュー画面を表示する**

② **◀▶で「システム設定」を選ぶ**

③ **▲▼で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す**

2

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

3

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。

次ページへつづく

ダウンロードを行う（つづき）

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

手動でダウンロードを行うとき

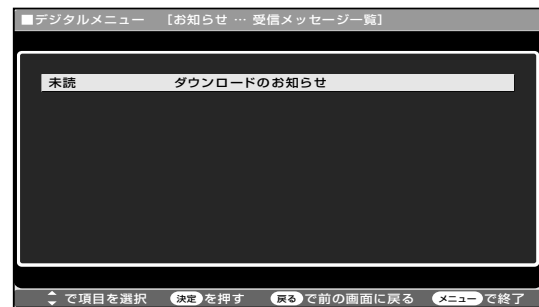
1

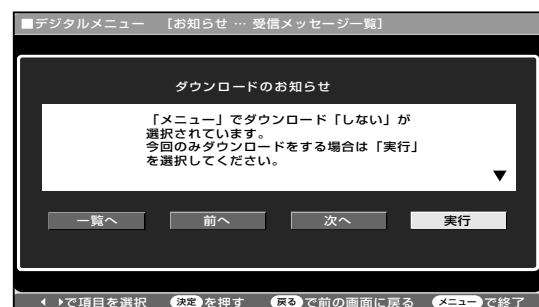
① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲▼で「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

2

▲▼で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

3

画面の表示内容を確認してから、▶で「実行」を選び、決定を押す

次ページへ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

フタを閉じたところ

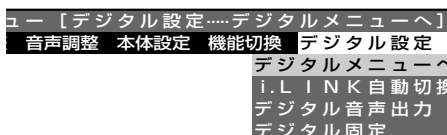
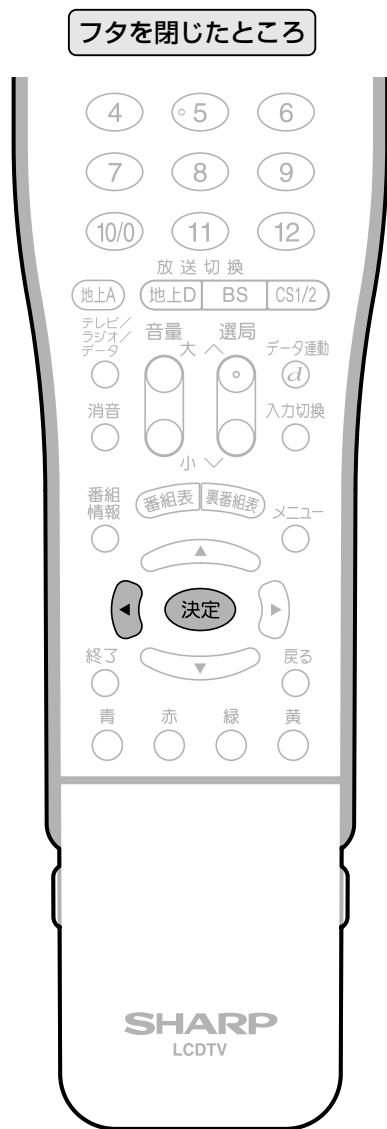
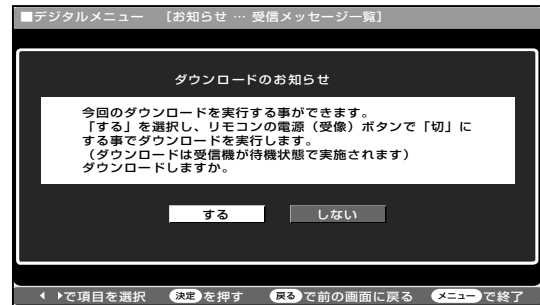
4 画面の表示内容を確認してから、◀で「する」を選び、を押す

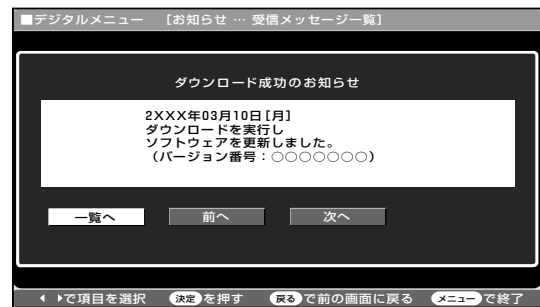
■デジタルメニュー　[お知らせ … 受信メッセージ一覧]

ダウンロードのお知らせ

今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。

する　しない

◀ ▶で項目を選択　決定を押す　戻るで前の画面に戻る　メニューで終了

おしらせ
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、電源待機状態にしてください。

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**122**ページ手順**1**〜**2**の操作を行ってください。

■デジタルメニュー　[お知らせ … 受信メッセージ一覧]

ダウンロード成功のお知らせ

2XXX年03月10日[月]
ダウンロードを実行し
ソフトウェアを更新しました。
（バージョン番号：○○○○○○○）

一覧へ　前へ　次へ

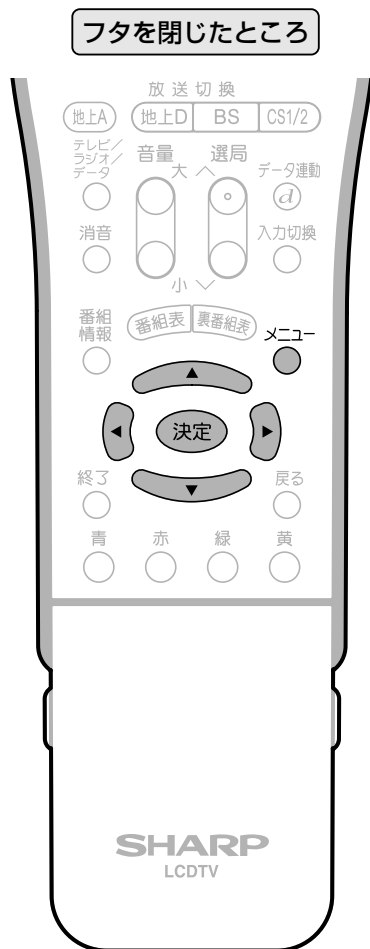
◀ ▶で項目を選択　決定を押す　戻るで前の画面に戻る　メニューで終了

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、待機状態(本体前面の電源ランプが赤色点灯)で、ファンが回り始めることがあります。この場合は、ソフトウェアの受信、書換えが終わると、自動的にファンが止まります。

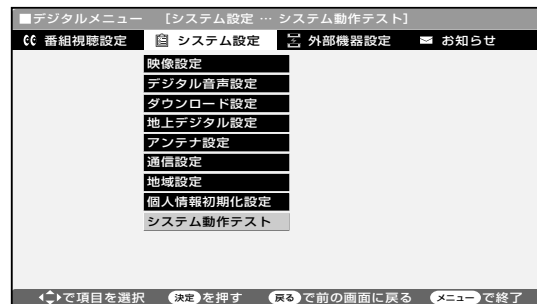
システム動作テストを行う

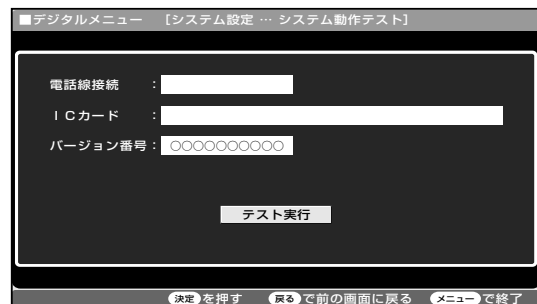
本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

フタを閉じたところ

1

① **デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）**

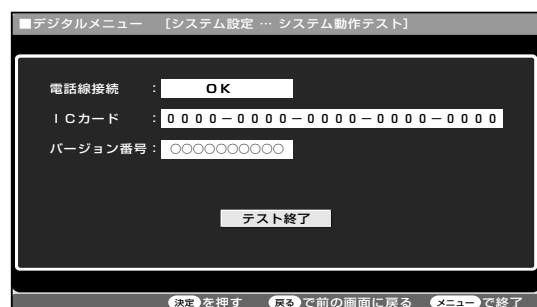
② **◀▶で「システム設定」を選ぶ**

③ **▲▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す**

2

「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

① **結果を確認する**

② **「テスト終了」で決定を押す**

システム動作テストに失敗したときは

電話線接続

電話回線の接続と設定を確認してください。 ⇨ 1. 準備編 **14**・**44**ページ

ICカード

B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

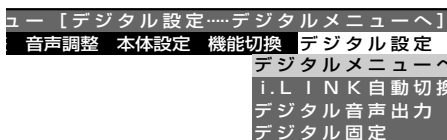
⇨ 1. 準備編 **43**ページ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

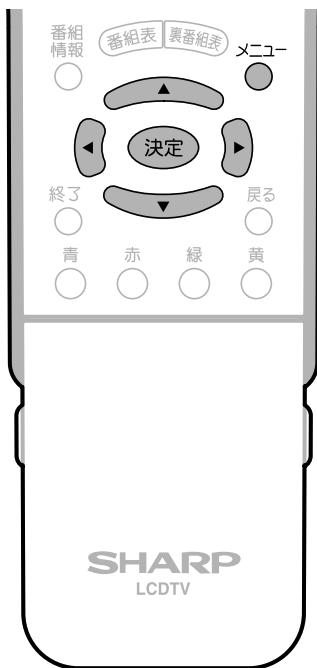
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定‥‥デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

本機を譲渡・廃棄するとき

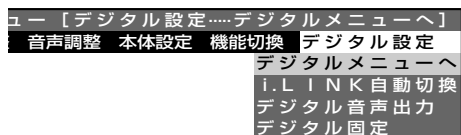
個人情報を初期化する

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

フタを閉じたところ

データ放送の双方向サービスなどで、本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

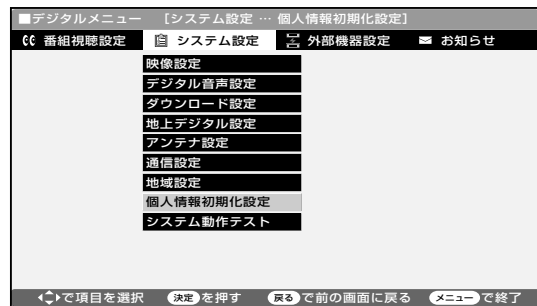
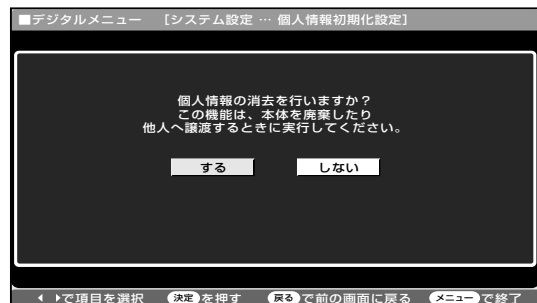
デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

［例］個人情報初期化を実行する

1 **デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）**

2 **① ◀▶で「システム設定」を選ぶ**

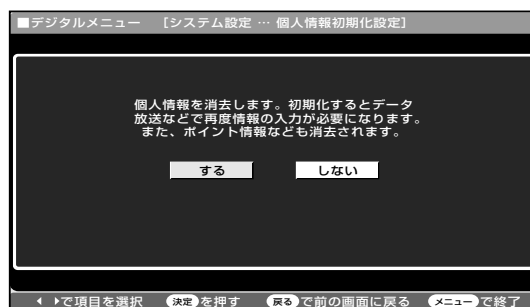
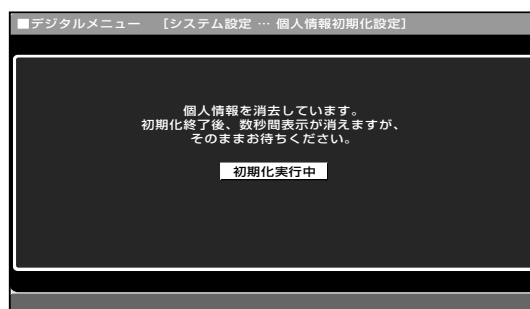
② ▲▼で「個人情報初期化設定」を選び、決定を押す

3 **◀で「する」を選び、決定を押す**

次ページへ

次ページへつづく

本機を譲渡・廃棄するとき(つづき)

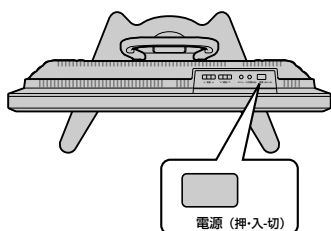
フタを閉じたところ

4 ◀で「する」を選び、(決定)を押す

●表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

●初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが
解除されます。

5 本体の を押し、電源を切る

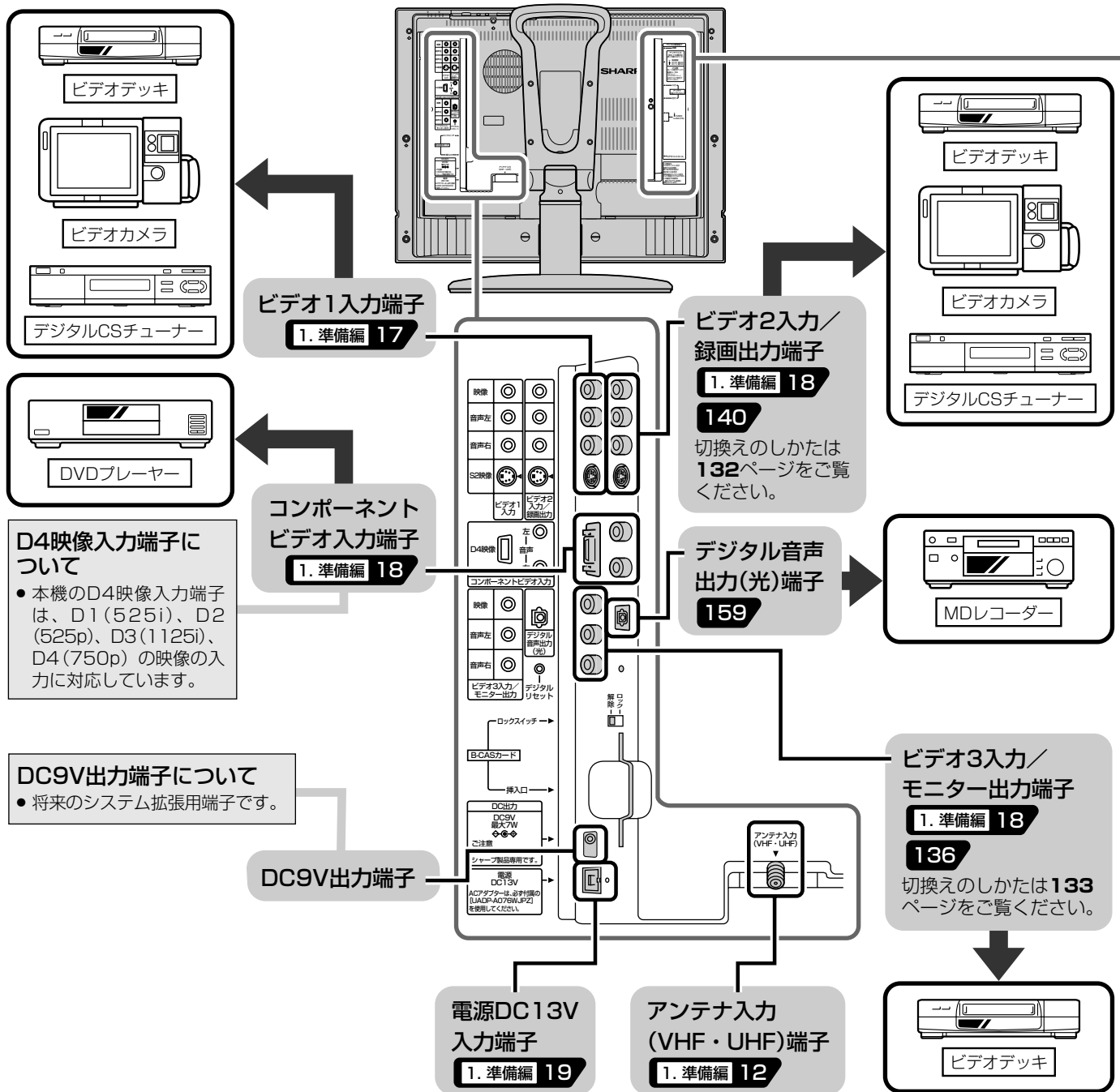
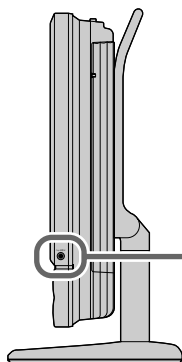
おしらせ

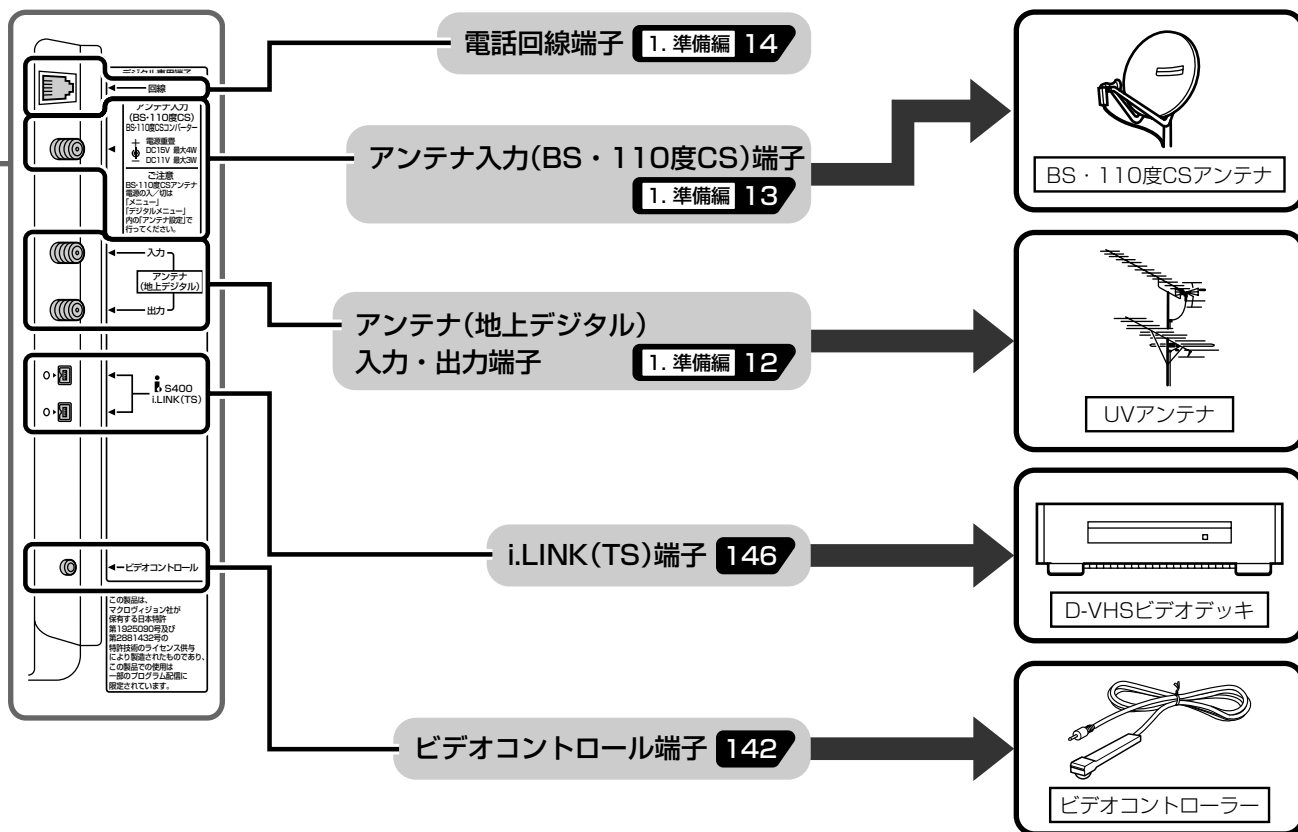
● お客さまが設定した情報内容(暗証番号など)がすべて初期化されます。

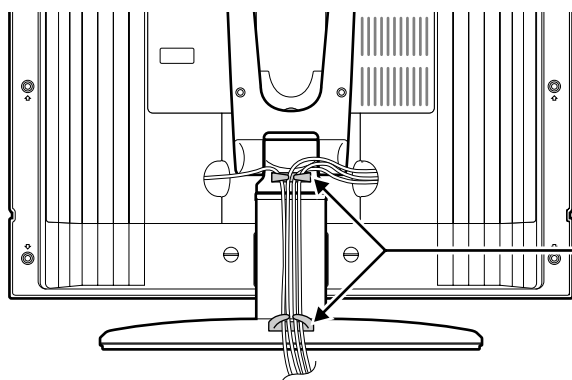
▼本体天面

他の機器をつないで使う

● この章では、お手持ちのAV機器などをつないで再生映像を楽しんだり、地上アナログ放送やデジタル放送の番組を録画したりするときに必要なことがらについて説明しています。

端子のなまえとはたらき

の中の数字は、接続方法や使いかたを説明しているおもなページです。

お手持ちのヘッドホンまたは市販のヘッドホンをご用意ください。

- ヘッドホンはステレオミニプラグのものしか直接、接続できません。詳しいことは販売店などにご相談ください。
- スピーカーからの音声が消え、ヘッドホンだけで音声が楽しめます。
- ヘッドホンを使わないときは、必ずヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン音声の消音はできません。
- ヘッドホン使用時は、バーチャルドルビーサラウンド機能の効果は得られません。

ケーブル処理のしかた

各端子に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプを使用して処理してください。

接続上のご注意

- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜き取ってください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため使わない機器の電源は切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

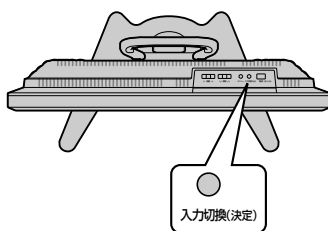
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ

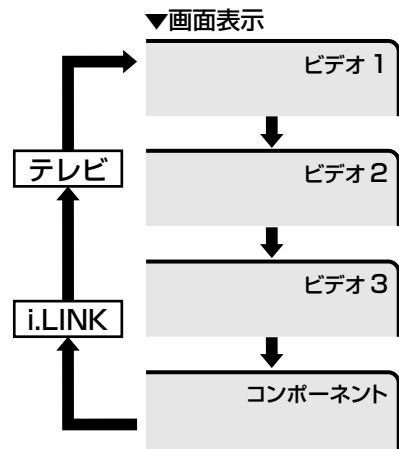
ビデオ機器の再生映像を見る

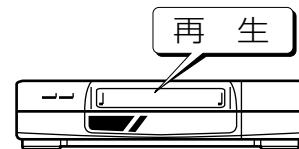
■ 本機の各ビデオ入力端子に接続した、ビデオ機器の再生映像を視聴するには、機器を接続したビデオ入力の画面に切り換えてください。
（ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの接続については、1. 準備編 **17**・**18**ページをご覧ください。）

フタを閉じたところ

▼本体天面

- 本体天面操作部の入力切換ボタンでも、入力を切り換えることができます。
- 再生するビデオ機器の取扱説明書を併せてお読みください。

1 入力切換 を押し、切り換えたいビデオ入力を選ぶ

▼画面表示

- ボタンを押すたびに、切り換わります。
- ビデオ2は端子の設定を「録画出力」に切り換えることができます。このときは、入力切換ボタンでビデオ2は選べません。
（**132**ページ参照）
- ビデオ3は端子の設定を「モニター出力固定」または、「モニター出力可変」に切り換えることができます。このときは、入力切換ボタンでビデオ3は選べません。
（**133**ページ参照）

2 ビデオ機器を再生状態にする

再生映像をすっきりさせる

「ノイズクリーン」機能を使う

- **45**ページをご覧ください。

DVD映像のチラツキが気になるとき(フィルムモード)

■ DVDなど、映画ソフトの映像がチラついて気になるときは、フィルムモードを「する」に設定すると動きのなめらかな映像で見ることができます。

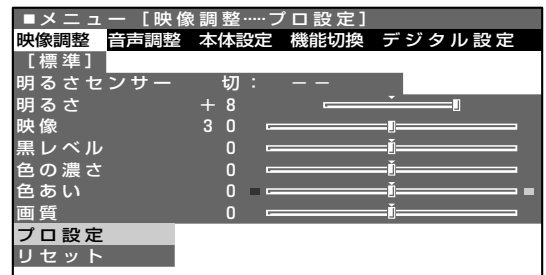
フタを閉じたところ

［例］フィルムモードを「する」に設定する

1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「映像調整」を選ぶ

③ ▲▼で「プロ設定」を選び、決定を押す

2

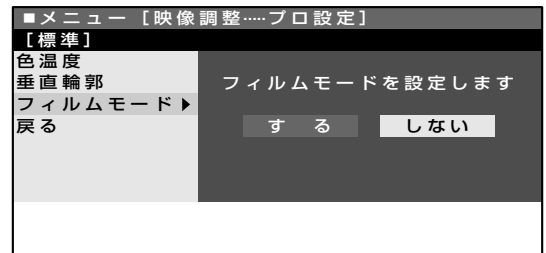
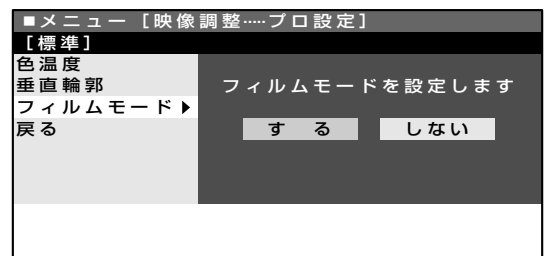
▲▼で「フィルムモード」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」を選び、決定を押す

4

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- フィルムモードはDVD再生など、映画ソフトの映像の動きをなめらかにする機能です。通常は「しない」にしてください。
- 525i以外および2画面、静止メモの時は、選択できません。

入力選択の設定

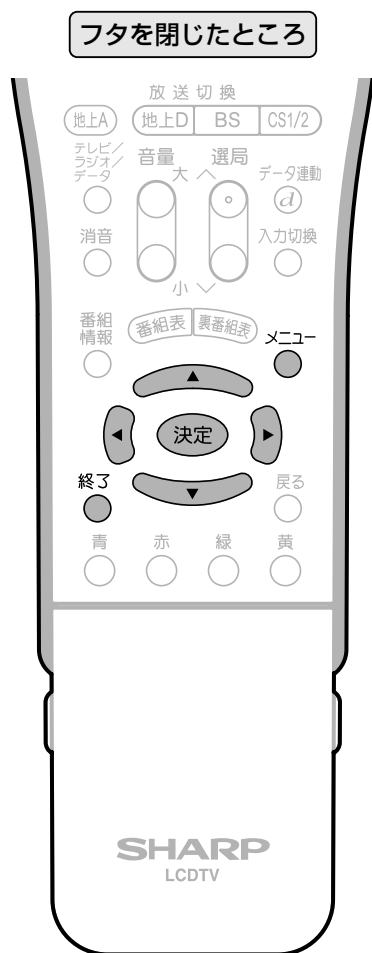
ビデオ2入力端子の設定

■ ビデオ2端子は、2種類の切換え設定ができます。ご使用に合わせて切換え設定を行ってください。

ビデオ2入力：
映像、音声入力端子として使用するとき。

録画出力：
デジタル放送録画時の出力端子として使用するとき。

※ 工場出荷時は「ビデオ2入力」に設定されています。

フタを閉じたところ

- 録画出力(ビデオ2入力兼用)は、デジタル放送用の録画端子です。地上アナログ放送や、ビデオ1入力、コンポーネントビデオ入力から入力された映像を録画するときは、ビデオ3入力／モニター出力に録画機器を接続してください。
- 「録画出力」に設定したときは、入力切換ボタンでビデオ入力を切り換えても、ビデオ2はスキップされます。
- オンタイマー(**55**ページ)のチャンネル設定を「ビデオ2」(入力2)にしたときは、「ビデオ2切換」の設定はできません。

[例]「録画出力」に設定する

1

① (メニュー)を押し、テレビメニュー画面を表示する

② (◀)(▶)で「機能切換」を選ぶ

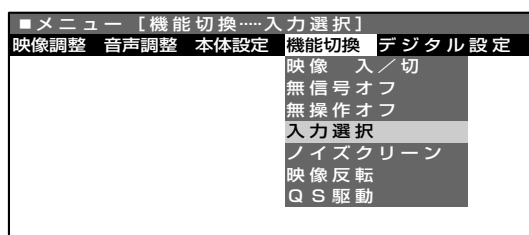
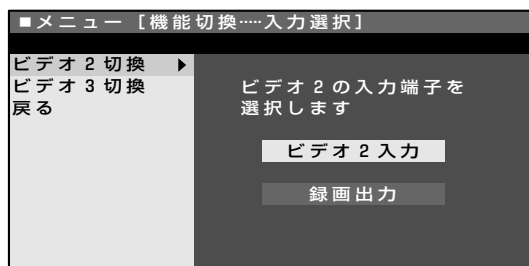
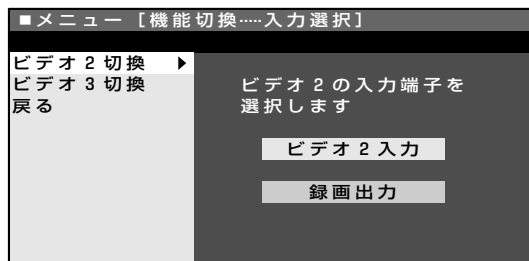
③ (▲)(▼)で「入力選択」を選び、(決定)を押す

2

(▲)(▼)で「ビデオ2切換」を選び、(決定)を押す

3

(▲)(▼)で「録画出力」を選び、(決定)を押す

4

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

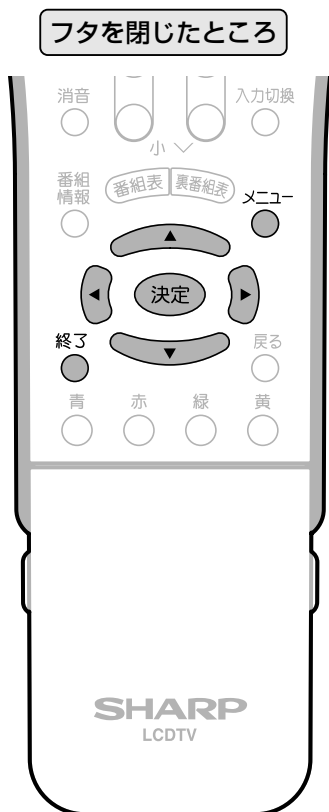
ビデオ3入力端子の設定

■ ビデオ3端子は、3種類の切換え設定ができます。ご使用に合わせて切換え設定を行ってください。

ビデオ3入力：
映像、音声入力端子として使用するとき。

モニター出力固定：
モニター出力端子として使用するとき。固定に設定するとモニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整しても出力のレベルは変化しません。

モニター出力可変：
モニター出力端子として使用するとき。可変に設定すると本体のスピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。

※ 工場出荷時は「ビデオ3入力」に設定されています。

- 「モニター出力（固定または可変）」に設定したときは、入力切換ボタンでビデオ入力を切り換えても、ビデオ3はスキップされます。
- オンタイマー（**55**ページ）のチャンネル設定を「ビデオ3」（入力3）にしたときは、「ビデオ3切換」の設定はできません。

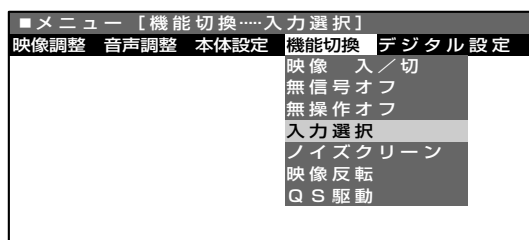
［例］「モニター出力可変」に設定する

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

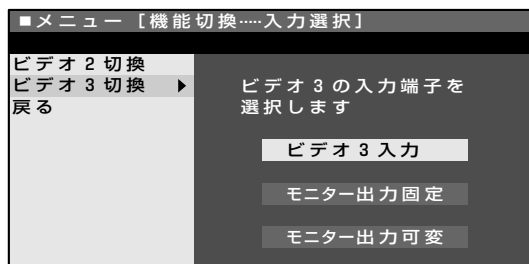
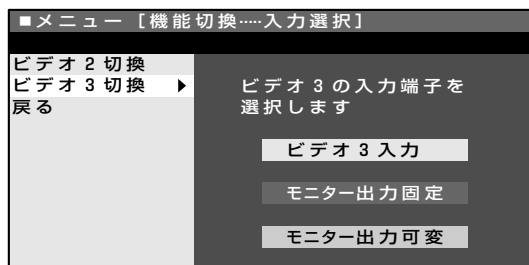
③ ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

2

▲▼で「ビデオ3切換」を選び、決定を押す

3

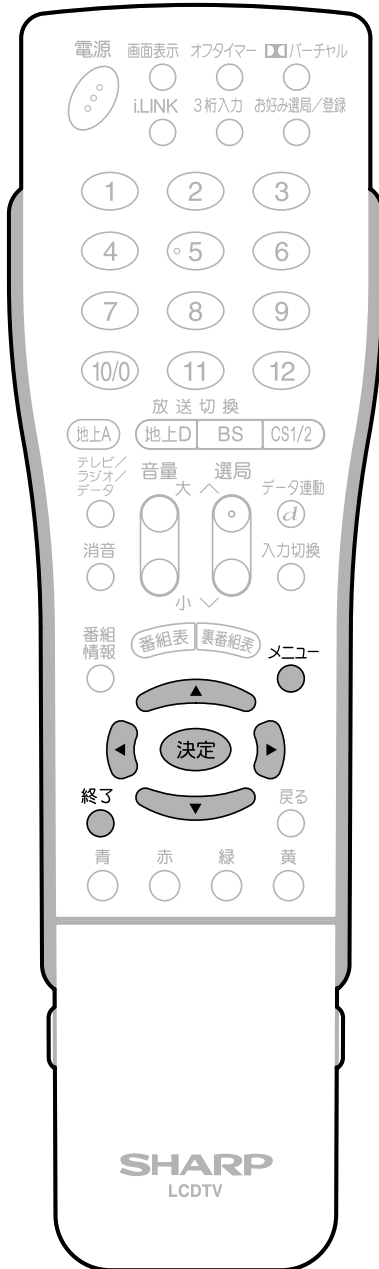
▲▼で「モニター出力可変」を選び、決定を押す

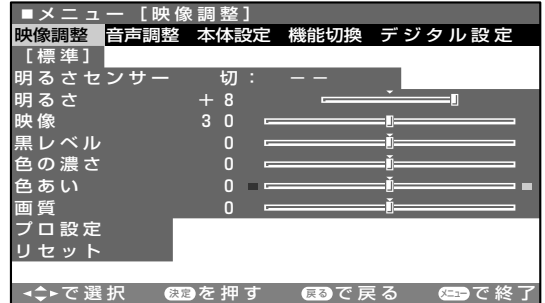
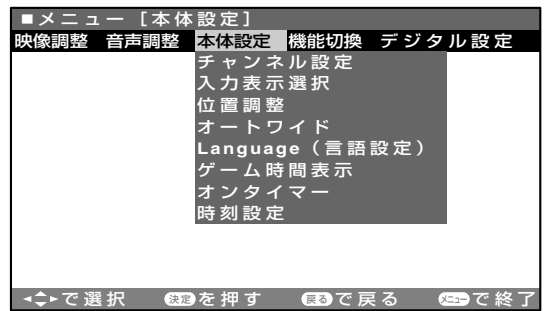
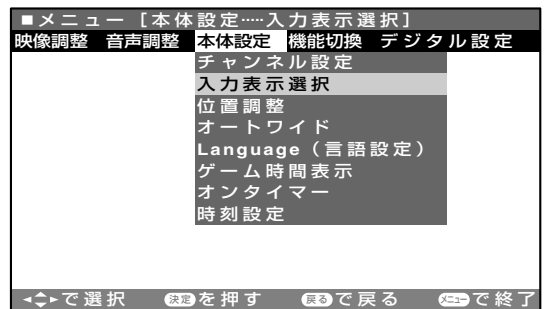
4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

外部機器に表示を合わせる

入力表示を選択する

■ ビデオ1〜3入力端子とコンポーネントビデオ入力端子に接続している外部機器に合わせて、画面に表示する機器の名称を選択することができます。

フタを閉じたところ

[例] ビデオ3の表示を「ゲーム」に変える

1 メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

2 ◀▶で「本体設定」を選ぶ

3 ▲▼で「入力表示選択」を選び、決定を押す

次ページへ

4 [▲][▼]で「ビデオ3表示」を選び、(決定)を押す

5 [▲][▼][◀][▶]で「ゲーム」を選び、(決定)を押す

■メニュー ［本体設定‥‥入力表示選択］

ビデオ１表示	ビデオ３	ビデオ
ビデオ２表示	ＣＡＴＶ	Ｃ Ｓ
ビデオ３表示 ▶	ＤＶＤ	ゲーム
コンポーネント表示	ムービー	Ｄ－ＶＨＳ
戻る	ＤＶＲ	入力３

入力表示を選択します

で選択　を押す　で戻る　で終了

6 (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

- ビデオ入力を切り換えると、画面に「ゲーム」と表示されます。
- 「ゲーム」を選んだ場合は、リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ゲーム」画面にしてから2時間が経過すると、「ゲームモードに設定してから2時間が経過しました」というメッセージが表示されます。

  メッセージを消したいとき

  ①「ゲーム時間表示」を「しない」に設定する。（**60**ページ）

  ②いったんテレビチャンネルに切り換える。

- ゲームの種類の中でピストル等を使った「シューティングゲーム」はできません。

入力表示設定できる名称

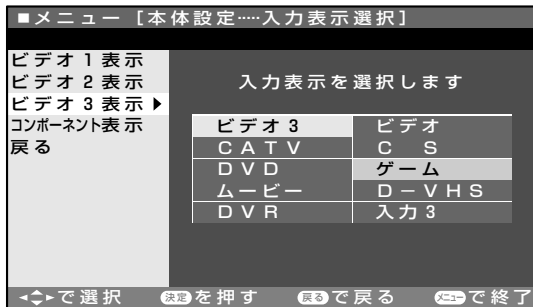
ビデオ1

ビデオ1	ビデオ
CATV	CS
DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS
DVR	入力1

ビデオ2

ビデオ2	ビデオ
CATV	CS
DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS
DVR	入力2

ビデオ3

ビデオ3	ビデオ
CATV	CS
DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS
DVR	入力3

コンポーネント

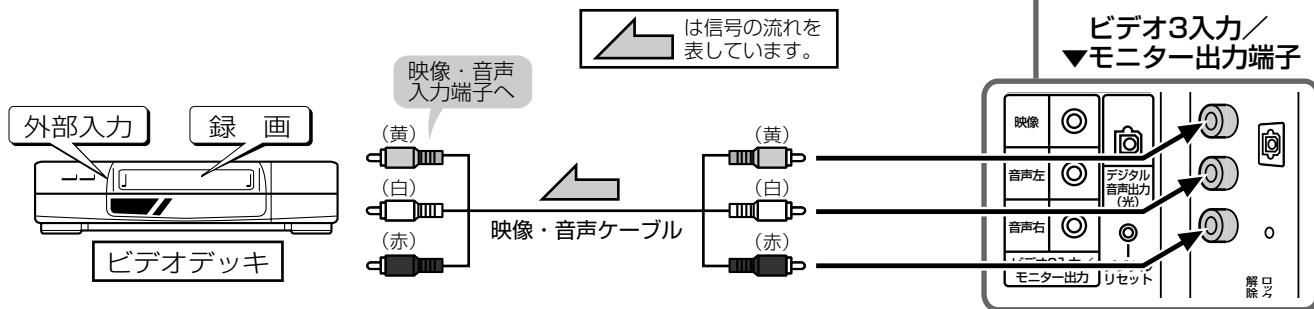
コンポーネント	ビデオ4
ビデオ	D端子
CATV	CS
DVD	ゲーム
ムービー	D-VHS
DVR	入力4

録画・編集

■ 本機で受信しているテレビの映像と音声を、ビデオ3入力／モニター出力端子から出力することができます。

■ メニューで設定を「モニター出力」に切り換えて、本機のビデオ3入力／モニター出力端子とビデオデッキの入力端子を接続すると、受信した映像と音声がビデオデッキで録画できます。

モニター出力端子に接続する

デジタル放送を録画するときは、録画出力端子に接続してください。（140ページ）

テレビ番組を録画する

フタを閉じたところ

［例］6チャンネルの番組を録画する

1

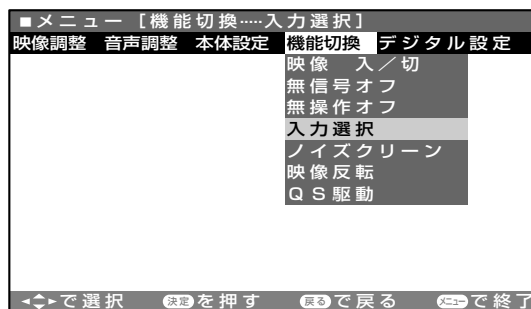
① **（地上A）を押し、地上アナログ放送を選ぶ**

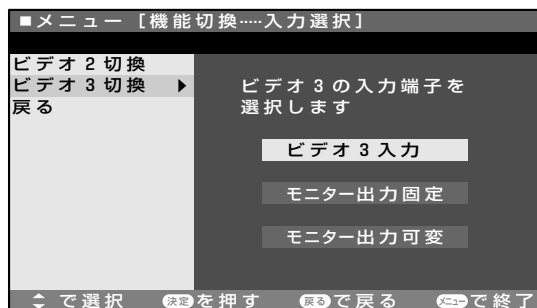
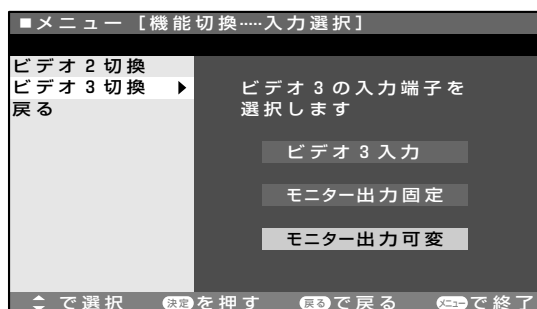
② **チャンネルボタン（6）を押し、録画する番組を選ぶ**

2

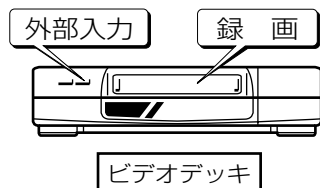
① **（メニュー）を押し、テレビメニュー画面を表示する**

② **（◀）（▶）で「機能切換」を選ぶ**

③ **（▲）（▼）で「入力選択」を選び、（決定）を押す**

次ページへ

3 ▲▼で「ビデオ3切換」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「モニター出力固定」または「モニター出力可変」を選び、決定を押す

- ビデオデッキに録画用のモニター出力信号が入力されます。

5 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

6 ビデオデッキを外部入力(本機のモニター出力端子と接続している外部入力番号)に切り換えて、録画状態にする。

- これで本機が受信しているテレビ番組を、ビデオデッキに録画することができます。

- 録画をするビデオデッキの入力切換えや操作方法など、詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110度CSデジタル放送を録画するときは「視聴中のBS・110度CSデジタル放送を録画する」(**140**ページ)、および「ビデオコントローラーを使って予約する」(**142**ページ)をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、モニター出力端子から出力される映像も変わってしまいます。
- D4映像端子から入力された映像信号はモニター出力(ビデオ3)端子から出力されません。
- オンタイマー(**55**ページ)のチャンネル設定を「ビデオ3」(入力3)にしたときは、「ビデオ3切換」の設定はできません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

■ 本機のビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、本機の画面で見ながら、モニター出力端子に接続したビデオデッキで録画・編集することができます。

接続のしかた

▼本体後面

再 生

再生側ビデオカメラ

は信号の流れを表しています。

映像・音声出力端子へ

(赤)(白)(黄)

●ビデオ2入力の映像・音声端子に接続した機器の映像・音声は、モニター出力端子(ビデオ3)から出力されます。

▼ビデオ1･2･3入力端子部

再 生

映像・音声ケーブル

(黄) (白) (赤)

●D4映像端子に接続した機器の映像は、モニター出力端子(ビデオ3)から出力されません。

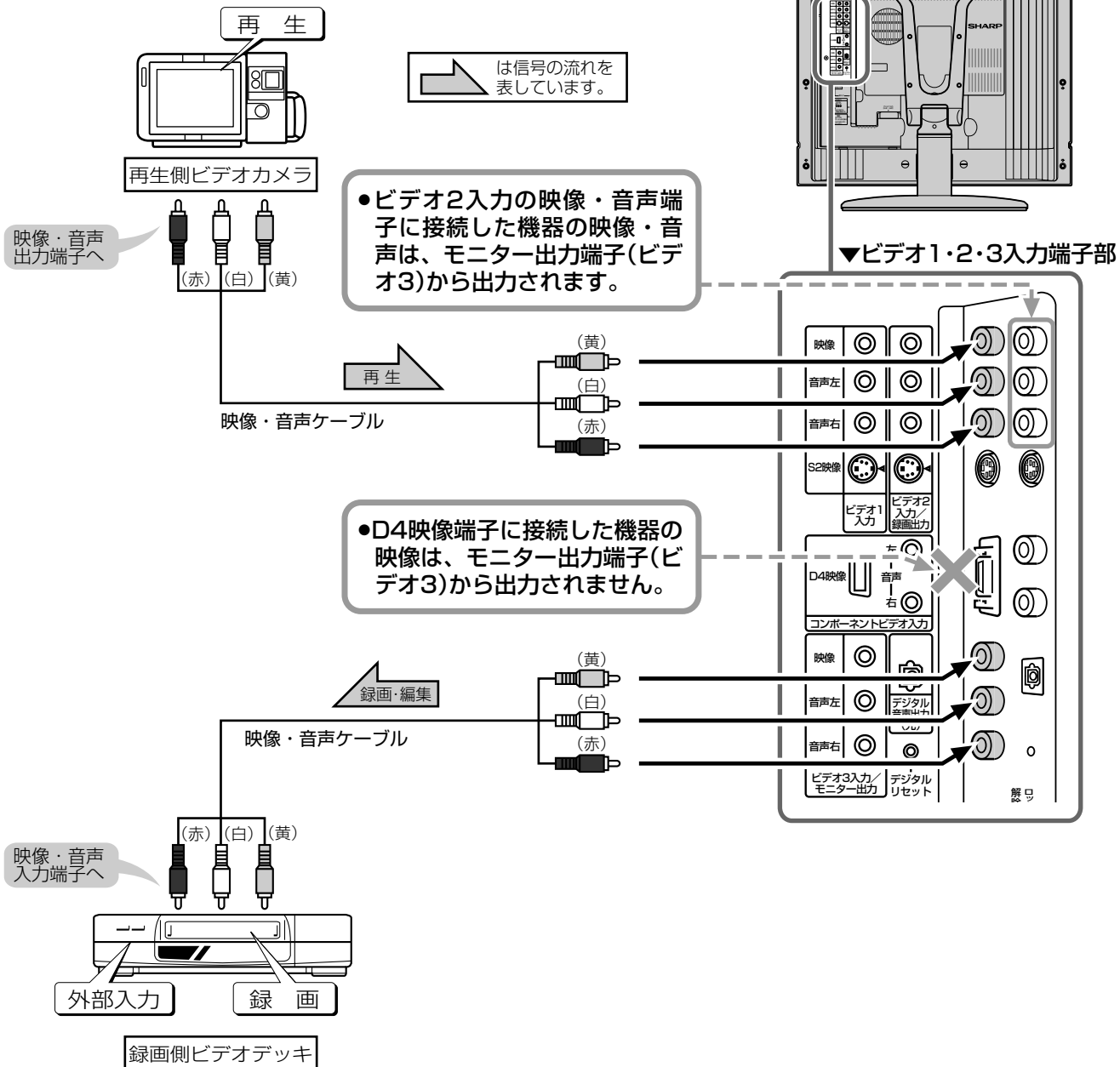
録画･編集

映像・音声ケーブル

(黄) (白) (赤)

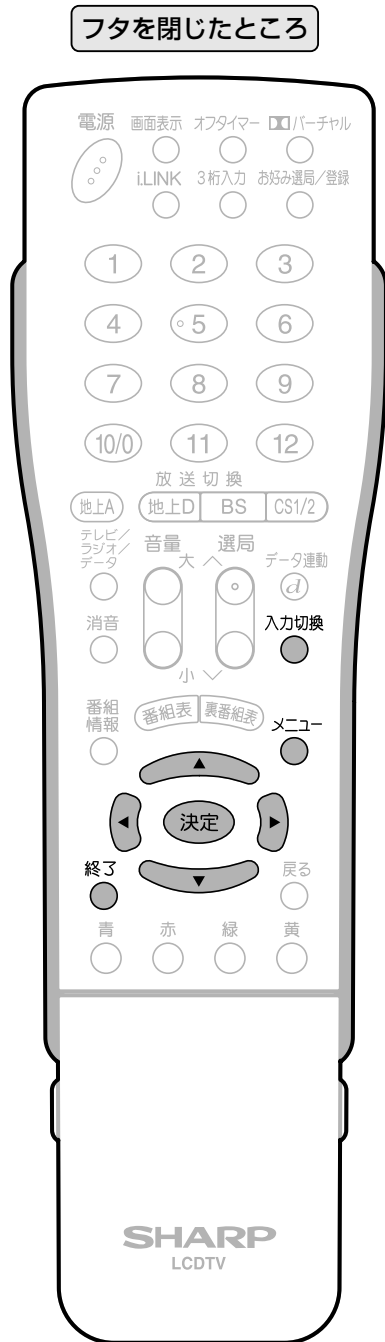
映像・音声入力端子へ

(赤)(白)(黄)

外部入力　録 画

録画側ビデオデッキ

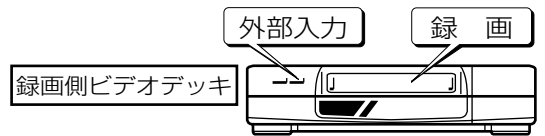
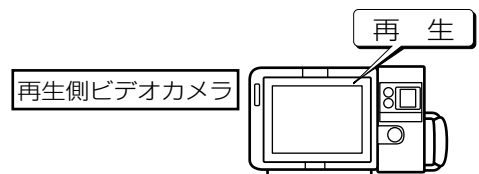
● ビデオ2を「録画出力」に設定しているときは(**132**ページ参照)、ビデオ2の映像・音声端子に接続した機器の映像・音声は、モニター出力端子(ビデオ3)から出力されません。

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

フタを閉じたところ

［例］ビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を録画・編集する

1 入力切換 を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える（130ページ参照）

2 録画側ビデオデッキを接続した、ビデオ3入力端子の設定を「モニター出力」に切り換える（133ページ参照）

3 録画側ビデオデッキを外部入力に切り換えて、録画状態にする

4 ビデオ1入力に接続した、ビデオカメラを再生状態にする

- これでテレビ画面で内容を確認しながら、再生側ビデオカメラから録画側ビデオデッキへ録画・編集することができます。

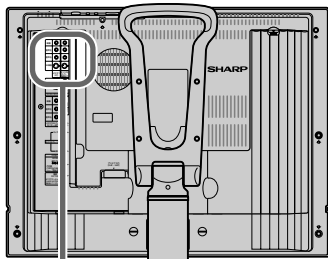
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画・編集(つづき)

■ビデオ2入力／録画出力端子にビデオデッキを接続して、デジタル放送を録画することができます。また、D-VHSビデオデッキを接続して録画するときは、i.LINKを使って録画ができます。
(**146**〜**156**ページをご覧ください。)

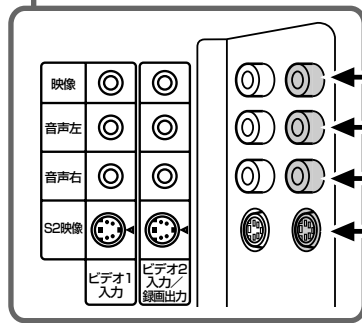
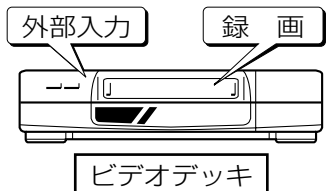
デジタル専用出力端子に接続する

①デジタル放送は、デジタルチャンネルを固定して録画することができます。(**141**ページ)
②デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。(**142**ページ)

▼本体後面

録画出力端子から出力される信号

BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送・地上デジタル放送・i.LINK 接続

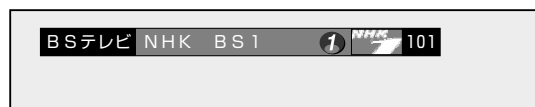
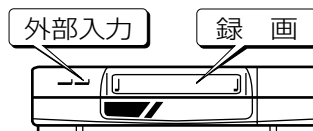
録画出力端子から出力されない信号

地上アナログ放送・ビデオ 1 入力・ビデオ 3 入力・コンポーネントビデオ入力(ご使用になる場合は、ビデオ 3 入力／モニター出力を確認してください。(**136** ページ参照))

- 録画出力端子(デジタル放送用)からは、地上／BS／CSデジタル放送のハイビジョン画質(走査線1125本)の映像を標準画質(走査線525本)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。(**146**〜**152**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。
- 2画面機能を入／切すると、録画出力の映像が一瞬途切れた状態になりますが、異常ではありません。

視聴中のBS・110度CSデジタル放送を録画する

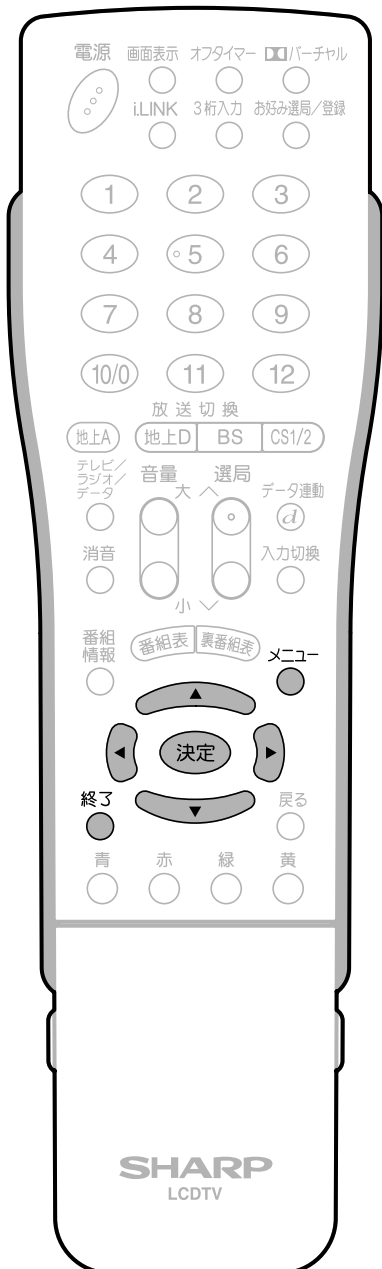
[例] NHK BS1の番組を録画する

1 ビデオデッキを接続した、ビデオ2入力端子の設定を「録画出力」に切り換える (132ページ参照)

2 録画するチャンネル「NHK BS1」を選局する

3 ビデオデッキを外部入力に切り換えて、録画状態にする

- 本機の映像出力から録画した映像を4：3のテレビで視聴していて、縦長の映像になったときは、画面サイズを「録画画面サイズの設定」(**99**ページ)で切り換えることができます。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタル固定の設定

■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
デジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
また、デジタル放送の番組を録画しながら地上アナログ放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

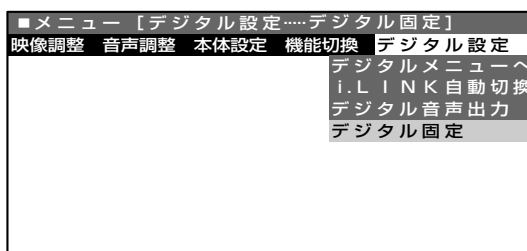
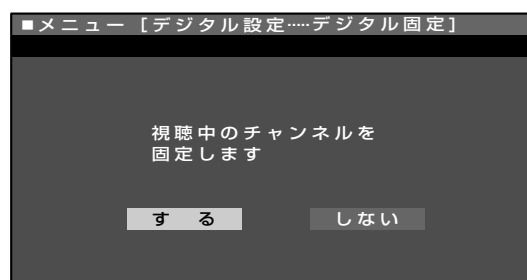
フタを閉じたところ

1 **固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する**

2

① メニュー を押し、メニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「デジタル固定」を選び、決定を押す

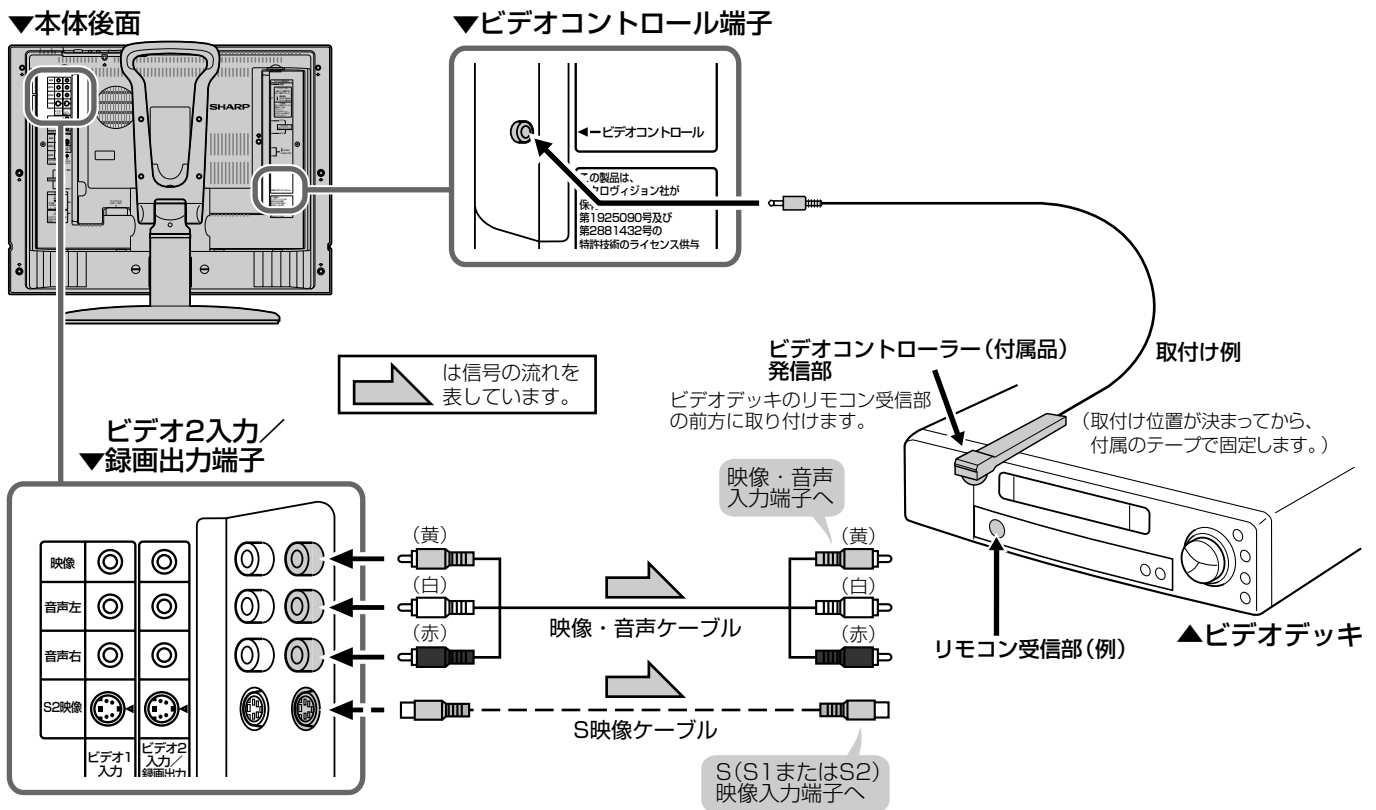
3 **◀▶で「する」を選び、決定を押す**

4 **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

- デジタル固定時は、デジタル放送関連の操作(デジタル放送の選局、メニュー・番組情報・番組表の表示等)ができません。
- デジタル固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- デジタル固定中に録画・視聴予約時間になると、デジタル固定が自動的に解除され予約していたチャンネルに切換わります。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、デジタル固定ができません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(電源待機状態)にしても、録画出力端子(デジタル放送用)からBS/CSの映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。なお、このときファンが回転する場合があります。

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して BS・110度CSデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの種類によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた (ビデオコントローラーと映像･音声ケーブルをつなぎます。)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号	メーカー	機種番号
シャープ	1,2,3,4,5,6,7,8	ビクター	1,2,3,4
アイワ	1,2,3,4	日立	1,2,3
NEC	1,2,3,4	フナイ	1
サンヨー	1,2,3,4	松下	1,2,3,4,5,6
ソニー	1,2,3,4,5,6	三菱	1,2,3,4
東芝	1,2,3,4,5,6	パイオニア	1,2,3

工場出荷時の設定：未設定

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

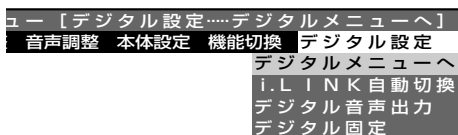
- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキの機種やメーカーによって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に、確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**143〜145**ページ「**ビデオ連動録画の設定**」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

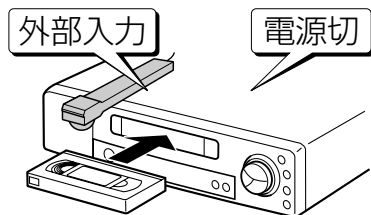
フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

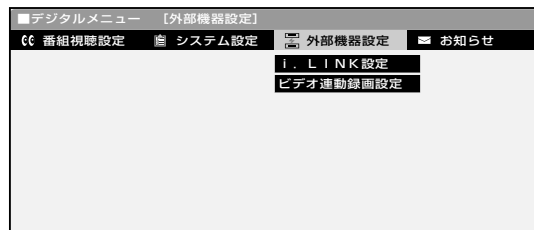
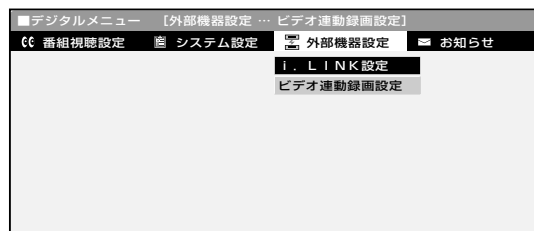
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

ビデオ連動録画の設定

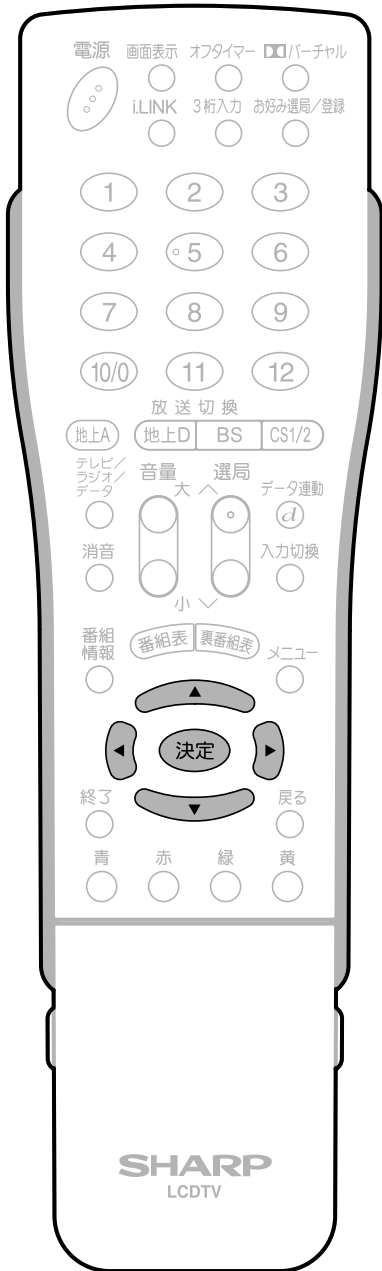
1 ビデオデッキの準備をする

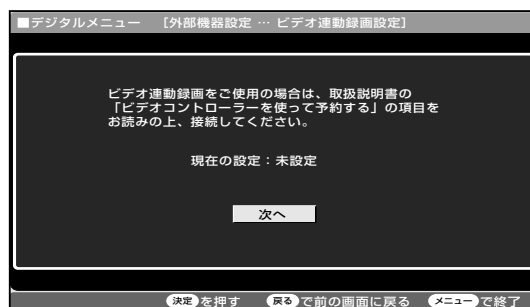
① 本機につなぐ。（**142**ページ参照）
② ビデオコントローラーを取り付ける。（**142**ページ参照）
③ 外部入力に切り換える。
④ 録画用ビデオテープを入れる。
⑤ 電源を「切」にする。

2 ビデオデッキを接続した、ビデオ2入力端子の設定を「録画出力」に切り換える（132ページ参照）

3 ① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

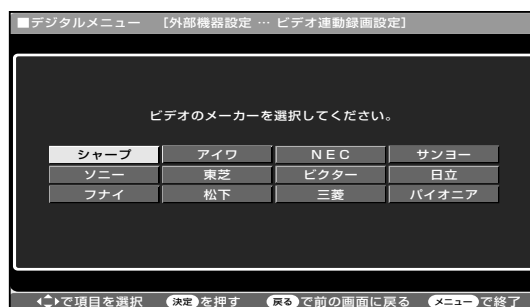
② ◀▶で「外部機器設定」を選ぶ

4 ▲▼で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

●「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

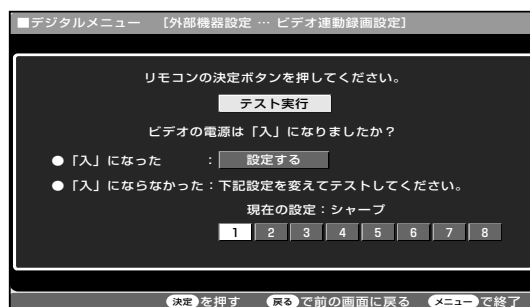
次ページへ

次ページへつづく

5

① ビデオコントローラーの接続を確認する
②「次へ」で(決定)を押す

6

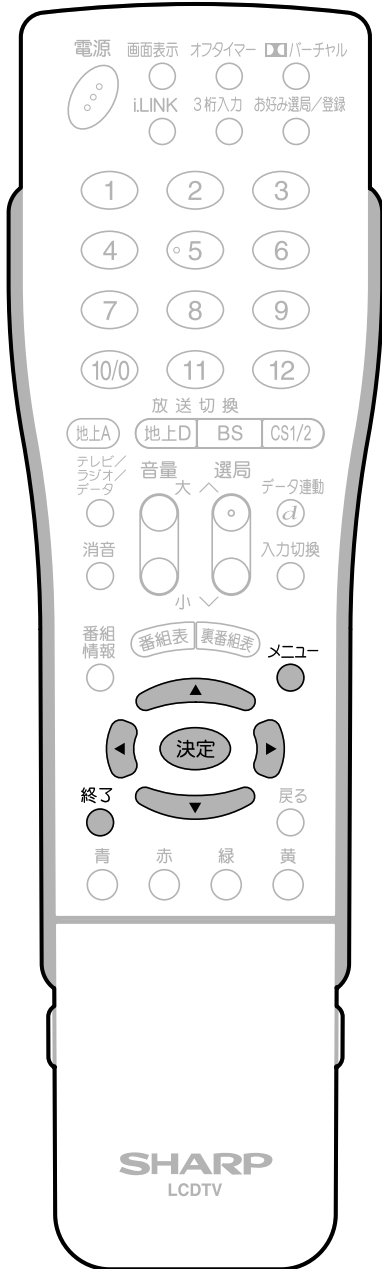
お使いのビデオデッキのメーカーを

で選び、(決定)を押す

7

「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ➪ 手順**10**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ➪ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**8**に進みます。

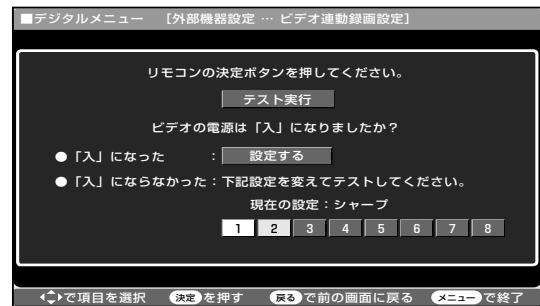
次ページへ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**7**〜**9**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

8

① ▼でカーソルを機種番号の欄に移動する

② ◀▶でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

● **142**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**8**、**9**をくり返してください。

9

決定を押し、テストを実行する

10

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

● これでビデオ連動録画の設定は完了です。

11

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

● 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
● 録画予約のしかたについては、**83**〜**97**ページをご覧ください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

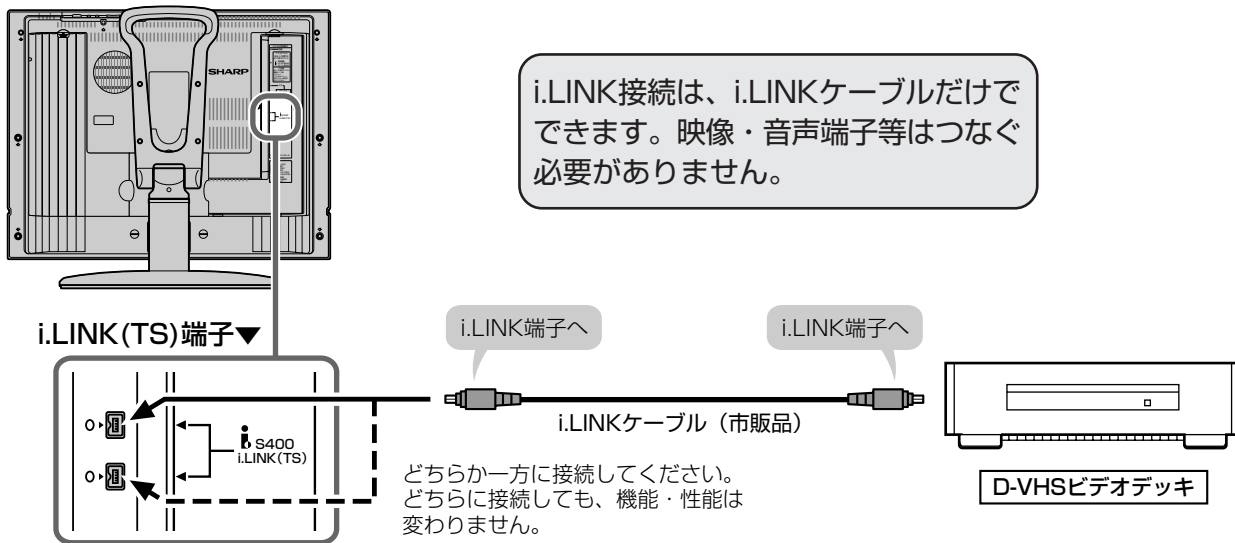
i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

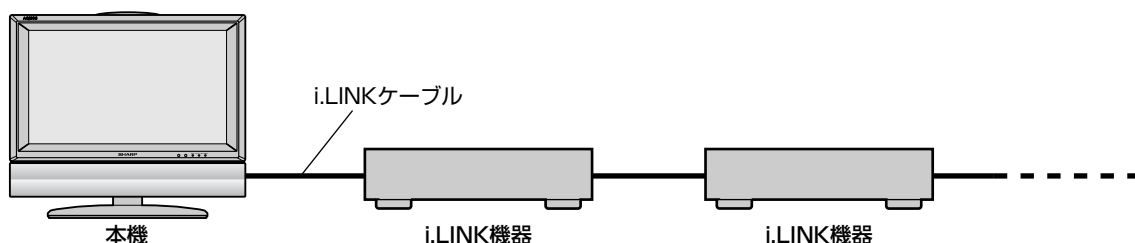
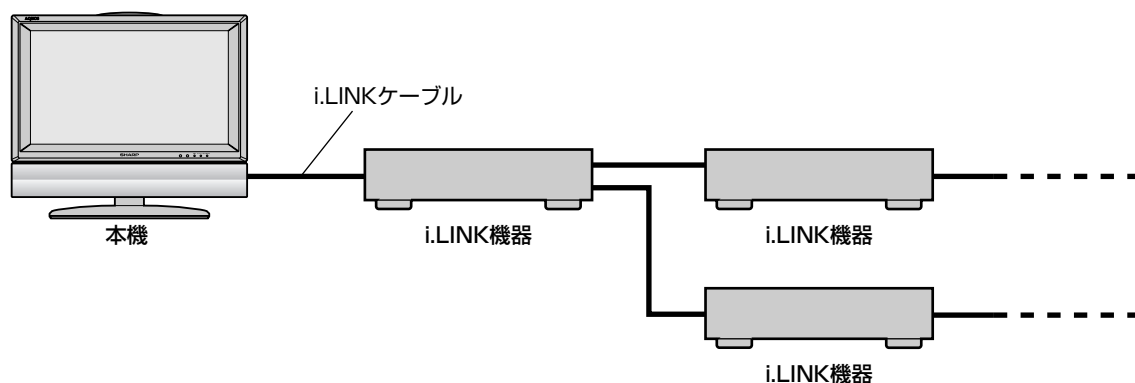
■ **本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

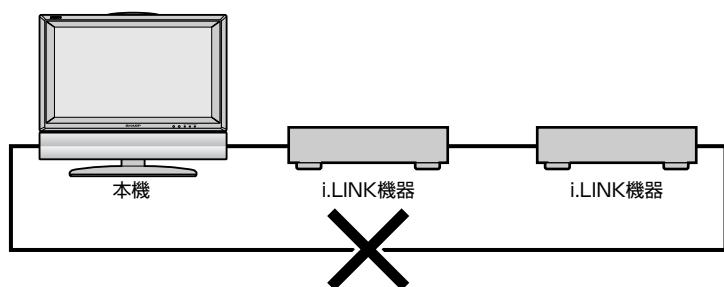
i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

i.LINK端子の接続について

● 端子片方の溝に合わせて、まっすぐに挿入してください。傾けていると挿入できません。

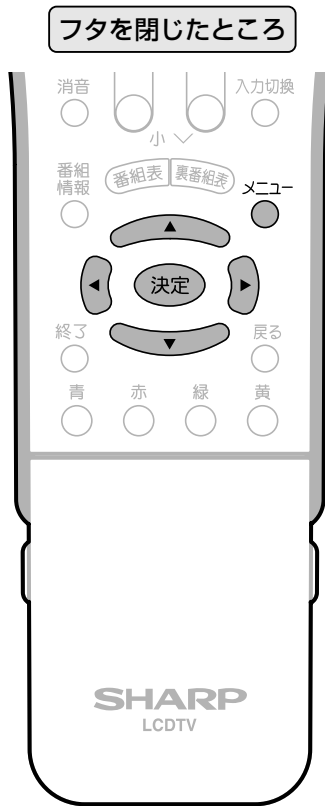
i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。デジタルメニューの「i.LINK設定」で「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**149**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

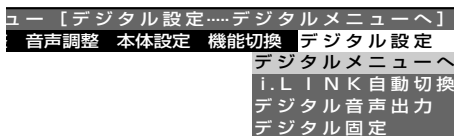
D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK設定を行う

フタを閉じたところ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー [デジタル設定····デジタルメニューへ]
音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

録画モードの設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

1

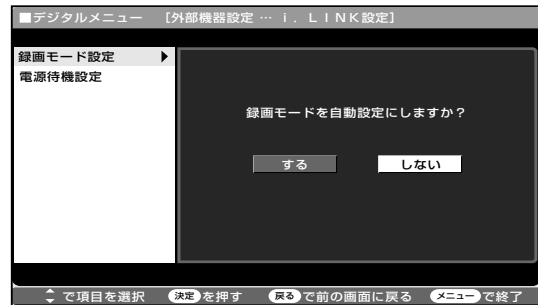
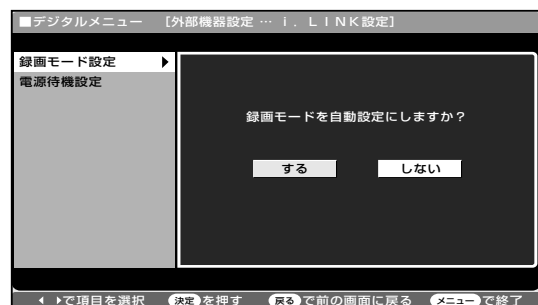
① デジタルメニュー画面を表示する(表示のしかたは左下を参照ください)

② ◀▶で「外部機器設定」を選ぶ

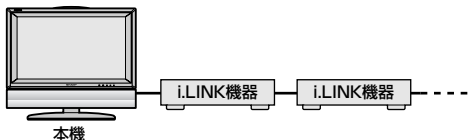
③ ▲▼で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

2

「録画モード設定」で決定を押す

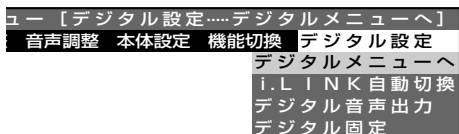
3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

フタを閉じたところ

お願い

● 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

● 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

i.LINK電源待機の設定

● 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
● i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

1

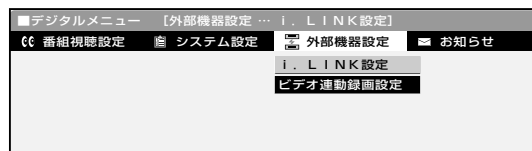
① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲▼で「i.LINK設定」を選び、決定を押す

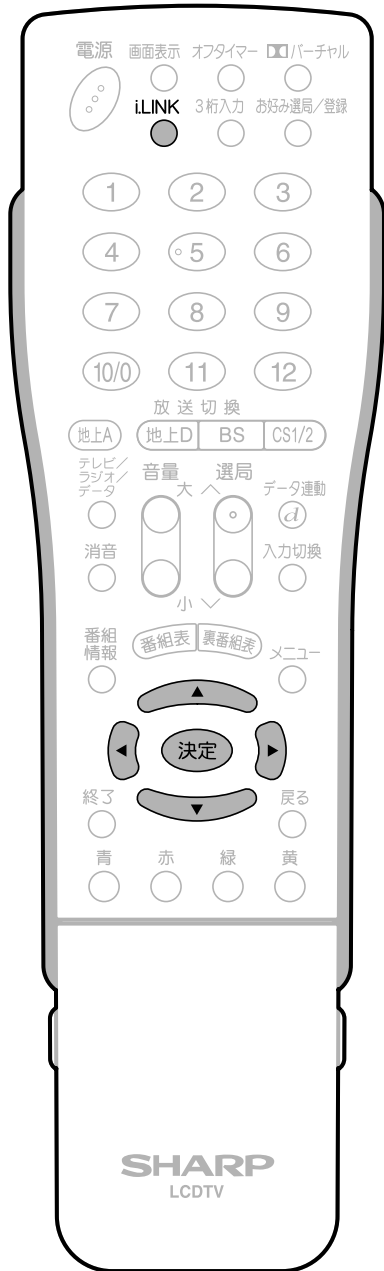
2

▼で「電源待機設定」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。
「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の選択

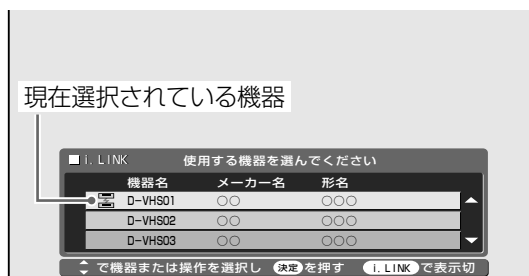
- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**146**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

● 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の使用解除

● 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
● i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

●i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**146**ページ参照）
●i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

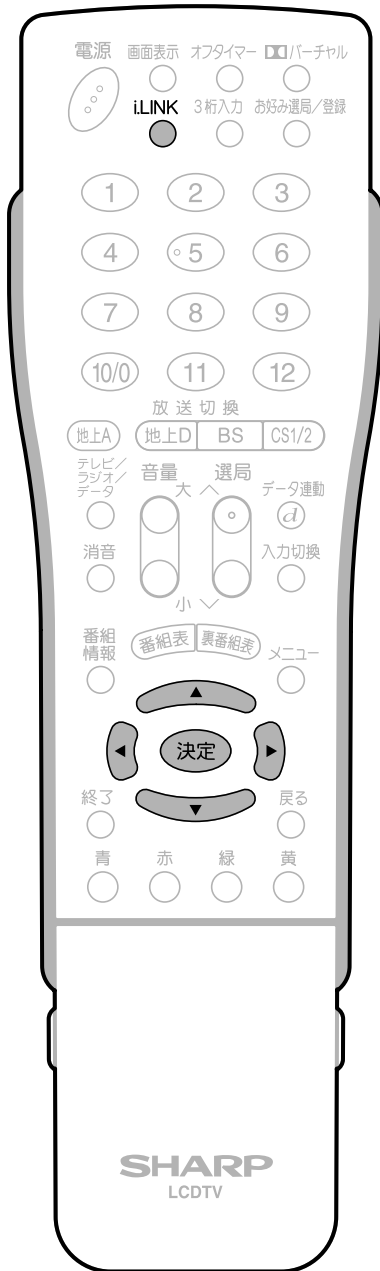
2 ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押す

●機器選択画面が表示されます。

3 ▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す

●i.LINK機器の使用が解除されます。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1

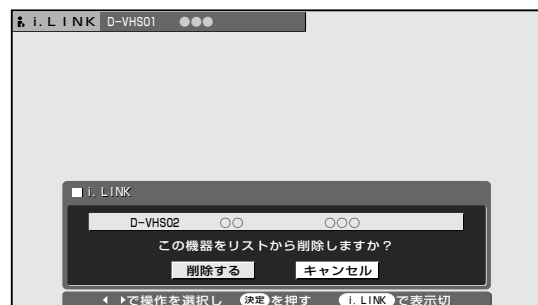
① i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲▼◀▶で「機器選択」を選び、決定を押す

2

削除したいi.LINK機器を▲▼で選び、決定を押す

3

◀で「削除する」を選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**148**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

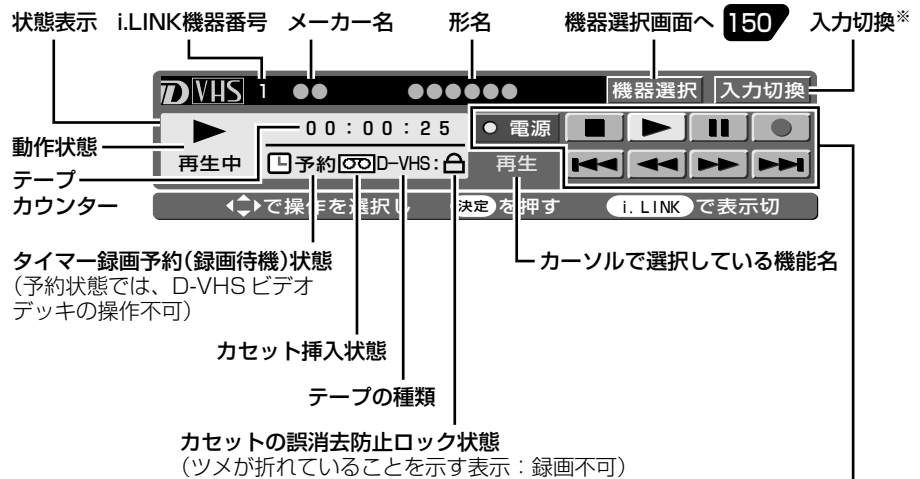
基本操作

1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

● 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

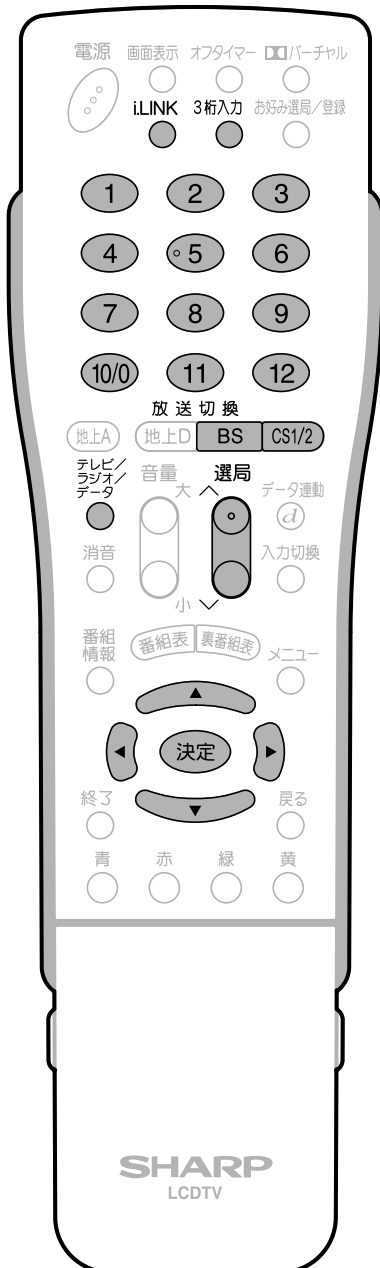
i.LINK操作パネルの見かた

※入力切換ボタンについて
● i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、デジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器でデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、148ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

フタを閉じたところ

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 ▲ ▼ ◀ ▶ で ● (録画ボタン)を選び、決定を押す

● 録画が開始し、操作パネルが消えます。
● 録画を止めるときは、i.LINKボタンで再度操作パネルを表示し、(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

- 地上デジタル放送が開始された場合も、同様に録画ができます。
- 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面(操作パネル)にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、デジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- D-VHSビデオデッキの種類によっては、録画動作等の速度が遅いものがあります。
- D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されている D-VHSテープの再生映像・音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- D-VHSのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に(重ねて)表示することはできません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像の品位が悪くなる場合があります。

■商標権や著作権保護技術などについて

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK自動切換の設定

■ i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

フタを閉じたところ

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

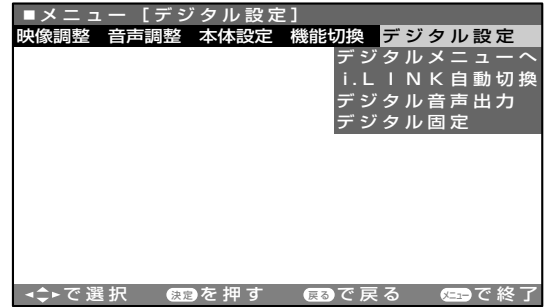
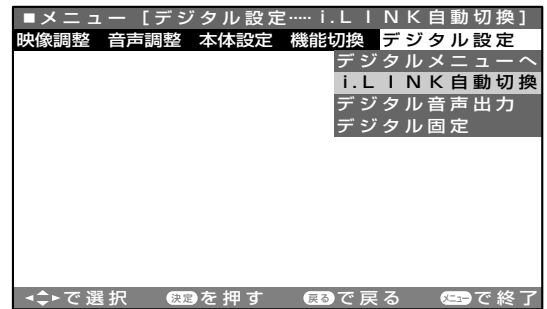
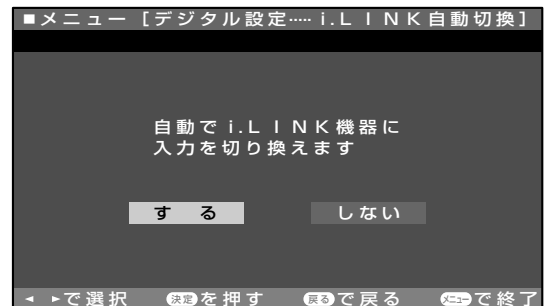
② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

2

▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

3

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

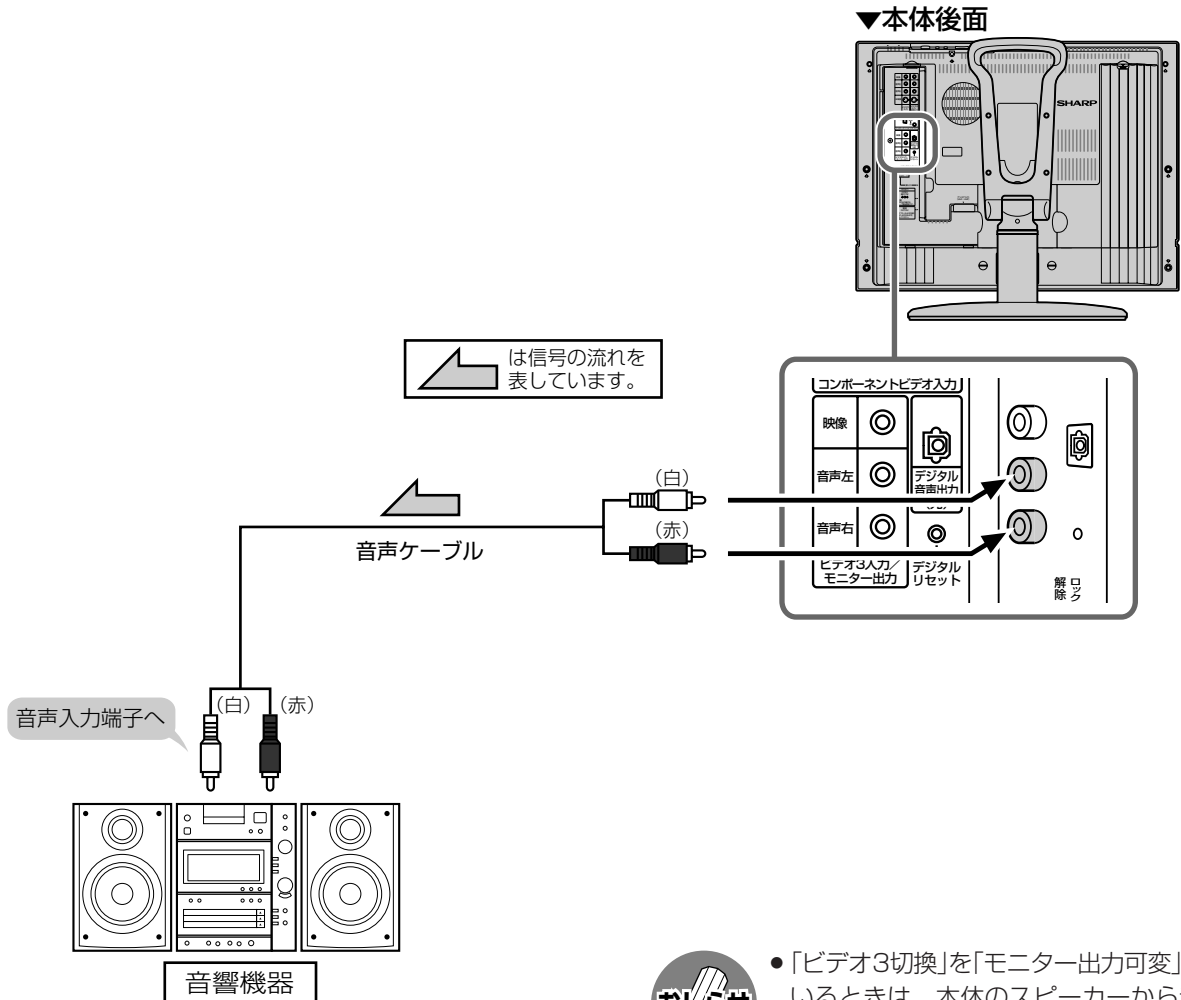
4

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● 録画予約実行中やデジタル固定時は、i.LINK自動切換の設定を「する」にしていてもi.LINKモードには自動的に切換わりません。

音響機器をつなぐ

■ ビデオ3の切換えを「モニター出力（固定または可変）」に設定すると、お手持ちの音響機器で音声を楽しむことができます。接続後は、「モニター出力の設定」（**158**ページ）をしてください。

接続のしかた

おしらせ

- 「ビデオ3切換」を「モニター出力可変」に設定しているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

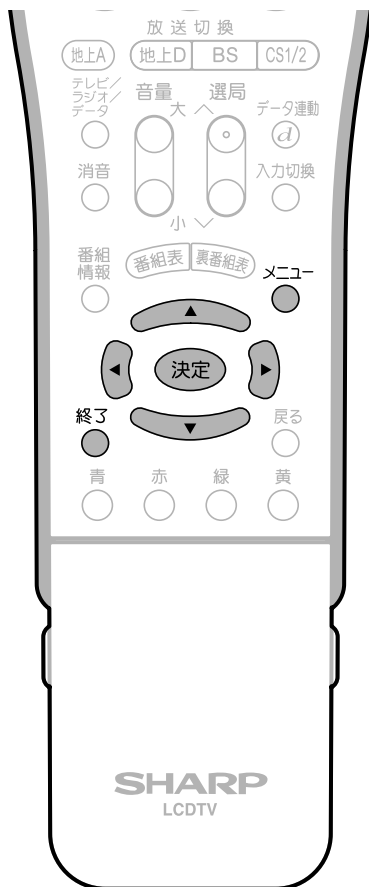
音響機器をつなぐ(つづき)

モニター出力の設定

■ ビデオ3、モニター出力を「固定」または「可変」に設定します。

「固定」のとき：
モニター出力の音量レベルは一定で出力されます。本体のスピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

「可変」のとき：
本体のスピーカーからの音量は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。(調整範囲：－60～0)

▼画面表示

ライン出力
－３０

フタを閉じたところ

1 ① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

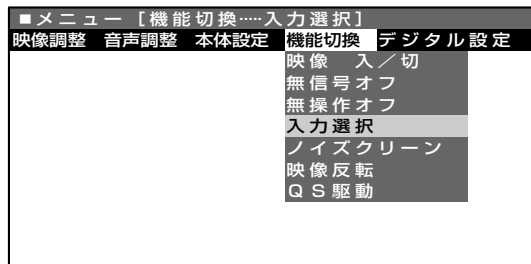
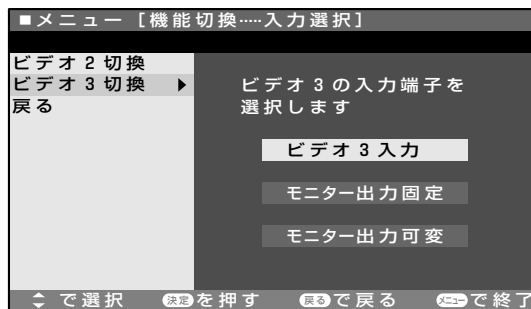
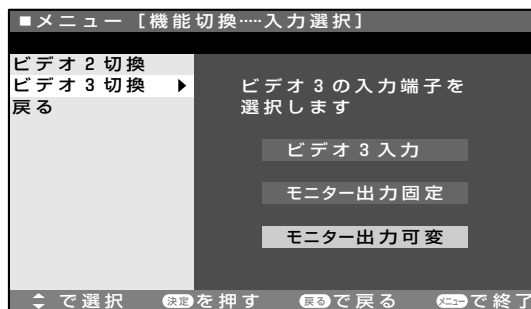
② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

③ ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

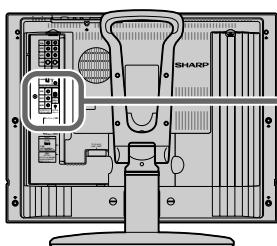
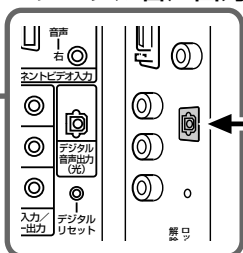
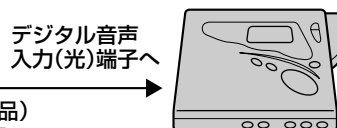
2 ▲▼で「ビデオ3切換」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「モニター出力固定」または「モニター出力可変」を選び、決定を押す

4 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

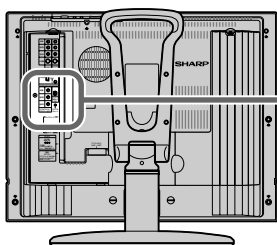
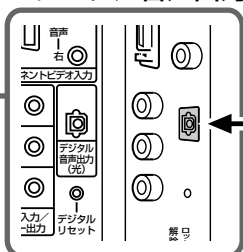
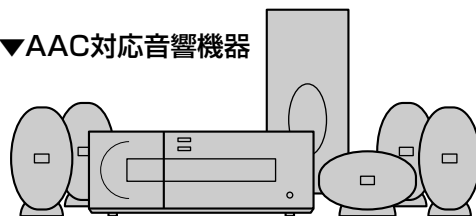
● モニター出力時は、バーチャルドルビーサラウンド機能の効果は得られません。

デジタル音声出力(光)端子から録音する

■ デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

接続のしかた

<例>ポータブルMDレコーダー

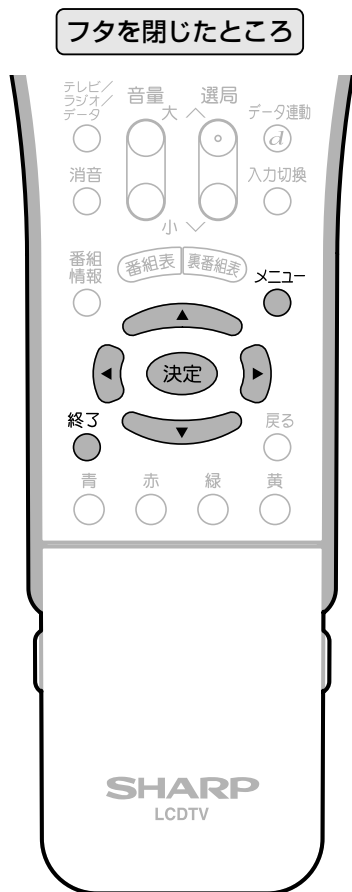
※録音、再生のしかたについては、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。

■ また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

接続のしかた

<例>1ビットシアターシステム

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力端子の音声出力の内容と同じです。
- 常にデジタル放送の音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。(**161**ページ「**デジタル音声出力の設定**」をご覧ください。)
- デジタルメニューの「デジタル音声設定」を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタル音声出力(光)端子の出力時は、バーチャルドルビーサラウンド機能の効果は得られません。

音響機器をつなぐ(つづき)

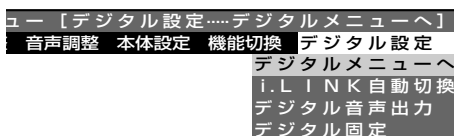
■ 接続する音響機器に合わせて、デジタル音声出力(光)端子の出力信号形式を設定できます。

- 接続する機器がAAC/PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- AACに設定した場合でも、地上アナログ放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

デジタルメニュー画面の表示手順

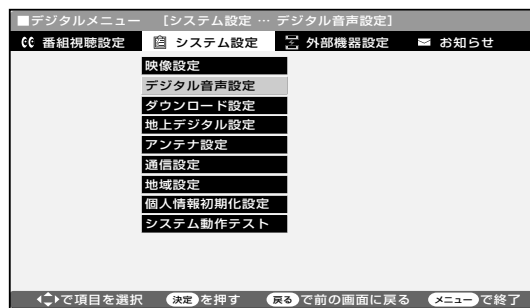
① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー [デジタル設定‥‥デジタルメニューへ]
音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

デジタル音声の設定

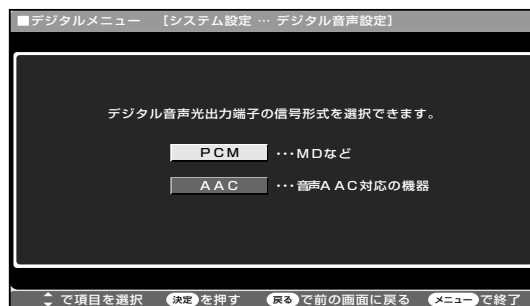
1

① デジタルメニュー画面を表示する(表示のしかたは左下を参照ください)

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「PCM」または「AAC」を選び、決定を押す

「PCM」……AACに対応していない音響機器(MDレコーダー、MDコンポなど)に接続するとき
「AAC」……AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

■ 本体後面のデジタル音声出力(光)端子からの出力を、デジタル固定と連動させるか否かを設定することができます。

連動：
デジタル固定した場合、固定したデジタル放送チャンネルの音声が出力されます。

非連動：
デジタル固定した場合でも、固定後チャンネルを変えたときは、出力される音声も切り換わります。

フタを閉じたところ

デジタル音声出力の設定

1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

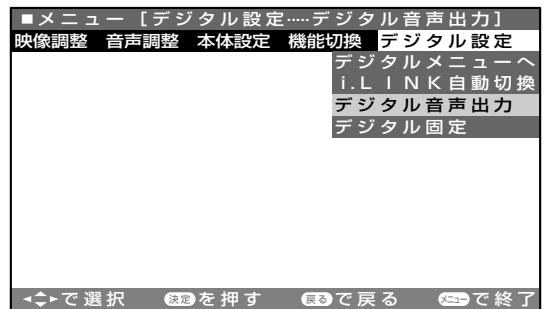
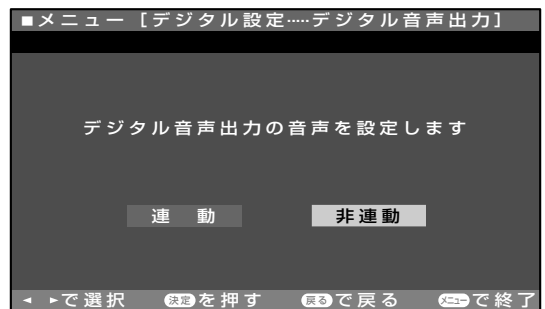
② ◀▶ で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「デジタル音声出力」を選び、決定 を押す

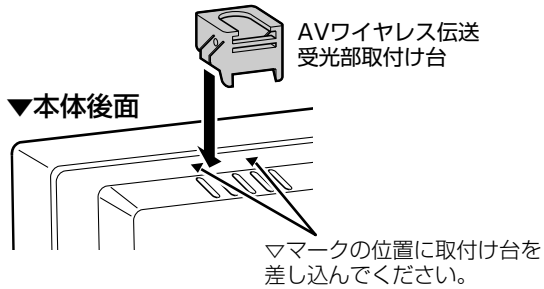
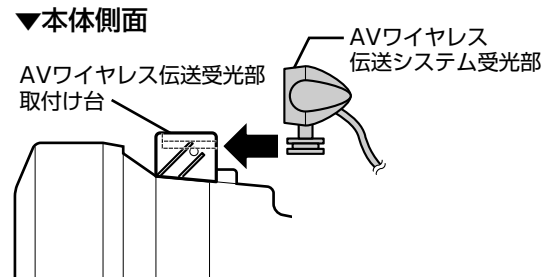
2

◀▶ で「連動」または「非連動」を選び、決定 を押す

3

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

AVワイヤレス伝送受光部取付け台の取り付けかた

■別売のAVワイヤレス伝送システムでお楽しみいただく場合は、本機に付属しているAVワイヤレス伝送受光部取付け台を使用します。
AVワイヤレス伝送受光部取付け台のガイドを本機上部の溝に取り付けます。

1 AVワイヤレス伝送受光部取付け台を、本機の指定位置に取り付ける

2 別売のAVワイヤレス伝送システムに付属のリモコン受光部を、AVワイヤレス伝送受光部取付け台に取り付ける

地上デジタル放送を楽しむ

●この章では、一部の地区ですでに放送されている地上デジタル放送を視聴するための準備や設定、選局方法などについて説明しています。

地上デジタル放送について

新しい放送サービス

現在ご覧になっているテレビ放送(衛星放送は除く)は「地上波放送」と呼ばれていて、すべてアナログ放送です。「地上デジタル放送」では、現行のアナログ方式の放送が新しくデジタル方式に変わります。
地上デジタル放送は、2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始されています。その他の地域では2006年末までに放送が始まる予定になっています。(2004年6月現在)
高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、現行の地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

地上デジタル放送の特長

高品質映像……画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できます。
画面サイズは、従来の4：3から16：9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。(専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。)

ハイビジョン放送……HDTV(High-Definition Television)とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送(通常のテレビ放送)の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。(専用デジタル放送対応の受信機で視聴した場合です。)

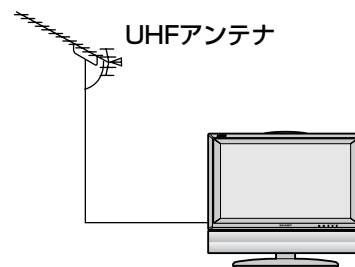
データ放送……通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送ではデータ放送が行われています。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などで一部、放送されています。

双方向サービス……双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組なども一部、放送されています。

- 双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して(1. 準備編 **14**～**16**ページ参照)、電話回線の設定をしてください。(**189**ページ参照)
また、事前にインターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約が必要です。(※双方向通信には電話料金がかかります。[例]クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。)

多様な放送……地上デジタル放送では、一度に多くの情報を送ることができるため、1つのチャンネルで複数の番組を放送することができます。
これまでの地上放送ではなかったアイデア豊かな、多様な放送が行われています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。(ただし同時に視聴することはできません。)

■アンテナについて

- 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）
  VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。
  （**ご注意**: アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されていますが、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送を視聴するための準備

■ つぎの手順に従って、地上デジタル放送を視聴するための設定をしてください。

地域と郵便番号の設定を行う
☞ **167ページ**

▼

② **チャンネル設定を行う**
☞ **170ページ**

▼

③ **アンテナ・信号テストを行う**
☞ **173ページ**

▼

④ **番組表取得設定を行う**
☞ **184ページ**

■ 双方向サービスのデータ送受信をするときに必要な接続と設定です。放送視聴のみの場合は必要ありません。

① **電話回線に接続する**
☞ 1. 準備編 **14～16ページを参照してください。**

▼

② **電話・通信設定を行う**
☞ **189ページ**

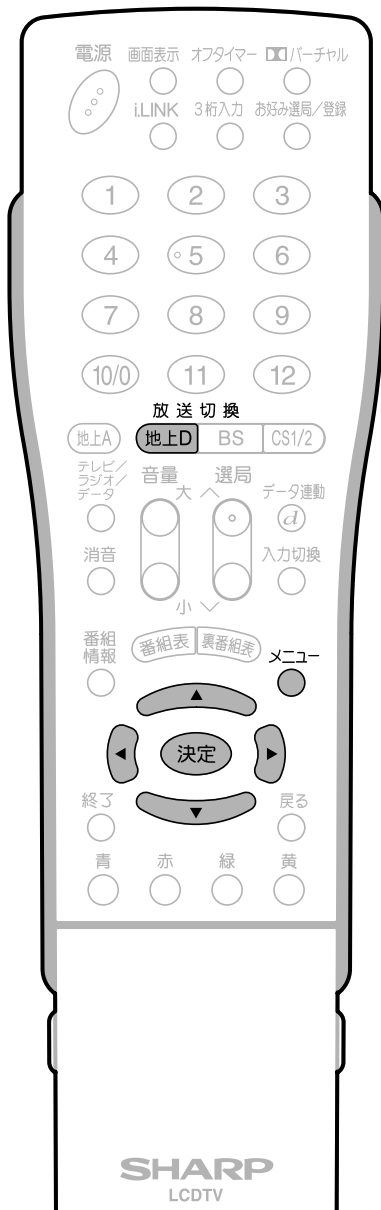
▼

③ **プロバイダ設定を行う**
☞ **200ページ**

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

地域と郵便番号を設定する

■ 地上デジタル放送チャンネルを受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定をしてください。（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）

フタを閉じたところ

地域選択

1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

2
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

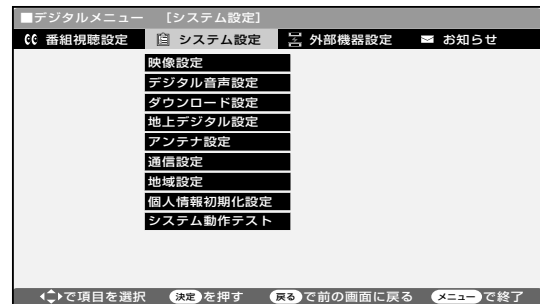
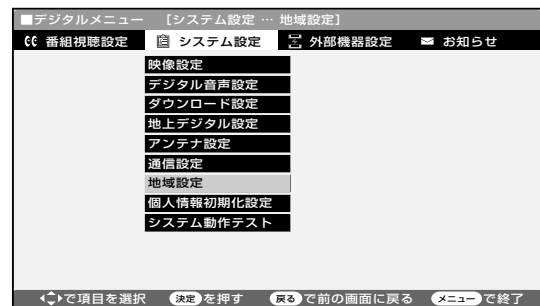
③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

3 ◀▶で「システム設定」を選ぶ

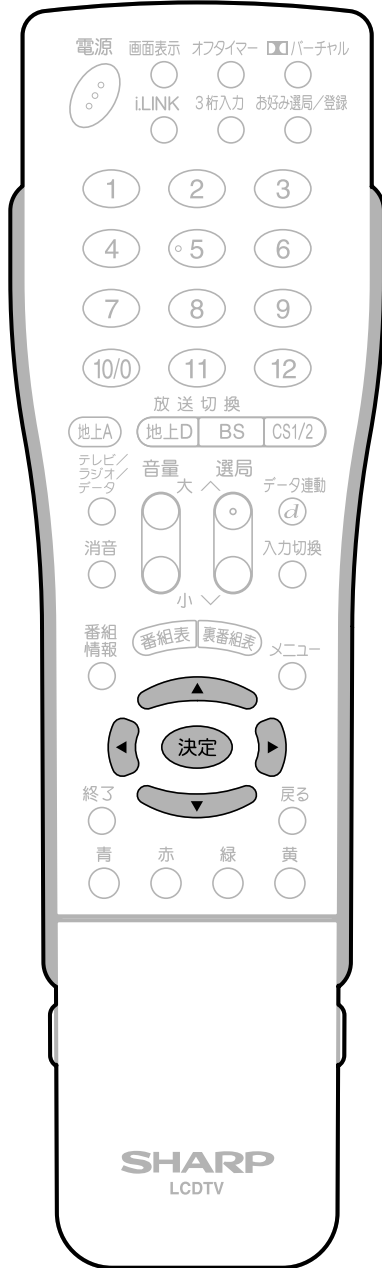
4 ▲▼で「地域設定」を選び、決定を押す

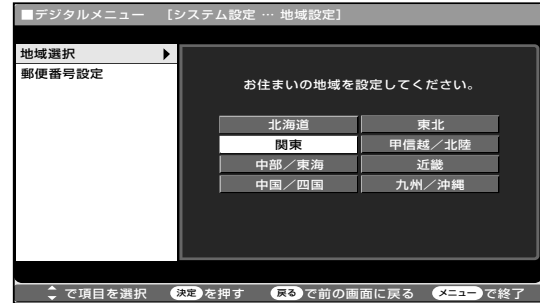
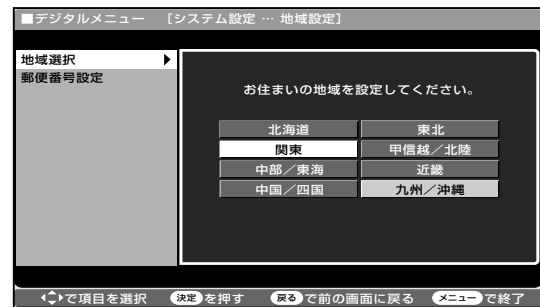
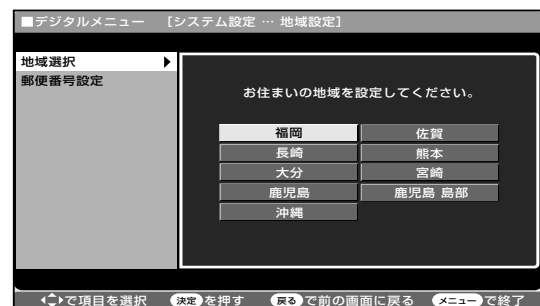
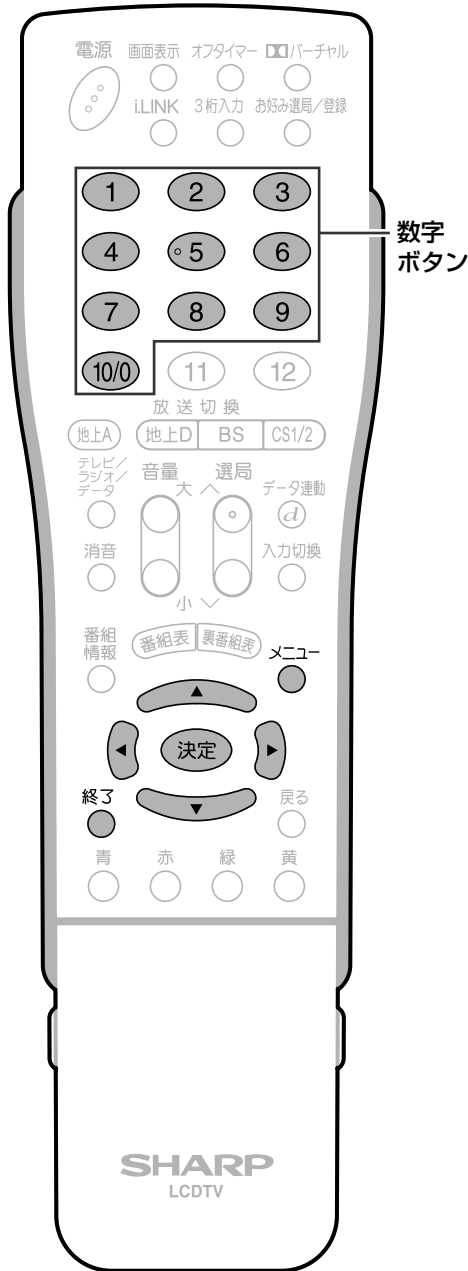
次ページへ

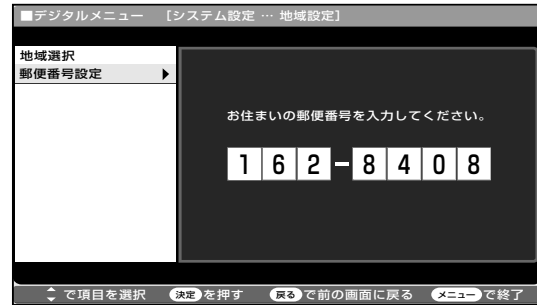
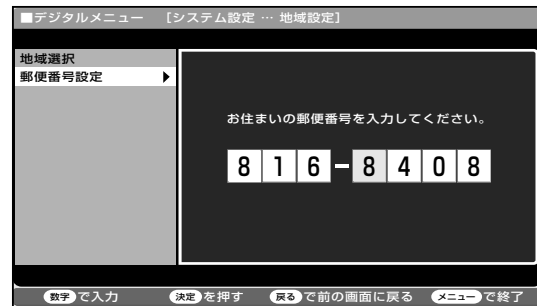
おしらせ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

フタを閉じたところ

5 ▲ ▼ で「地域選択」を選び、決定 を押す

6 お住まいの地域を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

7 お住まいの都道府県を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す

次ページへ

郵便番号設定

8 ▲ ▼ で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

9 数字ボタン(1〜10/0)で郵便番号を入力し、決定を押す

●入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタンで入力しなおします。

10 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

チャンネル設定について

■地上デジタル放送を視聴するためのチャンネル設定です。
チャンネル設定をする前に、必ず地域設定をお住まいの地域に設定しておいてください。
(工場出荷時は、東京都心で放送が受信できるように設定されています。)

チャンネル設定ー自動 ☞ **171**ページ	● お住まいの地域で受信可能な放送チャンネルを自動登録するときの設定です。 ● 最初の設定は、必ず自動を選択してください。また、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合も再度、自動設定をしてください。
チャンネル設定ー追加 ☞ **175**ページ	設定後、新しく開始された放送チャンネルを追加登録するときの設定です。
チャンネル確認/変更 ☞ **177**ページ	確認: 受信登録した放送チャンネルを表示して、確認することができます。 変更: 登録したチャンネルの、番号重複時の変更や選局ボタンでのチャンネルスキップ設定をすることができます。

地上デジタル放送の受信チャンネル番号・枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン(1〜12)のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁チャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は7地域)ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複するケースがあります。このケースでは、さらにもう1桁(これを枝番と言います)を入力して選局することになります。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は、「パススルー方式」※(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。(「トランスモジュレーション方式」には対応していません。)

  ※CATVパススルー方式とは: CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。
  この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
  本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。

チャンネルを自動設定する

■ 初めて受信登録するときや、引っ越しなどでお住まいの地域が変わった場合に設定します。
■ チャンネル設定の前に、必ず地域設定（**167**ページ）をしておいてください。（工場出荷時は関東の東京に設定されています。）

フタを閉じたところ

1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

2
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

3
① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

●地上デジタル設定画面が表示されます。

4 ▲▼で「チャンネル設定ー自動」を選び、決定を押す

次ページへ

メニュー画面について

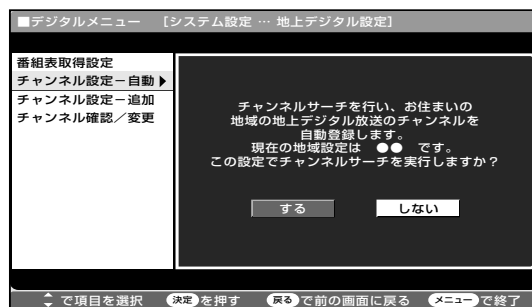
おしらせ

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

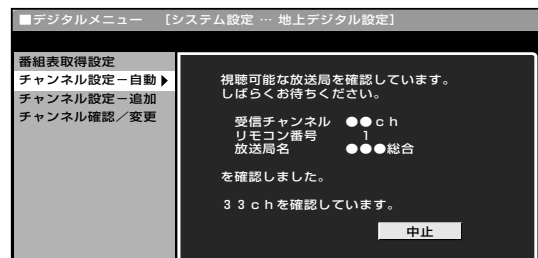
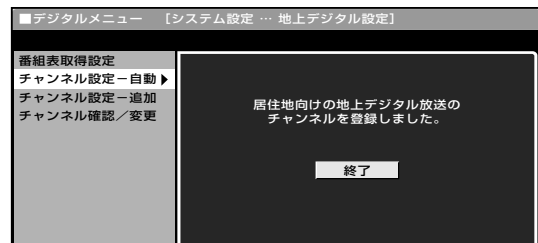
フタを閉じたところ

5

◀で「する」を選び、決定を押す

◀▶でサーチ範囲を選び、決定を押す

「UHF」…通常はこちらを選びます。

「全チャンネル」…CATVパススルー※の場合に選びます。

- 自動設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

- 自動設定が終了すると、登録終了の画面が表示されます。

6

① 「終了」で決定を押す

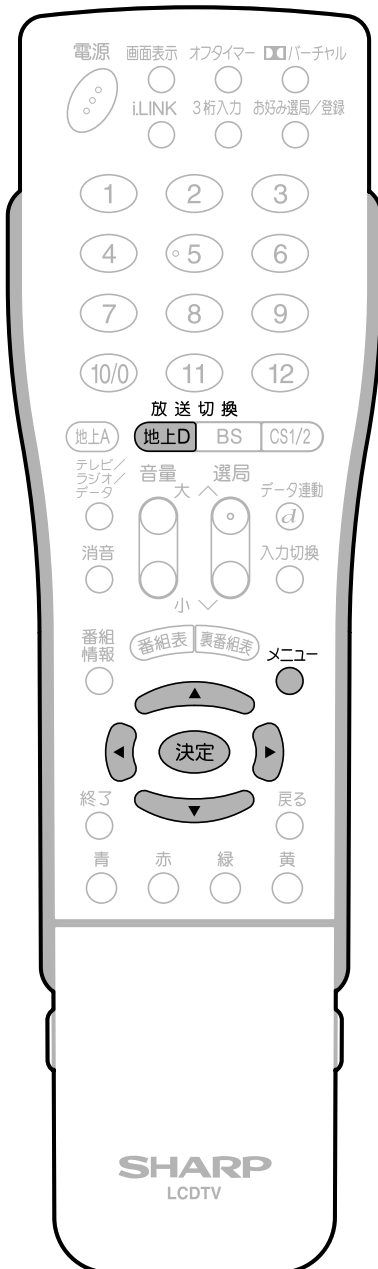
② メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

※CATVパススルーとは

- CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。(トランスモジュレーション方式には対応していません。)

アンテナ・信号テストをする

■ 受信した地上デジタル放送の信号強度を確認します。

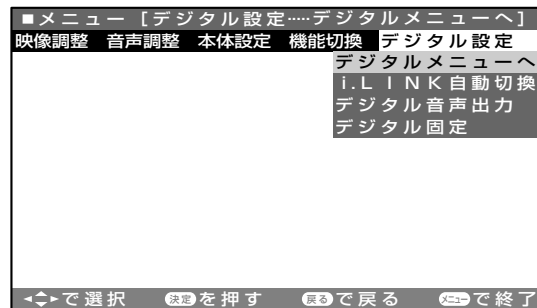
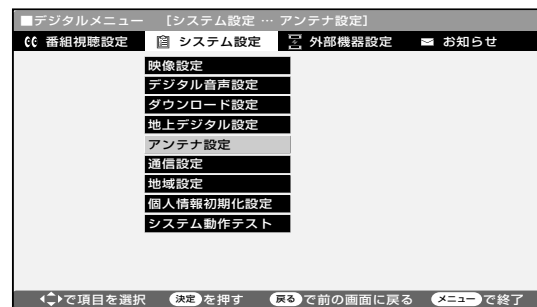
フタを閉じたところ

1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

2
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

3
① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

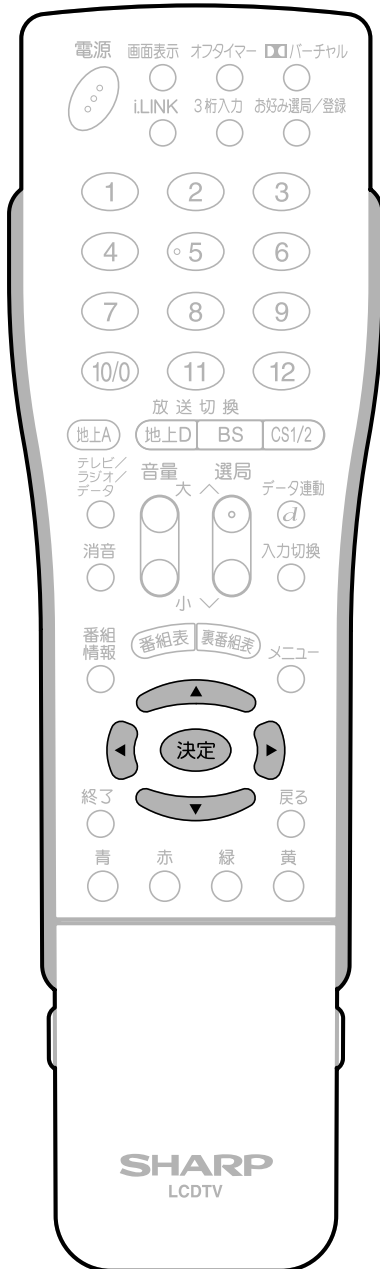
●アンテナ設定画面が表示されます。

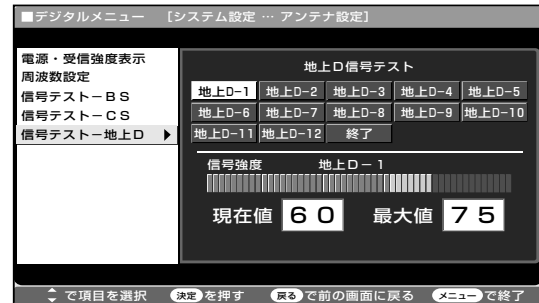
次ページへ

メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

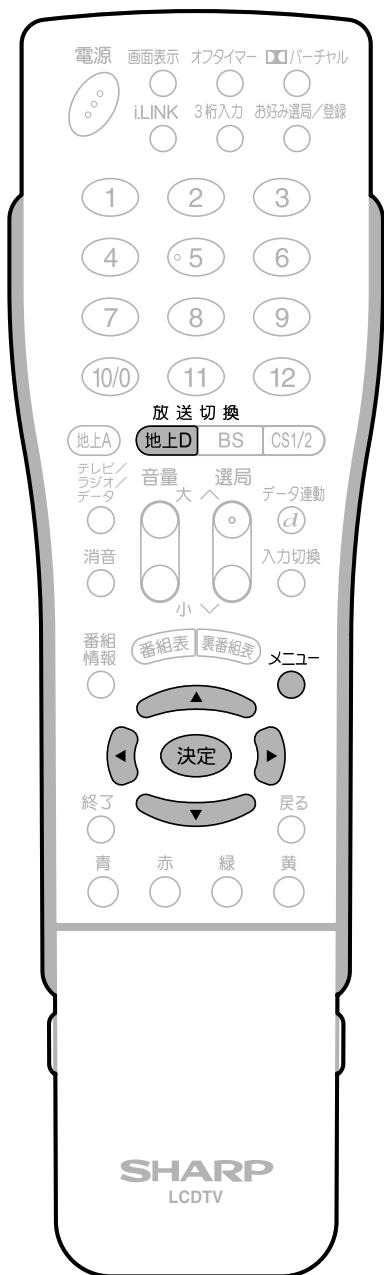
地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

フタを閉じたところ

4 ▲ ▼ で「信号テスト－地上D」を選び、(決定)を押す

5 「地上D－1」～「地上D－12」のうち、確認したい項目を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、(決定)を押す

- アンテナレベル(信号強度)が60以上あることを確認してください。

6 ▲ ▼ ◀ ▶ で「終了」を選び、(決定)を押す

チャンネルを追加設定する

■ 自動設定で登録後、新しく開始された放送チャンネルを追加するときに設定します。

フタを閉じたところ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

1

[地上D]を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2

① [メニュー]を押し、テレビメニュー画面を表示する

② [◀][▶]で「デジタル設定」を選ぶ

③ [▲][▼]で「デジタルメニューへ」を選び、[決定]を押す

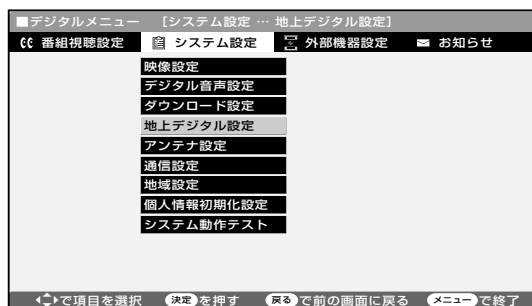
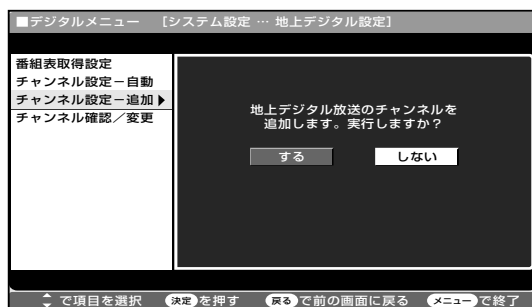
- デジタルメニュー画面が表示されます。

3

① [◀][▶]で「システム設定」を選ぶ

② [▲][▼]で「地上デジタル設定」を選び、[決定]を押す

- 地上デジタル設定画面が表示されます。

4

[▲][▼]で「チャンネル設定－追加」を選び、[決定]を押す

次ページへ

次ページへつづく

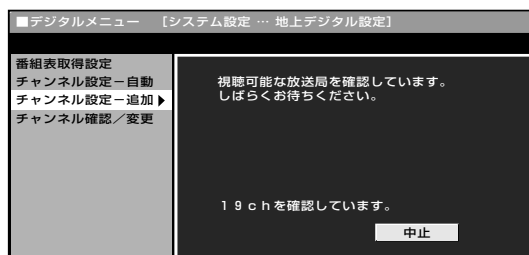
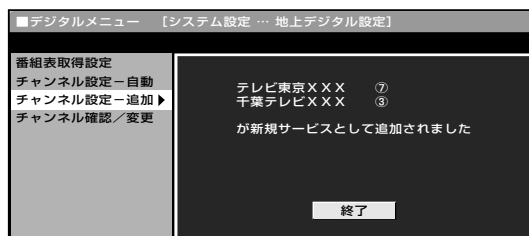
地上デジタル放送のチャンネルを設定する(つづき)

フタを閉じたところ

5 ◀で「する」を選び、(決定)を押す

◀▶でサーチ範囲を選び、(決定)を押す

「UHF」…通常はこちらを選びます。
「全チャンネル」…CATVパススルー※の場合に選びます。

● 追加設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

● 追加設定が終了すると、追加終了の画面が表示されます。

6

① 「終了」で(決定)を押す

② (メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

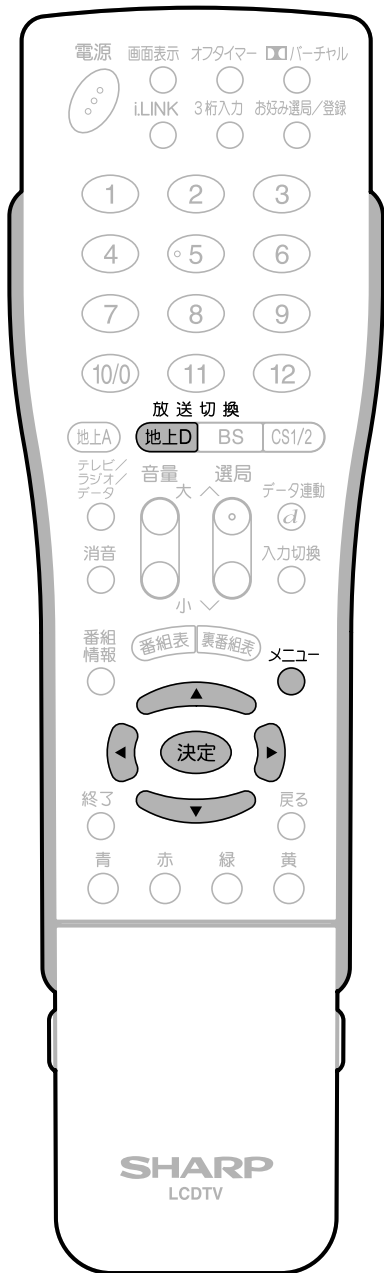
※CATVパススルーとは

● CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他チャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、およびVHF帯です。(トランスモジュレーション方式には対応していません。)

登録されたチャンネルを確認する

登録されたチャンネルリストを表示する

■ チャンネル設定で登録した、放送チャンネルを確認することができます。

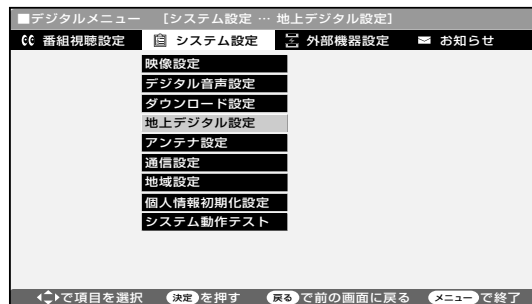
フタを閉じたところ

1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

2
① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

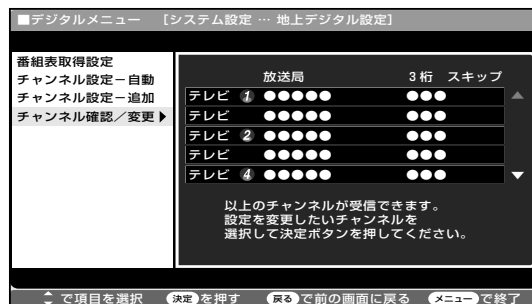
③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

3
① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

●地上デジタル設定画面が表示されます。

4 ▲▼で「チャンネル確認／変更」を選び、決定を押す

●登録された放送チャンネルリストが表示されます。
上下カーソルボタンで、放送チャンネルリストをスクロールすることができます。

おしらせ

メニュー画面について

●メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

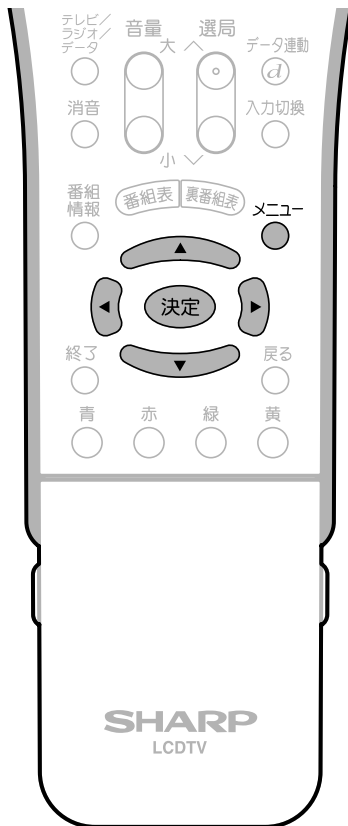
登録されたチャンネルの設定内容を変更する

■ 登録チャンネルの設定内容を変更する項目には、つぎの3つがあります。

「数字ボタン」…… 登録先のリモコン数字ボタンを変更します。
「枝番」……………… チャンネル番号の4桁目(枝番)を変更します。
「スキップ」……… 選局(∧順／∨逆)ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。

登録先の数字ボタンを変更する

■ 登録された放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更することができます。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで**「デジタル設定」**を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで**「デジタルメニューへ」**を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定……デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「チャンネル確認／変更」を選び、決定を押す

3

▲▼で、変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す

次ページへ

フタを閉じたところ

4 ◀▶で「数字ボタン」を選び、決定を押す

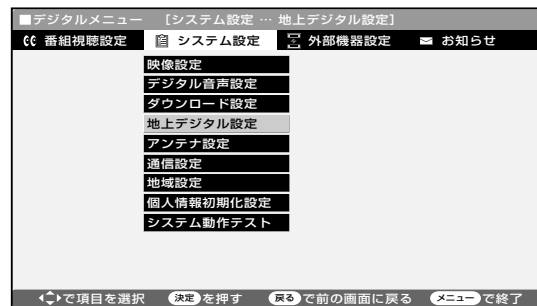
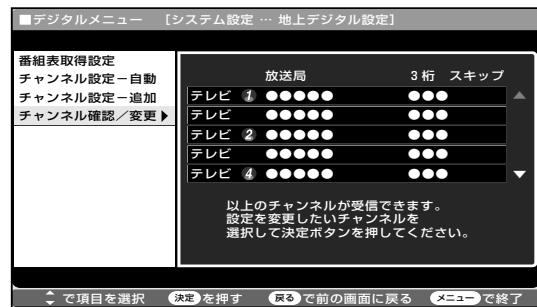
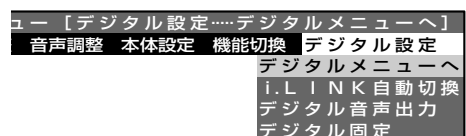
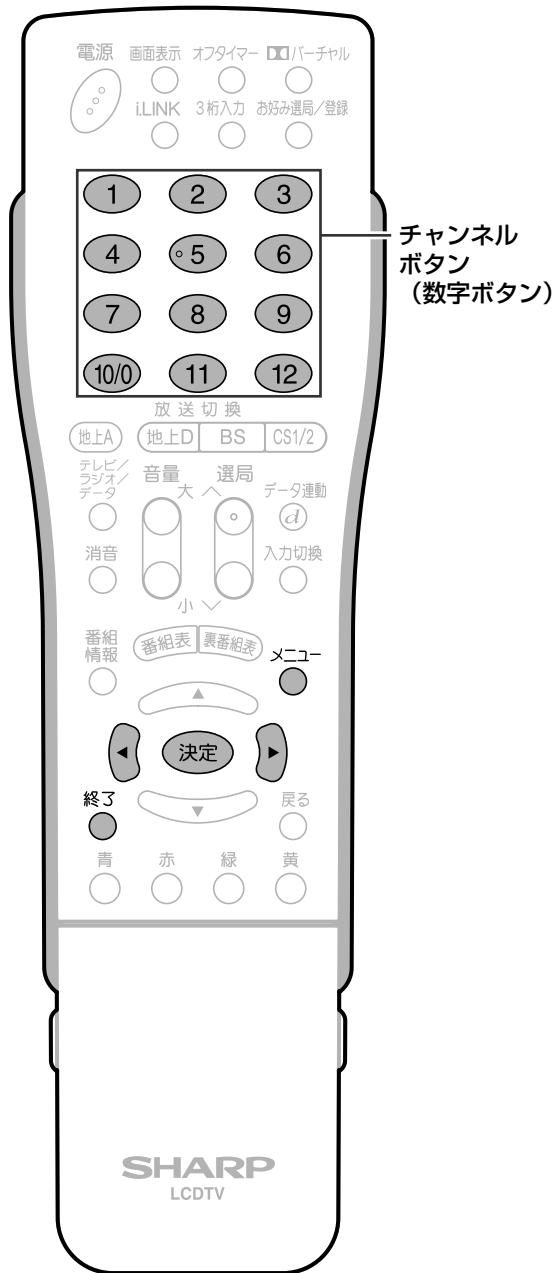
●数字ボタン入力欄が表示されます。

5 変更する数字を、チャンネルボタン(1～12)で入力し、決定を押す

[例] 3に変更する場合、3を押す

6 ◀で「確認」を選び、決定を押す

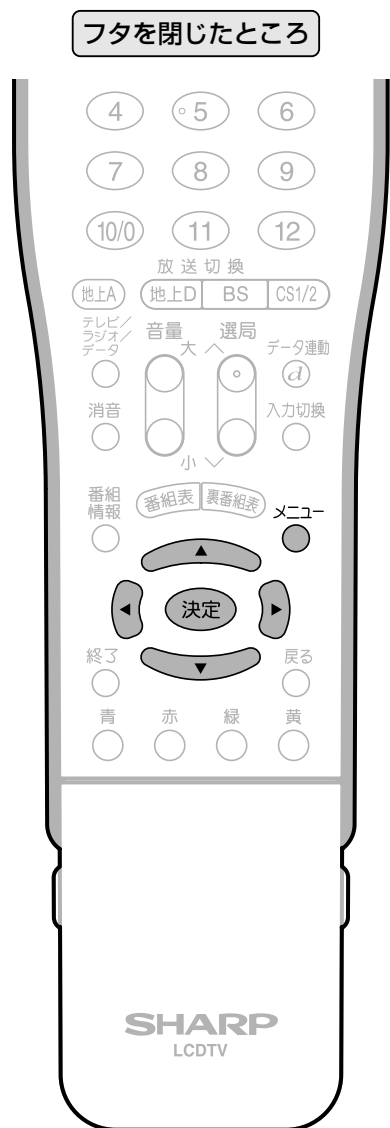
●放送チャンネルリストの表示が変更されます。

7 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 手順**5**の後、入力した数字が他チャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンを置き換えますか」の確認画面が表示されます。置き換える数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順**4**、**5**、**6**で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

登録されたチャンネルの設定内容を変更する(つづき)

枝番を変更する

■ 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁目(枝番)を変更して区別することができます。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する
② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ
③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

ュー ［デジタル設定…デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

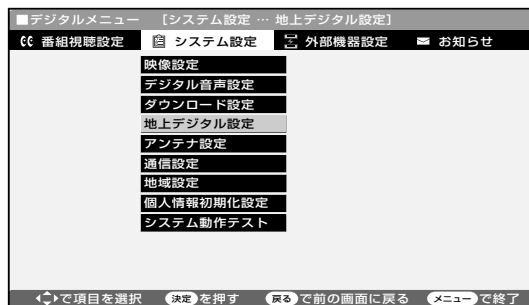
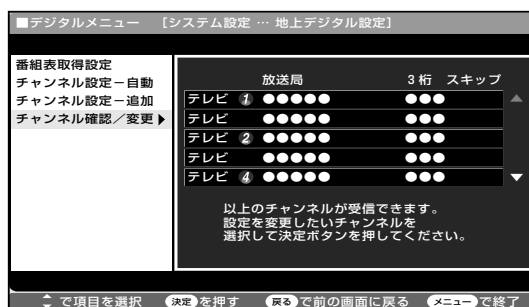
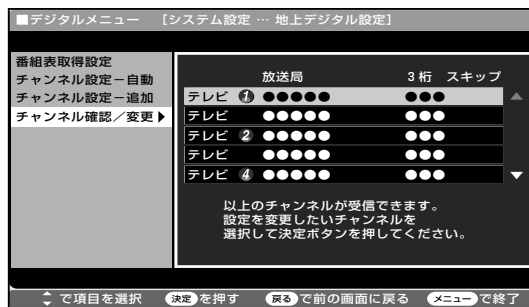
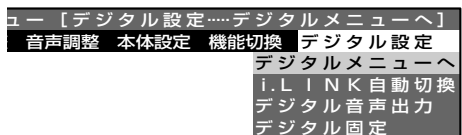
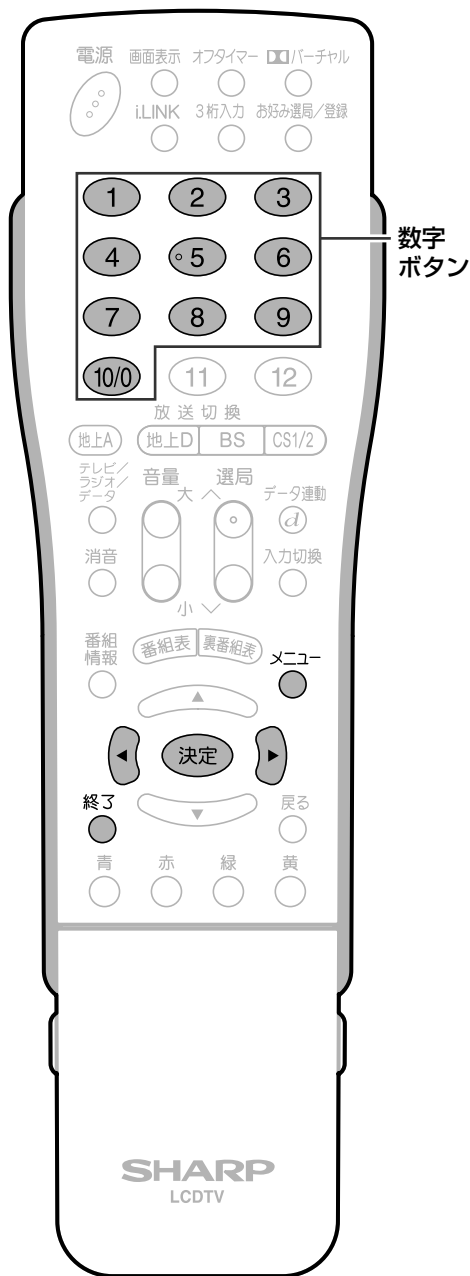
① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

③ ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「チャンネル確認／変更」を選び、決定を押す

3

▲▼で、変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す

次ページへ

4 ◀▶で「枝番」を選び、決定を押す

●枝番入力欄が表示されます。

5 変更する枝番の数字を、数字ボタン(1～10/0)で入力し、決定を押す

6 ◀で「確認」を選び、決定を押す

●チャンネルの枝番が変更されます。

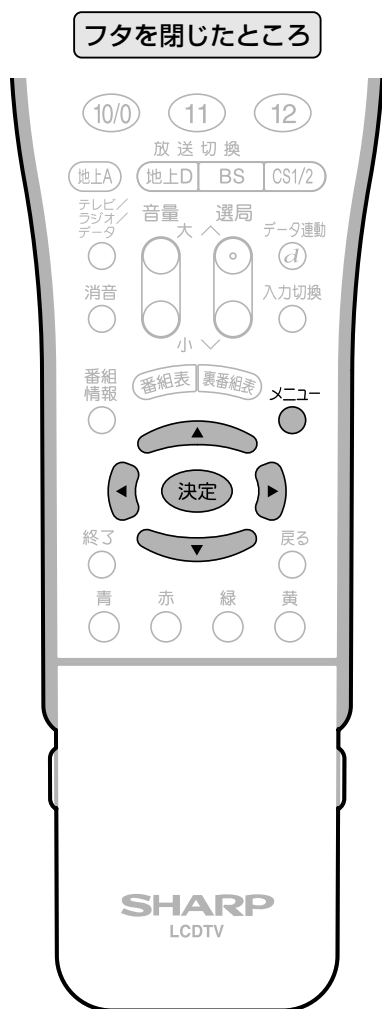
7 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 手順**5**の後、入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番を置き換えますか」の確認画面が表示されます。置き換える枝番の数字を入力して決定ボタンを押してください。
- 手順**4**、**5**、**6**で「戻る」を選んで、決定ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。

登録されたチャンネルの設定内容を変更する(つづき)

視聴しないチャンネルをスキップする

■ 選局ボタン(∧順／∨逆)でチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局するよう、設定することができます。

フタを閉じたところ

デジタルメニュー画面の表示手順

① メニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する

② 左右カーソルボタンで「**デジタル設定**」を選ぶ

③ 上下カーソルボタンで「**デジタルメニューへ**」を選び、決定ボタンを押す

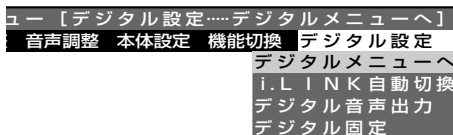
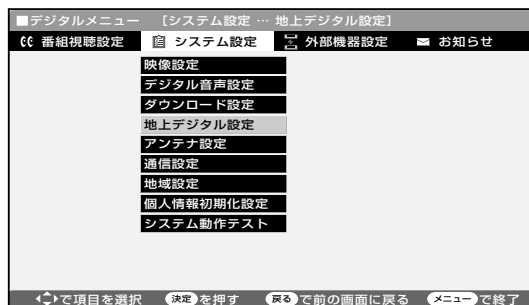
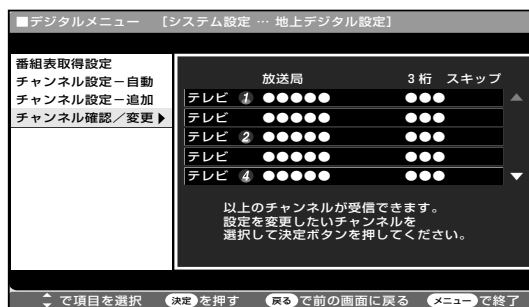
ュー［デジタル設定····デジタルメニューへ］
音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
i.LINK自動切換
デジタル音声出力
デジタル固定

1

① デジタルメニュー画面を表示する（表示のしかたは左下を参照ください）

② ◀▶で「システム設定」を選ぶ

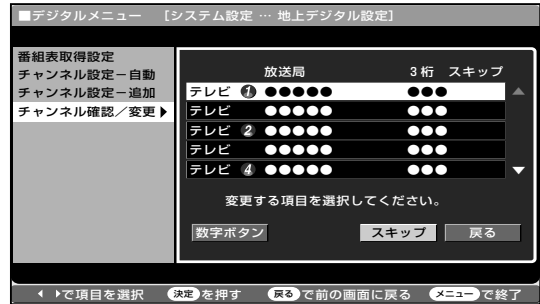
③ ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

2

▲▼で「チャンネル確認／変更」を選び、決定を押す

3

▲▼で、スキップ設定したい放送チャンネルを選び、決定を押す

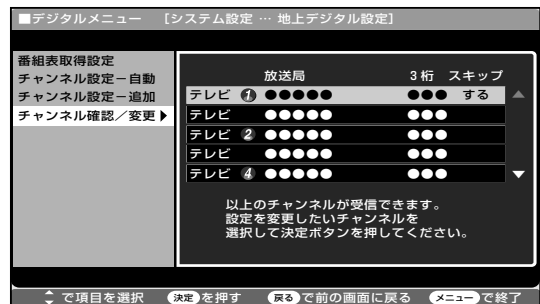
次ページへ

フタを閉じたところ

4 ◀▶で「スキップ」を選び、決定を押す

●スキップ選択画面が表示されます。

5 ◀で「する」を選び、決定を押す

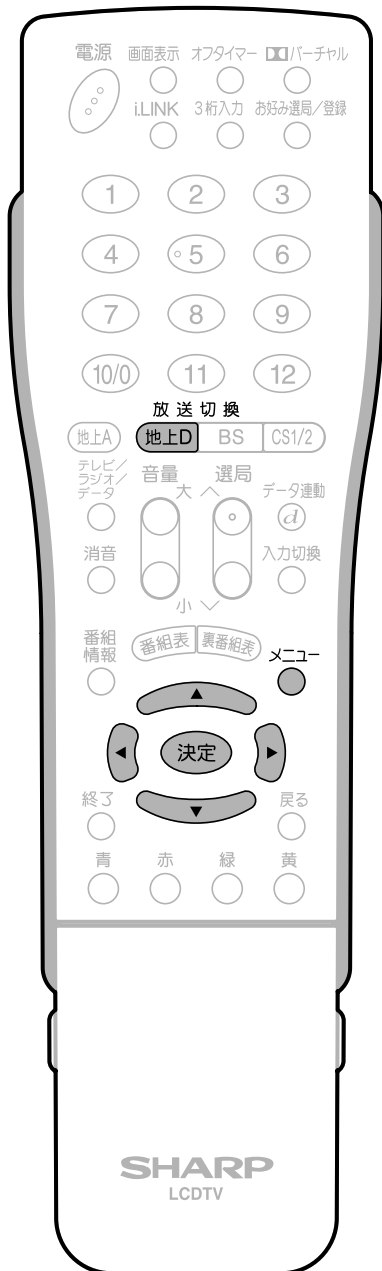
●スキップをしないときは、左右カーソルボタンで「しない」を選び、決定ボタンを押します。

●放送チャンネルリストのスキップ欄に「する」が表示されます。

6 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

地上デジタル放送の番組表取得設定を行う

番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。この番組表を取得するための設定です。

フタを閉じたところ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

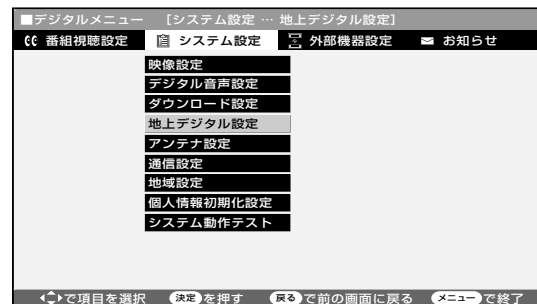
1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2
① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

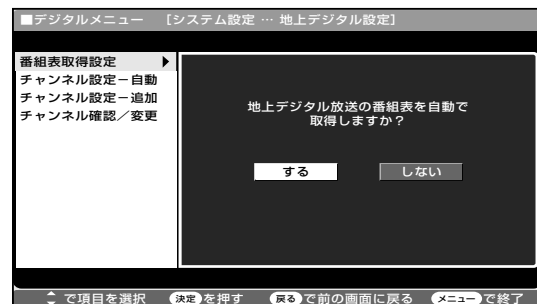
② ◀▶ で「デジタル設定」を選ぶ

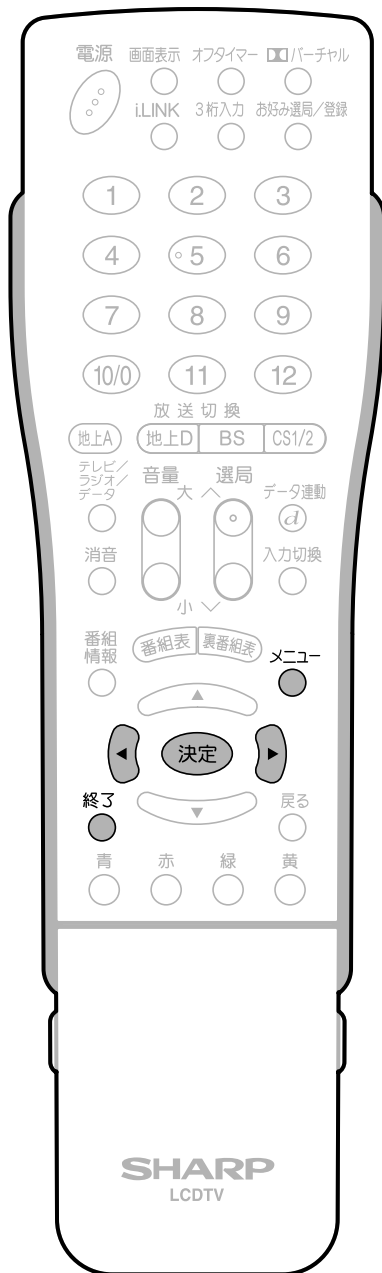
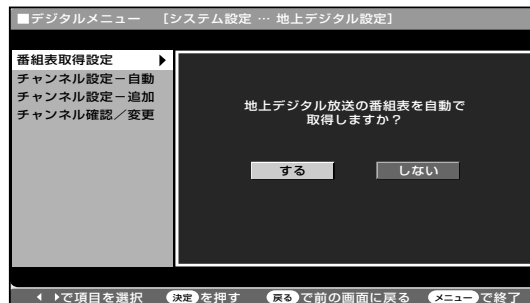
③ ▲▼ で「デジタルメニューへ」を選び、決定 を押す

- デジタルメニュー画面が表示されます。

3
① ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼ で「地上デジタル設定」を選び、決定 を押す

- 地上デジタル設定画面が表示されます。

4 ▲▼ で「番組表取得設定」を選び、決定 を押す

次ページへ

フタを閉じたところ

5 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

6 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

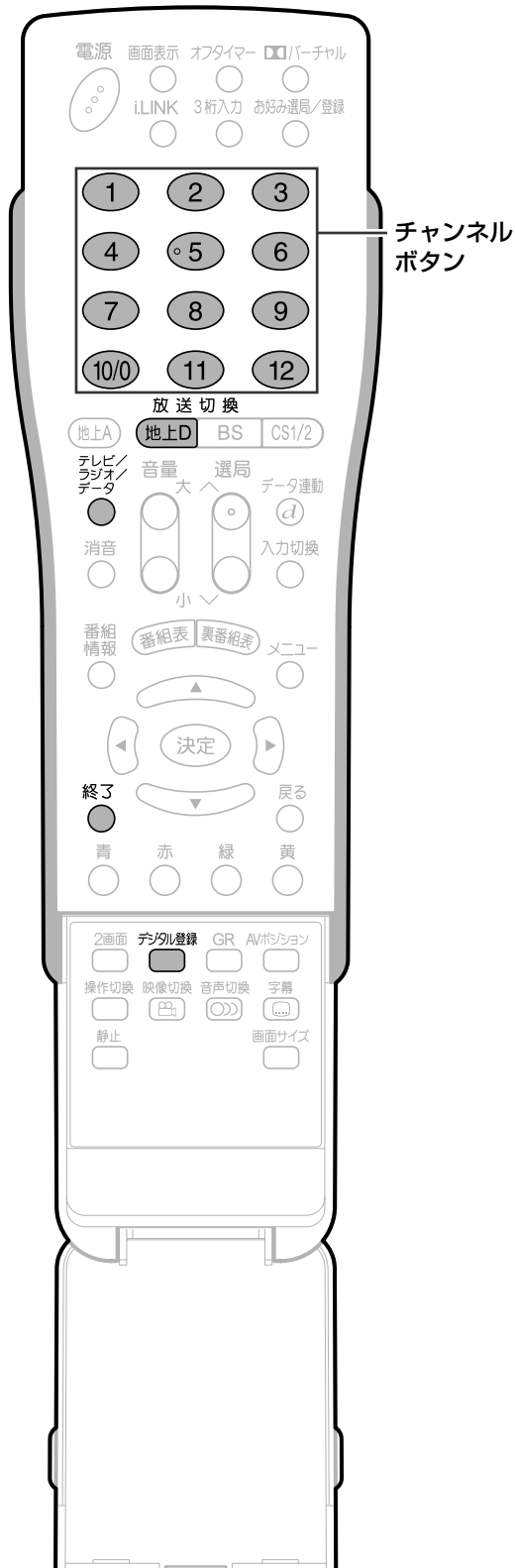
電子番組表(EPG)について

- 電子番組表(EPG)の表示のしかたや使いかたについては、BS・110度CSデジタル放送の電子番組表のページをご参照ください。(**77**〜**97**ページ)

地上デジタル放送の番組を選ぶ

チャンネルボタンで選ぶ

■ 受信登録した各放送局のチャンネルをチャンネルボタンでワンタッチ選局できます。

フタを開けたところ

1 **地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ**

- データ放送を受信する場合は、テレビ／ラジオ／データボタンを押してください。

2 **チャンネルボタン(1～12)を押し、番組を選局する**

▼画面表示例

地上Dテレビ　NHK総合　011

チャンネルボタンに登録されているチャンネルを確認する

放送を視聴中に デジタル登録 を押す

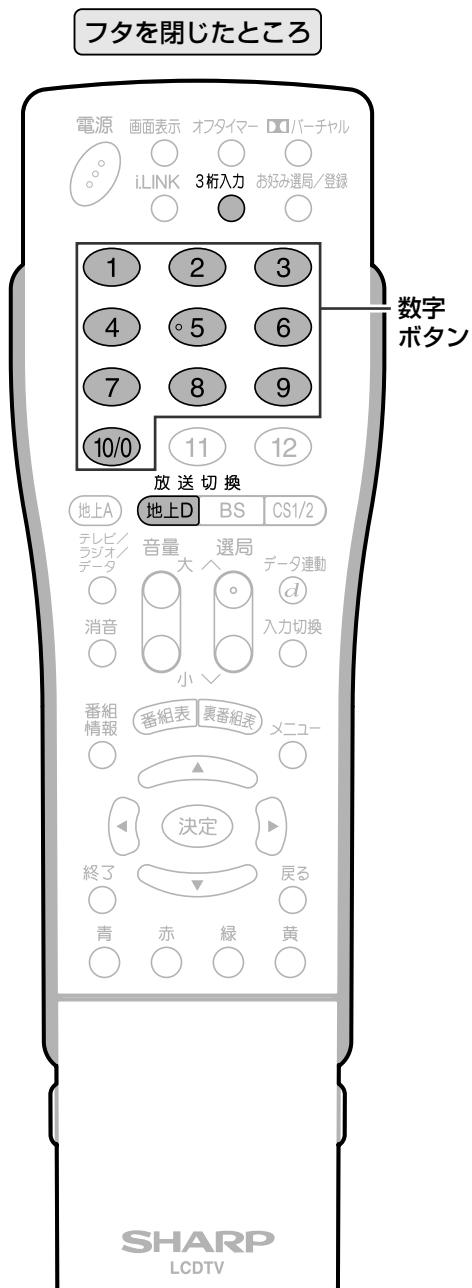
- 登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。
- 確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンか終了ボタンを押します。

工場出荷時に設定されている地上デジタルチャンネル一覧

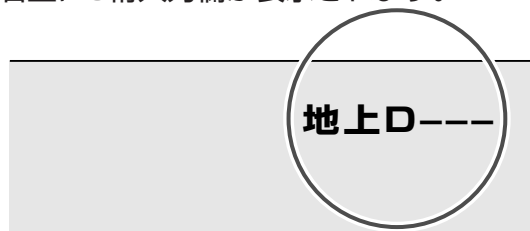
チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

（2004年6月現在）

3桁入力で選ぶ

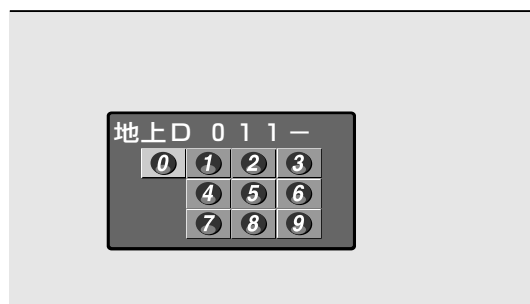
■ 視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁目(枝番)を選んで番組を選局します。

1 地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 ① 3桁入力を押す

●画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② 数字ボタン(1～10/0)で3桁チャンネル番号を入力し、選局する

●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

重複したチャンネルの枝番を選んで選局する

●3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁目(枝番)の選択画面が表示されます。

数字ボタン(1～10/0)で4桁目の番号を入力し、選局する

おしらせ

つぎの操作手順でも選局できます

① 3桁入力ボタンを押す
② 放送切換「地上D」ボタンでネットワークを切り換える
③ 数字ボタンで3桁チャンネル番号を入力する

地上デジタル放送の番組を選ぶ(つづき)

選局(∧順/∨逆)ボタンで選ぶ

■ 選局(∧順/∨逆)ボタンを押すたびに、順方向・逆方向で選局ができます。スキップ設定をしたチャンネルは飛び越します。

フタを閉じたところ

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 テレビ/ラジオ/データ を押し、視聴したいメディアを選ぶ

3 選局 ∧ ∨ を押す

●視聴したい番組が表示されるまで、選局(∧順/∨逆)ボタンを押してください。

双方向通信を行うための設定

電話回線の設定

■ お使いになっている電話回線の設定をします。これは、地上デジタル放送の双方向サービスを利用してデータ送受信をするときに必要な設定です。
電話回線が接続されていることを確認してください。
（1. 準備編 **14**ページ参照）

設定を始める前に

● デジタルメニューを使って設定を行う前に、地上Dボタンを押し、画面を地上デジタル放送の表示にしておいてください。

フタを閉じたところ

1

① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶ で「デジタル設定」を選ぶ

③ ▲▼ で「デジタルメニューへ」を選び、決定 を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

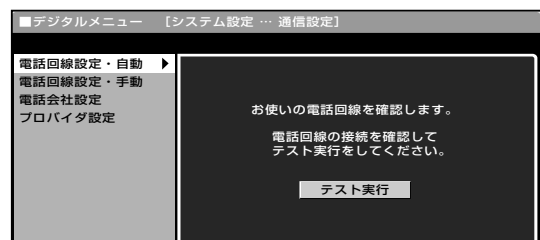
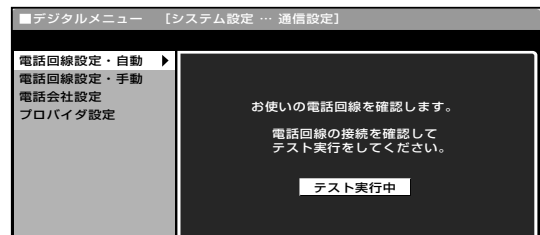
2

① ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

3

① 「電話回線設定・自動」で 決定 を押す

② 「テスト実行」で 決定 を押す

●「テスト実行中」が表示されます。

●「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。

●2回以上連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。（**190**ページの設定をしてください。）

おしらせ

● 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。

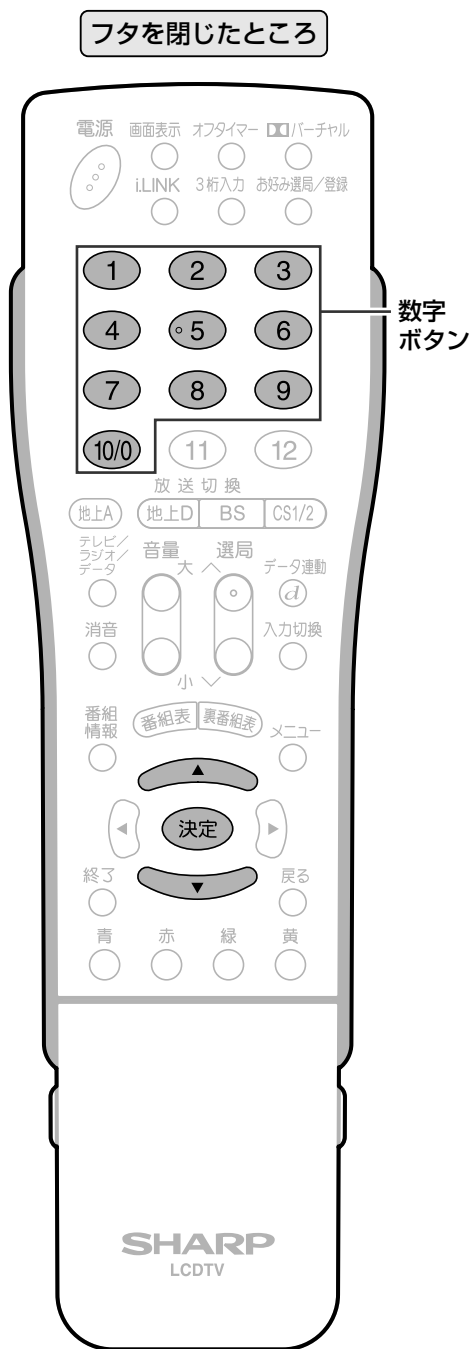
メニュー画面について

● メニュー画面は表示後、何も操作しないと約１分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

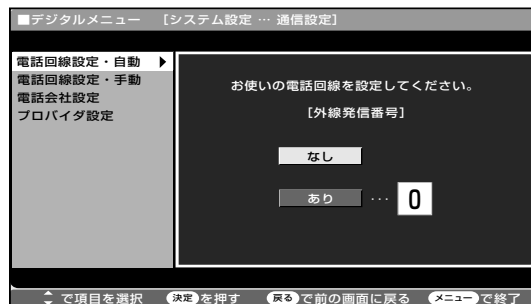
双方向通信を行うための設定(つづき)

電話回線の自動判定が2回以上連続してできなかった場合は、下の画面が表示されますので、再設定してください。

フタを閉じたところ

外線発信番号の設定

1 で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」…… 外線交換機を使用しない場合
（通常の一般家庭）

「あり」…… 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(1～10/0)で外線発信番号(0～9)を右のボックスに入力してから、決定ボタンを押します。

2 「テスト実行」で決定を押す

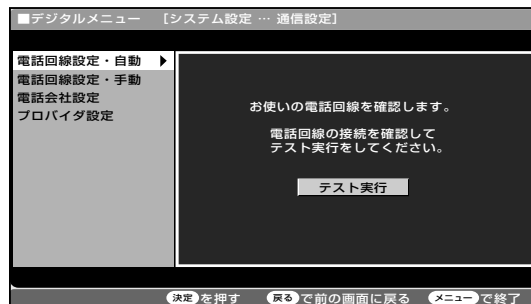
■デジタルメニュー ［システム設定 … 通信設定］

電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
プロバイダ設定

お使いの電話回線を確認します。

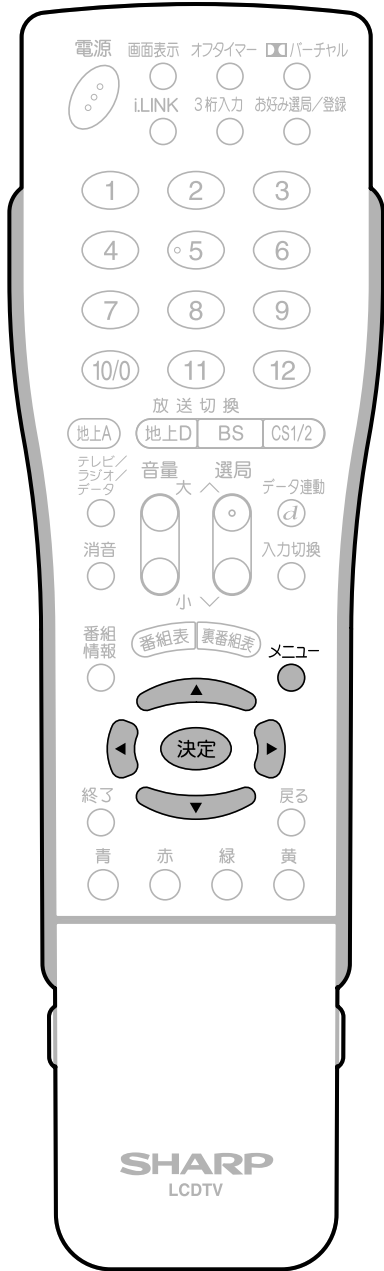
電話回線の接続を確認して
テスト実行をしてください。

テスト実行

決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　メニュー で終了

- 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順1に戻ります。

- 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、191ページ「手動による電話回線設定」の手順にしたがってください。

どうしても自動で電話回線設定ができない場合は、つぎの手順により、手動で設定してください。

手動による電話回線設定

1

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

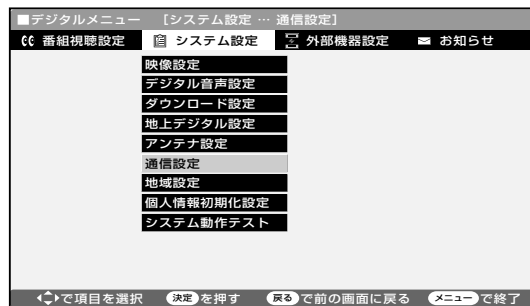
③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

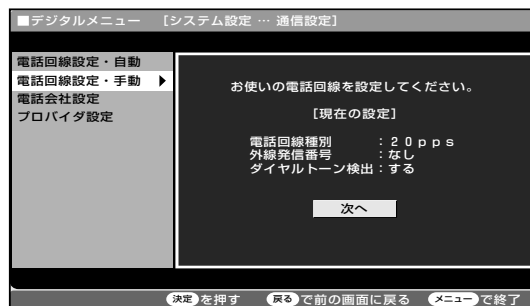
●デジタルメニュー画面が表示されます。

2

① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

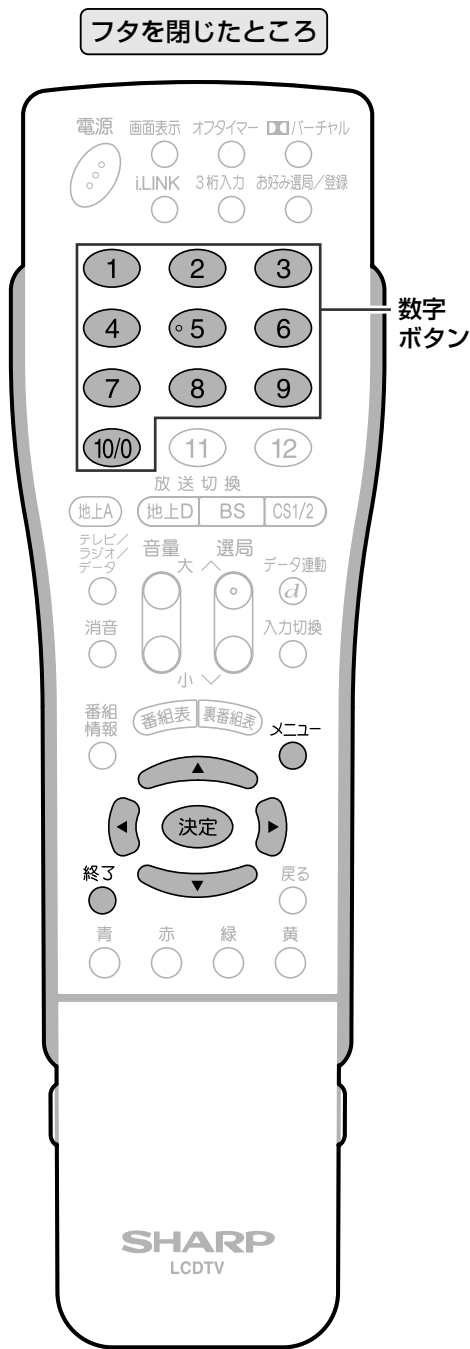
② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す

② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

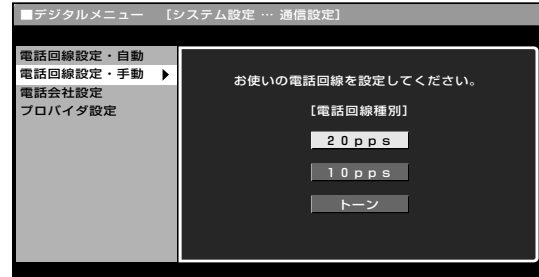
双方向通信を行うための設定(つづき)

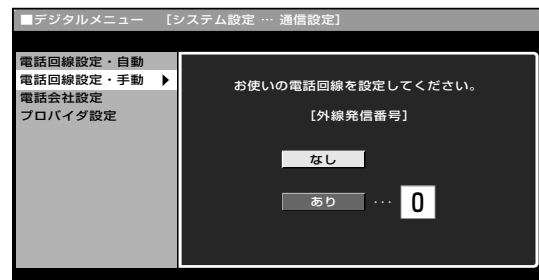
フタを閉じたところ

● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

ご注意

4

ご契約の電話回線種別を▲▼で選び、決定を押す

●契約している電話回線種別(ダイヤル方式)が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

5

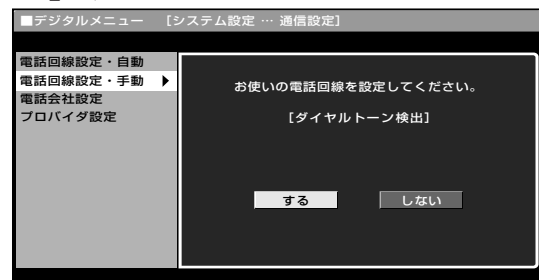
① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

●「あり」を選んだ場合は、数字ボタン(1～10/0)で、外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

6

ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を◀▶で選び、決定を押す

●NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。

7

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

電話会社設定

■ 各放送局と、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。
■ **通常は設定する必要はありません。**

フタを閉じたところ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

発信者番号通知設定

- 通信後、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

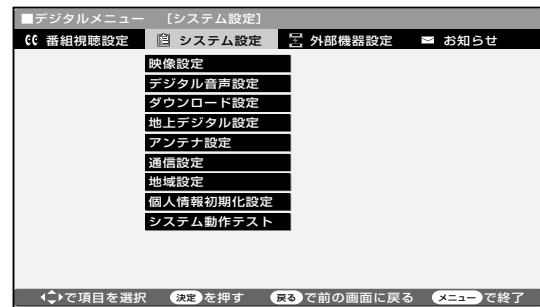
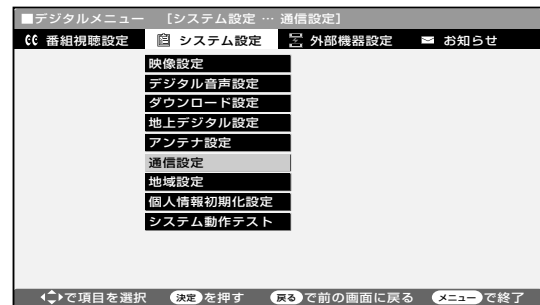
1 **地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ**

2
① **メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

② **◀▶で「デジタル設定」を選ぶ**

③ **▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す**

- デジタルメニュー画面が表示されます。

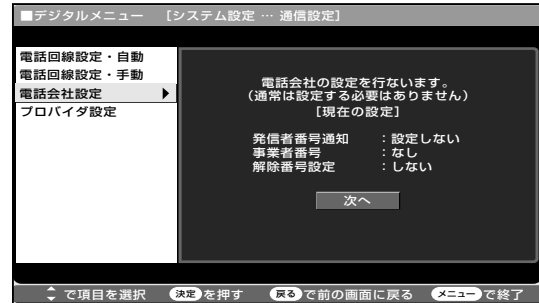
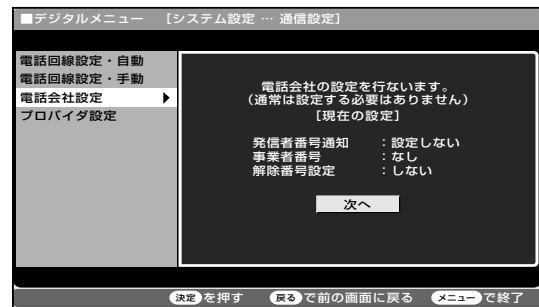
3 **◀▶で「システム設定」を選ぶ**

4 **▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す**

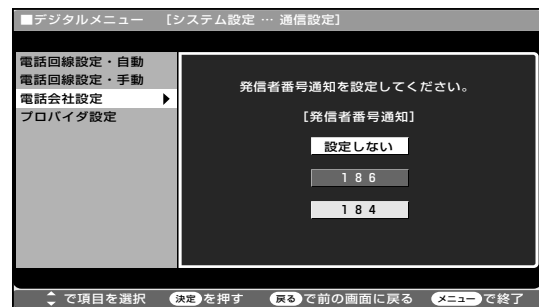
次ページへ

次ページへつづく

双方向通信を行うための設定(つづき)

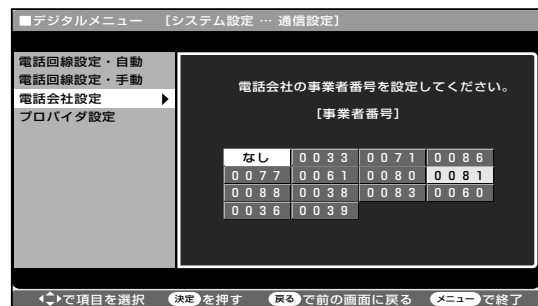
フタを閉じたところ

5 ▲ ▼ で「電話会社設定」を選び、決定を押す

6 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

7 ▲ ▼ で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定を押す

「設定しない」………「186」「184」の、どちらにも設定しません。
「186」………………番号を通知します。
「184」………………番号を通知しません。

次ページへ

事業者番号設定

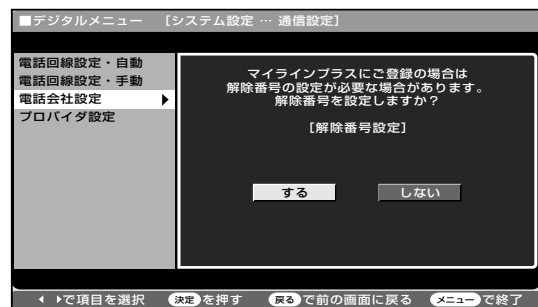
●電話回線による、通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

8 **▲▼◀▶で、利用している電話会社の事業者番号を選び、決定を押す**

解除番号設定

●マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するよう設定することができます。

9 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」………… マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」……… マイラインプラスを解除しないで、発信します。

10 **メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

ソフトウェアキーボードについて

■ プロバイダ設定（**200**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボードが表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

■デジタルメニュー ［システム設定 … 通信設定］

電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
プロバイダ設定

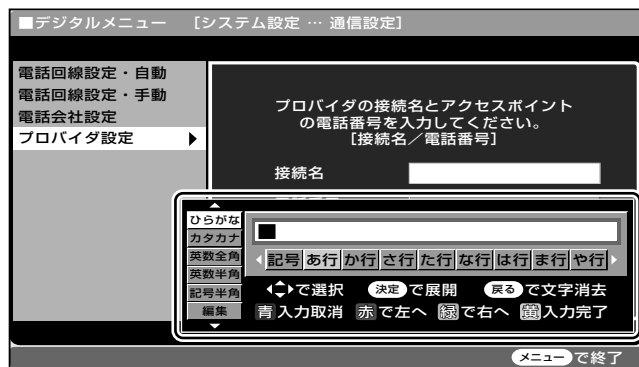
プロバイダの接続名とアクセスポイントの電話番号を入力してください。
［接続名／電話番号］

接続名

ひらがな カタカナ 英数全角 英数半角 記号半角 編集

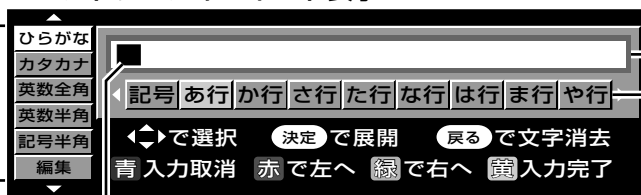
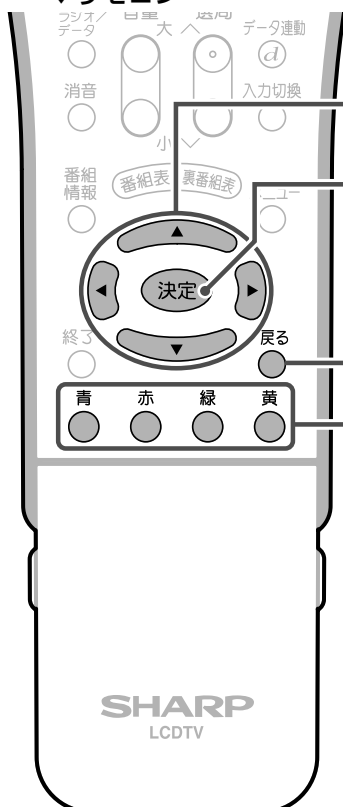
記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行

で選択 決定で展開 戻るで文字消去
青 入力取消 赤 で左へ 緑 で右へ 黄 入力完了

メニューで終了

ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードの使いかた

■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタンを使用して操作・入力します。

▼ソフトウェアキーボード表示

▼リモコン

ソフトウェアキーボード操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ
- 文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

入力文字の種類

入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）

ひらがな

記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ゛
さ行	さしすせそ゛	た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

カタカナ

記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白

記号	ー、。・「」ー(全角ハイフン)	ア行	アイウエオァィゥェォ	カ行	カキクケコ゛
サ行	サシスセソ゛	タ行	タチツテトッ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

英数全角

数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

英数半角

数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	ABC	A B C a b c	DEF	D E F d e f
GHI	G H I g h i	JKL	J K L j k l	MNO	M N O m n o
PQRS	P Q R S p q r s	TUV	T U V t u v	WXYZ	W X Y Z w x y z
空白	（半角スペース）				

記号半角

@.,: ;_-¥ $%!? &#+* =/|‾ ”’^` ()<> []{} 空白

@.,:	@ . , :	;_-¥	; _ - ¥	$%!?	$ % ! ?
&#+*	& # + *	=/|‾	= / | ‾	”’^`	” ’ ^ `
()<>	( ) < >	[]{}	[ ] { }	空白	（半角スペース）

編集

入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去

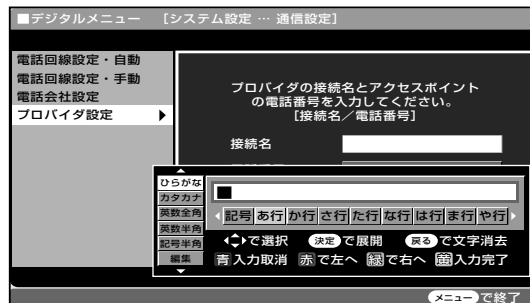
※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

文字入力をする

フタを閉じたところ

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤(左へ)または緑(右へ)でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

1 プロバイダ設定画面の入力欄で(決定)を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

2

① (▲)(▼)で「文字モード」を選ぶ

② (◀)(▶)で「文字グループ」を選び、(決定)を押す

- 選んだ文字グループが展開されます。

3 (◀)(▶)で入力する文字を選び、(決定)を押す

- キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

- 続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 (黄)を押し、入力を完了する

- プロバイダ設定画面の入力欄に完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例]「ぴ」を入力する

1

① で文字モード「ひらがな」を選ぶ

② で「は行」を選び、決定を押す

2

で「ひ」を選び、決定を押す

3

で「゜」を選び、決定を押す

- 「゛」を選んで決定ボタンを押すと、「び」になります。

スペースを入力する

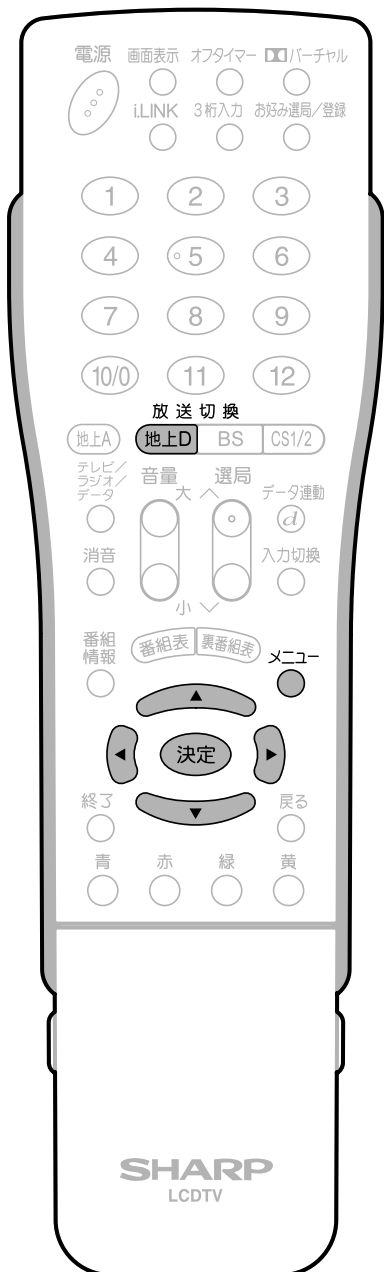
で文字グループから「空白」を選び、決定を押す

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

プロバイダ設定を行う

プロバイダ設定

■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。

フタを閉じたところ

メニュー画面について

- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約１分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

1 **地上Dを押し、地上デジタル放送を選ぶ**

2

① メニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

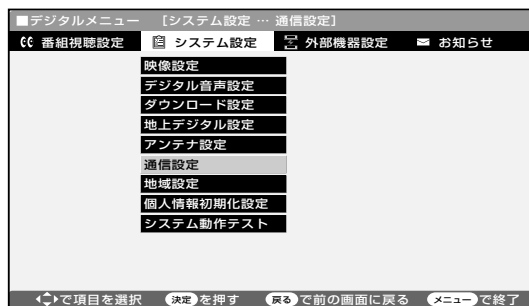
③ ▲▼で「デジタルメニューへ」を選び、決定を押す

●デジタルメニュー画面が表示されます。

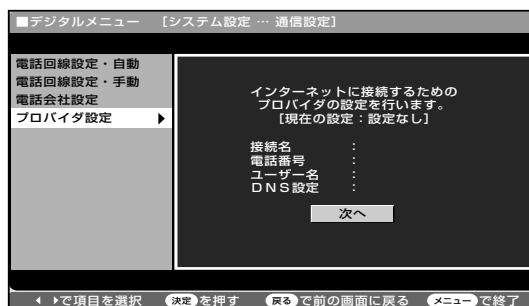
3

① ◀▶で「システム設定」を選ぶ

② ▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

4

① ▲▼で「プロバイダ設定」を選び、決定を押す

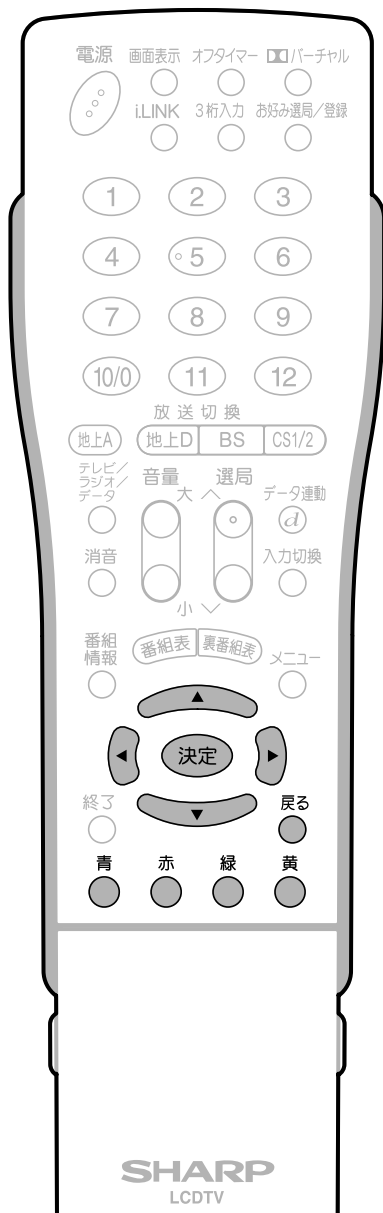
●プロバイダ設定画面が表示されます。

② 「次へ」で決定を押す

次ページへ

「接続名」について
- 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

「電話番号」について
- 契約しているプロバイダの電話番号を入力します。

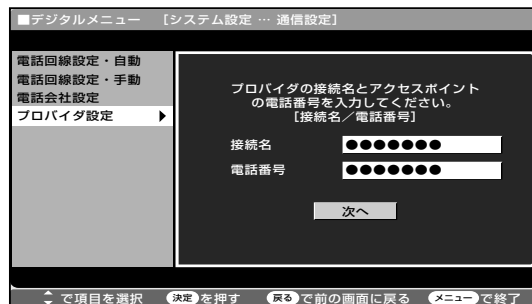
「ユーザー名」「パスワード」について
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

フタを閉じたところ

5

① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、接続名を入力する

- カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、電話番号を入力する

③ 「次へ」で 決定 を押す

6

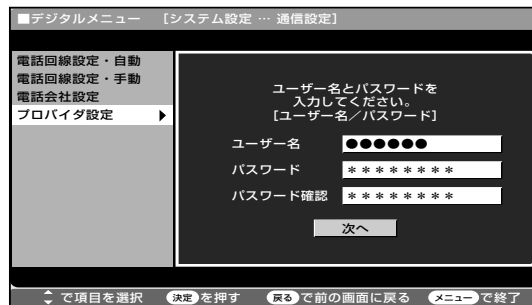
① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、ユーザー名を入力する

- カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、パスワードを入力する

- カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し、同じパスワードを入力する

④ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**196**ページをご覧ください。

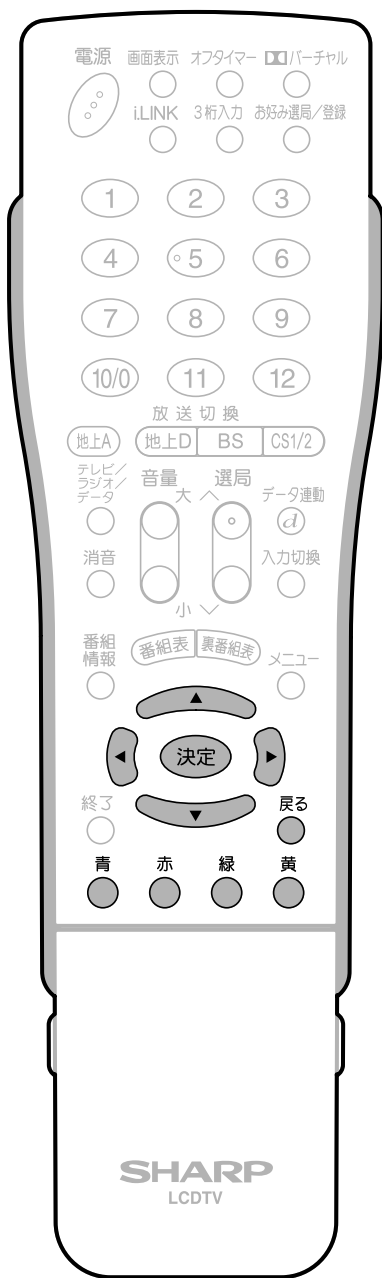
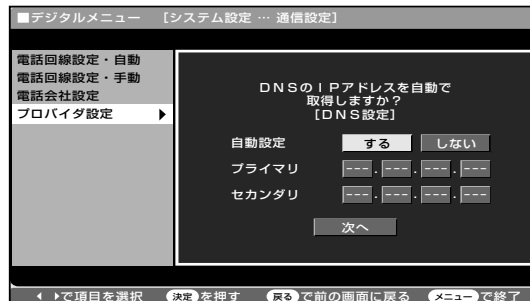
次ページへつづく

プロバイダ設定を行う(つづき)

「IPアドレス」について

自動設定「しない」を選んだ場合

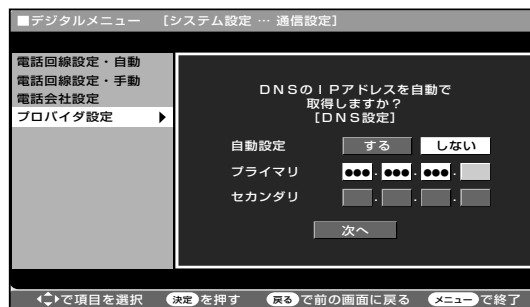
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
  データのやりとりに使われる、3桁の数字4つで表された番号です。
  「プライマリ」：1番目の番号
  「セカンダリ」：2番目の番号

フタを閉じたところ

7 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定ボタンを押します。手順**9**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。手順**8**に進んでください。

8

① 決定を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

② ソフトウェアキーボードで、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する

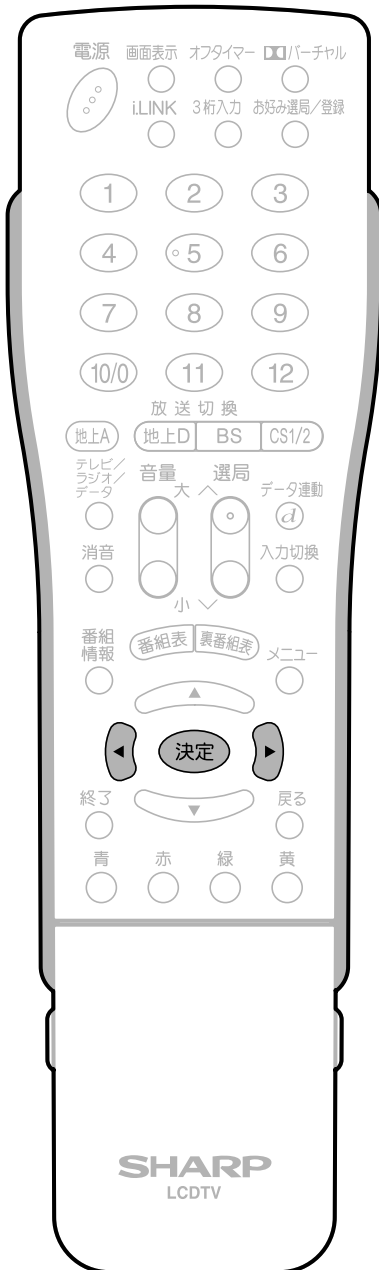
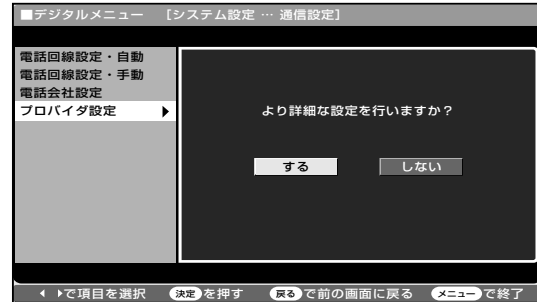
- ①、②をくり返し、各入力欄に数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する

④ 「次へ」で決定を押す

次ページへ

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**196**ページをご覧ください。

詳細な設定をする

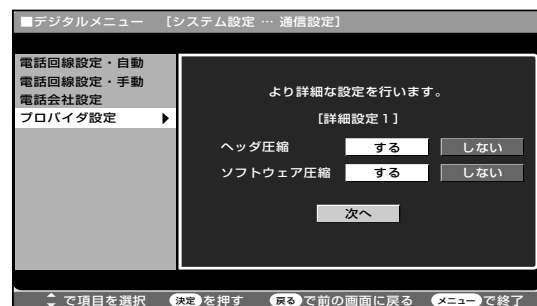
フタを閉じたところ

9 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

- 「する」を選んだ場合は、詳細設定画面が表示されます。手順**10**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダ設定画面に戻ります。手順**13**に進んでください。

■ 通信速度を向上させるか、させないかの設定です。
契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。

10 **① ◀▶で、ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す**

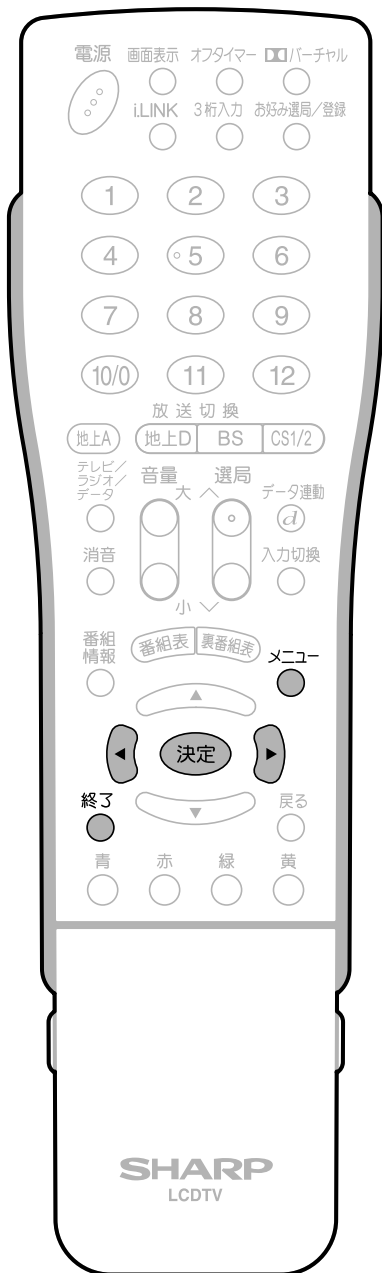
② ◀▶で、ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定を押す

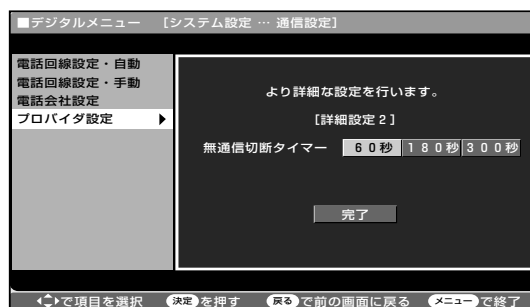
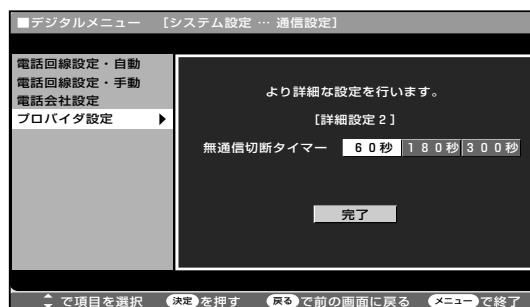
③ 「次へ」で決定を押す

■デジタルメニュー ［システム設定 … 通信設定］
電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
プロバイダ設定
より詳細な設定を行います。
［詳細設定１］
ヘッダ圧縮 する しない
ソフトウェア圧縮 する しない
次へ
で項目を選択 決定を押す 戻るで前の画面に戻る メニューで終了

次ページへ

次ページへつづく

プロバイダ設定を行う(つづき)

フタを閉じたところ

■ 回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

11 ◀▶で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定を押す

12 「完了」で決定を押す

13 メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

情報ページ

● この章では、本機をご使用になるうえで、知っておいていただきたいことやご注意、また別売品のご案内や用語の解説、索引などの情報について掲載しています。

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**212**ページをご覧ください。**(太字のページ番号は 1.準備編 です。)**

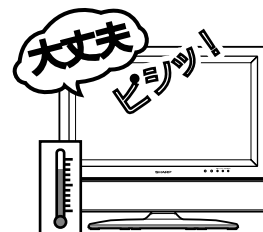
	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビ側	映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源が「切」の状態になっていませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	**19** **20** 130
	リモコンが動作しない	●乾電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●蛍光灯など強い光がリモコン受信部に当っていませんか。	**9**
	映像は出るが音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか。 ●「消音」状態になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ●ビデオ3の切換を「モニター出力」にしていませんか。	28 29 128 133
	音声は出るが映像が出ない	●映像入／切が「切」になっていませんか。	59
	色がうすい 色あいが悪い	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	40
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	●チャンネルの微調整がズレていませんか。	**38**
	見ているチャンネルが勝手に変わってしまう	●オンタイマーが「する」になっていませんか。 オンタイマーを「する」にしてあると、設定されている内容で、チャンネルと音量が変わります。	55
アンテナ側	映像が出ず 雑音のみ出る	●アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。	**12**
	画像にはん点が出る	●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	－
	映像が二重になる (ゴースト)	●近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの方向や高さを変えてみてください。 ●GR設定を行ってみてください。	－ 53
	色じま模様が出る	●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	－
	雪が降っているような画面になる	●アンテナ線が正しく接続されていますか。 ●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナの方向が変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。	**12** － －

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	●BS･CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。 ●映像、音声のない放送ではありませんか。 ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	41 – 130
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか。 ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 41 – 13
	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ●有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	43 22･24 14･44
	110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	13
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ●地上デジタル受信用のUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか。 ●お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 ●チャンネル設定は正しくされていますか。	164 165 13 167 170
	画面にノイズが出る	●UHF/VHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか。 ●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	22･24 41
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	–
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ●ビデオ連動録画予約は正しく設定されていますか。 ●データ番組ではありませんか。 ●ビデオ2入力／録画出力の設定は正しく設定されていますか。	142 143 – 132
	番組の予約をしても受信できない場合があります。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	83
その他	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか。 ●i.LINKケーブルが外れていませんか。 ●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	– 146 146

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。このようなときは本体の電源スイッチを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくした後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする
- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害
- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ　（太字のページ番号は 1. 準備編 です。）

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、ロックスイッチをロックしてください。	**43**
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**43**
このカードは使用できません。 正しい IC カードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	**43**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**13・40**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	**13**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	14・43 –
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、デジタルメニューの通信設定を正しく行ってください。	14・44
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■i.LINKに関する注意文

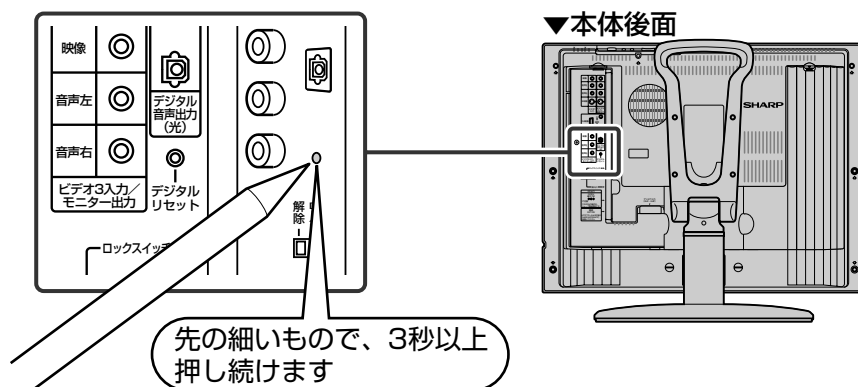
注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。147ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■システムエラー発生時の注意文

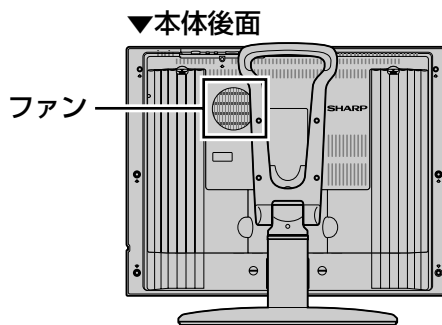
注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	内部のファンが停止するなど、マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

デジタルリセットボタンについて

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体後面左側の端子部内のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。
- リセット後は、リセット前のテレビチャンネルに戻ります。

ファンについて

■ 電源を「入」にしているときは、内部の温度上昇を抑えるため、常にファンが回転しています。
■ 電源が「切」(待機状態)のときも次の場合は、ファンが回転しています。

- デジタル固定機能を「する」にしているとき。
- 予約設定しているとき。
- 有料放送の契約情報を取得しているとき。
- 有料番組の課金情報を送信しているとき。
- デジタル放送受信機内のソフトウェア更新(ダウンロード)をしているとき。

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容	処置のしかた
画面の左下に「温度」の文字が点滅表示します。 (本機の内部や周囲の温度が異常に上昇すると、画面の左下に「温度」の文字が点滅表示します。)	● 本機の設置状態や場所を再度確認してください。温度が異常に高くならないような環境に設置してください。 ● 本機の電源を切って、内部温度が常温に戻るまでお待ちください。 ● 本機の内部や通風口にたまったホコリを取り除いてください。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

米国 BBE Sound, Inc. の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。（消耗部品は除く）
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」（**206** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LC-22GD3
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

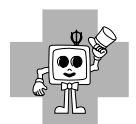
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ……………… **お客様相談センター** へ

修 理 相 談 セ ン タ ー

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お 客 様 相 談 セ ン タ ー

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（04.06）

おもな仕様

形名		LC-22GD3
種類		液晶カラーテレビ
受信チャンネル		VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／CATV C13～C63チャンネル／ BSデジタル000～999チャンネル／110度CSデジタル000～999チャンネル／ 地上デジタル000～999チャンネル
液晶パネル	画面サイズ	22V型(横474mm×縦271mm／対角546mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1,229,760ドット(縦480×横854×3)
アンテナ入力		VHF/UHF75Ω不平衡型、BS-IF75Ω不平衡型(C15型)
音声出力		10W(5W+5W)
スピーカー		6×12cm だ円形 2個
定格電圧		AC100V
定格周波数		50／60Hz
消費電力		98W リモコン待機時：0.82W(BS予約「OFF」) 本体電源OFF時：0.8W
年間消費電力量		136kWh/年
接続端子		ビデオ入力3系統3端子、S2映像入力2系統2端子、D4映像入力1系統1端子、 モニター出力1系統1端子(ビデオ3兼用)、アンテナ入力(VHF・UHF)端子、 ヘッドホン出力端子、DC9V出力端子、 電源入力端子DC13V(付属のACアダプター使用時)、 デジタル音声出力(光)1系統1端子(AAC5.1ch対応)、i.LINK 2端子、 録画出力1系統1端子(ビデオ2兼用・S2映像付き)、電話回線端子、 ビデオコントロール端子、BS・110度CSアンテナ入力端子、 地上デジタルアンテナ入力・出力端子
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	473MHz～767MHz
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅567mm×高さ496mm×奥行き244mm 幅567mm×高さ439mm×奥行き90mm(スタンド含まず)
本体質量		約9.6kg 約8.3kg(スタンド含まず)
使用温度		0℃～40℃

■年間消費電力量とは：省エネルギー法に準拠して、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算定した、1年間に使用する電力量です。

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

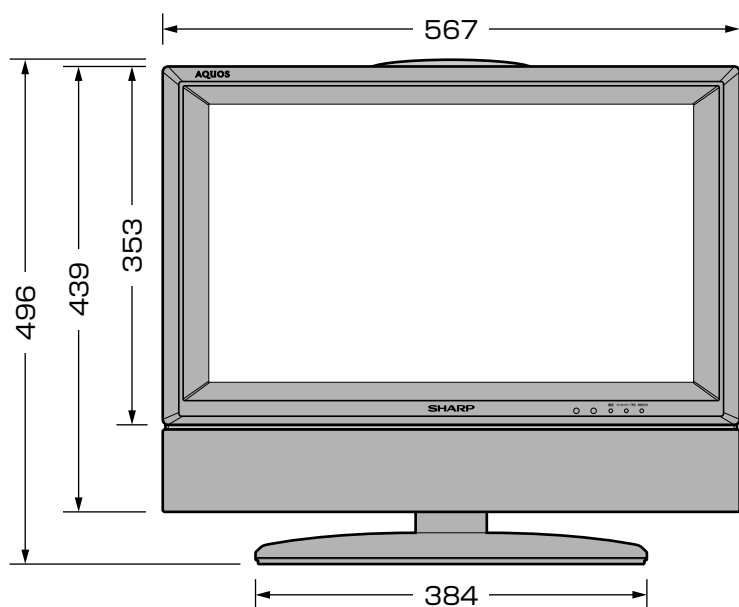
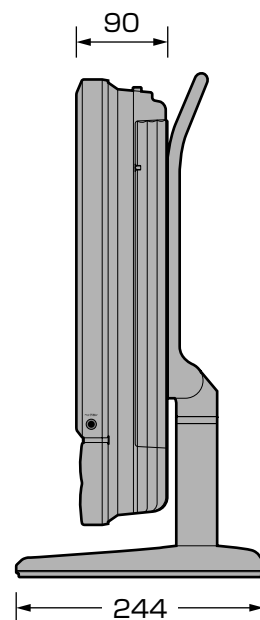
No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-110AG1
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
4	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
5	システムラック	AN-20SR2
6	システムラック	AN-28SR1
7	フロアースタンド	AN-26FS1

(2004年6月現在)

- 本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

寸法図

寸法図

(単位： mm)

本体正面

本体側面

テレビメニュー項目一覧

■本機の設置調整をするときの手助けとしてご参照ください。

用語解説

● よく使われるテレビ用語や関連用語です。

■ 110度CSデジタル放送

BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「スカパー！110P」と「スカパー！110S」の2つのプラットフォーム(運営会社)によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 16：9

デジタルハイビジョン放送の画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i

走査線525本、インターレース方式。地上放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p

走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p

走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i

走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC (→ MPEG2 AAC)

■ B-CASカード（ビーキャスカード）

各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS・110度CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BSデジタル放送

2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS(アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送(BSラジオ)、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）

ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4入力に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。（液晶パネル等が高精細対応している場合。）

次ページへつづく

用語解説(つづき)

■ EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK（アイリンク）

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC（MPEG2 Advanced Audio Coding）

MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC（National Television System Committee）

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM（Pulse Code Modulation）

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV（Pay Per View）

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2 映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

■ 液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ

BS／110度CS／地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続

映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送

2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上アナログ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSデジタルハイビジョン放送などは750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダ

一般にはインターネットサービスプロバイダ(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った、双方向サービスが楽しめます。

■ ワイドクリアビジョン放送

地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

索引

●ま行

●や行

●ら行

●わ行

●英数字・記号

Part Names

■ The number shown in each ▰ is the page number where the part's function and/or use are explained either in English or Japanese.

Front view

AQUOS

SHARP

Speaker 1. 準備編 47

Stand···· 1. 準備編 11

Remote sensor window
• When using the remote control, point its head toward this part.

電源 オンタイマー/予約 お知らせ

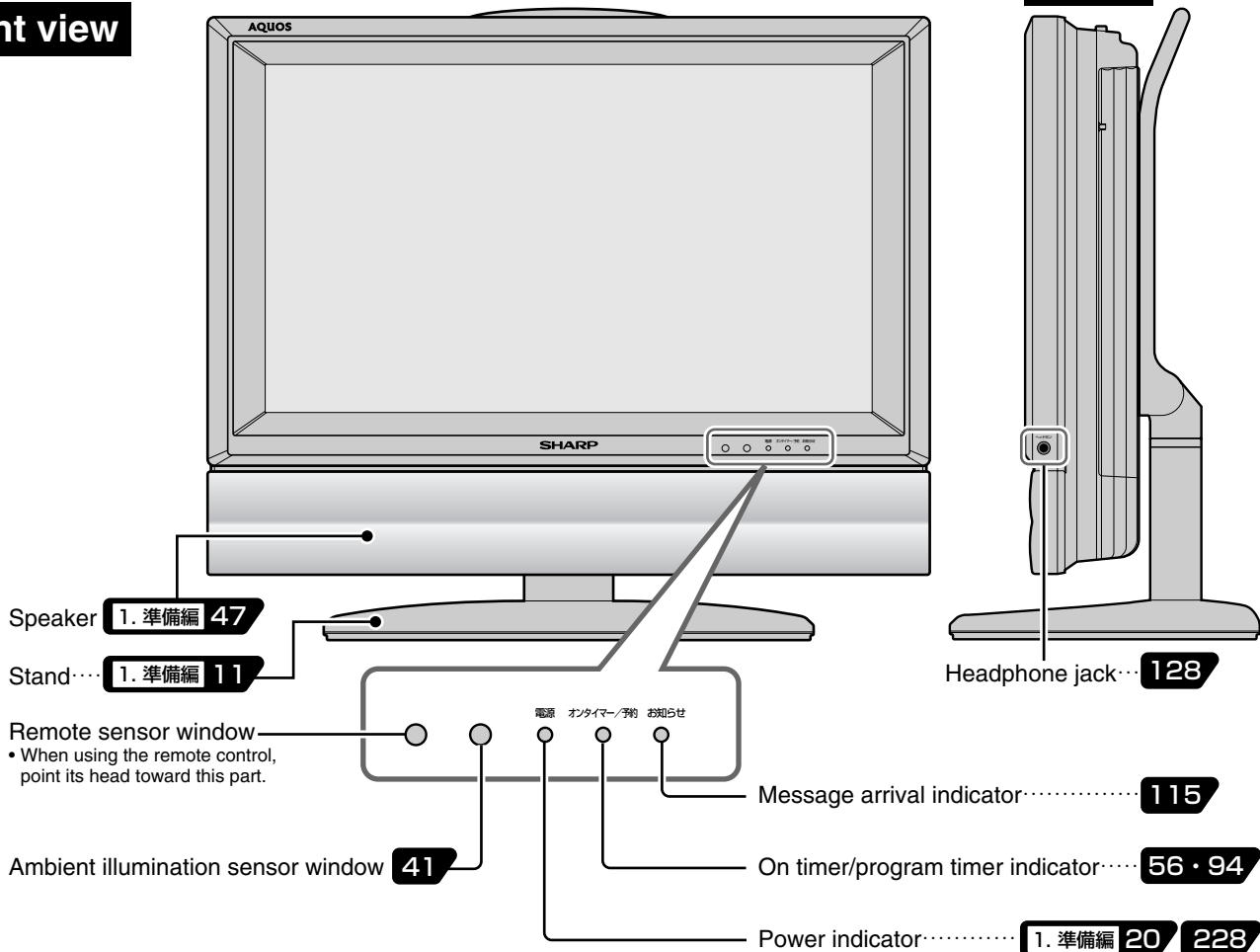
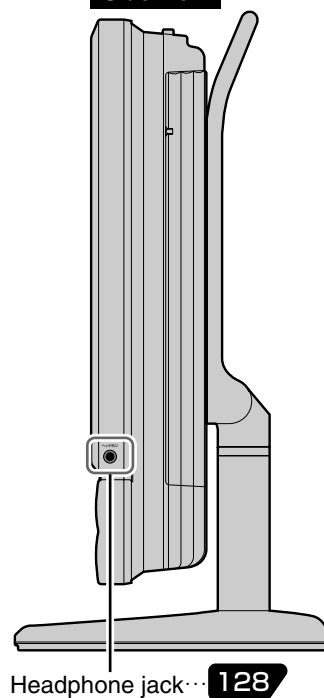
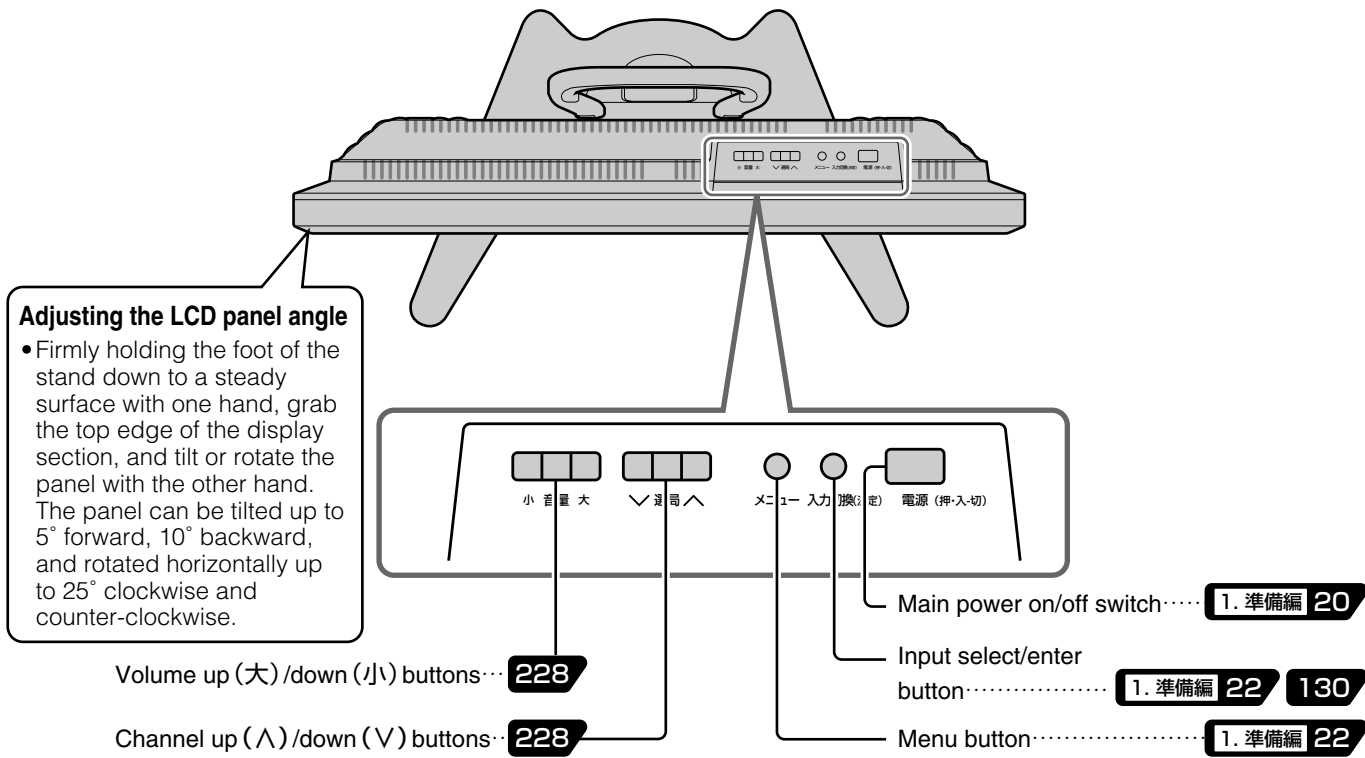
Ambient illumination sensor window 41

Message arrival indicator··············· 115

On timer/program timer indicator····· 56・94

Power indicator············ 1. 準備編 20 228

Side view

Headphone jack··· 128

Top view: Control section

Rear view

- The name and/or function of each terminal/jack/connector and connection examples are given under "端子のなまえとはたらき" on pages **128** and **129**.

▼When the terminal covers are removed

Connecting a VCR or a DVD player **AV in 1-3**

AV in 1 terminals··· 1. 準備編 17

Recording digital broadcast (output terminal)

AV in 2/digital output terminals ··············· 1. 準備編 18 140

Component in terminals ························· 1. 準備編 18

Recording terrestrial boradcast (monitor output terminal)

AV in 3/monitor output terminals ··············· 1. 準備編 18 136

Digital audio output jack (optical)·················· 159

Digital reset button············ 210

B-CAS card lock/release switch················· 1. 準備編 43

Telephone line connector······ 1. 準備編 14

Connecting a BS antenna

Antenna (BS/CS 110) connector······ 1. 準備編 13

Connecting a terrestrial digital antenna

Antenna (terrestrial digital) input and output terminals······· 1. 準備編 12

i.LINK connectors······ 146

Video control jack······ 142

B-CAS card slot···· 1. 準備編 43

Inserting the B-CAS card

Connecting a terrestrial analog (VHF/UHF) antenna

Antenna (VHF/UHF) connector 1. 準備編 12

Connecting the power cord

Power cable connector (DC 13V)··········· 1. 準備編 19

DC 9V output terminal (DC cable connector)
This terminal is reserved to be connected to an external equipment in the future.

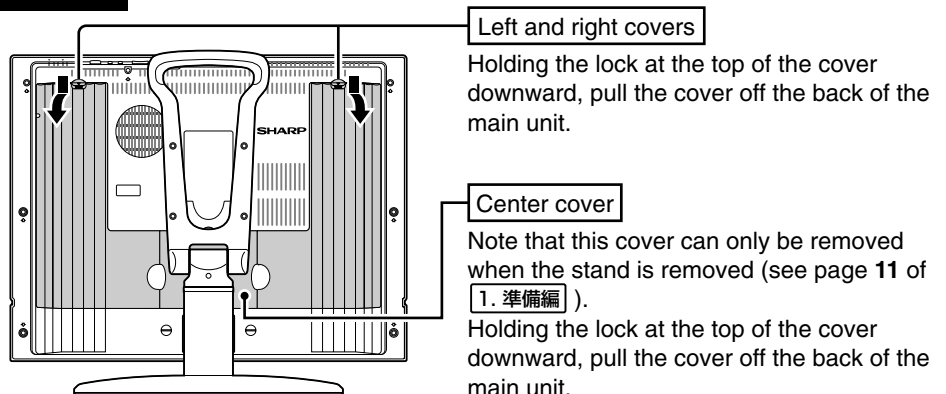
Opening the terminal covers

Left and right covers

Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Center cover

Note that this cover can only be removed when the stand is removed (see page **11** of 1. 準備編).
Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Quick Start Guide in English

Part Names

Cover closed

Display ··· 29
Press to display or turn off the channel call, etc.

Active/Standby ··· 1. 準備編 20 28
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

i.LINK ··· 153
Press to select the i.LINK mode. Press to display or turn off the D-VHS VCR control panel.

Terrestrial digital select ··· 171
Press to select the terrestrial digital network.
＊ Use this button after the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts.

Terrestrial analog select ··· 1. 準備編 22
Press to select the terrestrial analog network.

Media select ··· 68
Press to select the desired media (TV, radio, or data).

Volume up (大)/down (小) ··· 28
Press to adjust the volume.

Mute ··· 29
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

EPG ··· 77
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

Program info ··· 72
Press to display detailed information (e.g. title, genre, on-air time, cast, writer, etc.) on the current digital program.

Cursor (up, down, left, right) ··· 15・18
Use to select a menu item, column, etc.

Enter/Confirm ··· 15・18
Press to confirm a selected setting or menu item.

Finish ··· 15・18
Press to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Note
This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

Color (blue, red, green, yellow) ··· 77
Use to operate EPGs and data program screens.

Sleep timer ··· 57
Press to select the desired remaining time period after which the TV set automatically turns off and enters the standby mode.

DD Virtual ··· 48
Press to turn on or off the Virtual Dolby Surround effect.

Favorite channel select/register ··· 61
Press to select a user-registered channel and to turn on/off the favorite channel register/registered channel table screen.

Digital channel number input ··· 70
When selecting a digital channel by entering the 3-digit channel number, press this button first, then enter the channel number with the channel select buttons (1-10/0).

Channel select ··· 28
- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2) and media (TV, radio, or data).

＊ Factory setting: BS digital TV channels
- Use to input a number for various settings.

CS1/CS2 select ··· 68
Press to select the CS1 or CS2 digital networks.

BS select ··· 68
Press to select the BS digital network.

d (linked data broadcast) ··· 73
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

Channel up (∧)/down (∨) ··· 28
Press to select channels in the current network and media, CATV channels, and user-registered favorite channels in the ascending or descending order.
＊ CATV channels are factory set to be skipped.

Input select ··· 29
Press to select the desired input.

Other on-air programs ··· 82
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組表).

Menu ··· 15・18
Press to display or turn off the menu screen.
*The menus can be displayed in English. See page **227** for instructions on how to switch the display language.*

Return ··· 15・18
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

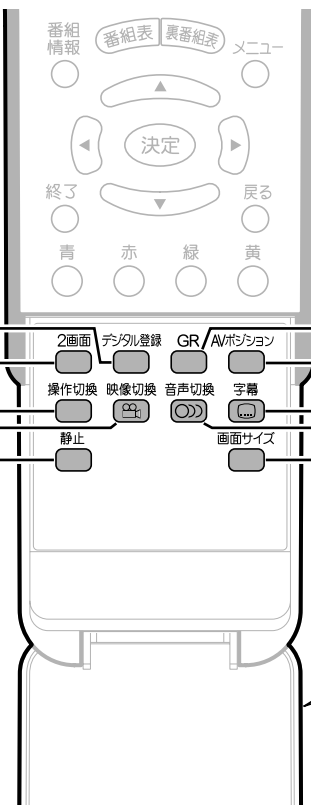
Cover open

Digital channel register ················ 75・102・186
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

Split screen ···················· 50
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Operable screen ·············· 51
Press to switch the operable screen (screen with the ♪ mark) when the TV set is in the split screen mode.

Picture select ················· 74
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

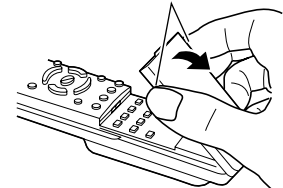
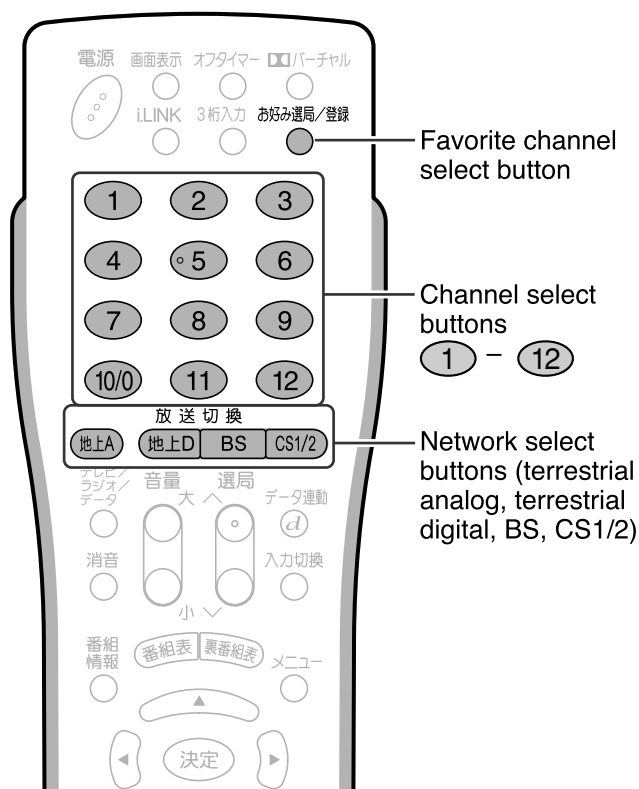
Freeze ·························· 51
- Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.

GR ······························ 53
Press to activate or deactivate the GR (ghost reduction) function.

AV mode select ················ 39
Press to select the picture/sound setting (dynamic [locked], dynamic, standard, cinema, game, or AV memory) that best matches the current program.

Caption ························ 104
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

Audio select ··········· 49・74
Press to select the desired audio (e.g. Japanese or English in bilingual broadcast, the main sound or a sub sound in digital multi-sound broadcast, etc.).

Screen mode ·················· 31
Press to select the desired screen mode.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Basic operation for channel selection

Favorite channel select button

Channel select buttons
1 – 12

Network select buttons (terrestrial analog, terrestrial digital, BS, CS1/2)

Selecting terrestrial analog (VHF/UHF) channels

① Press 地上A to select terrestrial analog broadcast.
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Selecting digital channels

① Press 地上D, BS or CS1/2 to select the desired digital broadcast network. (Press CS1/2 to toggle between CS1 and CS2.)
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Types of broadcast
- Terrestrial analog: Conventional VHF/UHF broadcast
- Terrestrial digital: Terrestrial digital broadcast
- BS: BS digital broadcast
- CS1/2: CS 110 digital broadcast

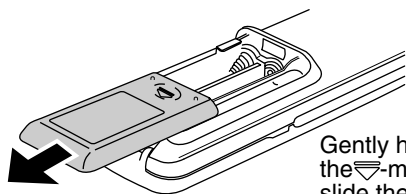
■ For details about channel selection, see pages **228**,**230** and **186**.

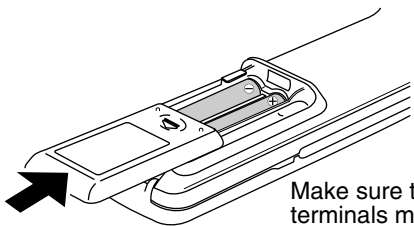
Selecting favorite channels

① Press お好み選局／登録 to display the Favorites Setup screen.
② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Part Names

Inserting batteries in the remote control

1 Open the battery cover.

Gently holding down the ▽-marked area, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries, and close the cover.

Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indications in the battery compartment.

Cautions regarding batteries

CAUTION

Improper use of batteries can result in chemical leakage or explosion. Be sure to follow the instructions below.

- Do not mix batteries of different types.
- Do not mix old and new batteries.
- Do not try to charge or disassemble batteries.
- Place the batteries with their terminals corresponding to the ⊕ and ⊖ indications.
- Do not short-circuit batteries.

Note

- The supplied batteries may have a shorter life expectancy due to storage conditions. Replace them with new ones before they are depleted.
- Remove the batteries from the remote control, if you will not use it for a long time.
- If, after replacing batteries, the remote control does not work, make sure the new batteries are placed in the right direction.

Cautions regarding the remote control

- Do not expose the remote control to shock, water, or high humidity.
- The remote sensor window on the main unit may not properly receive remote control signals when the main unit is under direct sunlight or strong lighting. In such a case, change the angle of the lighting or the main unit.

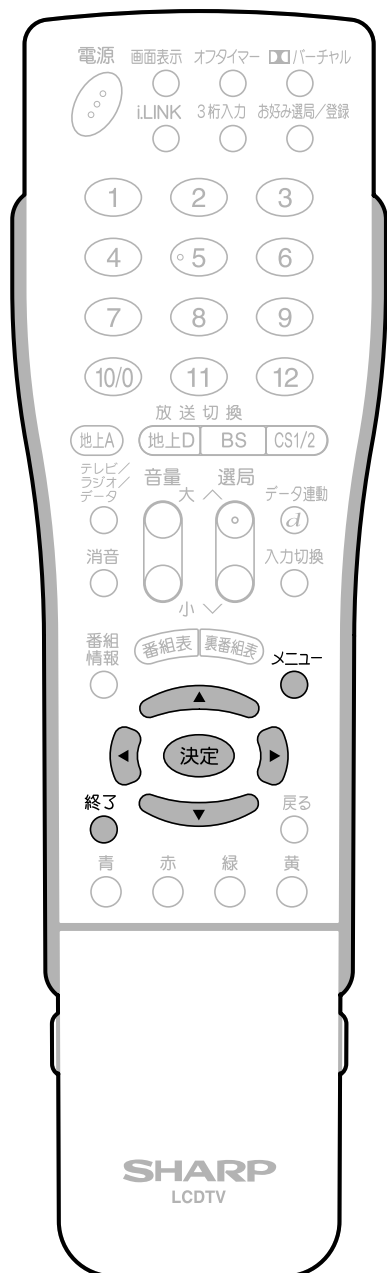
Quick Start Guide

Basic Operations

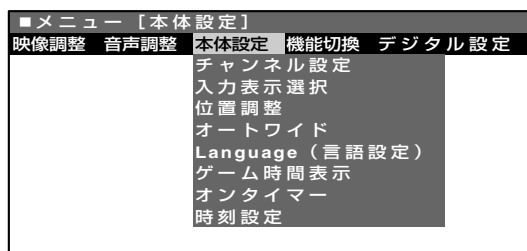
Switching the Display Language to English

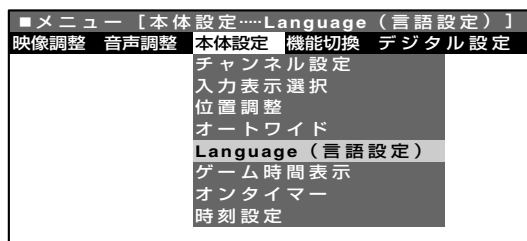
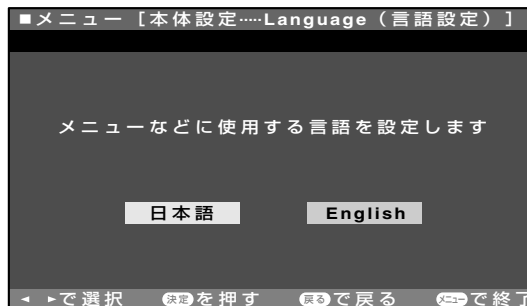
■ The TV menu screen and other on-screen indications can be displayed in English.

Remote control
(Cover closed)

1

① **Press メニュー (menu) to display the TV menu screen.**

② **Press ◀ or ▶ to select "本体設定" (Setup).**

2

Press ▲ or ▼ to select "Language(言語設定)", then press 決定 (enter).

3

Press ◀ or ▶ to select "English", then press 決定 (enter).

● The menu screen is now displayed in English.

4

Press メニュー (menu) or 終了 (finish) to return to normal screen.

Note

● Once the display language is changed to English, the Digital menu screen is also displayed in English.

Basic Operations

Power on/off, channel selection, volume control

❶ Turn on the TV.

Power on ············ The power indicator lights green.
(Active mode)

❷ Select the desired network.

Network select buttons

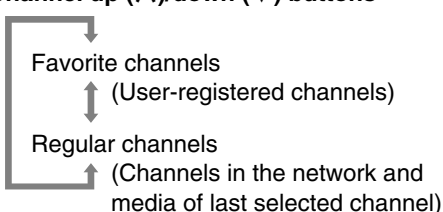
- Press to select the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2).
  (∗ The 地上D [terrestrial digital select] button does not work until the TV set is tuned to receive terrestrial digital broadcasts that are planned to be started in the future.)

❸ Select the desired channel.

Channel select buttons

- Press to select a channel after selecting the desired network (terrestrial analog [地上A], terrestrial digital [地上D], BS, CS1, or CS2) and media (TV, radio, or data).

Channel up (∧)/down (∨) buttons

Favorite channels
(User-registered channels)
Regular channels
(Channels in the network and media of last selected channel)

See pages 34 and 35 of 1. 準備編 for how to select CATV channels.

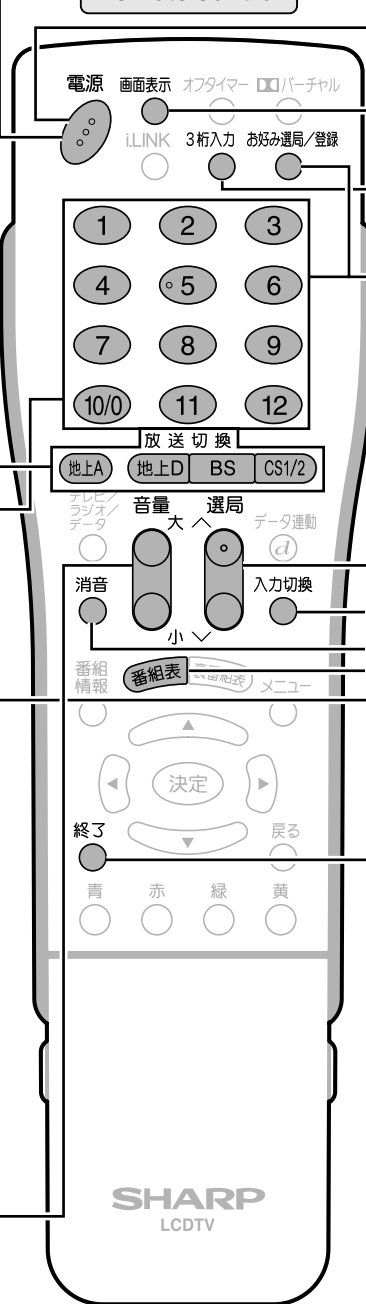
See pages 68 through 126 for BS/CS 110 digital broadcast-related operations.

❹ Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the TV screen showing the volume level with numerals and a bar.

2 6

Remote control

電源 画面表示 オフタイマー バーチャル
i.LINK 3桁入力 お好み選局/登録
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換
地上A 地上D BS CS1/2
テレビ/ラジオ/データ 音量 選局 データ連動
大 ∧
消音 入力切換
小 ∨
番組情報 番組表 メニュー
決定
終了 戻る
青 赤 緑 黄
SHARP
LCDTV

❺ Turn off the TV.

Power off ············ The power indicator lights red.
(Standby mode)

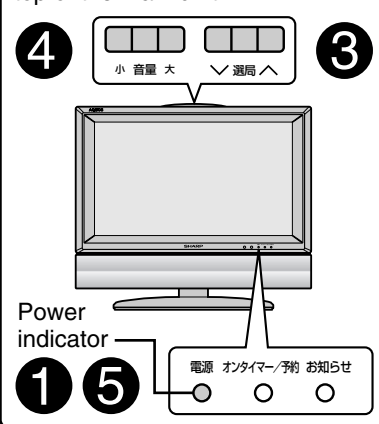
Select the desired favorite channel.

Favorite channel select /register

- Press to select the user-registered channel.
  (Press the favorite channel select/register (お好み選局／登録) button, then press the channel select button.)

Channel selection and volume adjustment can be operated using the control buttons on the top of the main unit.

❹ 小 音量 大 ∨ 選局 ∧ ❸

Power indicator
❶❺ 電源 オンタイマー/予約 お知らせ

Power cable connection

- This TV communicates with digital TV stations even when it is in the standby mode.
- Normally keep the power cable plugged into the wall outlet even when the TV is not in use.
- Do not disconnect the power cable from the wall outlet immediately after it has been plugged in. In rare instances, the built-in memory will be initialized causing timer programs, the PPV program purchase history (unrecoverable), etc. to be erased. If this happens, perform all necessary settings again.
- Do not unplug the power cable or shut off the power supply when the TV set is in use. This may damage the data stored in the built-in memory.

Preset channels

- This TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12 and BS/CS 110 channels. See pages **21** through **39** of 1. 準備編 if you wish to receive UHF broadcasts or change the VHF channel settings.

Input selection, on-screen displays, mute, etc.

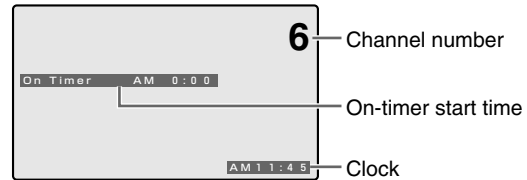
Press to display or turn off on-screen indications.

- Press to display or turn off on-screen indications such as the channel number, clock, sleep-timer remaining time, on-timer start time, etc.

▼On-screen indicators

6 — Channel number

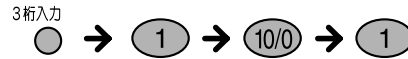
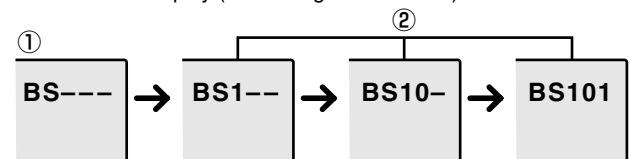
On Timer AM 0:00 — On-timer start time

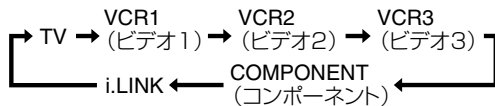
AM11:45 — Clock

Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

<Ex.> Selecting channel 101

① Press the digital channel number input button.

② Enter the 3-digit channel number with the number (channel select) buttons (1-10/0).

3桁入力 → 1 → 10/0 → 1

▼ On-screen display (Ex. BS digital broadcast)

Press to select the desired input.

- Each time you press the button, the screen changes in the following order. (Factory setting)

- Press any channel select button to return to the TV screen.

AV in 1-3 and component indications

- The AV in 1-4 indications can be changed to match the connected equipment. See "外部機器に表示を合わせる" on pages **134** and **135** for details.

Press to temporarily turn off the sound.

- Press again to return the sound volume to the previous level.

Press to display the electronic program guide (EPG) when receiving a digital broadcast.

- Press again to turn off the EPG display.

Press to end operation.

- Use to end the split screen mode or picture freeze mode, turn off the EPG display, or finish menu operation, etc.

Tip on use This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

When broadcasting service for the selected channel is over for the day

- If the no-signal-off function is activated, approximately 5 minutes after the end of service day, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the power indicator lit red. (See page **65**.)
- The no-signal-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-off feature works in the same way when the TV set is in the AV input mode.

CATV channel reception

- CATV channels can be received only in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to sign up with your local CATV broadcasting company for subscription. To watch (and record) charged, scrambled broadcasts, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The selectable CATV channels are C13 through C63.
  The factory preset "Channel Skip" setting for CATV channels C13 through C63 is "する (on)" (that is, not selectable as it is). To make them selectable with Channel up (∧) /down (∨) buttons of the main unit or the Remote Control, set "Channel Skip" to "しない (off)." See pages 34 and 35 of 1. 準備編 for how to change the "Channel Skip" settings.

Enjoying BS/CS 110 Digital Broadcasts

Selecting a BS/CS 110 program

1 Select the desired digital broadcast network

The TV set incorporates a digital tuner that allows you to receive BS/CS 110 digital broadcast networks—BS, CS1, and CS2. What you do first is to select the network of your choice.

Press BS or CS1/2 to select the desired network.

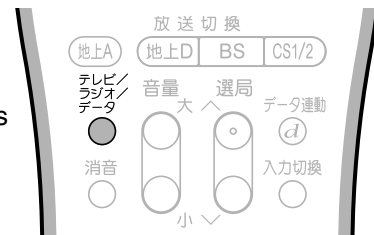
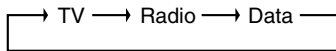
- Each time you press the CS1/2 button, the network changes as shown below.

CS1 (SKY PerfecTV! 110P) ⇄ CS2 (SKY PerfecTV! 110S)

2 Select the type of broadcast (Not necessary when selecting a channel by entering the channel number.)

Both the BS and CS 110 digital broadcasts offer not only TV programs but also radio and data programs. After you have selected the network of your choice in step 1 above, what you do next is to select the type of broadcast—TV, radio, or data, by pressing テレビ/ラジオ/データ.

Press テレビ/ラジオ/データ to select the desired media (TV, radio, or data).

- Each time you press the button, the media changes as shown below.

Operating a data program screen

Data programs usually display control button and item graphics on the screen. Use

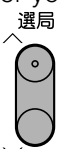
cursor buttons and 決定 (enter/confirm) as well as color buttons (青 赤 緑 黄) to select an item, confirm your choice, or switch screens back and forth, etc.

3 Select the desired channel

① **Using the channel select buttons**

The channel select buttons are factory preset to receive the channels listed in the tables shown on the next page.

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, all you do now is press one of the channel select buttons 1 - 12 to directly select the channel of your choice.

② **Selecting a channel by entering the 3-digit channel number** (Ex. Selecting a BS channel)

Press 3桁入力 (digital channel number input). "BS---" is displayed in the top right corner of the screen. Enter the 3-digit channel number using the channel select buttons (1-10/0).

Ex. Press 1 → 4 → 1 to select BS Nippon.

As you press the third button, 1, a BS Nippon program will be displayed on the screen.

③ **Using 選局 (channel up/down)**

After you have received the desired type of broadcast in step 2 above, press the ∧ or ∨ side

of 選局 (channel up/down) to select the next higher or lower channel.

Factory preset BS, CS1 and CS2 channels

BS (BS digital) channels

Channel select button	TV		Radio		Data	
	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number	Channel name	Channel number
1	NHK BS1	101	BSC300	300	Megaport	900
2	NHK BS2	102	Music Bird	316	Weathernews	910
3	NHK Hi-Vision	103	JFN 1	320	Digicas 933	933
4	BS Nippon	141	St. GIGA	333	NDB 940	940
5	BS Asahi	151	BS Nippon Radio 1	444	BS955-5	955
6	BS-i	161	BSA Radio 455	455	Tivi! 963	963
7	BS Japan	171	BS-i Radio	461	ch999	999
8	BS Fuji	181	BSJ 471	471	—	—
9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
10/0	Star Channel	200	BSQR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE 1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS1 (SKY PerfecTV!110P) channels

Channel select button	TV	Radio	Data
	Channel number	Channel number	Channel number
1	001	700	010
2	004	701	900
3	005	702	901
4	006	703	902
5	007	704	909
6	008	705	963
7	009	706	966
8	055	707	967
9	091	708	998
10/0	092	709	999
11	093	710	—
12	094	711	—

CS2 (SKY PerfecTV! 110S) channels

Channel select button	TV	Radio	Data
	Channel number	Channel number	Channel number
1	100	—	110
2	160	—	123
3	177	—	170
4	182	—	190
5	194	—	217
6	211	—	—
7	220	—	—
8	230	—	—
9	234	—	—
10/0	250	—	—
11	290	—	—
12	—	—	—

- There is no channel plan for CS2 (SKY PerfecTV!110S) radio broadcast as of June 2004.
- The channel plans listed above are those known as of June 2004, and subject to change in the future.

Enjoying BS/CS 110 Digital broadcasts

Enjoying other services

BS/CS 110 digital broadcasting stations offer various services which take advantage of digital technologies that allow far more data volume to be transmitted within a single channel than the traditional terrestrial or satellite analog TV. These services include programs with multiple pictures and sounds, program-linked data broadcast in which program-related or independent information is provided with still images and texts.

Press 番組情報 (program info) to display the currently selected program information.

(Example: BS digital program)

Remote control (Cover open)

Selecting the desired service

①When “ *d* ” is displayed ················· Press データ連動 (linked data).

➡A linked data screen will be displayed, usually with a small window showing the program that has been being watched.

②When “ Picture ” is displayed ······ Press 映像切換 (picture select) inside the sliding cover.

- Press the button until the desired picture is displayed.

③When “ Audio ” is displayed ······ Press 音声切換 (sound select) inside the sliding cover.

- Press the button until the desired sound is selected.

④When “ Capt. ” is displayed ······· Press 字幕 (caption) inside the sliding cover to display captions.

- Press the button again to turn off the captions, or select other captions.

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-22GD3

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは主電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の主電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター	東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

≪受付時間≫ 月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…　**213**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-B420WJZZ ⚠
04P06-JMK